

支那原産ノ常緑藤本、日本(白)栽培。(生薬)支那使君子ハ果実ヲ
採乾セルモノ也。(成分)(薬效)約同前種、蛔虫驅除劑トス。

(3)こばていし(しまぼろ、ももたまな、古巴弟子) *Terminalia*
Catappa L. (分生)小笠原・琉台ノ海岸生大木。(生薬)樹皮ヲ採乾薬用トス。(成分)樹皮=鞣酸 9~12% 果実=ハ20%ヲ含シ、種子=脂肪油 51.2% 含有ス、其脂肪油即 *Catappaöl*、主成分ハ *Olein* 54%・*Palmitin* 46%・及 *Stearin* 也。(薬效)樹皮ヲ煎服シテ下劑トシ、又腫物ヲ治ス。

(4)かりろく(カリロク、訶梨勒、訶子) *J. Chebula* Retz. (分布)印度及
馬來地方原産ノ常緑藤本。(生薬)果実ヲ^{カシ}訶子又訶梨勒ト称シ採乾薬用トス。莖葉モ採乾薬用トス。(成分)果=鞣酸、没食子酸 *Ellogsaure*ヲ含有ス。(薬效)果ヲ收斂薬トシテ下劑(腸加答兒、直腸出血)出血、子宮出血、腹水等ニ用ヒ、又鎮咳薬トシテ慢性気管支加答兒ニ用フ、1回 2~3g.ヲ煎服又粉末ヲ用ス。又煎汁ヲ媒染劑ニ用フ。莖葉モ單寧ヲ多含シ上記目的ニ使用シ得。果実煎汁=明礬ヲ加レハ永久不変ノ黄色染料トナル、或一種ノ黒汁ヲ製ス。(備考)果実ハ座敷ノ裝飾品トシテ柱掛ニ用フ。

Fam. (Ⅳ) へんにんくわ (桃金娘) 科 *Myrtaceae*

一名ちやうかう(丁香)科 *Myrtaceae* (253 四) 参照。

形質——互ニ互、全株(葉・莖・花・果等)有腺(分泌腔)有両側立維管束。葉ハ有短柄、無托葉、概シ γ 又 ψ 、單葉、無裂、全縁、稀

円形~披針形~線状披針形、稀線状披針形、稀2形葉。花序ハ
傘、小~中形、腋生、單立又聚繖繖状繖房、頭状、円錐花序=排列。
花ハ中、稍 4~5 数花、花托ハ子房ノ半~上部迄合着又屢抽出、
 $F.f. = K(4\sim 5)C: 4\sim 5; r. 0 A_{\infty} G(2\sim 5\sim \infty)-$; Kハ概互列花
後宿存、Cハ互列; A_{∞} ハ往々群束、稀限定数、 $\infty \sim 1$ 子室、各室
 $= \infty \sim 1$ ヶノ副生又寄生卵子ヲ藏ス、花柱ハ單体。核果ハ
漿果、核果、蒴果、又堅果、1~ ∞ ノ無胚乳種子ヲ藏ス。

成分及效用——本科ノ成分ハ各種揮發油及脂肪油、含水炭
素類、有機酸、鞣酸等知ラル、モ塩基=ハ槿= *jambosin*、
配糖体=ハ色素、*Myrticolarin* 等知ラルルニ置ヤズ。
薬用ノ外、香味料、木材用、観賞用等ニ供シ、又食用果実ヲ生ズル
モノアリ。

分布及属種数——世界=凡 72 属 2750~2800 種ヲ産
シ、主ニ熱帯ニ多数ハ亜熱帯ニ分布ス。日本ニ自生又栽培ス
ルモノ凡 11 属 35 種ヲ下ラズ、自生ハ凡テ小笠原・琉台ノ産也。

本科ノ薬用植物：——

(1) へんにんくわ (桃金娘) *Rhodomyrtus tomentosa* Willd.
(分生)琉台ノ山野生常緑木、花夏。(生薬)根ヲ花後=採乾
シ薬用トス。(成分)樹皮= *Gerbsäure* 19%ヲ含ム。(薬效)根ヲ
煎服シ嘔吐ヲ治ス。

○(2) ちやうかりのき (ちやうかり、じやうかり、有加利) *Euca-*
lyptus globulus Labill. (分生)濠洲原産、南日本栽培ノ常
緑木、葉2形。(生薬)ちやうかり葉 *Folium Eucalypti* ハ葉ヲ採乾

セルモノ也、長披針形、鎌曲長15~30巾2~3cm、全縁新條葉ハ
 卵又精円形、心脚、気味樟腦様有芳香、樹皮ニ藥用トス。鎌倉
 市瑞泉寺境内ニ大樹アリ、〔成分〕生葉ハゆうかり油 *Eucalyptol*
terp (精油) 0.7% (或40%以上)ヲ含シ、主成分ハ *Eucalyptol*
^{チオール} (*Cineol*) $C_{10}H_{18}O$ (70~80%)ニテ其他 *d-α-Pinen* $C_{10}H_{16}$ 、*Pino-*
carveol $C_{10}H_{16}OH$ 、*Sesquiterpen-Sesquiterpenalkohol* ナル
Glolulol $C_{15}H_{26}OH$ 、*Eudesmol* $C_{15}H_{26}OH$ 等ヲ含有ス。〔藥效〕
 局方ゆうかり葉ハ局方ゆうかり油 *Oleum Eucalypti* 製造
 原料トシ、又胃腸加答兒・膀胱疾患ニ浸劑又丁癸劑トシテ用フ、
 外用ニハ喘息煙草ヲ製ス。局方ゆうかり油ハ防腐及刺激作用
 有シ呼吸器ノ加答兒及炎症・持肺痰痕・腐敗性気管枝炎加答
 兒・尿道疾患・淋病等ニ1日數回1~3~10滴ヲ内服シ又10~
 20% *Oliveöl* オレイン油ニ溶解シテ皮下又筋肉注射スル
 コトアリ。外用ニハ腐敗性気管枝炎加答兒・肺痰痕・じんぷる症
 ンガ等ニ吸入藥トシ、其他創傷ノ防腐性繻帶料・潰瘍・ユウマチ
 ス、神經痛等ニ布ニ滴下シテ貼用シ或20% 擦劑トス。其他室
 内ノ香料・齒磨粉及丁癸類ノ香料及香水原料トス。準局ゆう
 かりニヒール *Eucalyptolum* ハ即 *Cineol* ニテ神經痛・リ
 ヲマチ 塗擦劑・防腐性繻帶劑・喘息気管枝炎等ノ吸入劑トス。
 内用ニハ慢性気管枝炎・肺痰痕・喘息・膀胱加答兒・間歇熱等ニ
 1日數回5~30滴ヲ ^{カプセル} 膠囊劑又乳劑トシテ用フ。

ゆうかり油ハゆうかり葉ヲ蒸気蒸溜シ得タル揮發油ニテ
 分泌抑制藥トシ肺腫瘍・気管枝擴張症・肺痰痕・腐敗性気管枝炎

ニ用フ、其他解熱・防腐藥トシ腸加答兒・膀胱炎・腐敗性肺患・リウ
 マチス等ニ塗布又チネピン油ニ和シ吸入料トス。又解熱劑驅
 虫藥・殺菌劑トシ、感冒其他ノ場合室内ニ濕氣ヲ發生セシムル
 時此油1滴ヲ加レバ芳香ヲ發シ且癸殺菌ノ作用アリトシ
 推賞セラル。本植物ハ成長迅速ニシテヨク水湿ヲ吸収スル
 作用アル故衛生上病源ニ富メル不直湿地ヲ乾カシ健康地ヲ
 ラシムル爲ニ植栽セラル、南日本ニ良生育ス。樹皮及葉ヲ間
 歇熱感冒流行性感冒等ノ解熱藥ニ煎取ス。

〔藥理〕ゆうかり油ハ分泌ヲ減少セシメ、防腐殺菌作用アル故
 吸入料トシテ用ヒラル、其他痰ヲ減ズル爲メニ用フ。

〔備考〕本屬ハ東洲及たすまにあ特産ニ係リ尋常大無比也、
E. globulus ノ材ハ堅韌・寒氣・諸器具用トスルモ乾ケバ又脆
 ス。 *E. marginata* ハ西南産、材堅硬・水虫ノ浸害ヲ不蒙
 故此木ニテ造船セバ銅・鉄板ヲ張ル要ナシ、船體材・汽船枕・鐵道
 枕木等ニ賞用ス。 *E. resinifera* ハ *Iron Bark* ト称シ
 材ハ堅硬・頑重シ。本屬樹種ヲ湿地ニ植レバ蒸水ノ滯留ヲ防
 ギ、地上ノ空氣ヲ清淨ニスル效大也。世ニ本樹ヲ植レバ疫病
 ヲ防ク效アリト稱スルハ是ガ爲也。

(3) はんじらう (番石榴、拔仔、*Guava*) *Psidium Guajava*
 L. 〔分布〕メキシコ及熱帯米原産、日本ハ琉球・台産ノ主ニ由ル。〔生
 藥〕根皮・樹皮・葉果實等ヲ採乾藥用トス。〔成分〕葉ハ精油0.37
 % (主ニ *Eugenol*)、脂肪油0.365%、單寧9%、林糖酸・樹脂等ヲ
 含ム。根及樹皮ハ單寧鞣酸等3~12~30%ヲ含ム、果實ハ

糖分(主=蔗糖)4%、酒石酸等ヲ含ム。〔藥效〕根皮ヲ煎服シ制寒劑トシ、瘧疾間=用ヒタリ、樹皮ハ收斂劑トシ下痢止及消化不良等=用ヒ又健胃劑トス、印度(アッサム、ベンガル)=テハ染料=供ス。葉ハ茶ノ代用トシ嗜好飲用トス。果實ハ大形美味食用トシ又「クァバ・ジャム」ヲ製ス。〔備考〕樹ヲ觀賞用トシ、果ハ倒卵形・腋生、無花果形ニテ食用=供ス、美味也、台灣番人酷ガ嗜食ス。

(4)ふと-もも(ほたろ、蒲桃) *Eugenia jambos* L. (糸布) 熱亞・原産、日本(紀州・台・閩)栽培ノ甚、果ハ龍眼=似初黄緑熟テ黄色、内虚ニメ揺ハ如鈴鳴、甘味核ハ如枇杷核。〔成分〕樹皮=*Jambosin*(塩基)及單寧12.4%ヲ含ム、根皮=塩基 *Jambosin*、*Aleocresin*ヲ含ム。〔藥效〕嫩芽ヲ糲ト混ジ炒テ腫物=貼付ス。〔備考〕觀賞用トス。

○(5)ちやうじ(ちやうかう、丁字、丁香) *E. Caryophyllata* Ikumb. (糸生) 印度・亞亞利加(モルツカ)原産ノ常緑木、花赤色、熱帯各地(ヒリッピン諸島、モルツケン諸島、アフリカ

253圖

東岸サンジバル及ペンバ(地方)ニ栽培ス。(生藥) 丁字(丁香) *Flos Caryo-*



(253圖)ちやうじの花蕾及切開(Koehler氏)
1. 花蕾即チ丁字又丁香 2. 丁字ノ縦断面
3. 母丁香即末熟果

*phylli*ハ花蕾ヲ採乾セルモノ也、有鈍稜、円柱形・長1cm、径3mm。

$K_{(4)}C_{14}A_{10}G_{(2)}$ ニテ褐色、子房ハ2室花托上部萼直下ニアリ、卵子20許、K及花托ニハ油腺(油室)アリテスニ列ス、特異芳香強ク味亦芳香性如灼。母丁香 *Anthophylli*ハ末熟果ニテ藥用=不堪。〔成分〕花蕾=精油・鞣酸・樹脂等ヲ含有ス。就中主成分ハ芳香性ノ丁香油15~20%也、其主成分ハ *Eugenol* $C_{10}H_{12}O_2$ (70~80%)ニテ他ニ一ニニ *Caryophyllen* 及無味無臭ノ結晶性(不揮發性成分中)ノ *Caryophyllin* ナル *Sesquiterpen* $C_{15}H_{24}$ ヲ含有ス。丁香油ハ水ヨリ重シ、從テ丁香ハ水中ニ半又全沈降ス、而テ水面ニ積浮セバ陳旧品ニテ不良也。〔藥效〕丁香ハ芳香性調味藥トシ、又粉粧料=古來汎用ス(粉末又香油)、又丁香油製造(蒸餾法ニテ)原料トス。其他消毒性含嗽劑ノ附加藥、芳香性粉劑・丁香丁幾等トシ、齒痛(ノ鎮痛藥)及惡臭性呼吸器等=咀嚼藥トス、又興奮劑及辛香性健胃藥トシ、食慾ヲ増進スル目的ヲ以テ弛緩性消化不良性並其他風寒(寒胃)等=1日數回0.3~1.5gヲ煎服ス。局方・丁香(丁香)油 *Oleum Caryophylli* (Clove oil)ハ主ニ其防腐及局所麻醉作用ヲ利用シ、殊ニ齒科ニテ齧齒科齒劑トシ、含劑ヲ洗口水トシ、5~10%酒精溶液ヲ「リウマチ」及齒痛ノ塗布料トス、其他齒磨粉、香料、防蚊香水ヲ製ス。局方ニハ丁香芳香酸・芳香丁幾、芳香丁幾、芳香阿片酒、芳香燭、芳香アムモニヤ精等ヲ製シ、準局方ニハ芳香薔子油ヲ製ス、工業的ニハ丁香(字)油ヲ採取ス、藥料、粉粧用、頭微鏡用透明劑ニ使用ス。丁香油ハ油糖劑トシテ用フ。内用・齧齒・「リウマチ」等ニ棉花

浸トシ塗擦又挿入外用ス。

(6) カエプチ (かやぶく, 加耶布的) *Melaleuca leucadendron* L. (分布) 印度 (モルツケン諸島) 及 馬來地方産ノ常緑草, 葉ハヤ長披針形平行脈 $K_5 C_5 A_{\infty} G_{(3)}$ (1説 = $G_{(2)}$) Aハ5群束 (A_5 ノ ∞ 分裂), 白瓣・綠萼。〔生薬〕カエプチ (かやぶく) 葉 *Folium Melaleucae* ハ葉ヲ採乾セルモノ也。Balsam 蒸臭アリ。故モ採油料 = 供ス。〔成分〕葉及枝 = かやぶく (カエプチ) 油 *Oleum Cajeputi* ナル精油ヲ含ム。主成分ハ ^{チネオール} *Cineol* = 其 他 *l*- α -*pinen*・*l*-*limonen*・*Dipenten*・*dl*- α -*Terpineol*・*Sesquiterpen* 等ヲ含有ス。〔薬效〕生薬ヲ局方・かやぶく油製造原料トス。本油ハ皮膚刺戟薬トシテ慢性皮膚病・歯痛・神経痛・リウマチス性疼痛等 = 外用ス。又発汗興奮驅風利尿劑 = 内用 (0.5~2.0g) ス。又驅虫薬トス。〔処方例〕歯痛薬 (1) かやぶく油 5.0 クロロホルム 5.0...ヲ混和綿花ニ浸シ貼付。(2) かやぶく油 10.0 オレーブ油 10.0...ヲ混和外用ス。(3) かやぶく油 10.0 らのりん 5-10 倍...混和軟膏トシテ外用ス。

(7) ぎんはな-らわ (銀梅花, りわ-ひのみ) *Myrtus Communis* L. (分布) 南欧地中海沿岸地方産ノ常緑草。葉花共ニ有佳香, 葉ハ卵形又披針形, 花白色, 果ハ碧黒色也。〔生薬〕葉及果実ヨリ銀梅花油ヲ採取シ薬用トス。〔成分〕葉 = 芳味質・樹脂・糖酸及精油 (主 = *Myrtenöl*) 0.3%ヲ含ム, 其主成分ハ *d*- α -*Pinen*・*Camphen* 炭化水素・*Cineol*・等ヲ含ム。

果実 = ハ精油・枸橼酸・脂肪酸等ヲ含ミ。種子 = 脂肪油ヲ含ム, 其主成分ハ *Alein*・*Linolein*・*Myristin*・*Palmitin* 等也。〔薬效〕精油 (*Myrtenöl*) ハ特異ノ芳香ヲ有シ防腐・鎮痛利心即慢性気管枝炎・扁桃腺炎・肺膿疽・膀胱炎・腎盂炎 = 1~2滴宛膿液 = 入レテ與テ。花ヨリ精油ヲ採リ香水ヲ製シ, 葉及枝果実ヲ薬用 (上記) = 煎服ス。〔備考〕観賞用 = モ栽培ス。

(8) ピメントのき (おーるすばいす *Allspice*) *Pimenta, Officinalis* Berg. (分布) 北米 (メキシコ)・西印度及南米ニ自生スル常緑草, 葉ハヤ長楕形有明点, 花小形白色4数花, 結實果。〔生薬〕果実ヲ採乾シテ香料及薬用 = 供ス。〔成分〕果実 = 精油 3~4.5%ヲ含ム, 其主成分ハ *Cineol*・*l*- α -*Phellandren*・*Caryophyllen*・*Eugenol*・*Eugenolmethylether* 70%以上・*Palmithinsäure* 9.6%ヲ含有ス。葉 = モ *Eugenol*ヲ多含ス。〔薬效〕果実ヲ香味料及薬用トス, 果ハ桂皮・丁香・肉豆蔻ニ合セシ如キ香味ヲ有スル故ニ總香味料 (*Allspice*)ノ依アリ。又矯味矯臭薬トス。

(9) やせい-ちようじ (野生丁香) *P. acris* Lindl. (分布) 西印度原産ノ草, 葉ハヤ楕円形革質有香気, 花ハ小白色, 果ハ小球状ノ漿果也。〔生薬〕葉・樹皮・果実等ヲ薬用又香料トス。〔成分〕葉 = 精油 *Bayöl*ヲ含ム。其主成分ハ *Eugenol*也, 其他 *Methyleugenol*・*Myrcen*・*l*-*Phellandren*・*Citral*・*Chavicol*・*Methylchavicol* 等ヲ含ム。〔薬效〕葉ヲ蒸溜シテ芳香性揮発油 *Bayöl*ヲ採取シ薬用 (矯臭薬,

香料) トス。果実及樹皮ハ香料=賞用ス。

Fam. (IX) ひし(菱)科 *Trapa* (Hydrocharitaceae)

(254 ~ 255 図参照)

形質— 水生・藻状不定根簇生・莖葉浮游性①。葉ハ有長柄(含空氣膨大部有), 葉頂= 簇生・單葉・菱形無裂齒牙緣。花器ハ傘, 小形・白色・腋生・單立。花ハ中, 4 数花, F. f. = K₄C₄A₄G₍₂₎; Kハ銀合列, Cハ瓦列, 子房ハ半花托= 没在, 花托ハ盃状子房下半ヲ包ム, 花盤ハ子房中辺ヲ圍繞シ環状有

254 図

鋸齒, 元來2子室但1室萎縮シ單室, 各



(254 図) おに-ひし, 花ノ前方 K₂C₂ヲ除去シ内部ヲ示ス (J. natans L.) (R. Raimann 氏) ... K₄C₄A₄G₍₂₎

室懸垂性1嚙子, 各果皮 2~4 刺。果實ハ石果状假果, 有 2~4 棘; 種子ハ無胚乳, 種皮ハ硬化革質・上部海綿状肥厚, 胚ハ大子葉・極小子葉ヲ有ス。

255 図



(255 図) ひし科ノ花式圖 (Eichler 氏) F. f. = K₄C₄A₄G₍₂₎

成効・效用— 本科ノ成効ハ澱粉・

Dextrose. Cellulose. Protein.

Gerbstoff 等也。嫩莖葉及果(種仁)ヲ食用=供ス。

分布及屬種數— 世界= 1 屬 3 ~ 5 種ヲ産シ歐亞ノ温へ

亞熱帯= 分布ス。日本産 1 屬 1 種 ~ 3 種ヲ産シ本・台・間= 分布ス。

(1) ひし(菱)及其諸變種 *Trapa natans* L. v. *hispidosa* Mak. (*T. hispidosa* Roxburg) (水生)本・四・九・朝ノ池沼生, 夏月葉間= 開小白花・昼ハ萎ミ・夜開キ・隨月光轉移ス; 実熟水中有稜角, 2・4・6 角棘, 概 4 米 2 大角棘; 又無角棘, 長云 三河菱。おに-ひし(おとこ-ひし) f. *quadrispinosa* Mak. 本・台。果= 4 角棘アリ。ひめ-ひし(こ-おにひし) v. *incisa* Mak. 本。各部小形, 4 棘。(= *T. incisa* S. et Z. べに-ひし(め-ひし) v. *rubeola* Mak. 本(中部)。葉柄ハ赤色, 果ハ 4 棘。たう-ひし(の-ひし) v. *licornis* Mak. 台。果= 彎曲性 2 角棘アリ。〔注意〕菱實 *Fructus Trapae* ハ果實(過熟稔心トモ)ヲ採乾セルモノ也。又全草ヲ藥用トス。〔成分〕果= 澱粉・蛋白質等ヲ含有ス, 詳細未詳。〔藥效〕全草ヲ採乾煎服セバ小兒頭心毒ヲ除キ(解毒劑), 酒毒ヲ解シ, 眼ヲ明瞭ニスル效アリ。菱果ハ煎服セバ胃瘕= 有效, 1 日 3 ~ 5g. (種仁煎服トモ云)。果種殼ノ煎汁ニテ痔ノ脱肛ヲ癒法ス。〔備考〕果實ヲ採テ又生ニテ食ス, 但多食セバ腸氣ヲ損シ陰萎トナル。種仁ヲ粉ニシ餅ヲ依リ食ス。菱餅ト云フ, 又粥トシ食ス。其莖葉ノ嫩軟ナルヲ採リ晒乾シ糲トスベシ。舊時代= 諸州ノ城廓ノ堀池= 植栽ヲ要害ノ備トセリ。

Fam. (x)あかばな(柳葉菜)科 [つきみさう(月見草)科]

Oenotheraceae (Onagraceae) (256~257図参照).

形質——概②, 葉①, 稀又又差(外國, Fuchsia 屬等)。葉ハ有柄又無柄, 無托葉, 稀脫落性托葉有。果葉無裂・稀羽裂・全緣~鋸牙緣。花器ハ概④, 腋生又梢枝頭=單生又穗狀總狀或圓錐花序。花ハ中稀中, ②花ハ壺狀~筒狀~管狀, F.f.=K(2~4)r.(5~6)C2~4 no A4~8 r. 1 v. 2 v. 6 v. 12 G(4)r. (7~8), 概 K(2~4)C2~4 A4~8

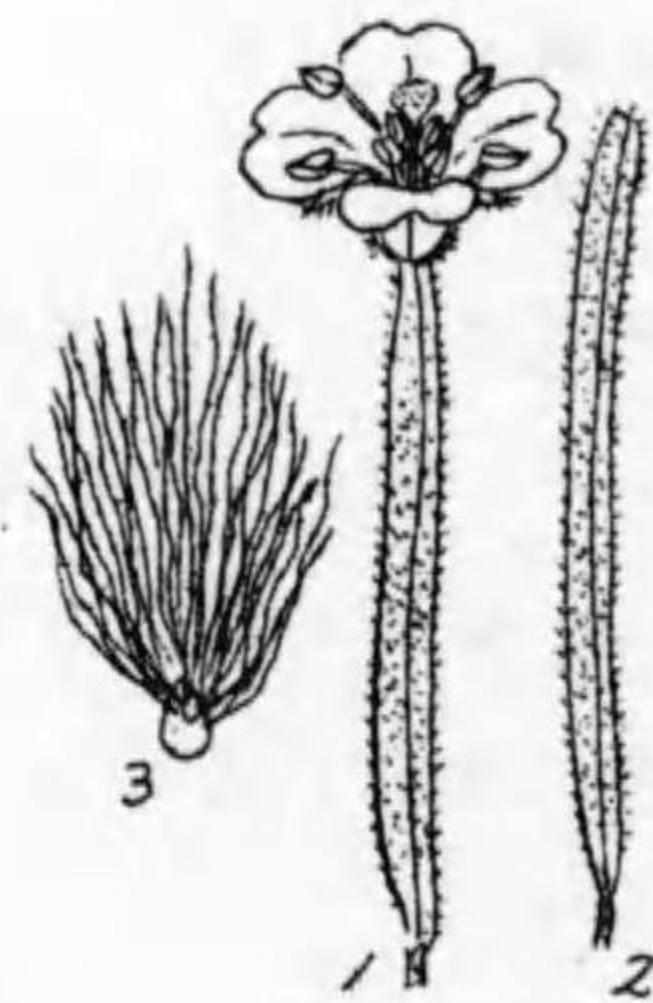


256図

G(4), あかばな屬—K(4)C4A4+4G(4);

(256図) まつよひみさ(高) 花式圖 (Eichler氏) ... K4C4A4+4G(4)

Kハ銀合列, Cハ互列又回旋列, 子室ハ1~4~6室, 各室=1~∞個生卵子ヲ含ム, 花柱ハ單体, 花盤ハ子房上=アリ。果實ハ概蒴果又堅果或漿果, 稀瘦果; 種子



257図

(257図) あかばなノ花果・種子(原四) 1. 花器 K4C4A4+4G(4) 2. 蒴果 3. 種子

ハ概②, 胚乳無稀僅少。

成分及效用——化學的ニハ殆不明, 僅=Schleim(粘液)知ラルルノミ。藥用ノ外, 食用, 染料, 觀賞用, 又茶ノ代用=供スルモノアリ。

分布及屬種數——世界=凡37屬500種以上ヲ産シ, 主=

温帯~亜熱帯=少数ハ熱帯=分布ス。日本=自生又栽培スルモノ凡10屬70~80種ヲ産シ樺千台間=分布ス。

本科ノ藥用植物:——

(1)あかばな(柳葉菜赤花)及其諸變種 *Epilobium pycnostachyum* F. et S. (分生)北・本・西・九・朝ノ平野・山足ノ水辺産ノ②, 散生~群生。(生藥)柳葉菜ハ花時全草ヲ採能セルモノ也。(藥效)全草ヲ煎取シテ收斂性止血(腸カタル, 下痢, 赤痢, 腸出血)藥トス, 又緩和收斂藥トシ, 月経過多症ヲ治ス。1回2~3g. 煎服。莖液ハ切創面ヲ洗滌治癒シ, 又粉末トシ散布シ止血藥トス。

(2)まつよひみさ(特宵草) *Oenothera odorata* Locq. (分生)智利原産, 日本湯花ノ②, 群生, おほまつよひみさ(大特宵草) *O. Lamarckiana* Ser (分生)北米原産ノ②。(生藥)根ヲ採能シテ藥用=供ス。(藥效)根ヲ煎取シテ感冒ノ解熱藥トシ腎臟ノ, 咽喉炎, 肺癆ノ風邪藥=單味又水砂糖及金橘ヲ加テ煎服ス。

第廿三目 繖形花目 Umbelliflorae

特徴——H又D, 葉ハ少又中稀少, 單葉又複葉(掌狀又羽狀系)。花器ハ概④稀⑤ 概細小又小稀中形, 概白又黄色系稀淡紅又淡紫, 概繖形又複繖形^并總狀又圓錐或頭狀花序概4~5散花, 稀∞散性②稀③④, 概中, 葉①概 F.f.=K_nC_nA_nG_nv. (1~5~∞), n=4 v. 5也; 各心皮ハ各1(稀2)箇ノ懸垂性側生卵子ヲ

生シ、1卵膜ヲ有ス； 種子ハ胚乳豊富。次ノ3科アリ。

- A₅, 花柱2~5, 稀合一, 花序ハ繖形・複繖形・頭狀・穗狀円錐等葉ハ概シ稀シ, 概有托葉 -----]
- A₄, 花柱ト柱頭ハ1箇, 概D稀H, 管聚繖花序系, 概核果稀漿果, 概葉シ稀シ又シ, 無托葉 ---- Fam. (III) ^{ミヅキ} 水木科 *Cornaceae*
- 概D稀H, 葉ハ概シ稀シ, 概有托葉, 花序ハ概繖形・頭狀・頭狀稀円錐, 漿果又核果 ----- Fam. (I) ^{ウツキ} 五加科 *Araliaceae*
- 概H, 稀G(外國), 葉ハシ, 有托葉, 花序ハ繖形又複繖形, 花柱ハ2箇, 双懸果 ----- Fam. (II) ^{セリ} 繖形科 *Apiaceae*
Umbelliferae

Fam. (I) ^{ウツキ} 五加科 *Araliaceae* (258-260 附参照).

形質——概5~8葉①, 幹其他ノ部分ニ有油道。葉ハ有柄, 托葉有又無, 概①着稀シ又シ, 單葉, 掌狀3~13裂, 稀無裂, 鋸齒縁~缺刻縁, 稀全縁又3~9出掌狀複葉又2回羽狀複葉, 鋸齒縁。花序ハ概傘形, 稀合向, 細小又小形, 白又淡綠, 稀黃綠, 稀單生, 花序繖形生, 繖形頭狀花序, 更ニ集テ總狀又円錐花序ヲ成ス。花ハ中, 概①, 概5數性稀3~∞性, K₅; r₀ C₅ r₄ A₅ r₃ ∞ G (2~∞) v. (∞~1) -, 概 K₅; C₅ A₅ G (2~5) -; 花托ハ杯狀又筒狀, 子房上部稀中部迄包被シ, 其上縁着生, Kハ優突出不明~無又全縁齒牙狀, Cハ銀合列又互列, Aハ花托又ハ花盤着生, 1~數子室, 各室=1箇ノ倒生卵子ヲ藏ス, 花柱ハ子室數ト同數, 概分離稀合一, 稀無, 花盤ハ子房上ニ位ス。果實ハ漿果(紅又黒)又核果(内果皮硬化シ成核); 種子ハ有胚乳, 内胚乳ハ核狀。

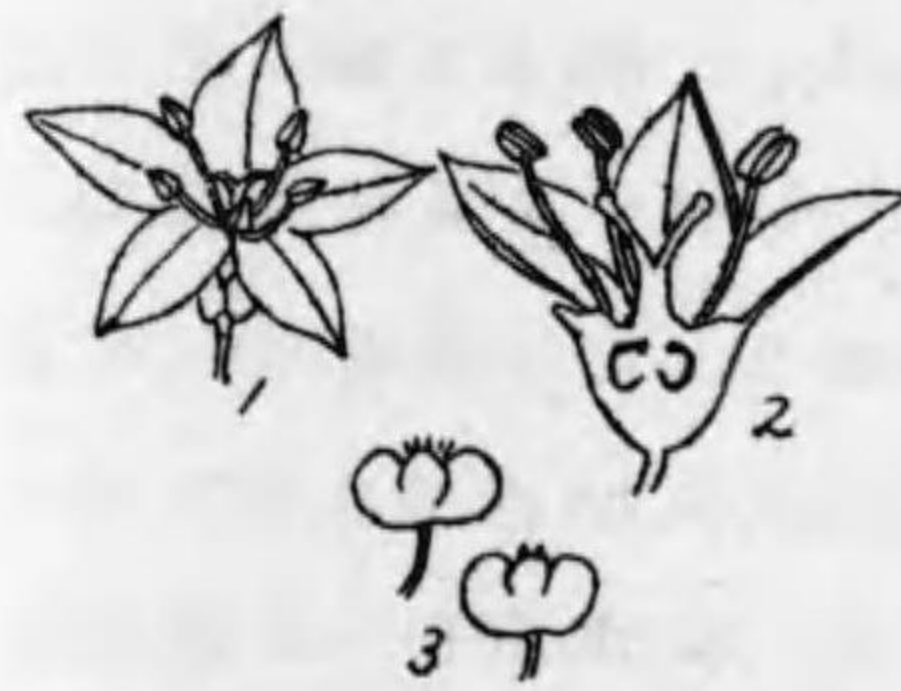
成分及效用—— 体各部ニ Saponin 質及之ニ類似ノ Glyco-sideヲ含ムモノ多ク, 祛痰藥ニ利用セラル, 其他精油・脂肪油ヲ含ムモノ並基ヲ含ム, 詳細如次。石鹼素 (Hederin, Aralin, Panaginon, Fatsin, Fatsiasapotoxin, Kalotoxin, Kalosaponin, Panax-saponin, Taraxin 等), 其他ノ物質 (Phytosterin, Protocatechusäure, Inosit, 林檢酸, 酒石酸, 鞣酸, 枸橼酸, 揮發油等) 等含有ス。藥用トシテ貴重ナルモノアル外, 食用, 木材用, 觀賞用又莖髓ヨリ紙代用品ヲ採ルバキモノ等アリ。

分布及屬種數—— 世界ニ凡53屬700種ヲ産シ, 主ニ温~熱帯ニ分布ス。日本ニ自生又栽培スルモノ凡18屬45種アリ。

本科ノ藥用植物: ——

△(1) にんじん (おたね-にんじん, てうせん-にんじん, 人蔘, 朝鮮人蔘) *Panax Ginseng* C. A. Mey. [分布] 朝鮮・原産, 日本栽培①, 樹下陰地生。[生藥] 人蔘 *Radix Ginseng* ハ其

258 圖 根ニシテ栽培ハ4年生以上ヲ藥用



(258圖) にんじんノ花果及解剖 (原圖) 1. 若葉 K₅ C₅ A₅ G_∞ 2. 縱斷面, 3. 横斷面 (赤藜)

トス, 自生品ヲ山蔘ト稱シ持テ貴重ス。採採セ

ル極テ水蒸ト欲シ, 製法ニ依テ白蔘・紅蔘ノ2種トス。甲ハ鬚根及外皮ヲ去リ陰干セルモノ, 乙ハ蒸熟シ後日光及火熱ニ依

259 圖



〔259 圖〕人蔘ノ根及莖下部(伴脚根)
(原田)

リ乾燥セルモノ也此他雲州製(島根縣)ト称スルハ短時間熬湯浸後乾燥セルモノニテ其形質前者ノ中間=アリ。白蔘ハ紡錘狀根土余成シ莖基及脚苞ヲ頂キ或共癭痕有、帶黃白色、多縱皺有根跡、質堅脆、味稍甘シ苛辣有特異香

氣。紅蔘ハ帶黃紅色、半透明、粉糊化ニ依テ角質様也。大形整備ヲ賞ヒ支那向輸出品ハ25種等級ニ分ツ、1斤(600瓦)25根ヲ最上トシ称旭号。朝鮮開城附近ヲ主産地トシ、紅蔘ハ總督府ノ專賣品也。長野福島島根縣多産。蒸餾=鬚人蔘ト称スルハ人蔘ノ根根ヲ集メタルモノ也。成分效用凡テ人蔘ト同一也。〔成分〕根=苦味質 ^{パナキロン} *Panaquilon* $C_{32}H_{56}O_{14}$ (或 $C_{24}H_{32}O_{10}$) 及石鹼素 *Panaxsapogenol* $C_{27}H_{48}O_2$ · *Panaxin* (以上皆無晶形) 等ヲ含有ス。 *Panaxin* ハ加水分解ニ依リ結晶性ノ α -*Panaxin* $C_{38}H_{66}O_{12}$ ヲ生ズ、之ヲ更ニ濃塩酸ニテ加水分解セバ $C_{30}H_{54}O_4$ ナルあかりこんノ塩化物(結晶性)及葡萄糖ヲ生ズ。就中 *Panaxin* ハ人体保溫作用ヲ有ス。其他其配糖体 $C_{23}H_{38}O_{10}$ · 動物ニ對シ制糖作用アル性狀不明配糖体、或 *Phytosterin* 等ヲ含ム。酒井氏ノ人蔘酸ハ *Steairinsäure* · *Palmitinsäure* · *Linolsäure* 等ノ混

合物ナリト。特異ノ香気ハ精油 ^{パナツエン} *Panacen* $C_{15}H_{24}$ ナル *Sesquiterpen* = 起因シ0.05%ヲ含ム。而テ人蔘藥效ノ一部ハ本物質ニ歸スルモノノ如シ。此外澱粉(根全体)・粘液・葡萄糖(皮層及髓腺)等ヲ含有ス。〔藥效〕古來專強壯藥トシ虚勞・勞瘵衰弱・疲勞・神經衰弱・ヒステリー、老衰・栄養不良・不眠症等一般病弱者ニ煎服ス、1回1~5g。煎劑又越幾斯劑トシ服用ス。又新陳代謝藥(血行・呼吸・利尿ノ整調迅速)トシ、補血強壯藥(食血・婦人病)トシ興奮強壯藥(神經衰弱・胃弱・病後衰弱)トシ利尿劑トシ、腎臟病藥トシ、健胃強壯劑トシ身体及神經ノ疲勞ヲ回復スルノ效大也。又支那朝鮮ニテハ補精補髓ノ效アリトテ貴重ス。其他東洋万病ノ靈藥及不老長壽藥トセリ。〔藥理〕(1) 人蔘ノ *Acher* 可溶成分ハ大體ニ對シ鎮靜作用ヲ有シ、延髓ノ諸中枢即血管運動神經及呼吸中枢ニ對シ少量ニテハ興奮、大量ニテハ麻痺作用ヲ有ス。(2) 又純酒精ニテ抽出シ得ハキ1種ノ配糖体成分ハ人工的過血糖及尿糖ヲ抑制スル作用アリ。故人蔘ハ動物体ノ含水C新陳代謝ト密接ナル關係ヲ有スルモノノ如シ。(3) 人蔘ハ人体ノ新陳代謝ヲ興奮セシメ且利尿作用着シ。(4) 人蔘ヲ以テ飼育セル鼠ハ然ラザル者ニ比シ *Caffein* · *Picrotoxin* 等ノ作用強ク、ハルハ一同等ノ作用弱シ。(5) 人蔘劑ヲ強壯ノ目的ニ永續服用セバ、血液循環ヲ整調シ新陳代謝ヲ旺盛ニシ、眞ニ不老長壽ノ感ヲ覺エシムト雖モ、一時ニ多用セバ却而並上スル憂アル故甘草ヲ加味シ少量宛使用セバ效果ヲ認ムハシ。〔新藥〕 ^{ジンゼニン} *Ginseinin* (大

飯・飯野) ハ本生藥製劑ニテ神經衰弱・食血性・性慾減退等ニ有效。
 [處方例] 人蔘湯 (慢性消化不良・慢性胃腸加答兒察) --- (1) 人蔘 甘草 白朮 乾姜 各 2.0 --- 以上煎劑 200. 1日3回温服。(2) 人蔘 地骨皮 檉 枸杞ノ頂參照。(3) 健胃強壯藥 --- 人蔘末 黃蓮末 吳茱萸末 各 0.5 --- 以上1日量煎劑分服。(4) 虛弱・老衰・病後等 --- 人蔘 白朮 茯苓 各 2.0 甘草 1.0 水 100.0 --- 以上1日量煎劑分服。(5) 陰萎 --- 人蔘 5.0 乾姜 2.0 水 200.0 --- 以上1日量煎劑分服。[備考] 支那ニテハ婚儀ノ膳ニ必ズ人蔘ヲ用フルコトコト日本ニテハ蛤・松茸ヲ用フルガ如シ。又細根ヲ茶劑トシ煎用ス。

(2) くわんとん-にんじん (せいやう-にんじん, 廣東人蔘, 西洋人蔘) *P. quinquefolium* L. [分生] 北美合衆國原産, 東・中北部山林中ニ自生, 是ヲ栽培シ支那ニ輸出ス; 初生葉ハ5小葉, 花梗短果ハ圓簇ス, 花軸亦短葉上ニ不起出。[生藥] 廣東人蔘ハ形質畧同前種, 但胞層ヲ去ラズニ乾燥, 稀ニ呈黃褐色。[成分] 根 = *Panaquilon*. 粘痰糖・澱粉・糖質ヲ含有ス。[藥效] 人蔘ト同一也, 代用ス。

△(3) とちば-にんじん (ちくせつ-にんじん, 土蔘, 竹節人蔘) 及其諸變種 *P. repens* Max. v. *typicum* Nakai [分生] 北・本・四・九ノ山中陰地生ノ④, 花七月・成果ハ九月, 根莖ハ横走竹節狀。[生藥] 竹節人蔘 (土蔘) *Rhizoma Panacis repentis* ハ根莖ヲ花後採乾セルモノ也, 長 10~15 徑 1~1.5 cm. 円柱狀有隆起多節・淡黃色, 有根痕, 切面白色, 味淡白稍

苦シ。青森・秋田・岩手・長野縣多産ス。[成分] 根 = *Panaxsaponin* $C_{10}H_{16}O_{31}$ 約 5%ヲ含ム (本 *Saponin*), 溶血指數ハ約 1800倍也, 是ヲ加水分解セバ *Panaxprosapogenin*ヲ生ジ, 更ニ其加水分解ニ依リ *Panaxsapogenin*ヲ生ズ, 此物質ハ *Taralin*ヲ加水分解シ得タル *Taraligenin*ト同一物也, 即知次式 --- $C_{101}H_{160}O_{61} + 3H_2O = 2C_{42}H_{66}O_{10} + 2C_6H_{12}O_6$
 $+ C_5H_{10}O_5, C_{42}H_{66}O_{10} + H_2O = C_3H_{58}O_4 + C_6H_{10}O_7$
Panaxprosapogenin Glucose
 Arabinose
 Panaxsapogenin Glucuronide

此他苦味質及 *Tannin*ハ含組織ニ含テス。[藥效] 單局・竹節人蔘ハ專ラ強壯祛痰藥又祛痰藥トシ, 其他解熱 (感冒) 劑・健胃藥及食慾増進劑トス。又人蔘ニ代用ス。[新藥] *Asmon* (東京・田辺) ハ本生藥及他生藥ヲ原料トセル製劑ニテ鎮咳祛痰藥也。[處方例] 刺激性祛痰藥 --- 竹節人蔘 5.0 甘草 2.0 水 100.0 以上1日量浸劑トシ分服。

(4) つうだつ-ぼく (かみ-やつで, 通脫木, 通草) *Tetrapanax papyrifera* K. Koch. [分生] 琉・台ノ山野生ノ互ニ葉, 葉ハ4, 7~9 葉13中裂, 花晚秋。[生藥] 根ヲ採乾藥用トス。[藥效] 根ヲ利尿, 解毒通經劑トス。[備考] 莖・種ハ太白, 之ヲ薄片ニ造リ紙トシ造花用トシ或ハ裝飾品ヲ造リ又紙ニ代用ス。

(5) やっこ (八角金盤, 八金盤, 金剛菜) *Fatsia japonica* Deane et Blanch. [分生] 本 (中部)・四・九・琉ノ海岸地帯自生ノ互, 諸變形 --- やぐるま-やつで *f. lobulata* Nakai, ちかみば-やつで *f. undulata* N., ふくりん-やつで *f. albo-marginata* N., しらぶち-やつで *f. variegata* N.,

260 図



(260 図) やつてノ葉ト花ト
花器(東西)ノ葉(掌状ヲ深
裂) 2, 花器 $K_{10}O_5A_5G_{15}$

きあみがたやつて *f. aureo-reticulata* N., きもんやつて *f. aureo-variegata* N. 等アリ。皆栽培。〔生薬〕金剛纂 *Folium Fatsiae* ハ葉ヲ採乾セルモノ也。〔成分〕葉ニハ 2 種ノ石鹼

素、*Fatsia-sapotoxin* $C_{37}H_{52}O_{10}$ ・*Fatsin* ($C_{31}H_{51}O_{20}$)
ヲ含有ス。〔藥效〕乾葉ヲ 1~2g. ヲ煎服シテ祛痰藥又鎮咳祛痰
藥トス。又乾葉ヲ浴湯料トシ痛風ノリウマチ等ヲ治ス。
乾葉ノ酒精抽出液又酒精浸出液ニ醋酸鉛ヲ加ハ單寧ヲ除去
セシ後蒸發シ得タル樹脂ハ縮合西 *Saponin* ヲ含ミ長祛痰
藥也、1 日用量原葉 1 瓦ニ相當ス。埼玉縣ニテハ葉ヲ搗碎シ
灰ト混シ川石ニ投入シ捕魚用トス。〔新藥〕*Fatosin* (大阪・道野)
本生薬製劑ノ祛痰藥也。1 日檢末 0.5~1.0g, 液ハ 1.5~3.0cc ヲ
内服ス。〔藥理〕(1) *Fatsin* ノ動物ニ試ルニ其一般中毒症狀ハ
一般 *Saponin* 類ニ等シ、遂ニ中枢性麻痺ヲ以テ終ル、青
蛙ノ最小致死量ハ体重 10 瓦ニ對シ *Fatsiasapotoxin* ハ 0.2
瓦・*Fatsin* ハ 20 瓦也。(2) 家兔ニ 1960 瓦ニ 2 瓦ノ *Fat-*
sin ノ静脈内ニ注入セバ數回ノ痙攣起リト極テ高度ノ縮瞳
ヲ來シ、暫ニシテ全麻藥ニ陥リ墜ル。剖検セバ微弱ナル搏動

ヲ持續ス。膀胱内ニハ血色素ヲ含ル赤色尿アリ。(3) *Fatsi-*
sapotoxin ハ 1:1024000・*Fatsin* ハ 1:4000 ノ稀釈度
ニテ完全ニ溶血作用ヲ呈ス、前者ハ局所作用著ク家兔ノ皮下
ニ 1000 倍溶液 5 瓦ヲ注射スルコト一時間ニテ発赤シ、漸次無
菌化膿ヲ生ジ組織ノ壊死ヲ來ス。〔處方〕(1) 刺激性祛痰藥...
金剛纂 1.0 水 100.0 ... 以上 1 日量煎劑分取。(2) 金... 金剛纂
生姜甘草各 1.0 水 100.0 ... 以上 1 日量煎劑分服。〔備考〕有毒
植物ナリト觀賞用ニ栽培ス。変形多シ(上記ス)。近縁ノ 2 種
モ *f. aureo-reticulata* *Boninofatsia oligocarpella* Nakai ち
ちじまやつて *B. Wilsonii* Nakai, 成分藥效等未詳。

(6) かくれみの (からみつて、みそぶき、黄漆木) *Gilibertia*
trifida Mak. (寄生) 本(中南部)・四・九・朝ノ常緑小喬、花夏、成
果十月。〔生薬〕黄漆ハ幹下部ヲ揚ケ流出スル汁液ヲ採集セシ
モノニテ黄色ヲ呈ス。〔成分〕不明。〔藥效〕漆ノ代用トシ塗用ト
ス。〔備考〕觀賞木也。

(7) きづた (ふゆづた、木蒿、常春藤、蛇山虎) *Hedera Tollerii*
Nakai (*H. japonica* Toller) (寄生) 本(中南部)・四・九・朝
琉台ノ山地生ノ木。花秋末、葉果ハ球形黒熟。〔生薬〕莖葉ヲ採
乾葉用トス。〔成分〕未詳、但次種ニ近似スベシ。〔藥效〕漢：莖葉
ヲ水中ニテ搗碎シ、其液汁ヲ止血止ヲザルニ飲用シ止血藥ト
ス。又瘰癧及諸腫物ノ初期ニ酒ト共ニ煎服セバ其硬結ヲ散
失セシムル效アリ。又催吐藥トス。1 回 2~3g. 有毒故要
注意。〔備考〕觀賞用ニ栽培ス。しんば=きづた *V. argentea*

Nemoto, ふくりんきつた *V. variegata* Nemoto 等ノ変品アリ。

(8) せいよみきつた (やうしゆきつた西洋水蓼) *H. Helix* L.
〔分布〕 歐洲原産。〔生薬〕 葉ヲ採乾薬用トス。〔成分〕 葉及果實ニ配糖体 α -B- γ -Hederin・Inosit・Carotin, 鞣酸等ヲ含有ス。

α -Hederin $C_{42}H_{66}O_{11}$ ハ結晶性 Saponin = α -Hederagenin
依リ如次式加水分解ス $C_{42}H_{66}O_{11} + 3H_2O = C_{21}H_{50}O_4 +$
 2 -Arabinose Rhamnose
 $C_5H_{10}O_5 + C_6H_{12}O_5$ 。 Hederageninハ Mukurojisaponinノ加水分解生成物ト同一物也。〔薬效〕 葉ヲ煎服シテ催吐藥又下劑トス。

(9) はりきり (せんのみき, やまきり, ほうせら, 刺楸, 刺楸, 刺楸) 及其諸変種 *Kalopanax pictum* Nakai v. *typicum* Nakai (分生) 華南干北本四九期疏ノ山地生ズ, 花五六月, 成果十月。〔生薬〕 根皮及樹皮ヲ採乾薬用トス。〔成分〕 根皮 = Kalotoxin (無晶性サザニン) $C_{46}H_{70}O_{14}$ 及 Kalosaponin (無晶性サザニン)ヲ含ム。Kalotoxinノ溶血指數ハ 5000000 = γ 20万倍溶液ハ廻ヲ藥死セシム, 而テ其毒性ハ Senegasaponinノ $\frac{1}{10}$ = 不遇。〔薬效〕 根皮ヲ祛痰藥 = 煎服ス。

崩解 = γ ハ樹皮ヲ海桐皮又海東皮ト雜シ脚膝痛 = 内服ス。
〔新薬〕 ^{トキヒチン} Trachitin (東京理化学研究所)ハ根皮ヨリ製造セル Saponin 劑 = γ 祛痰藥トシテ 1日量 0.6 ~ 0.9g. ヲ用フ。
〔備考〕 材ヲ器具用, 船具下駄材, 机, 膳盆, 重箱, 茶臼, 本箱, 指物板, 器具類等 = 用フ。嫩葉ヲ食用トス。

(10) たかのつめ (いものき, せとごんぜつ, 男金漆) *K. innovans* Miq. (分生) 本・四・九ノ山地生ズ, 小葉3出, 花大月成果十月, 〔薬效〕 昔樹液ヨリ金漆ヲ採リシモノナラント云, 金漆ハ專ヲ利根・鐵・甲冑等 = 塗布シ其耐蝕ヲ豫防セリ。〔備考〕 材ヲ器具用トシ, 又箸ヲ製ス (熊野), こしやばし是也。又水履ヲ依ル。

(11) にしあぶら (ごんぜつ, あぶらき, いもき, せんごんぜつ) 金漆(金漆人蔘木), *Acanthopanax sciadophylloides* F. et S. (分生) 北本, 四九, 山地生ズ, 葉5出, 花七八月, 果九月。〔生薬〕 金漆ハ樹液ヨリ製ス, 其色黄色 = γ 前記(6)かくれみのノ黄漆ノ如キモノナルベシ。〔薬效〕 防腐及防銹劑 = γ 昔塗料トシ, 鐵・甲冑等 = 塗布セルコト(10)ノ如シ。〔備考〕 水曾山民やまどろふト稱シ水履・棒等ヲ作ル, 日光等深山 = 多シ。延喜式和名抄等 = 載タル金漆樹トハ是也 (神原芳野氏考證)ト。

(12) うこぎ (五加, 八角茶), *A. spinosum* Miq. (分生) 北本・期ノ山野生ズ, 花大月, 果八月。〔生薬〕 五加皮 *Cortex Acanthopanax radialis*ハ根皮ヲ採乾セルモノ也, 半管狀, 黄管狀, 内面類白色, 気味芳香性稍苦シ。又葉ヲ薬用トス。〔成分〕 根皮 = γ 油 (四有臭アル精油), 樹脂 (多量)・澱粉等ヲ含ム。
〔薬效〕 漢: 五加皮ハ強壯藥トシ陰萎 = 用フ。又五加皮酒ヲ製シ強壯藥 (長命藥) 酒トス, 又中風ノ麻痺ヲ去ルト云フ。五加皮酒ハ五加皮煎汁 = 粥及飯ヲ加ハ醸造ス, 支那人ノ愛用スル藥酒也。又五加皮 40.0 酒1立 = γ 冷浸シ1週間放置シ

ヲ製ス。五加皮ヲ煎取(一回1~2g.)セハ痲氣・痲痛・痲痛・腰痛・脚痛・淋病等ヲ治シ、筋骨ヲ強メ陰萎ヲ治スト云。又老人ノ脚痿・歩行困難及小兒虛弱者ニ内服セシム。嫩葉ヲ煮食セハ強壯藥トナル。葉ヲ摘ミ陰干シ茶ノ代用ニ飲用ス。風香佳也。
 [備考]嫩葉ヲ燥テ水浸(灰出)シ浸物又燒味増和トシ食ス、風味佳也。山民ハ湯蒸乾野シ隨時食シ又飯等ニ和シ炊食ス。奥有地方ニテハ生垣(藩籬)トス。枝ニ刺アリ盜犬ヲ防クニ妙也。
 [處方例] 強壯藥...五加皮 10.0 水 100.0 ...以上1日量煎劑分服。

(13) ひめうこぎ (五加) *A. Sieboldianum* Mak. [分生] 北・本・四・九ノ山野生也、うこぎニ比シ5小葉ハ狹長・花梗頗長シ。
 [生藥] 五加皮。[藥效] 同前種。[備考] 食用其他全無。支那産五加ハ本種ナリト云、うこハ五加ノ唐音キハ本也(牧野氏)。おにうこぎ *A. divaricatum* Seem. (北・本・四・九・自生) モ五加同様ニ用フト云。

(14) まんしろ-うこぎ (滿洲五加) [分生] 朝・滿産ノ也。[生藥] 樹皮及枝ヲ五加皮ト稱シ藥用トス。[藥效] 五加皮ヲ虚勞・中風・骨節痛(關節炎)ニ煎服ス。

(15) たらのき (うど・もどき, まんしろ-だら, おに-だら, 葱木, 樺木) *Aralia plata* Seem. (*A. Chinensis* L. v. *glabrescens* Matsum) [分生] 樺・南千・北・本・四・九・朝・琉・ノ山地生草本小葉2回羽狀複葉, 莖葉有刺, $K_{25}C_{55}G_{15}$, 核果扁球紫黑色。め-だら v. *canescens* Nakai [分生] 北・本(北中部)ノ山地

生小葉, 全株無刺。[生藥] 樹皮 *Cortex Araliae* ハ樹皮ヲ剝離乾燥セルモノ也、灰褐色、殺目多、全面多稜、内面黄白色、微香、味ハ稍粘液性也。^{タラコンヒ} 樹根皮 *Radix Araliae* ハ秋〜春間ニ根皮ヲ剝取乾燥セルモノニテ無刺也。[成分] 樹皮ニ配糖体 α - β -Taralin $C_{50}H_{72}O_{19}$ 及 Protocatechusäure・Cholin 等ヲ含有ス。Taralinハ如次加水分解ス、 $C_{50}H_{72}O_{19} + 3H_2O$
 $\xrightarrow[\text{Glucose}]{\text{Taraligenin}}$ $\xrightarrow[\text{Glucuronsäure}]{\text{Glucose}}$
 $= C_{32}H_{46}O_4 + 2C_6H_{12}O_6 + C_6H_8O_6$, Taraligenin = 説テハ竹節人蔘ノ項参照。[藥效] 根皮ハ胃腸初期ニ煎服ス。樹皮及根皮ハ糖尿病・腎臟病ニ有效、又利尿(水腫・脚氣)作用アリ、又健胃・整腸・消化促進ノ效アリ、又胃潰瘍・尿毒症等ニ1日2g. 煎服、腸結核ニ有效、糖尿病ニハ生薑ト甘草ヲ加ヘ用フ。故村井弦吉氏ノたらこん湯ハ本生藥ヲ主トセルモノ也。[藥理] 皮部越幾斯ヲ1%水溶液トシ金線蛙ノ皮下ニ注射スルニ反應ナシ、本生藥ノ煎劑加有スルおにれはリン拮抗作用ハ主ニCholinニ依リ、 β -Taralinニおとしかてきゅ酸ハ制糖作用無シ。Taralinニハ血糖降下作用ナシ。[新藥] (1) Piroki-shin(東京・三誠)ハ本料植物抽出ノ Taroanin ナル酸性物質ノCa. 塩ノ水溶液ニテ胃腸病注射藥トス。(2) 流動たら越幾斯(岐阜・斐太北學)ハ胃腸病藥。(3) Marukoreid(小島)ハ糖尿病藥ニテ1日0.5~1.0g.ヲ内服ス。[備考] 新種ヲたらのめト稱シ煮食ス、佳味アリ、うどニ似タリ、うども-どきノ名出之。蒸果ヨリ印肉用油ヲ採ル。材ハ器具用ノ下駄材等トス。

(16) うど (獨活, 當歸, 土當歸) *A. Cordata* Thunb. [分生]

華南千北本(四九朝)山地生②。からふとらうど(葱ぞらうど)
V. sachalinensis Nakai (糸布)樺北ノ山地生②。(生薬)土
 當歸ハ其根ヲ採乾セルモノ也。老根ヲ秋期又春彼岸前ニ採
 掘水洗上皮ヲ剝離乾燥ス。〔成分〕根ニ多量ノ *Pentosan*・*Aspa-*
*ragin*ヲ含ミ、其他 *Guanin*・*Xanthin* 等ノ塩基ヲ含有ス。
 〔藥效〕土當歸ヲ煎服セハ痲痺・痛風・中風・頭痛・眩暈等ニ有效。1回
 2~3g、又解熱藥トシ強壯藥トス。又嫩莖ヲ食セハ痛風ヲ治
 ス。〔備考〕嫩莖葉ヲ食用トシ美味也、香味ヲ賞ス。藥用ニハ栽培
 培品ヲ不用蓋成少クガルト云フ。野生獨活ノ一末ヲ水田
 ノ水口ニ投入シ置ハ青葉類ノ發生ヲ防グト云フ。

(17) はりふき(くまだら、とりとまるず) *Echinopanax*
japonicum Nakai (糸生)北本(中北部)深山(亞寒地帯
 ~寒地帯下部)ニ散生スル也、莖葉有利。(生薬)根莖葉ヲ採乾シ
 藥用トス。〔成分〕根2.4%莖0.8%ノ精油ヲ含ム、其主成分ハ
Echinopanaxen C₁₅H₂₄ (Sesquiterpen) 及 *Echinopa-*
macol C₁₅H₂₆O (Sesquiterpenalkohol)ニテ後者ハ本種特
 有ノ芳香源也。(藥效)嫩莖ヲ煎服シテ解熱藥及鎮咳藥トス、又
 解熱鎮咳藥トシ感冒痛風気管枝炎ニ用フ。1回2~3瓦煎服
 ス。又痛風リウマチス・痲痺等ニ莖葉ヲ煎入浴湯シ大效アリ。
 本生薬ノ效力ハ昭和五年ノ發見ニテ最確實也。

Fam. (IV) セリ(繖形、井)科 *Apiaceae* (*Umbelliferae*)
 (261~267 図参照)

形質——①又②極稀也(外國)、概肥大直根又根莖ヲ有ス;
 莖ハ中空有の縱脈(稜及溝)、屢着大、節部着明ニ隆起; Bal-
 sam 又護膜質ヲ分泌スル 離性油道(油導管)ハ全株(根・根
 莖・莖果皮)中ニ分布ス。葉ハ①②着有柄、概無托葉極稀有; 概
 紫柄ハ全体ニ基脚半鞘狀ニ筒狀、葉鞘又半葉鞘ヲ成シ土莖ヲ

261 図



(261 図) にんじん *Daucus*
Carota 1. 花及縱断面
 (Engler氏) 1. 花萼
 $K_5 C_5 A_5 G_{(2)}$ 2. 全縱断
 面ニテ内胎C、花盤(花柱
 下盤) 下位子房、懸垂卵子
 等ヲ見ル。

262 図



包ム、稀無葉鞘、葉身ハ概掌羽狀

(262 図) セリ科ノ花式四 (*Angelica*
 属) --- $K_5 C_5 A_5 G_{(2)}$

1~3回複葉、羽狀複葉極稀單葉無
 裂(さいこ類)又掌裂(らまのみ
 つはろちとめぐさ屬)。花器ハ概

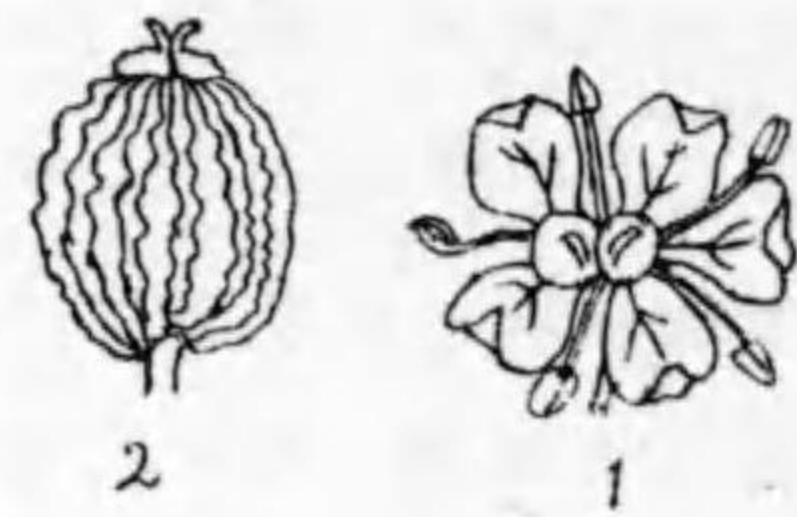


263 図

(263 図) ひめろみきやうノ花果及
 横断面 (*Mollis dioica* 氏)
 1. 花器ノ縱断(261 図ノ2 参照)
 2. 熟果(2分果トナル、摺柱・心皮
 間柱・残留花柱・花盤・果肋・果
 岩等ヲ見ル) 果肋=5+5, 果環=6+6

傘、稀卵形(退化ニ因ル)、細小又小形、白又淡綠黃~黄色、繖形

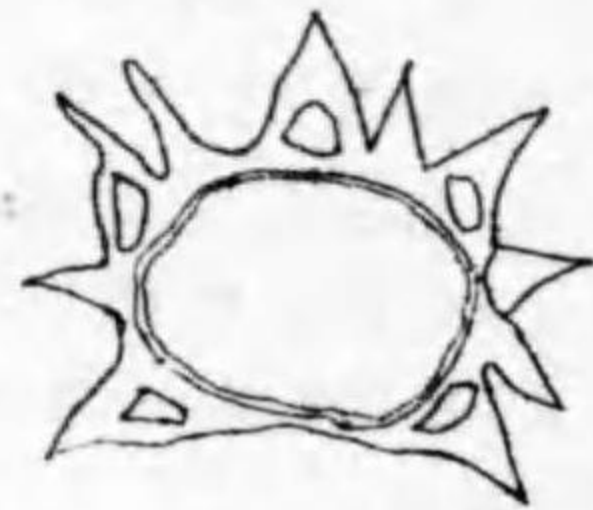
264 図



(264 図) とく-にんじんノ花-果ヲ示ス (Giesenhagen 氏) 1 花器 (261 四 11. 株 照) 2. 果実 (果肋 果谷数全上.)

又複繖形花序稀繖梗短縮シ頭状花序、總苞及小總苞有又無。花ハ

265 図



(265 四) うまのみつばノ分果 (半果) ノ横断面 (矢部氏) 果肋 = (5+4) + (5+4) 果腺 = 5+5.

⊕ 又 ⊕ 概 ⊙ 稀 ⊙, 5 数花 F. f = K; r0 C5 A5 G(2), 概 K5 C5 A5 G(2); K

ハ子房上縁 = 着生シ 5 裂片 ~ 小齒状 ~ 0; C ハ 銀合列稀瓦列, 屢内反捲; A ハ 花盤下 = 着生; 子房ハ 2 子室, 各室 1 枚宛倒生卵子ヲ含ム, 花柱 2 ヲ概宿存性, 花盤ハ 花柱下盤又花柱台. 花柱枕等ト称シ花柱周辺 = 膨起シ蜜腺トナル. 果実ハ 双懸果 (乾果) = テ 2 分果 (半果) ハ 中央ノ果柱 (又心皮間柱ト称シ花托即花梗ノ延長物) ヲ挟テ接合シ, 總苞セハ 分離シ糖柱 = 依テ懸垂ス, 各分果ハ 裂果 = シテ各 1 種子ヲ包藏ス; 種子ハ 有胚乳, 胚乳ハ 角質・脂肪 = 富ム, 胚ハ 小形・胚乳 (内胚乳・核状) ノ 上部 = 位ス.

果実ノ構造:— 264 四 (2) ノ如キ双懸果ハ 成熟セバ 2 分果ハ 合生面 (Commissura) ヨリ 分離シ 263 (2) 及 267 四 (1) ノ如ク 中央ノ果柱 (Carpophorum) = 支ハシテ, 各分果 (半果 Mericarp) ハ 各糖柱 (Carpophorium = 依テ懸垂

ス. 各分果ハ 若干ノ 肋線及果谷ヲ有ス, 油腺 (又主肋線・副肋線) Costae ハ 背部 = 3 稀 4 條, 合生面側 = 2 條又無ク計 5 稀 4 條アリ, 而テ 合生面ヲ除キ 各肋間 = 更ニ 副肋線 (副肋線脈) 4 稀 3 條アリ. 故肋脈總計ハ 5+5 又 稀 4+4 = テ 副肋ヲ有セバ 9+9 稀 7+7 ノ式 = テ 表ス. 果谷 (Valleculae) ハ 肋間ノ 凹溝 = テ 其数 4+4 稀 3+3, 副肋アラバ 8+8 稀 6+6 也. 次ニ 主谷・合生面 (離合部)・肋線中・副肋線中・ノ 各部中何レカ 1 又 2. 3 部ノ 果皮中 = 油腺 (又油帶 Vittae) ヲ 有スルコト 263 ~ 267 四ノ 果横断面圖 = 就テ 知ルベシ.

成分及效用— 本科ノ 成分トシテ 揮發油ヲ 含ムモノ 多ク, 塩基 = ハ Piperidinkeim ヲ 有シ 含有毒者アリ, 尚有毒成分 Cicutoxin (有毒苦味質) アリ, 其他配糖体・有機酸等ヲ 含ム, 即塩基 Konium・Konicein・Methyl-Conin・Conhydrin・Pseudoconhydrin・Pyrrolidin 等, 配糖体 (Apiin・Oxyapuin-methylaether・Quercitrin・Glycyrrhizin・Nodakenin・Saponin 等), 有機酸 (Angelicasäure・Ferulasäure・Kaffeesäure・Capronsäure・Caprinsäure・Laurinsäure・Protocatechusäure・サリチール酸・イソ吉草酸・吉草酸・琥珀酸・林檎酸・蟻酸・醋酸・イソ酪酸等), 其他物質 (Cicutoxin・Pimpinellin・Umbelliferon・Glutamin・Asparagin・Tyrosin・Inosit・Mannit・Vanillin・Furfural・Phytosterin・Lecithin・Galaktan・Mannan・Pentosan・

Methylpentosan. ^{フェニール}Thymol 等)等也。本科=ハ藥用植物甚多ク藥學上重要科ノ一也。其他食用植物不甚、又觀賞用= 供スルアリ、有毒者アリ。

分布及屬種數——世界= 凡 233~235屬 2600~2800種ヲ産シ、主= 北半球ノ温帯= 産シ寒・熱帯= シシ。日本= 自生又栽培スルモノ 凡 43屬 160種ヲ下テス、樺・千・台・間= 分布シ、亞直的= ハ海岸ヨリ高山頂間= 分布シ北半球= 於ル広分布植物ノ一也。

本科ノ藥用植物：— 本科ヲ次ノ三亞科ニ分類ス。

Subfam (i) ちどめぐさ亞科 Hydrocotyloideae 匍匐性^②。葉ハ無葉鞘、 ψ 又 ψ 腎形~円腎形~円心形、淺裂~齒牙縁~全縁。半果(分果)ノ内果皮ハ木質(纖維細胞組織)、無果柱、油帯缺如又主肋縁中= 隔在シ果肉中= 不存。

(1) つばくさ (かひどりぐさ、童草) 及其諸変種 *Centella asiatica* Urb. (分生) 本(中南部)・四・九・朝・琉・台・ノ原野路傍生。〔藥效〕全草ヲ煎服シ小兒ノ瘡毒ヲ下ス= 用ス、又小鳥ノ病氣ヲ治ス。雀ノ病ヲ治ス故かひどりはなト云フ。

(2) ちどめぐさ (石胡荽) *Hydrocotyle sibthorpioides* Lamarck (分生) 本・四・九・朝・琉・台・ノ平地・原野= 群生。〔藥效〕生葉ヲ出血(外傷・創傷)部ニ貼用シ、又葉ノ揉汁ヲ塗布シ出血ヲ止ム(止血劑)。水田ノ除草者水煙= 噴シ出血セシ時、葉ヲ揉貼リ止血ス、故止血草ト云フ。

(3) のちどめ *H. Wilgardi* Max. (分生) 北・本・四・九・朝・琉産。全上。独乙産 *H. vulgaris* ハ有毒也、多食セハ血

尿病ヲ發スト云フ。

Subfam (i) うまのみつば 亞科 *Saniculideae* ^②、葉ハ掌狀3深へ全裂、葉鞘發育不良、花柱ハ細長・柱頭ハ頭狀花盤ハ環狀、分果ノ内果皮ハ柔軟柔組織・外果皮ハ稀平滑、油帯ハ種々。

(4) うまのみつば (おにみつば、やまみつば、變豆菜)

Sanicula elata Hamilton (分生) 樺・北・本・四・九・朝ノ山地・山麓ノ陰地= 粗群生又散生。(生藥)根莖ヲ秋期採乾シテ藥用トス。〔藥效〕根莖ヲ煎服シ利尿藥及祛痰藥トス。又解熱藥トシ感冒等ニ用フ、1回 2~3瓦煎服。

Subfam. (iii) セリ亞科 *Apisideae* 概^②稀^①、極稀^⑤(外國)。葉ハ概1~3回掌羽狀複葉稀羽狀複葉、極稀單葉無裂全縁(みしまさいこ屬)。花柱ハ花盤頂= 立ッ。分果ノ内果皮ハ柔軟柔組織、時= 表皮下纖維層ノ端硬化シ堅果狀、油帯ハ初果肉中= 位シ後種々= 發達ス。

(5) いのみど (薺) *Anethum graveolens* L. (分生) 南欧(一説= 東印度原産) 原産 1 ①~②、高 1m.以下、2~3回複葉、小葉纖細、花小黃。(生藥) 薺羅實 *Fructus Anethi* ハ果ヲ採乾セシモノ也、長 3 耗、淡黃褐、有芳香。〔成分〕果實ハ脂肪油即 *Fettes Dillöl* 16.8~20.4% 並 *Atherische Dillöl* 3~4%ヲ含ム、其主成分ハ *Carvon* 30~60%、*Limonen* 30~60%、*Phellandren* 10% 等ヲ含有ス。莖葉亦精油 *Dill-Krautöl* ヲ含ム、主成分ハ *Dillapiol*。

嫩葉ヲ食用トス。

(9) てうせん-おにろど (羌活) *A. Koreana* Max. (分生) 朝・(中北部)ノ高山・湿地生。〔藥效〕根ヲ羌活ト称シ中風諸症ニ内用ス、又除熱ノ效アリト云フ。

(10) にほひ-うど (新甘草) *A. Uchiyamana* Yabe (分生) 朝・(北部)山地生^①。〔藥效〕根ヲ當歸ト称シ中風感冒傷寒ニ内用ス、除熱・發汗ノ效アリト云フ。

(11) しし-うど (獨活) *A. polyclada* Frauch. (分生) 本・四ノ山地ニ点生、高1米内外。〔生藥〕獨活 *Radix Angelicae polycladae* ハ根ヲ花後2年根以上ヲ採乾セルモノ也。肥大灰褐色、有副根痕。市販品ハ概縦又横割ス。切面ハ淡黄纖維性、極強峻烈香味有。(老根ヲ獨活、若根ヲ老活ト呼ビ販賣ス、後者ハ指帶紫色也)。〔成分〕未詳ナレバ味ハ辛ク微ニ有苦味。〔藥效〕漢：根ヲ煎劑又酒ニ温浸飲用セハ感冒・頭痛・中風・痛風ヲ治シ浮腫ヲ散ズ、又痲痺・痲痺痛・頭痛等(リウマチス、關節痛・痛風・頭又肩背ノ痲痺・痲痺・頭痛等)トス、¹日6~8g。煎服。〔處方例〕① 風邪及頭痛藥---獨活10.0 水200.0---以上煎出茶劑トシ分服。② 全---羌活10.0 水200.0---同上。

(12) あしたば (はちぢやうさう、蝦草) *A. Utilis* Mak. (*A. Keiskei* Koidz.) (分生) 本・(中南部)ハ丈島・丸(大島)ノ瀕海地、高1米内外ノ^①。〔藥效〕嫩葉ヲ採乾煎服シテ強精藥トス。〔備考〕伊豆七島民ハ栽培常食ス。又牛馬飼料トス。三年目開花ス。葉ハ米麦ニ交ハ煮食ス、根ハ煤ヲ去外皮ハ

ヲ食ス、葱菘ニ似テ香気有。

(13) しらね-せんきう (やませんきう、すずかせり、徐黄) *A. polymorpha* Max. (分生) 本・四・丸ノ山地・溪畔生。〔藥效〕葉莖ハ惡瘡ヲ治ス。

(14) はま-うど (おに-ろど) *A. Kiusiana* Max. (分生) 本(中南部)・丸・朝・琉・台ノ海濱生^①。〔成分〕有毒成分ヲ含ム。〔藥效〕未詳。不可食。

(15) やま-にんじん (しやく、こしじやく) *Anthriscus sylvestris* Hoffm. (分生) 本・千・北・本・丸・朝ノ山地ニ散生又群生、高1米内外、細葉黒果。〔生藥〕根ハ人蔘狀也、秋又春採乾葉用トス。〔成分〕根ニSacharose、澱粉等ヲ含ム。〔藥效〕根ヲ数日間水浸後乾燥シ粉末トシ、とちの実粉末ニ和シ餅トシ食セバ感冒ヲ治シ、健胃藥トナル。朝鮮ニテハ前胡ト稱シ喘息・感冒ニ内用シ發汗ノ效アリト云。〔備考〕山民ハ嫩苗ヲ食用トシこじやくト稱ス。

(16) みつば (みつばせり、野蜀、三葉芹、鳴兒芹) 及其諸變種 *Cryptotaenia japonica* Hassk. (分生) 北・本・四・丸・朝・琉・台ノ山地・山麓ニ自生又栽培。〔生藥〕全草ヲ藥用及食用トス。〔成分〕莖葉ニ精油ヲ含ム。其主成分ハ *Cryptotaenem* $C_{10}H_{16}$ ナル Terpen ト *Mitsubaen* $C_{15}H_{24}$ ナル Sesquiterpen 也。〔藥效〕新苗(萌)又根ヲ生ノ極酢味増ヲ附テ食セバ酒熱・酒毒ヲ去ルト云フ。〔備考〕新苗又萌ヲ食ス、香氣アリ、羹ニ加ハ又魚膳ニ加ハ食フ、根ハ油燻トシ食ス似牛蒡。

(17) あらんだみつば (セリリー, セロリー, きよまさ-にんじん, 唐蕎) *Apium graveolens* L. [分生] 南欧原産, ②, 有強芳香, 白花。[生薬] 清正人參ヲ球乾薬用トス。[成分] 葉 = *Apium* (配糖体) 及精油・*Mannit*・*Inosit* ヲ; 根 = 精油・*Glutamin*・*Mannit*, 果実 = *Selleriesamenöl* ナル精油ヲ含ム, 之ハ *Sesquiterpen*・*Sesquiterpenalkohol*・*d-Limonen*・*Sedanolid*・*Sedamonsäureanhydrid* 等ヨリ成ル。
 [薬效] 全草ヲ心臟病・寒熱・凍傷等ニ煎用ス, 内用ニハ 1回 2~3 瓦, 凍傷ニハ温湯浸5分間後使用(巻法)。全草ヲ生食又煮食セバ健胃・利尿・健腦・催眠薬トナル, 又根・莖・葉ヲ逐湯料(痲氣婦人病)トス。[備考] 嫩葉及多内根ヲ食用トス, 葉ヲ開^キシニ依リ食ス。綠葉ハ有毒不可食。

(18) あらんだせり (パー・ス・レー, 和蘭芹, 洋芹, ペトロセリウム草) *Petroselinum sativum* Hoffm. [分生] 南欧原産, ②, 有強芳香, 葉ハ前者ヨリ細裂花緑白。[生薬] 全草ヨリ精油ヲ製^シテ薬用トス, ペトロセリウム草 及 ペトロセリウム實 ヲ薬用トス。[成分] 全草 = *Apium* (配糖体) ヲ含ム, 之ヲ加水分解セバ *Apigenin* 及 *Apiose* ナル *Pentose* トナル, 又精油 (主成分 *Apiol*) ヲ含ム。[薬效] 全草ヨリ *Apiol* (精油) ヲ抽出シ月経困難閉経等ニ通経劑トス, 1回 0.3~0.5 瓦, 乾草ハ 1~3 瓦煎取。弗圖ニテハ *Chinin* 代用トシまらりあ病ヲ治ス。全草ヲ煎取^リテ消化薬トシ又健胃・驅風・利尿・清血劑トス。生薬ヲ香辛料食用トシ, 種子ハ肉類ノ惡臭ヲ去リ香気ヲ添^フテ高共蒸ス。[備

考] 若葉及根ヲ食用ニ供ス。[新薬] *Apiollin* (田辺), *Apiol-compound* (まるふおーど) 等ハ月経困難ニ通経薬トス。

(19) せり (セリば, 芹, 水芹, 水芹菜, 芹菜) *Oenanthe stolonifera* DC. [分生] 樺北・本・四・九・朝・琉・台ノ平野水辺・河岸ニ群生。[生薬] 水芹ハ全草ヲ花時採乾セルモノ也, 苗ヲ煮食薬用トス。[成分] 莖葉 = 精油・*Pentosan* ヲ含ムモ其他未精査。[薬效] 生薬ヲ煎服セバ利尿強壯劑トナリ, 又黄疽・白帶下ヲ治ス, 環煎取セバ小兒驚風・吐瀉ニ有效。煮食セバ腸ヲ健全ニシテ神經痛・^{リウマチ}ニ有效, 但酢ニテ食スベカラズ。[備考] 2品種アリ, 甲ハ田芹又葉芹ト稱シ葉柄赤シ, 故赤芹トモ云, 自生又栽培ス。乙ハ烟芹又陸芹又白芹ハ冬ヨリ菜舖ニ出ヅ共ニ根・莖・葉皆可食, 風味極佳也。

(20) どくせり (おほせり, うませり, 毒芹, 芹葉鉤吻野芹菜花) *Cista virosa* L. [分生] 樺・南千・北・本・北・朝ノ山野ノ河岸生高

267 四



(267四) どくせりの果実及横断面
 (Giesenhagen氏) 1. 双懸果,
 2. 全横断面

1米内外無匍枝。[生薬] 全草ヲ花時採乾シ薬湯料トス。[成分] 全草中 = ^{シ(0)トキシ}*Cicutoxin*・*Cicutin*・精油等ヲ含有ス。甲ハ無晶有毒物質ニテ根莖最多(0.2%), $C_{19}H_{26}O_3$ 式ノピラロン化合物也。乾燥根 = 5.5% ヲ含ム。其他 ^{シ(4)トキシ}*Cicutoxin* ヲ含ム。精油ハ果実 = 1.2% (*Cymol*, *Cuminaldehyd* 等) ヲ含ム。[薬效] 全草ヲ浴湯料トシ關節炎リ

ウマチス、等ノ解熱鎮痛劑トス。煎汁ニテリウマチス¹ノ患部ニ温慰法ス。但シ劇毒ナルニ依リ要注意。〔藥理〕*Cicutoxin* 毒ハ延髄ノ痙攣中樞ヲ刺戟シ、強直性痙攣ヲ發シ、又脊髄ノ反射興奮性ヲ亢進シ、反射痙攣ヲ起ス、其他延髄諸中樞ヲ刺戟シ、流涎・脈搏頻數・呼吸困難・呼吸靜止等ノ症狀ヲ現ス。猫ノ靜脈注射ニ依ル致死量ハ 7mg. Pro. Kg. 。内服ハ 50mg. Pro. Kg. 。蛙ハ $2\sim 3\text{mg.}$ 也。〔備考〕竹節根莖ヲ觀賞用トス（要注意）。大毒有、誤食ハ口舌拘攣シテ死ス。莖中空地下莖肥大如竹筍、根節及隔壁有。

(21) はまぜり (はまにんじん、蛇牀子) *Cnidium japonicum* Miq. (小生) 本・四・九・朝・ノ海濱生[Ⓞ]、花夏、高30厘米、羽狀複葉。〔生藥〕蛇牀子 (又和蛇牀子ト云フ。眞ノ蛇牀子ハ $\text{C}_{10}\text{H}_{16}$ ニシテエリ¹)ノ種子ニテ多量ノ Pinen ヲ含ミ、漢方医ノ賞用セルモノ、支那産也。)ハ果実ヲ採乾セルモノ也。〔成分〕果実ニ精油 1.3% (主成分ハ $l\text{-Pinen}$ ・ Isoborneol ・ $\text{Isovalerianylborneolester}$ 等)ヲ含ム。〔藥效〕漢：子実ヲ陰萎治瘵藥トシ、又勃起藥トシ、又婦人陰虛藥トシ、1回 $3\sim 5$ 瓦煎服。又陰痿ヲ治ス。腔炎及陰門癢痒症ヲ治スルニ粉末ヲ絹布片ニ包ミ腫球トシ腔内ニ挿入シ分泌ヲ抑制ス。〔備考〕苗葉香氣有、あいぬ士人ハ春夏ノ交採食ス。

△(22) せんきう (せんなき、せんなかつら) 川芎、川芎
Cnidium officinale Mak. (小生) 支那原産ノ[Ⓞ]、日本栽培有、強芳香。〔生藥〕芎藭 (川芎) *Rhizoma Cnidii officinale*

*nalis*ハ秋季根莖ヲ採取シ熱湯浸後乾燥セルモノ也。不定態狀；暗褐色多皺縮、切面帶黃、峻烈ノ香氣アリ、味苦シ。北海道 (生産 20 万貫内外)・岩手・奈良・宮城縣多産 (皆栽培)。〔成分〕根莖ハ精油 $1\sim 2\%$ ヲ含ム、其主成分ハ川芎らくと $\text{C}_{12}\text{H}_{18}\text{O}_2$ ・*Cnidiumlacton* $\text{C}_{12}\text{H}_{18}\text{O}_2$ ・川芎酸 *Cnidiumsäure* $\text{C}_{12}\text{H}_{20}\text{O}_3$ ・川芎酸エステル $\text{C}_{12}\text{H}_{19}\text{O}_2\text{-OC}_{10}\text{H}_{17}$ 。一種ノ酒精 $\text{C}_{10}\text{H}_{17}\text{OH}$ (エステル分解物)・フェノール性物質・セダノン酸 *Sedanonsäure* $\text{C}_{12}\text{H}_{18}\text{O}_{3.8}$ 等也。*Cnidiumlacton*ハおらんだ・みつはノ精油中ニ含ム。*Sedanolid*ノ異性体ニテ恐ク 2 重結合ノ位置異ナルモノナリシ。而テ*Sedanonsäure*ハ大和及仙台産、川芎中ニ含有シ、北海道産ニ不含ナルハ奇也。(因ニ野口氏ニ據レバ*Cnidiumsäure*ハPalmitin-, Linol-, Oel-säureノ混合物也ト云)。〔藥效〕漢：若名ナル温性強壯藥ニテ瘧疾ヲ醫調シ、頭痛ヲ治シ、氣鬱ヲ散ズル要藥也。又鎮靜鎮痙ノ要藥ニテ頭痛・眩暈・腦諸病・ヒステリー症等ヲ治ス。又婦人諸病・驅風・吐血・失血・眩暈・婦人調血・血閉崩漏・通經ニ奏效ス、1日 $5\sim 10$ 瓦煎劑又浸劑トシ温服。口臭ニハ煎汁ニテ含漱ス。黒燒ヲ糊ニ混ジ貼レバ底豆ヲ治ス。川芎當歸益母草各等量ヲ混ジ黒燒トシ温服セバ婦人病一切ヲ治ス。莖葉 (乾物)ヲ浴湯料トシ婦人病・疝氣等ヲ治ス。根ハ順血及清血劑トシテ婦人血ノ道要藥 (中將湯原料ノ一)トシ逆上・頭痛等ニ特效アリ。又鎮靜鎮痙ノ目的ニ子宮痙攣・ヒステリー症ニ1日 $5\sim 10$ 瓦煎服ス、葉モ亦²藥效ヲ有ス。〔備考〕根煎汁ハ松類ノ湯ニ

枯死セントスル時與レハ恢復シ、又生花水場用ニ用ヒラル。
 [薬方例] (1) 芍黄湯 (頭痛・逆上等ニ有効) --- 川芎 3.0 荆芥・
 防风各 2.0 --- 以上煎剂 200.0, --- 1日3回温服。(2) 解毒散 (
 徽毒性諸症ニ有効) --- 川芎・大黃各 2.0 甘草 4.0 金硫黃 5.0
 以上各別ニ細末トシ 1.0 ~ 1.5ヲ 1日3回ニ分服ス。

(23) ちしまにんじん (しらねにんじん, 千島人参) *C. ajanense* DuRoi (分生) 樺・千北・本 (中北部) ノ寒地帯ニ散生又群生
 スル寒地植物。[生薬] 全草ヲ採乾薬用トス。[成分] 精油ヲ含ム。
 [薬效] 全草ヲ煎服シテ驅風薬・解熱薬トシ又浴湯料トス。[備考]
 全草ヲ食用ニ供スベシ、風味アリ。

(24) みやませんきう (てうかいせりおしまにんじん) *Cori-*
oselinum univittatum Turcz. (分生) 樺・千北・本 (北中部)
 ノ寒地植物。[生薬] 根及莖葉ヲ採乾シ薬用トス。[成分] 未詳。
 [薬效] せんきう (川芎) ト薬效同様ニ用レバ其項参照、但シ香
 氣少ク、成分モ多少異ナラン。

(25) からふとにんじん (樺太人参) *C. Kamtschaticum* Rupr.
 (分生) 樺・千北・本 (北部) ノ山岳又海岸地帯 (以上樺子) 又
 高山寒地帯 (北・本) 産。[生薬] 根莖及莖葉ヲ採乾薬用トス。
 [薬效] 根・根莖ヲ煎服シ強壯薬トシ、莖葉ヲ浴湯料トス、川芎ト全
 效アラソ。

(26) アンケリカさう *Archangelica officinalis* Hoffm.
 (分生) 北欧産 1 ②, [生薬] アンケリカ根 *Radix Angelicae* ハ
 00ノ副根ヲ着生セル地下莖也、灰褐又赤褐色、峻烈ナル香味ヲ

有ス。[成分] 精油 1% (主ニ *Phellandren*)、樹脂 6%、
 結晶性 *Hydrokarotin* 及 *あんけりか酸 Angelicasäure*
 $C_{15}H_{17}COOH$ 等ヲ含ム。[薬效] 興奮薬トシ其 3~10分ヲ 100分
 ノ浸剂トシ用フ。又浴湯料トス。

(27) いぶきせり (伊吹芹) *Caxum holopetalum* Max,
 (分生) 北・本 (北中部) ノ亞寒地帯上部~寒地帯下部ニ点生
 ~簇生スル寒地植物。[薬效] 全草ヲ乾煎服シ強壯剂トシ、又解
 熱剂トス。

(28) しむらにんじん *C. neulophyllum* F. et S. (分生) 本 (中
 南部)・九・韃ノ原野生 ②, 高 1~2 m. [薬效] 莖葉ヲ乾煎服シ
 強壯剂・解熱薬トス。

(29) ひめらぬきやう (キエンメル, カラエー) (263 四) *C. Carvi*
 L. (分生) 欧・西・北・利・亞・西・蔵産 ② 又 ③, 高 30~60 釐, (晩春・播種・
 翌夏結実ス、いぶきはうふう状植物。[生薬] カールム実 *Fructus*
Carvi ハ果実ヲ採乾セルモノ也、長円形・淡褐色有芳香。[成分]
 果実ニ脂肪油及 *Kümmelöl* ナル揮発油ヲ含ム、其主成分ハ
 d -*limonen*・ d -*Carvon* 等也。其他澱粉・砂糖・脂肪ヲ含ム。
 [薬效] 果実ヲ葛瀉子トモ稱シ煎服シテ健胃・驅風薬トシ、0.5~2.0
 ヲ散又浸剂トシ 1日数回内服。又芳香性調味料トス、殊ニパ
 ン・洋菓子ニ芳香ヲ賦ス、和蘭ニテハ乾酪ニ混用ス。

(30) いんじせり *C. Ajowan* B. et H. fil (分生) 印度産 ②,
 [生薬] アヨワン実。[成分] 果ニ精油 (*Thymol*・*Cymol*・*Terpen*)、
 脂肪油ヲ含ム。[薬效] コレラ病薬・チモール (= 指腸虫驅除・防

廣制藥)原料トス。

(31) みしまさいこ (かまくらさいこ, 北柴胡, 柴胡, 茹草, 芸薹)
Bupleurum falcatum L. (分生)本(中南部)・四・九・朝・琉台・
 ノ原野又山地生, 高30釐~1米, 葉披針形~長楕圓形。(生藥)柴
 胡 *Radix Bupleuri* ハ根ヲ採乾セルモノ也。主根・細根及
 根頭ヨリ成リ, 長10~15釐, 暗褐色, 氣味緩和・微苦シ。市場品ハ
 本品及次記支那産細葉北柴胡ヨリ成ル。静岡・神奈川縣多産。
 (成分)根莖ハ *Saponin* 0.5% 及脂肪油2%ヲ含ム。乙ハ主 = *Linu-*
lsäureglycerid ヨリ成リ又 *Phytosterol* $C_{30}H_{48}O_2$ ヲ含
 ム。莖葉ハ *Rutin* $C_{27}H_{30}O_{16}$ ヲ含有ス。(藥效)根ハ解熱藥即
 寒熱ヲ治スル最良藥トシ殊ニまらりあ病ニ賞用ス(まらり
 ヤ原虫ノ發育ヲ阻止シ之ヲ消滅ス)。周・黃岡氏ハまらりあ及
 黑水病患者ニ柴胡煎ヲ與ハシニ, 特ニ黑水病ニ好結果ヲ得タ
 リ。其他強壯藥トシ祛痰利尿劑トス。1日8~10瓦, 2時間煎
 出服用。又解熱ノ目的ニテ惡寒ノ戰慄及潮熱ニ際シ胸脇部
 ノ苦悶ヲ除去スル外發汗除熱ノ效アリ, 又胸支ハ腹痛嘔吐等
 ニ煎服シテ有效。朝鮮ニテ勞瘵・咳嗽・中風ニ内用ス。(藥方
 例)(1)大柴胡湯(急性胃腸加答兒・大腸加答兒・赤痢脚氣・痔疾・無
 熱或餘熱有, 或時々發熱, 胸及脇苦ク, 腹瀉・嘔氣アル者, 便秘或下
 痢者) 柴胡8.0 半夏6.0 生薑5.0 枳實4.0 大棗・黃芩・芍藥各
 3.0 大黃2.0...以上8味ヲ水600ニテ煎劑200トシ1日3回
 分服。(2)小柴胡湯(感冒・マラリヤ・産褥熱・麻疹其他熱性病・
 中耳炎・百日咳・氣管枝炎・肋膜炎・肺結核・胃腸カタル・黃疸・瘰癧耳

下喉炎・表熱無時々發熱或餘熱有, 胸ヨリ脇苦ク或痛シ, 食慾無
 或嘔氣有・或咳嗽有者)...柴胡8.0 半夏6.0 人蔘・大棗・黃芩・甘草・
 生薑各3.0...以上ヲ水600ニ煎出200トシ1日3回分服。(3)
 感冒(發汗除熱)藥...柴胡10.0 水100.0...以上煎劑分
 服。(4)止痢・止嘔・除熱藥...柴胡10.0 半夏5.0 甘草2.0 水200
 ...以上1日量煎劑分服。

(藥理) 溫刺ニテ發熱セル家兎ニ柴胡外フ種ノ漢方解熱藥ヲ
 煎劑(20:100.0)トシ經口的ニ25ccヲ投與セルニ柴胡最
 有效ニシテ1~15時間ニテ常溫又其以下ニ不降シ, 發熱々ニ上
 昇セリ。

(32) ほそはみしまさいこ (細葉北柴胡), *B. scorzoner-*
aeifolium Willd. (分生)樺・朝・滿・北支ニ自生スル細
 葉品(或みしまさいこノVar.トス)。(生藥)細葉北柴胡。(成
 分)畧同前種。(藥效)畧同(稍弱ト云)前種。

(33) ほたるさいこ (まるはさいこ, ほたるさう, 南柴胡, 猪牙
 菜), *B. sachalinense* Fr. Schm. (分生)樺・南千・北・本・九ノ山
 地生。 (生藥)南柴胡ハ其根及根莖也。(藥效)北柴胡ノ代用品
 トス, 效用全ク全一ナルモ劣レリト云。北柴胡ヲ正品トス。

(34) おほほたるさいこ *B. longe-dadiatum* Fwcz.
 (分生)朝鮮ノ山岳地生。 (生藥)(藥效)凡テ同前種。

(35) はうふう (はますかな, 防風) *Siler divaricatum*
 Benth. et Hook. f. (分生)支那原産, 日本栽培1。葉2~3
 回羽全裂, 花白・夏秋果扁楕圓。(成分)精油ヲ含有スル外不明。

(生薬)防風(真防風) *Radix Sileris divaricati* ハ2年~2.5年根ヲ採乾セルモノ也, 秋~春ニ採取ス。紡錘形黄褐多皺氣味緩和消苦シ支那多産。〔藥效〕漢: 根ヲ煎服セバ頭痛ヲ去リ, 驅風發汗祛痰ノ效アリ, 古來感冒藥及痛風藥ニ賞用セラル, 1日5~15瓦煎用。防風トハ風邪ヲ防グ意也。解熱鎮痛藥トシテリウマチス¹ヲ治シ, 頭痛及頸部強直ヲ治シ, 又遊走痛(各關節ニ交代シ刺スガ如キ疼痛アル疾患)=1回2~3瓦煎服ス, 又中風病=1日4瓦ヲ用テ有效(但干姜ト合服嚴禁)。

〔處方例〕(1) 感冒藥---防風15.0, 水300, 茶劑トス。(2) 婦人感冒藥---防風10.0 當歸2.0 甘草2.0 水300---以上茶劑浸出服用。(3) 驅風鎮痛消化藥---防風8.0 蒼朮4.0 茯苓各2.0 生姜1.0---以上茶劑(5.0宛3包トシ煎服)。

(36) はま-ばうふう (いせ-ばうふう, やせ-ばうふう 濱防風, 珊瑚菜) *Phellopterus littoralis* Bernh. (分生) 樺・千・北・本・朝・琉・台ノ海濱生^②。〔生薬〕濱防風 *Radix Phellopteri* ハ根ヲ秋~春採乾セルモノ也, 紡錘形長20厘, 徑2厘, 多分岐, 黄赤色, 縱皺及有疣起, 氣味芳香性, 微辛辣也。千葉茨城兵庫縣多産。〔成分〕精油ヲ含有ス, 他不明。〔藥效〕根ヲ煎服シ驅風解熱鎮痛痛風關節痛(肢節痛)中風藥トス, 感冒藥トシ煎用防風ニ代用ス(效力稍薄シト云)。又全株ヲ浴湯用トス。〔備考〕特殊ノ香氣ト辛辣アル故嫩葉ヲ刺身ノ薬トシ, 又煤テ酢醬油ニテ浸シ物トシ又煮食ス。又觀賞用トス。

(37) アメリカ-ばうふう (亞米利加防風) *Pastinaca*

sativa L. (分生) 歐洲原産, 日本栽培ノ①又②, 高1米内外, 根多肉長大, 黄花。〔效用〕¹アイルランド¹ニテハ根ヨリ一種ノ酒ヲ醸造ス。根及嫩莖葉ヲ食用トスルコト如濱防風, 又牛馬ノ飼料トス。

(38) ほたん-ばうふう (ほたん-じんじん, 防葵, 房苑) *Peucedanum japonicum* Thunb. (分生) 北・本・四・九・朝・琉・台ノ海濱生^②。〔生薬〕秋期根ヲ採乾藥用トス。〔藥效〕根ヲ煎服シ感冒藥痛風藥トス, 但毒性アル故要注意。西川氏ハ皮膚炎ヲ起ス云ヒ, 刈米氏ハ有毒ニ非ズト云フ。朝鮮人豚ト誤用スル人アリ, 要注意。〔備考〕嫩葉ヲ食用トス。

(39) はくさん-ばうふう (白山防風) *P. multivittatum* Max. (分生) 南千北本(中南部)ノ山岳寒地帯産ノ寒地植物^②, 根長大, きれは-はくさんばうふう var. *dissectum* H. Koidz. (分生) 全上。葉多裂。〔生薬〕根ヲ白山防風ト採シ藥用トス。〔成分〕未詳。〔藥效〕感冒藥鎮痛藥トシテ解熱驅風鎮痛ノ效アリ。

(40) のだけ (せんご, うだま, のせり, 前胡) *P. decursivum* Max, 及其諸変種。(分生) 本・四・九・朝・台ノ山野生^②。〔生薬〕前胡 *Radix Peucedani decursivi* ハ秋期ニ根ヲ採乾セルモノ也。紡錘形・枝根多出, 灰黑色, 多皺内部白色, 質柔靱, 氣味芳香性稍苦シ。〔成分〕根 = Nodakenin (配糖体) $\text{C}_{20}\text{H}_{24}\text{O}_9$ ヲ含ム, 如次式加水分解ス--- $\text{C}_{20}\text{H}_{24}\text{O}_9 + \text{H}_2\text{O} = \text{C}_{14}\text{H}_{14}\text{O}_4 + \text{Glucose}$ $\text{C}_6\text{H}_{12}\text{O}_6$ 。〔藥效〕根ヲ煎服シテ解熱鎮痛鎮咳祛痰藥トシテ

感冒・痛風・頭痛・リウマチ・気管枝加答兒・喘息・百日咳等 = 1回2
〜3瓦 1日5〜9瓦煎服。(處方例)(1)解熱・祛痰藥(咳感冒)・
煎胡8.0 甘草1.0 水100.0...以上1日量煎劑分服。(2)鎮咳
祛痰藥(氣管枝カタル・百日咳・喘息等)・煎胡5.0 厚朴茯苓
各2.0 甘草1.0 水100.0...以上4味煎劑1日量分服。(備考)
嫩葉ヲ食用トス。

(41) ^(キマ-ばうふう山防風)いぶき-ばうふう (伊吹防風) 及其諸變種, *Seseli Libanotis* Koch. (はま-いぶきばうふう, おほばいぶきばうふう)
var. daucifolia F. et S. (いぶき-ばうふう) (生) 南千・北・本
ノ山岳地又原野 = 点生〜簇生, 寒地帯 (ほそば-いぶきばう
ふう *var. frigidicola* H. Koidzumi 白馬山, 白峯山等産。
〔生藥〕根ヲ秋期採乾藥用トス。〔成分〕未詳。〔藥效〕根ヲ斜蒿又邪
蒿ト稱シ防風 = 代用シ, 解熱・鎮痛・驅風藥トシ痛風・リウマチス,
頭痛・感冒・頭部強直等 = 1日5〜8瓦煎服ス。(備考) はま-い
ぶきばうふう *S. ugoensis* Koidz. ト称シ北海道及北奥羽
等ノ日本海岸生岳はいぶき-ばうふうノ海岸生活型 (*var.* 又
form.) = テ別種 = 非ズ。以上凡テ嫩苗ヲ食用トス。

(42) とく-にんじん (シキユ-タ, 毒入参) (264回) *Conium maculatum* L. [分布] 歐洲及中亞産ノ④。日本産否。(生藥)
コニウム草 *Herba Conii* ハ2年草ヲ花後採乾セルモノ
也, 全株不快臭アリ, 無毛平滑, 葉柄中空。コニウム実 *Fru-*
tus Conii ハ果実ヲ採乾セルモノニテ黒褐色卵円形, 5肋線
ハ波状〜鈍齒状也。(成分) 全草殊 = 根 = 有毒ナル *Coniumal-*

*Kaloides*ヲ含有ス(之ヲ昔希臘死刑囚人毒殺刑 = 用ヒタリ, 之
ヲ毒施ノ刑ト云)。有效有毒成分ハ揮發性塩基ナル ^{コニウム}*Conium*
^{コニウム}*Conicein* $C_8H_{17}N$ ・*Conhydrin* (*Methylconium*)
 $C_8H_{17}NO$ ・精油等也。果実 = ハ *Conium*ヲ含ム。*Conium*ナル毒
効ハ未ダ他植物中 = 未發見也。〔藥效〕全草ヲ麻酔性ノ鎮痙藥・
解熱藥トシテ應用シ, 果ハ全草共 = *Conium*製造原料トシ精神
經藥トス。共 = 猛毒ナル故要注意。(備考) 猛毒植物也。

(43) はま-ししうど (うしうど, 魚そのししうど) *Coelopleu-*
rum Gmelini Ledeb. (生) 雄千・北・ノ山岳寒地帯及海岸荒
蕪地 = 生ジ中間地帯 = 之ヲ見ズ, 此点いぶき-ばうふうノ海岸
〜山頂 = 産絶アルト異レリ, 共 = 分布型ノ異例也, 植物ノ適應
性ト気候ノ大変化 = 原因ス。(生藥) 根ヲ秋期採乾藥用トス。
〔藥效〕成分不明故確定セズ, 精油ヲ含ム。發汗驅風藥? (備考)
嫩苗ヲ食用 = 供ス。

(44) こ-ん-どろ (胡荽・香菜) *Coriandrum sativum* L.
(生) 南欧地中海沿岸産, 高50〜90 釐 1〜2回羽複葉, 白又淡
紅花, 圓花ハ中, 果ハ小球形無翼。(生藥) ^{コズイシ}胡荽子又胡荽実 *Fru-*
ctus Coriandri ハ果実ヲ採乾セルモノ球形 (又2分ス) 黄褐色也,
莖葉ハ不快臭氣アルモ果ハ氣味佳快ノ芳香有。(成分) 果実 =
脂肪油ヲ含ム, 其主成分ハ *Petroselinäure* 53%・*Ölsäure*
32%・*Linolsäure* 7%・*Palmitinsäure* 等, *Glycerid*
ヨリ成ル。約1%ノ精油 (*d-Linalool*・*Linen*, *Depenten*・
Terpinen・*Paracymool* (炭化H 思20%)・*Linalool*・及

及 Borneol) 醋酸・蒸すてゐる等) フ合ム末熟果及全草ハく
 さかめ類似悪臭アリ, 成熟ト共ニ消失シ芳香ヲ有ス, 悪臭ノ本
 源ハ不明也。〔藥效〕果ハ健胃藥・驅風藥・祛痰藥トシテ1日3
 回瓦煎服。又分泌抑制藥トシテ慢性氣管枝炎・肺膿瘍・氣管
 枝擴張症等ニ附屬及分泌抑制ノ目的ニテ内用ス。〔處方例〕
 (1) 驅風祛痰藥---胡荽実 3.0 水 100.0---以上1日量煎劑2分
 服。(2) 全及氣管枝炎症---胡荽実 6.0 甘草 1.0 水 200.0---以
 上1日量煎劑3分服。〔備考〕嫩苗ヲ食用トス。ニ系んど
 ろハポルトガル語 Coentro ヨリ來ル。

(45) にんじん (な-にんじん, はたけ-にんじん, はにんじん, セリ
 にんじん, 胡蘿蔔) *Daucus Carota* L. (外生) 歐洲原産ノ②, 總
 苞ハ大形高葉狀。〔生藥〕胡蘿蔔ハ長〜長々円錐根ヲ云ヒ,
 はにんじんハ嫩葉ヲ云フ又種子ニ藥用トス。〔成分〕莖葉ニハ
 揮發油ヲ含ム外, 2種ノ液体塩基 Pyrolidin C_4H_9NH
 及 Daucicin $C_{11}H_{18}N_2$ ヲ含有ス。根ハ揮發油ノ外, 赤色素
 Carotin ヲ多含ス。〔藥效〕根ヲ生食又1夜味醋漬トシ食セバ
 強壯營養劑トナル, 生食又嚼碎シテ食セバ蟻虫驅除藥トナ
 リ, 其汁ヲ火傷ニ數回塗布治ス。根ヲ煮食セバ強壯營養料ト
 ナリ, 又野菜スーヅ料(サラダ)料トス。種子ハ煎服シテ腎臟病
 ニ用ヒ, 又驅風利尿(水腫)藥トナル。根ヲ人蔘ト称スルハ滋精
 又補温ノ效相近似セルニ依ル。〔備考〕根ニ長短赤黄白也ノ別
 アリ, 産地ニ依テ風味成分形質ヲ異ニス, 品種ニ金時人蔘・丸
 人蔘・白人蔘・三寸人蔘等アリ。

○(46) あぶ(阿魏阿藜) *Ferula Assa-foetida* L. (F. *Sco-*
radosma Benth, et Hook.) (外生) ハルシヤ, アフガニス
 タン, 印度産ノ②, 高1.5〜2.5米内外ノ5狀②, 根ハ肥大, 初根生葉
 ノミ, 5年後莖苔抽出, 開黄花, 莖葉ハ葉身小葉鞘頗廣大, 高葉ハ
 無葉身, 葉ハ扁卵円形, 有溝。〔生藥〕夏時莖ヲ根上ヨリ切断シ或
 ハ裂口ヲ作リ又刺傷シ滲出スル乳液ヲ反覆攪拌集凝固セシ
 メタル樹脂ヲ阿魏 (*Asa foetida*) ト称シ藥用トス, 顆粒狀(阿
 魏) 及塊狀 (塊狀阿魏 *Asa foetida in massa*) ノ二品ア
 リ, 共ニニ樹脂ニテ甲ハ上品ニテ褐色脂光澤アリ, 乙ハ多少
 粘着セル不整形片ニテ暗色也。〔成分〕阿魏ハ樹脂・ゴム質 (25.1%)
 Vanillin (0.06%)・遊離阿魏酸 *Ferulasäure*・揮發油・Um-
 bellsäure 等ヲ含有ス。以上ノ中揮發油ハ Terpen・含S揮
 發油 ($C_7H_{14}S_2$, $C_8H_{16}S_2$, $C_{10}H_{18}S_2$, $C_{11}H_{20}S_2$) 等ヨリ成リ極
 テ不快臭ヲ有ス, 樹脂ハ Asaresinotannol, *Ferulasäu-*
reester 61.6%・遊離 *Asaresinotannol* 約 0.6%・ゴム
 質約 25%・揮發油 6.5% 遊離 *Ferulasäure* 等ヲ含ム。〔藥效〕
 阿魏ハ驅風藥・祛痰藥・通經藥トシ又蟻虫驅除藥トス。又鎮靜
 藥トシヒステリールニ用フ。1回 0.2〜1.0 宛, 1日數回内服, 散劑
 劑トス, 又洗腸劑トシテ 2.0〜5.0 ヲ用フ。又局方阿魏丁幾及蘆
 薈阿魏丸ヲ製スル原料トス。尚阿魏ヲ香料ニ使用ス。
 (藥理) 一説ニ阿魏ノ鎮靜作用モ亦甘草ノ如ク不快臭氣ニ因ル
 反射的機轉ニ屬スハキモノナラント云。而テ服用ニ際シ要
 頭部重感及疼痛消化不良ノ不快ナル症狀又性慾亢進ヲ來ス事

アリ、尚大量ニテモ斯ル作用ヲ呈セザル事モアリ。〔薬方例〕
 (1)阿魏丁幾...阿魏 1分、酒精5分ヲ合劑ス、... 以上20~50
 滴内服(鎮靜藥)、又20~80滴腸(蠕虫駆除用)。(備考) 此
 質ヲ含ム樹脂ハ阿魏^{植物}ハ前記ノ外、F. foetida Regel
 (Scordosma foetidum Bunge)及F. Nardhex-Boissier
 (Nardhex Asa foetida Falconer)ノ2種アリ、産地モ同
 地方也。

(47) かぶらねむ *Ferula galbaniflua* Boissier et Buhse
 及*F. rubricaulis* Boissier (分生)ハルシヤ北部高山地方産
 ノ②、莖徑3~4cm、葉鞘潤大、葉身4~5回掌形細裂。(生
 藥) Galbanumハ莖ヨリ自然又切傷ヨリ滲出スルニモ樹脂
 ニテ2品アリ。(1)顆粒状カルバヌム (*Galbanum in gra-*
nis)ハ豌豆~胡桃大、黄~帶赤褐色、破面類白色、帶綠色光彩、蠟
 様、質堅硬、依熱軟化。(2)塊状カルバヌム (*G. in mass*)ハ不
 整塊片ニテ多少粘着シ合雜物、てればんち一な、臭アリ。本品
 ハ酒精ニ $\frac{3}{4}$ 溶解シ特異ノ臭気アリ、味微ニ苦キモ不苛烈。本
 生藥ハ先ばん^ハ港ニ集リ次ヲろんどんニ輸出ス。(成分)本
 生藥(ニモ樹脂)ハ樹脂60~70%ニモ質20%、精油 (*Pinen*
C₁₀H₁₆·Cadinen C₁₅H₂₄)約8%、umbelliferon、藍色油等ヲ
 含有ス。〔藥效〕Galbanumハ太古ヨリ煎香料トセリ。主ニ子
 宮病藥トス。又興奮藥、祛痰藥ニ内服ス、其他硬膏基礎劑トシ
 テ外用ス。

△(48) あんもにあくむ *Dorema Ammoniacum* Don

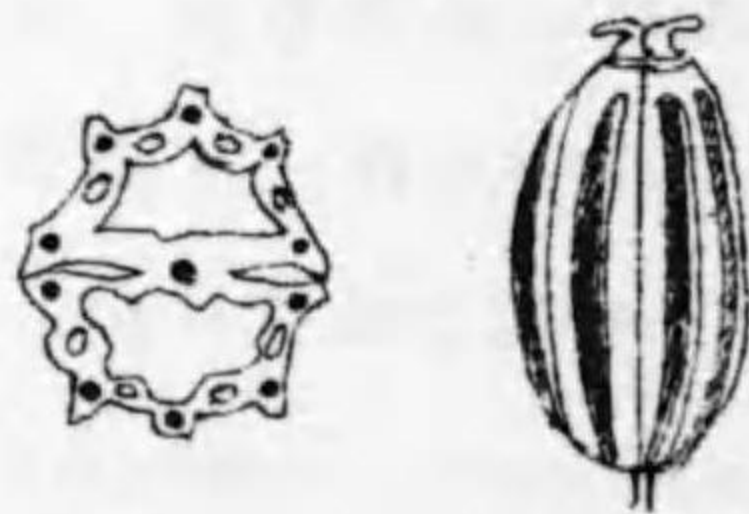
(分生)ハルシヤ及西北利亞南部ハルシヤ間ニ生ズ、肥大根有節
 空泡莖多縱線ノ②、高2~2.5米、根生葉ハ簇出、莖葉ハ無葉身、
 上半大円錐花叢ハ小繖花(白花)ノ集合ヨリ成ル。(生藥)花
 後莖ヨリ滲出(昆虫刺蝟等)ヌル乳汁凝固シ豌豆大ノニモ樹
 脂トナル之ヲAmmoniacumト称シ、汚白又類褐色顆粒状
 者ヲ顆粒状アムニクム (*Ammoniacum in granis*)ト
 称シ最上品トス、暗色ニテ巨大不整塊片者ヲ塊状アムニク
 ム (*A. in massa*)ト称シ劣品トス。酒精ニ $\frac{1}{2}$ 溶解ス、特異
 ノ臭気アリ、味不快、苦クシテ辛辣也。(成分)本生藥ハ揮發油0.3
 ~0.4% (不含S)、樹脂70%ニモ質20%、此ニモ質ハ $\frac{1}{2}$ 水
 ニ溶解ス、樹脂ヲAlkali溶解セバResorcin、Protocate-
 chusicureヲ生ズ〔藥效〕準局Ammoniacumハ祛痰藥トシ
 テ1日0.5~1.0gヲ膠囊ニ入レ又乳(液)劑トシテ内服ス。
 外用ニハ硬膏基礎劑、刺激性硬膏ヲ造ルニ用フ。又リウマ
 フス⁷藥、又硬膏基礎劑、ニモ硬膏等ヲ製ス。

○(49) うねきよ (くわいから、茴香、小茴香) *Foeniculum*
vulgare Gaertn. 及 *F. dulce* DC. (分生)歐洲(佛、独等産)
 ②、高1~2米、葉線裂、黄花。(生藥)茴香Fructus Foeniculi、
 果実ヲ採乾セルモノ也、円柱状、褐色、長3~4cm、油線長ク飛
 達、気味芳香性、微ニ甘シ。埃、伊、佛、独、米、印度多産シ、日本ハ長野、
 岩手縣多産。(成分)果実ニ精油(茴香油)3~8 (一説2~6%)
 %ヲ含ム、其主成分ハ寒冷ニテ凝固スルAnethol C₆H₄(OCH₃)
_{フェンヒコン} _{右旋ヒネン}
 C₃H₅·50~60%ニテ其他d-Fenchon-d-Pinen-Dipen-

ten. d- limonen. Anisaldehyd 等ヨリ成ル。其他脂肪油 12~18%ヲ含ム。〔藥效〕 局方茴香(果)ハ健胃驅風祛痰藥トス、 3~5瓦ヲ熱湯=15分浸漬温服(漢方)シ、粉末ハ0.5~2.0ヲ1 日數回服用。又果ヨリ局方茴香油 Oleum Foeniculiヲ製 シ健胃驅風祛痰藥トス。茴香ハ食慾不振=消化促進藥トシ、 又痲瘋瘰癧等=内服セシメ、又催乳劑トス。芳香性甘味アル

266 茴

故香辛料、矯味藥、矯臭藥トス。 1回



(266圖)のふきよりの果実及其横断(Berry und Schmidt氏) 1. 双果果断面 2. 全横断面

2.5瓦煎服又浸劑トシ5~10%服用。

洗眼料及含嗽料洗滌料トシ大效アリ。朝鮮ニテハ腹痛及痢 症(ヘルニテ)=内用ス。葉ハ味噌汁=煮食セバ和氣ヲ治ス。 局方製劑=茴香水 Aqua Foeniculi、茴香油(煎出)、茴香精 Siritus Foeniculi、アノモニヤ茴香精、茴香糖、模方センナ 錠劑、模方甘草酸、滴那シロップ等アリ。茴香浸劑ハ5.0~10.0ヲ 150.0浸劑トシ香辛性健胃劑トス。茴香水...ハ祛痰合劑=加 ハ内用、又点眼料=配伍シ以用ス、茴香精...ハ1日1.0~3.0ヲ 他ノ水劑=配伍シ内用ス、健胃驅風矯味矯臭祛痰=有效。茴 香油ハ1回1~3滴内用ス。

〔藥理〕 ^{アネトール} Anethol 半埋ヲ試験動物ニ皮下注射セバ局所ノ球 直ヲ來シ、白血球ハ100%以上ニ増加ス。又家兔=1回5瓦 ヲ與レバ死ス。犬=5日間=5.5瓦ヲ與レバ嘔吐ス。人=2

瓦ヲ與フレバ経度ノ踏面及頭痛ヲ發ス。Anetholハ弱防腐 カヲ有ス。〔處方例〕(1)健胃驅風祛痰藥...茴香8.0甘草2.0水100.0 ...以上1日量浸劑分服。(2)全...茴香5.0 乾姜1.0 茯苓白朮 甘草各2.0 水200.0...以上1日量煎劑3分服。(3)胃瘵藥... 塩酸モルヒネ0.03 茴香油糖1.5...以上糖ヲ包、發飲時1包宛。(4)全...ブロームナトリウム、重曹、乳糖各5.0 茴香油3滴...以 上1日量、1日3回食前半茶匙宛。

〔備考〕 本生藥ハ産地ノ異ルニ從テ大小形状ニ差アリ甘茴香 (ローマ茴香)ハ佛國栽培ニテ普通田ヨリ遙ニ肥大シ淡黄色ノ 広翼ヲ有ス、味亦美ニシテ世人最賞用ス。若キ莖葉ヲ蔬菜ト シテ食用ニ供ス、風味アリ。果ハ西洋菓子ニ多ク應用ス。

△(50) たいりき (當歸) Ligusticum acutilobum S. et Z. (今 生)本朝ノ山地生②、全草ニ特異香氣有。(生藥)當歸 Radix Ligustici ハ秋冬ニ2年根ヲ採乾(初吊干及半乾、温湯浸洗、 翌春陰陰干)セルモノ也、長20~25 厘米徑3~5 厘米、紡錘形多 分岐根、赤褐色有皺、有芳香味稍甘シ(支那産ハ別種也)。(成分) 根ニ精油(當歸油、固有香氣有 Campher, Saponin ヲ含ム)約0.2 %ヲ含ミ、遊離酸40%、非酸性物質60%ヲ含ム、其他未詳。〔藥 效〕 著明ナル婦人病藥ニテ産前産後月經障害、子宮病等ノ要藥 也。漢：温性強壯藥ニシテ食血性瘀血ヲ去ル故婦人産後(補 血、鎮靜、通經)ノ良藥トシ、川芎ニ比シ強壯作用著シ。循環ヲ良 好ニシ身体ヲ温ムル效大ナルト鎮靜通經ノ著效有ル故通經 劑トシ、婦人血ノ道諸症ヲ治シ、又四肢冷感アル時、食血症、切

創寒痛・ヒステリー症等婦人病一切=奏效ス、1日8~10~13
 瓦煎服シ又浸劑トス。〔藥理〕(1)當歸油ノ生理的作用ハ大體
 ノ鎮靜及麻痺呼吸機能ノ初期亢進及後ノ麻痺、血圧及体温降
 下、脈搏緩徐、經度ノ痙攣等大體^{セムキ}ノ場合ト一致ス。但
 家兎ニテハ皮下注射ニテハ上記諸作用不顯著、而テ呼吸麻痺
 ハ概ハ麻痺=先行ス。(2)要之本油ハ大體ノ鎮靜並^シ隨諸中
 樞ノ興奮並麻痺ヲ以テ其生理的作用ノ主要点トス。〔新藥〕
 Eumenol (獨・Merck)ハ本生藥製劑=通經及鎮靜藥トシ
 テ實用セラル。中將湯及加減中將湯(東京・津村)ハ本生藥
 ヲ主成分トシ合上ノ效アル外婦人病一切=有效、又男子(春
 秋氣候關係及循環不調ヨリ來ル諸症、神經病頭痛等)=有效。
 〔處方例〕(1)當歸建中湯(婦人産後ノ強壯・補血藥)---當歸
 ス0桂枝・生姜・大棗各6.0 芍藥10.0---以上煎劑200.0 赤鉛50.0
 ヲ加ハ1日3回温服。(2)當歸芍藥散(産婦ノ産前・産後又子
 宮病或腹内牽通=奏效)---當歸-川芎各1.0 茯苓・白朮各1.5
 沢瀉2.5 芍藥5.0---以上細末トシ1日3回分服。(3)當歸六
 黃湯(地黄ノ項参照)。(4)鎮靜・通經藥---當歸10.0 水100.0
 又當歸5.0 川芎5.0 水100.0---以上1日量煎劑分服。(5)月
 經不順藥---當歸5.0 黃芩末(炒リテ末トス)ス0 水100.0---以
 上煎劑1日量分服。(6)月經痛・月經不順---當歸・延胡索各2.5
 紅花2.5---以上温酒ヲ以テ浸出シ頓服。〔備考〕屢觀賞用
 トス。〔近以種〕---みよまたらき(なんがたらき)*L. japoni-*
cum Max. [分布]北・本(北中部)ハ恐クハ當歸ト同様ノ效

アラン。

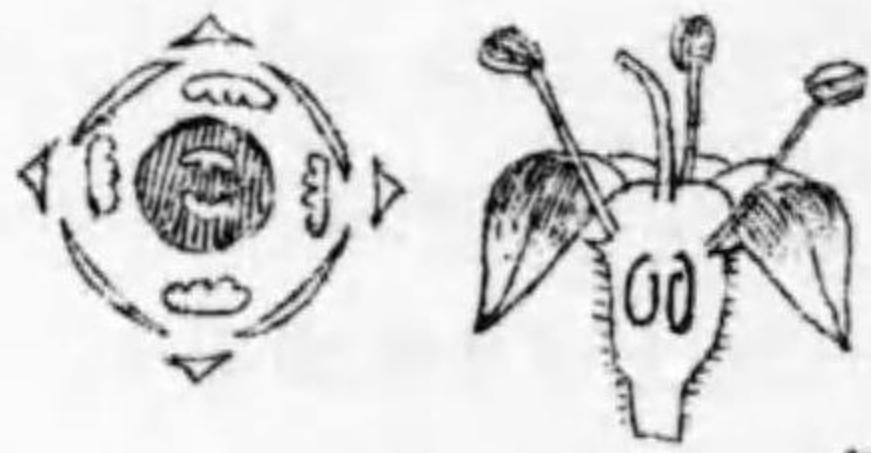
(51)かきもち(菅本)^{カクホン}*Nothosmyrnium japonicum* Miq.
 (分生)本(中南部)・四・九ノ山野自生④、高1米内外、葉1~2回
 掌形複葉、白花夏。(生藥)^{カクホン}藥木 *Rhizoma Nothosmyrnii* ハ
 秋期根莖ヲ採乾セルモノ也。(漢藥藥本ハ *Ligusticum si-*
nense Oliv. 也ト、收野氏)。(成分)根莖=精油1.3%ヲ含ム、其主
 成分ハ *Nothosmyrnol* (2.4) $(CH_3O)_2C_6H_3-CH=CH-CH_3$ 及 *Di-*
methoxyallylbenzol (2.4) $(CH_3O)_2-C_6H_3-CH_2-CH=CH_2$ =テ
 微量、*Palmitinsäure* ヲ含有ス。〔藥效〕漢：根莖ハ頭痛ノ
 專藥トシ又風邪=有效。又解熱(感冒)藥、鎮痛(頭痛・腰痛・
 痙攣風邪・痛風等)兼トス。又流行性腦脊髄膜炎ノ劇甚ナル頭
 痛又頸部強直(ねぢがひ)ヲ緩和スル特效アリ、特ニ婦人頭
 痛又感冒=服用ス。1回3~4瓦1日6~8瓦煎服。

(52)あにす *Pimpinella Anisum* L. [分生]歐洲
 (佛伊・独・オ・イ・等)産、①はけせり蕪形、高30~50 厘米、中上葉
 ハ多裂下葉ハ掌3複葉。(生藥)あにす実 *Fructus Anisi*
 ハ果ヲ採乾セルモノ也、卵円形、灰綠色、有軟毛。〔成分〕果=精油
 (あにす油 *Anisöl* 即 *Oleum Anisi* 成分ハ茴香油=萜
 シ)ヲ含ム。其主成分ハ *Anethol* (80~90%)ヨリ成リ、傍ヲ
Methylchavicol・*Anisketon* 等ヲ含ム。〔藥效〕あに
 す油ハ茴香油ト同效アリ、即便胃・驅風・鎮咳・祛痰・矯味矯
 臭藥トシ又通經催乳ノ效アリ煎浸散劑トシテ1回1~4瓦
 服用ス。果ハ *Anethol* =類スル香気アル故香料トシ調理

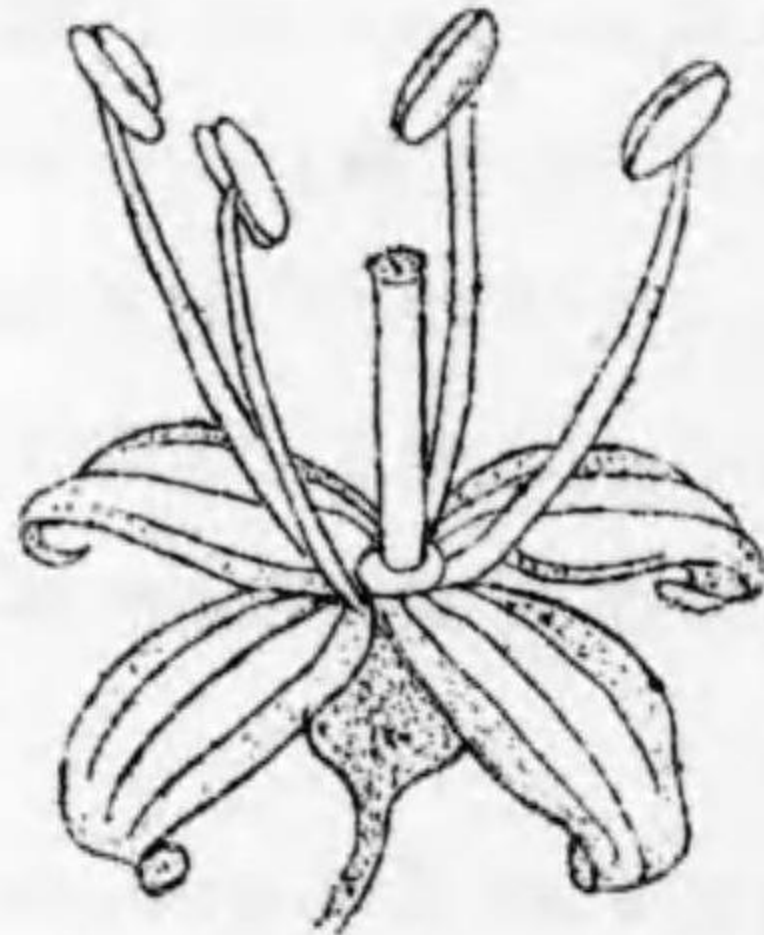
Fam. (III) ミヅキ (木本) 科又さんしゆ (山茱萸) 科
Cornaceae (268~269 図参照)

形質——互へ長、稀②。葉ハ有柄、無托葉、雄ノ稀①。着、葉葉
無裂、全縁又齒牙縁、稀波縁、稀小裂 (外國) 花冠ハ全又♀♂、概細小
不美、葉總苞大形美、概聚繖花序、罕円錐、繖形、繖房頭狀花序、稀環

268 図 生花序。花ハ中、4~5 稀② 数性花、



269 図



(268 図) ミヅキ属ノ花及花式圖
(Engler 氏) 1. 花ノ縱斷面
(下位子房、懸垂卵形花盤等)
2. 花式圖... K(4) L4 G(2)

F. f. = K(4~5); r. (6~8); C4~5 r. 6~8 A4~5
r. 4+4 v. 5+5 ~ G(4~3~1), 概 K(4)
C4 A4 G(2) r. (3~1); Kハ小形 4 裂。C

(269 図) ミヅキ (Cornus controversa Hemsl.)
1. 花冠 (中井氏)
K(4) C4 A4 G(2) ... 花式

ハ瓦列又銀合列、AハCト同数稀
直輪~4重輪 A, G(4~1), 子房ハ

概 1~3 稀 4~5 室 極稀 6~10 子室、各室概 1 稀 2 卵、側生
卵子ヲ含ム、花柱ハ概單体柱頭ハ單一稀分裂、花盤ハ子房上ニ位
ス。果實ハ核果稀漿果、1~4 片、有胚乳種子ヲ藏ス。

成分及效用——成分ニ配糖体 Aucubin ヲリ、糖基ハ甚稀
也。藥用ノ外、木材材料器具用觀費用又食用果實ヲ生ズルアリ

分布及属種數——世界ニ凡 18 属 120 種以上ヲ産シ主ニ北

球ノ温帯~熱帯ニ分布ス。日本ニ自生又栽培スルモノ凡 6
属 17 種ヲ産シ、様々台間ニ分布ス、御前橋ヲ最北種トス。

本科ノ藥用植物:—

(1) あせき (あせきは) 香木、桃葉珊瑚 及其諸変種変形
Aucuba japonica 珙. (分生) 北・本・ノ山地生常緑豆、葉群
生、概点生~散生。〔生藥〕青木葉ハ成葉ヲ採乾シ或ハ生葉ヲ藥
用トス。〔成分〕全株中ニ配糖体 Aucubin C₁₅H₂₄O₉ヲ含有ス。
含量ハ種子 (3%)。葉・莖ノ順ニ減ス。其他種子中ニ蔗糖・
Mannan・Galactan・Pentosan 等ヲ含ム。〔藥效〕生葉ヲ
焙リ泥狀トシ濕疹・腫物・火傷及創傷面ニ塗布シテ治ス、又
葉ヲ揉ミテ腫物ニ貼付ス、又生葉ヲ搾リテ得タル汁ヲ塗竹シ
瘰癧ヲ治ス、又乾葉ヲ粉末トシ胡椒油ト混合シ湯火傷ニ塗布
ス。若野郡洞川ノ名産シ陀羅尼斷 (苦味健胃藥) ハ元來黃葉ノ
水製越後斯ナルモ其色沢ヲ美ナラシムル爲ニ青木葉ヲ加フ。
惡性腫物ノ妙藥ナル伊豆・湯加原温泉ノ青齋モ亦全様也。
〔備考〕大者高 2 丈 徑 6~7 寸、觀費用庭木トシテ著明也、材ハ箸
及杖ヲ依ル、好草家ハ細枝ヲ以テ烟管トス、所々ニ火ヲ点シ燒
痕斑トセハ恰斑竹ノ如ク甚雅也。欧米特ニ英國ニ栽培スル
ハ耐寒性常緑樹ナルト煤煙害ニ強キ故也。白実青木班入青
木等アリ。

(2) さんしゆゆ (山茱萸) *Macrocarpum officinale* Nakai
(*C. officinalis* S. et Z.) (分生) 支那原産、日本栽培ノ落葉互
~互、早春小黄花、繖形花序、核果ハ楕円形・紅熟ス。〔生藥〕山茱萸

Fructus Corni officinalis 八燕果ヲ採乾セルモノ也、長2
 煙、赤紫色、皺縮、柔軟、種子ヲ抽出ス。大和吉野多産、支那ヨリ
 輸入ス。〔成分〕果ハ没食子酸・林檎酸・酒石酸及融点245°ノ結晶
 性酸等ヲ含ム。〔藥效〕漢：果ハ藥ヲ強精藥トス。燕果ノ煎汁
 ヲ強壯・強精・利陰・養血・清耳・鳴・便通多症・月經過多症・神經衰弱・食
 血症等ニ實用ス。強壯藥・山茱萸酒ハ生藥ヲ酒ニ冷浸セルモ
 ノ也。果ヲ虚勞・咳嗽ニ内用シ補精・祛痰ノ效アリ。又收斂藥
 トシ小便頻數ニ用ヒ、腰痛ニ内服ス、耳鳴・耳聾・月經過多等ニ
 有效。1回1〜3瓦煎服ス。〔備考〕觀賞用トシ庭木又生花ニ
 用フ。〔處方例〕(1)強壯藥…山茱萸10.0 水100.0…以上1日
 量煎劑分服。(2)強壯強精藥・病後恢復藥…山茱萸3.0 山藥2.0
 地黃1.0…以上1日量末トシ分服。(3)△…山茱萸3.0 以
 苧桂皮・茯苓各1.0…以上1日量末トシ分服。(4)山茱萸酒(強
 壯・強精・神經衰弱・食血症等)…山茱萸100.0ヲ酒1立ニ冷浸
 セルモノ、朝夕少量宛飲用ス。

離瓣花植物亞綱(終り)。

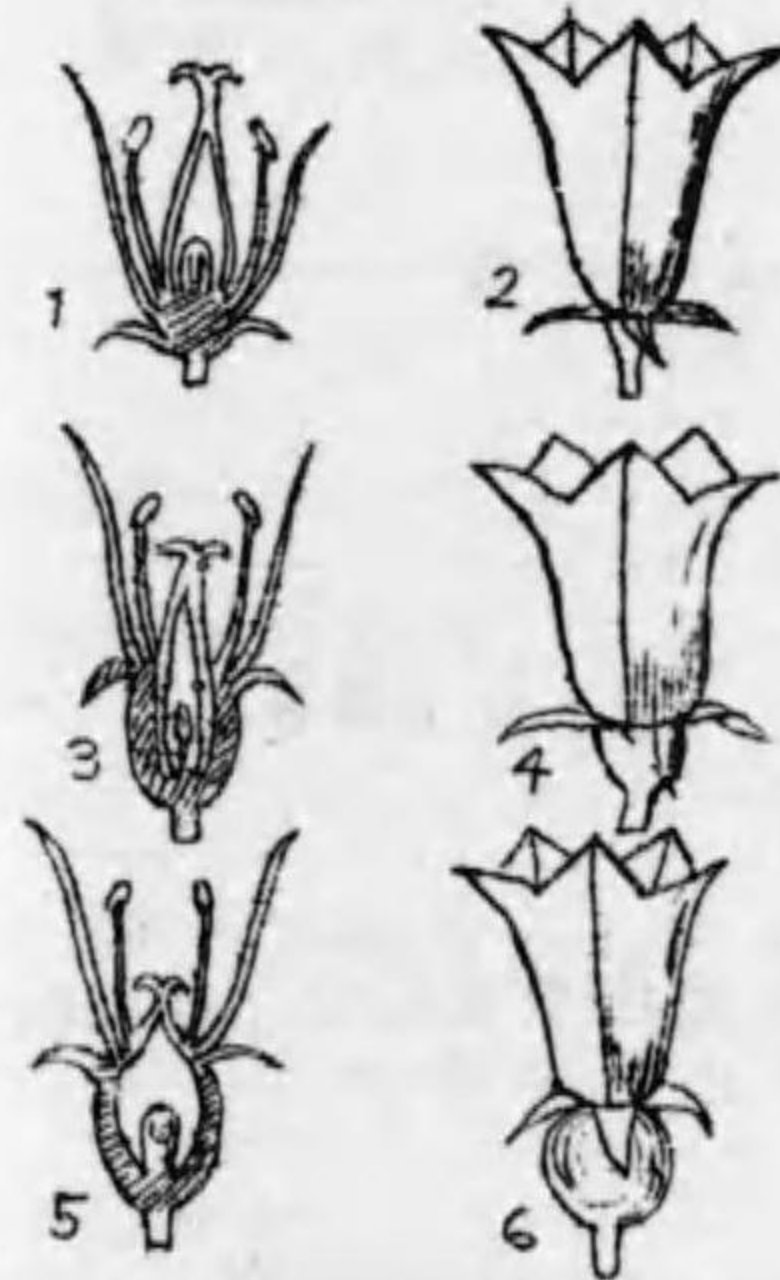
第二亞綱 合瓣花植物亞綱(新生花被亞綱)

Subclassis (II) Sympetalae (Metachlamydeae)

特徴——瓶H(草本)・D(木本)ナシ。花冠ハ常ニ◎・◎、萼5稀
 4数性。K(n;Cov)r.n An.v.+n+n.r.∞G(n~1), 瓶K(n;Cov) An
 v. n+nG(n~1), n=5r.4。卵子ハ瓶1卵膜。前亞綱ト異
 リC片ハ互ニ土相癒合シ、所謂合瓣Cヲ造リ漏斗狀・鐘狀・杯狀・

270 図

高盒狀花冠ヲ成ス、稀離瓣Cアリ。
 A/C = 不着者モ稀ニアリ。次
 ノ十一目ニ分類ス。



(270 図) 合瓣花類ノ花ノ3型式ヲ示ス
 (原圖) …… 但鐘形花冠ノ花
 1. 2. …… 子房上位花及縱斷模型圖
 3. 4. …… 子房周位(中位)花及縱斷模型圖
 5. 6. …… 子房下位花及縱斷模型圖

子房ハ下位 …………… 1
 子房ハ上位 …………… 4

- 1 { A/C 裂片ト同數・互ニ互生カ又裂片ヨリ少數 …………… 3
- { A/C 裂片ト同數・對生又裂片數ノ2倍・或ヨリ多數 …………… 2
- 2 { A/C 裂片ト同數・對生・1子室 …… 第三目櫻草目 *Primulales*
- { A/C 裂片數ノ2倍又ヨリ∞, 2倍ノ時ハ外層Aハ裂片ト
 互生, 無花盤 …………… 第五目補樹目 *Esenales*
- { A/C 裂片數ノ2倍, 外層Aハ裂片ト對生, 子房上ニ花盤ヲ有ス ……
 …………… 第二目岩薔目 *Ericales*

- 3 { Aハ1~6, 葯ハ不結合葉ハ ψ 又 ψ , 第九目 ^{アカホ}茜草目 Rubiales
- 3 { Aハ5, 糸繭又2宛結合或花絲結合シ單体A, 葉ハ ψ , 卷鬚ヲ有ス 第十目 ^{ウリ(ヘウタン)}葫蘆目 Cucurbitales
- 3 { AハC裂片ト同數, 葯ハ結合又接近, 有總苞頭狀花アル植物ハ概葉ハ ψ , 無卷鬚 第十一目 ^{シヨウクワ(キキヤウ)}鐘花目 Campanulatae
- 4 { Cハ薄キ乾膜狀4張, A₄C裂片ト互生, 穗狀又頭狀花序 第八目 ^{オホバフ}車前目 Plantaginales
- 4 { Cハ薄キ乾膜狀ヲナサズ 5
- 5 { AハC裂片ト同數互生シ, 或裂片ヨリ少數 6
- 5 { AハC裂片ト同數ニテ之ト對生 10
- 5 { AハC裂片ノ2倍數, 或ヨリ ∞ 12
- 6 { Aハ非C着生, 或僅ニ基部着生 第二目 石南目
- 6 { AハC着生 7
- 7 { 花ハ ϕ , 瓶唇形C也 第七目 筒花(管狀花)目 Tubiflorae
- 7 { 花ハ ψ 也 8
- 8 { 葉ハ概 ψ 或 ψ , G(2); 第八目 回旋花(轉換花)目 Contortae
- 8 { 葉ハ皆 ψ 又或部ハ ψ 又 ψ 9
- 9 { 花ハ ψ , 無花盤, 3子室各室各 ∞ 卵子 第二目 石南目
- 9 { 花ハ ψ , 無花盤 3~ ∞ 室各室各1~2卵子 第五目 柿樹目
- 9 { 花ハ ψ , 子房下ニ有花盤, 子室ハ連々合少數卵子又非3子室合 ∞ 卵子或3子室各 ∞ 卵子 第七目 筒花目
- 10 { 子房ハ有多子室, 漿果 第五目 柿樹目
- 10 { 子房ハ1子室 11

- 11 { 花柱5, 子房ハ合1卵子 第四目 ^{イソマツ} 磯松目 Plumbaginales
- 11 { 花柱ハ單体, 子房ハ合數箇~ ∞ 卵子 第三目 櫻草目
- 12 { 花柱ハ單一合無歧, AハC裂片ノ2倍數 13
- 12 { 複花柱ハ離生又半以上分離, AハC裂片ノ2倍數又ヨリ ∞ , 2倍ノ時ハ外層Aハ裂片ト互生 第五目 柿樹目
- 13 { AハC着生, 花ハ小, 葯縱裂 第一目 ^{イハクメ} 岩薺目 Diapensiales
- 13 { Aハ非C着生~僅基部着生, AハC裂片ノ2倍數, 外層外ハ裂片ト對生 第二目 石南目

第一目 ^{シヤクナゲ} 石南目 Ericales

特徴—— 5又5又 ∞ . 葉ハ ψ ・ ψ ・ ψ 又 ψ , 有柄又無柄, 單葉無裂全緣~齒牙緣。花器ハ合, 輻 ϕ , 唇 ϕ , 小~大形優美種, F. f. = K: n; C: n; An v. n+n G(n) - r. (2~3) - n = 5 v. 4 r. 6 v. 7; 直輪Aノ時ハ外輪者ハCト對立, 概非C着生稀基部着生, 葯ハ孔裂性, 卵子ハ1卵膜, 內胚乳細胞狀。次ノ3科ニ分類ス。

- 1 { 子房上位 1
- 1 { 子房下位, 其上部分有花盤, A₁₀ 5~5 Fam. (III) ^{シヤクナゲ} 石南科 Ericaceae
- 1 { 綠色, 葉帶葉ヲ有ス 2
- 1 { 葉ハ非綠色ノ鱗狀葉(寄生) Fam. (II) ^{イチヤクサウ} 鹿蹄草科 Pirolaceae
- 2 { 離瓣C又深裂合瓣C(有離瓣) 3
- 2 { 明瞭ナル合瓣C也 Fam. (III) 石南科
- 3 { 5~莖也 4
- 3 { 常綠 ∞ , A₅₊₅ G(4~5) Fam. (II) 鹿蹄草科

4 { 迷葉五~五, G(32) ----- Fam. (I) ^{ワウア} 令法科 *Clethraceae*
 常緑五, G(5) ----- Fam. (II) 石南科.

Fam. (I) リヤウボ (令法科) *Clethraceae*

形質一五~五。葉ハ Ψ 着有柄無托葉, 單葉無裂齒牙緣若
 枝ト共ニ有星狀毛。花器ハ傘, 小又中形, 白~淡紅~
 花ハ Φ , F.f = $K(5) \overline{C(5) A_{5+5} G(32)}$; Kハ $\overline{C(5) A_{5+5} G(32)}$; Kハ多形宿存性, Cハ瓦列, Aハ前科葉非C着生, 無花盤又有初期花盤(蜜腺),
 3子室各室含 ∞ 倒生卵子; 花柱ハ上端3又下部合1, 柱頭3,
 無花盤, 裂ハ孔裂, 花絲ハ單獨非束摺。蒴果ハ胞背裂開, ∞ ノ有
 胚乳種子ヲ藏ス, 種皮ハ有糞。

成分及效用——本科ハ *Ericolin* ヲ含ムモ *Andromedo-*
toxin ヲ不含有。藥用ノ外, 木材用器具用食用ニ供ス。

分布及種數——世界ニ一屬32種ヲ産シ, 主ニ兩半球ノ熱
 帯及亞熱帶(北米南米支日)ニ分布ス。日本産一屬一種也。

(1) リヤウボ (ハロボ, きやうボ, うまのつじ, 令法) *Clethra*
barbinervis S. et Z. [寄生] 北本四九ノ山地生五~五, 頂
 上總狀花序。[藥效] 萌芽ヲ食セハ腸寄生虫ヲ除去スル效アル
 モ, 多食セハ下痢ヲ催ス。[補考] 新芽ヲ蒸又煮食ス, 昔之ヲ摘取
 乾貯シ糖添ノ糧ニ供セリ。又飯ニ交セ炊キ冷法飯トシ, 或煤
 煮付, 又浸物トシ美味也。木材ヲ床柱・兜物細工・薪炭料トス。

Fam. (II) いちやくさう (鹿蹄草) 科 *Pirolaceae*
 (271~273圖參照)。

形質——鹿蹄草 \odot , 嬰無葉・綠腐生(寄生) \odot 。葉ハ Ψ 着又 \downarrow ,
 葉有長~短柄, 單葉無裂齒牙緣腐生者(さしりやき); 屬 *Monotro-*
pa ハ鱗片狀有柄, 白~黃褐色。花器ハ傘, 小又中形, 白~淡紅~
 或或帶綠, 單頂又頂生總狀花序。花ハ Φ , \odot , F.f = $K(5 \sim 4); \overline{C(5 \sim 4);}$
 $\overline{A_{5+5} \sim 4+4 G(5 \sim 4)}$, 花 $K(5) \overline{C(5) A_{5+5} G(5)}$; Kハ多形宿存性,
 Cハ瓦列, Aハ前科葉非C着生, 無花盤又有初期花盤(蜜腺),
 5~4子室各室含細小 ∞ 卵子; 花柱ハ單體, 柱頭ハ頭狀又盤狀,
 5~4滿裂。蒴果ハ胞背裂開, 有胚乳種子, 種子ハ被膜囊狀外皮・

271圖

多肉胚乳, 胚ハ層數細胞・霜候子葉



(271圖) いちやくさうノ花葉(原圖)
 1. 花序ノ一部(花軸・花梗・花・苞)
 2. 葉(長柄單葉), 3. 1Aノ側面,
 4. 1Aノ内面(共ニ筒孔裂ス)

4分子花絲又單1花絲。

272圖



成分及效用——本科ノ成分ニ
 澱糖体 (*Arbutin*・*Ericolin*・*Gal-*
 (272圖) いちやくさう屬ノ花式圖(原圖)
 $\dots K_5 \overline{C(5) A_{5+5} G(5)}$

uterin・*Urosol* 等) ヲ含ムモノアリ。藥用ノ
 アルモ、毒基ハ未檢出也, 又 *Androme-*
dotoxin ヲ含ムモノアリ。藥用ノ

273圖



(273圖) いちやくさうノ苞及生殖器官
 (原圖) 1. 苞, 2. G(5) 3. 蒴果

外, 觀賞用ニ供ス。

分布及属種数——世界 = 凡 10 属 35 ~ 40 種ヲ産シ、主 = 欧
亞及北米ノ温〜寒帯 = 産シ寒地植物トシテ極地寒地帯ヨリ
山岳寒地帯 = 分布スルモノ不詳。日本産 4 属 凡 20 種ヲ産シ
産、千台間ノ寒地帯〜亞寒地帯 = 分布ス。

本科ノ薬用植物：——

(1) 点せいちやくさう *Pirola minor* L. v. *genuina*
Herd. (小生) 樺北・北本(北部)ノ亞寒地帯〜寒地帯下部 = 点
生又散生。〔薬效〕生葉煎汁ヲ肺病 = 用フ。生葉揉汁ヲ止血止
痛 = 用ヒ又害虫ノ薬傷 = 塗布ス。

(2) いちやくさう (一葉草鹿蹄草、破血丹) *P. japonica*
Sieb. (*P. incarnata* v. *japonica* Koidz.) (小生) 北本
四九朝ノ山地生②、葉ハ長柄鋸齒裏非赤色。K 片楕圓非披針形
白花。〔生薬〕鹿蹄草(一葉草) *Herba Piroloae* ハ全株ヲ花期
= 採乾セルモノ也。〔成分〕本属ノ成分トシテ *Arbutin*、*Me-*
thylarbutin、*Ericolin*、*Ursolin*、没食子酸等検出セラ
レタルモ、本属ハ末詳ナルモ並カラン。〔薬效〕全草ヲ脚気及腎
臟病 = 利尿劑トシテ煎服ス。生薬ノ揉汁ヲ切傷、毒虫ノ咬傷、
薬傷 = 塗布シ有效。又收斂薬 = テ瘡刺膿又止血(切創其他)
薬トシテ 1 回 1 ~ 2 瓦煎服。生葉揉汁ハ毒蛇・毒虫ノ咬傷 =
奇效アリトシテ塗付ス。〔備考〕觀賞用 = 盆栽又庭植ス。

(3) ハクニハクニいちやくさう (紅花一葉草) *P. incarnata*
Fisch, 北・本・朝ノ山岳亞寒地帯〜寒地帯〜寒地帯 = 散生〜群
生。〔生薬〕〔成分〕〔薬效〕等凡テ同前種。

(4) おぼらめかささう (大梅生草) *Chimaphila umbellata*
Nutt. (小生) 樺北ノ山地生②。〔生薬〕葉ヲ夏期採乾シ薬用ト
ス。〔成分〕全草中 = 配糖体 (*Arbutin*, *Ericolin*)、苦味質 (*Chi-*
maphilin、*Ursolin*)、單寧 (4%)、灰分 (5%) *Chimasa-*
uric 等ヲ含有ス。〔薬效〕葉ヲ收斂薬・利尿薬 = 用ヒ、又腺病・リウ
マチ等 = 煎服ス、又強壯薬トス、1 日 2 瓦煎服 (米澤局方ト
ス)。

Fam. (III) しやくなげ (石南科) (*Ericaceae*) *Rhodoraceae*

(274 ~ 282 四参照)。

形質——互〜互、稀互。葉ハ ψ , ψ 又 ψ (3 出), 1 ~ 2 年生,
有柄〜無柄無托葉; 全縁又鋸齒縁有毛又無毛稀有腺毛。花冠
ハ小〜大形、厚美麗、瓣形、瓣房、總狀、再離、重生花序。花ハ中又
 ϕ , 5 ~ 4 ~ 3 数輪 6 ~ 7 極稀 2 x 8 数性, F. f. = K: (5 ~ 4 ~ 3); r:
(6 ~ 7); C: (5 ~ 4 ~ 3); r: (6 ~ 7); A: 5 + 5 ~ 4 + 4 ~ 3 + 3 r: 6 + 6 ~ 7 + 7 v.
5 ~ 4 v. 6 ~ 7 v. 5 ~ 9 G: (5 ~ 4 v. 6 ~ 7 v. 2 ~ 3) —, 稀 K: (5 ~ 4 r. r.);
C: (5 ~ 3 r. r.); A: 5 + 5 ~ 3 + 3 r: 7 + 7 r: 5 ~ 9 G: (5 ~ 4 r. 3 r. 7) —;
K ハ常形〜杯狀〜碗狀〜球狀或極小、稀離片 K, 稀宿存性;
C ハ互列・回折列・稀銀合列、稀斗狀・筒狀・鐘狀・壺狀花冠、稀離瓣;
A ハ稀非 C 着生、稀僅 C 基脚着生, C 裂片ト倍數時ハ外輪 A ハ
C 裂片ト對立、同數時ハ互生(此場ハ理論上 0 + 5 ト思考セテ
ル), 花冠ハ厚有毛又腺毛; 葯ハ 2 室・概テ裂形・縱裂、厚面狀
〜角狀突起 2 又 4 箇アリ。(278 及 282 四) 葯室ハ概離且

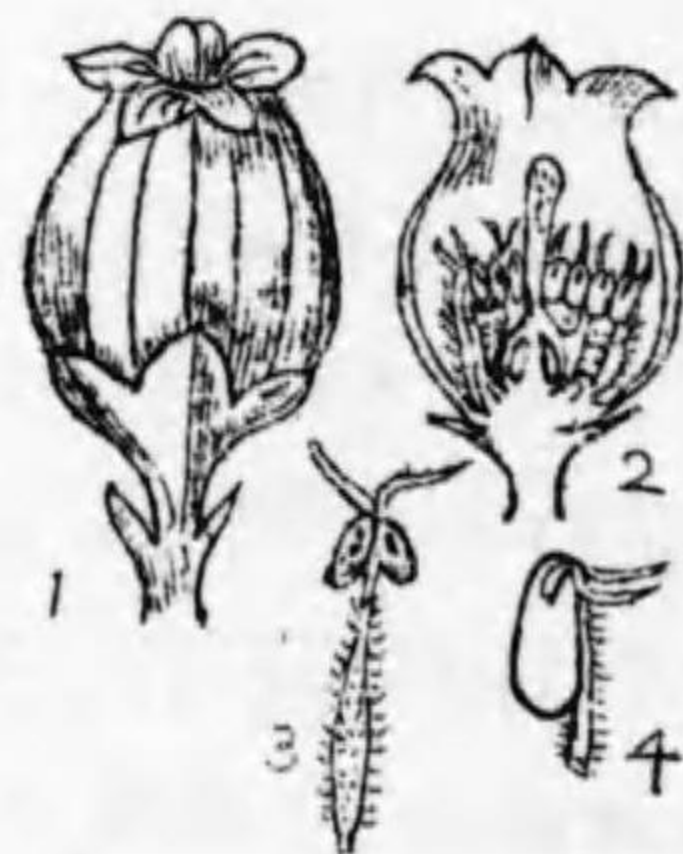
上部萼被葉, 花粉ハ4箇室結合(4分子塊); G(2~8); 子室ハ2~12, 縦3~5~7室, 各室=1~∞個生又半個生卵子ヲ載ス, 花柱ハ單本, 柱頭ハ頭狀4~12溝アリ, 花盤ハ子房下又上部ニ位シ發育不良不明~良好發育。果實ハ蒴果・漿果又核果也。

274圖



- (274圖)ニハツツジ花及解剖(原圖) 1. 花盤 = $K_{(5)} C_{(5)} A_{5+5} G_{(5)}$
- 2. $G_{(5)}$ ($K_{(5)}$ 及花梗ヲ伴フ)
- 3. 1A, 上方膨大(孔裂莖アリ)
- 4. 1本/A(無毛也)。

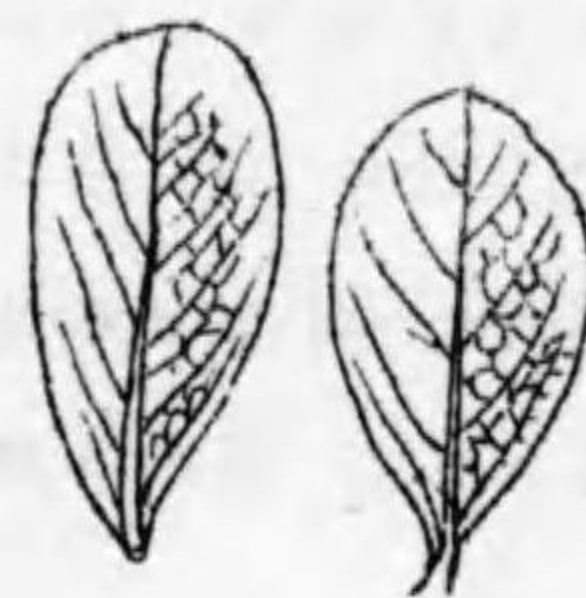
275圖



萼ハ上部ヨリ又下部ヨリ裂開ス, 漿果ハ紅・白黒・碧黑色; 種子ハ小~細小, 稀有翼, 囊狀ノ外種皮有, 有胚乳, 胚極短・不屈曲。

- (275圖)クマ-コケモモ(ウツウルシ)ノ花及解剖(原圖)
- 1. 花盤 = $K_5 C_{(5)} A_{5+5} G_{(5)}$
- 2. $G_{(5)}$ ($K_{(5)}$ 及花梗ヲ伴フ)
- 3. 1A, 上方膨大(孔裂莖アリ)
- 4. 1本/A(無毛也)

276圖



成分及效用——本科ニハ有毒性苦味質 / *Amdromedotoxin*ヲ含ム

- (276圖)クマ-コケモモノ葉即 *Uva-ursi*葉(原圖)

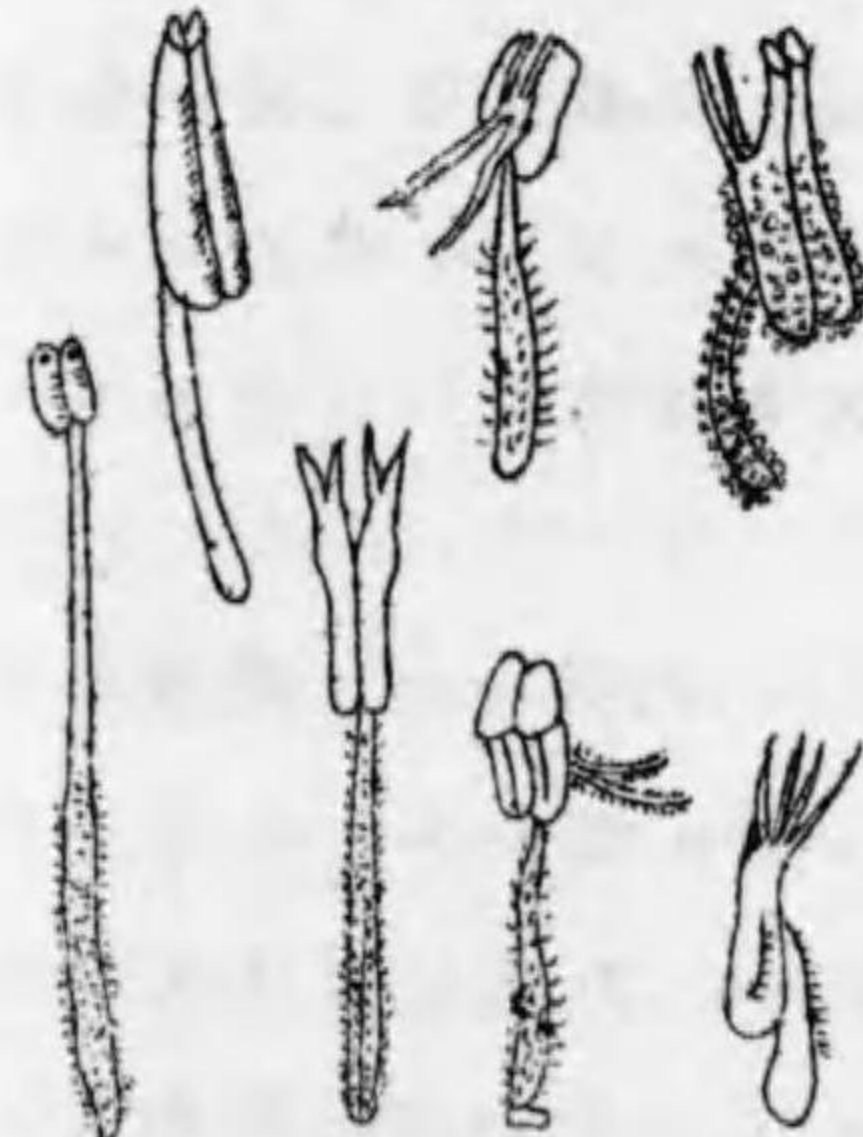
277圖



- (277圖)コケモモ屬(*vaccinium*)ノ花式圖(原圖) $K_5 \overline{C_{(5)}} A_{5+5} G_{(5)}$

ノアルニ塩基ハ未檢出也。詳細如次。配糖体 (*Arbutin*・*Methylarbutin*・*Ericolin*・*Asebotin*・*Gaultherin* (*Salicylsäure*-*Methylester*))。

278圖



Rhododendrin・*Quercetin-glykosid*

- (278圖)シユクシゲ科ノAノ諸型(諸氏ヨリ)
- 1. やま-つつじ(原圖)
- 2. 二葉ふらぐ-つつじ(中井氏)
- 3~4. あせび(矢野氏)
- 5. いは-なんてん(中井氏)
- 6. くろまめのき(中井氏)
- 7. しらたまのき(中井氏)

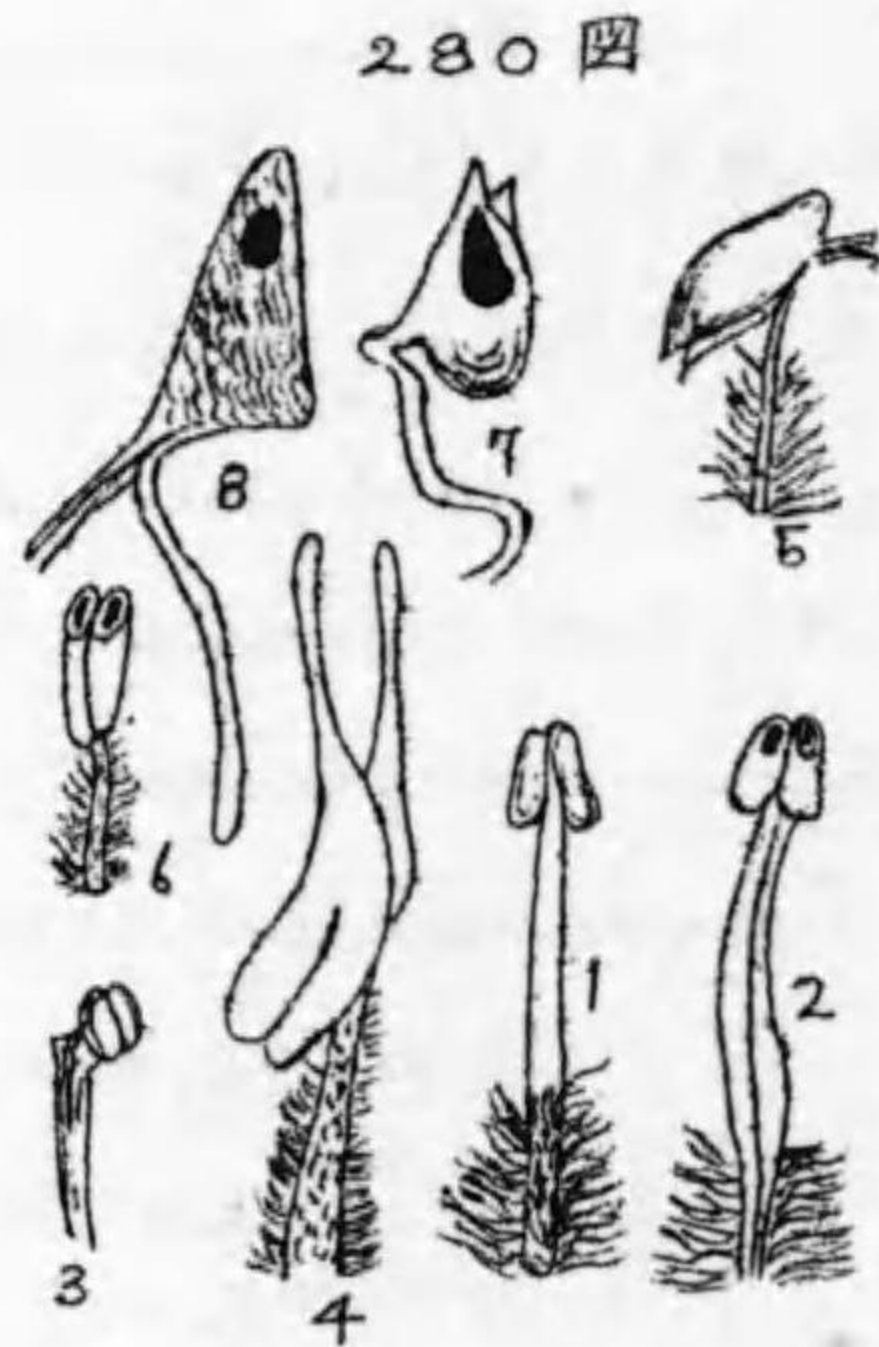
等), 苦味質 (*Amdromedotoxin*・*Grayanotoxin*・*Acebotoxin*・*Rhodotoxin*等), 有機酸 (林檎酸・枸橼酸・酒石酸・安息香酸・琥珀酸・サリチール酸, 没食子酸・癩酸・吉草酸・エラ-グ酸 *Ellagsäure*等), 其他ノ物質 (*Quercetin*・*Myricetin*・*Uron*・*Inosit*, ガウルテラーゼ *Gaulthease*・*Arbutase*等)

279圖



Myricetin・*Uron*・*Inosit*, ガウルテラーゼ *Gaulthease*・*Arbutase*等)

- (279圖)コケモモノ花粉(4分子花粉塊)(Engler氏)



280 四

(280四)しやくばけ科/A) 諸型
其二(Engler氏) 1.2 *Kalmia*
glauca 3. *Leiothyllum*
luxifolium 4. なけもも 5. 6.
Arctus unedo 7. *Erica*
Coripolia, 8. *E. tetralix*.

等也。薬用ノ外、木材料、器具用、
小細工用、観賞用(特=盆栽多
ク佳品不少)=供スルモノ多
ク、又食用果実ヲ生スルモノ多

ク、又有毒植物亦不尠。

分布及属数——世界=凡 73 ~ 75 属、1500 餘種ヲ産シ、
温帯~寒帯各地=産シ熱帯=少シ、特=極地~山岳寒地帯=
分布スルモノ多ク自然の盆栽ヲ成ス。日本=自生又栽培ス
ルモノ凡 29 ~ 30 属、175 ~ 180 種ヲ下シズ、全国=分布スルモノ
特=山地又寒地=多産シ海岸地及平原(非山原)=少シ。

本科ノ薬用植物：—— 本科ハ次ノ4 亜科=分類
ス。

Subfam. (i) しやくばけ(石南) 亜科, *Rhododendroi-*
dese 互稀又互。中又中, F. f. (*Rhododendron*
科属) = $K:5 r.4; C(5 r.4) v. (5 \sim 7 \sim 10; v(5+5) A5+5$
 $r.4+4. v.5 v. 5 \sim 10 r. 10 \sim 20 G(5 r.4) v. (5 \sim 20),$
日本産 = $K:5 r.4; C(5 r.4) v. : 5 \sim 7 \sim 10; A5+5 v. 5 r.$

$4+4 v. v+7 v. 5 \sim 10 G(5 r.4 v.7)$, 園藝品 = 譽 $G:5 \sim 10;$
 K 又 A ハ 瓣化シ稀 = G 瓣化ス稀離瓣化ス。つつじ属以外
總括 F. f. = $K:5+4; C:5 \sim 4 \sim 3; A5+5 v.5 v. 4+4 r. 3+3$
 $G(5 \sim 4 r.3 \sim 2)$, 概 $K:5; C5 A5+5 v.5 G(5)$, 薔(ちしま
つがぎくら属及つりがねのつじ属ノ一部) = $K(4) C(4) A4+4$
 $G(4)$, ほつじ属 = $K(5) C3 A3+3 G(3)$ 。花ハ概 5 稀 4 数性,
 K ハ概宿存性, C ハ概合瓣花後脱落, A ハ概重輪蒴ハ直立又長
延長無角突起, 子房上位。蒴果ハ胞背裂開(壁裂性), 種子ハ
被膜外皮要有翼。

Tribus (1) のつじ族 *Ledeeae* 常緑互~互, 葉革質, 裏
面疏密毛, 種子ハ有長翼。ほつじ属 *Tripetaleia*, のつ
じ属 *Ledum* = $K(5) C5 A5+5 v. 5 G(5)$ 。

(1) のつじと(原ぞしやくばけ, にくけい-さう, 蠟夷石南)及
其諸変種 *Ledum palustre* L. var. *Nipponicum* Na-
kai (分生)種トシテハ濰北本(北部)・朝ノ寒地帯=散生
~群生互~互。(成分)全株 = *Ledum campfex*. *Ericolin*.
Arbutin 等ヲ含ム。(薬理)莖葉ヲ誤食セバ消化器粘膜炎
ヲ起シ痲痺下痢ヲ來シ時=虚脱ヲ起セル例アリト云。(薬效)
未詳。有毒植物也。

Tribus (2) しやくばけ(石南)族 *Rhododendreae* 互~
互稀又互, F. f. = $K:5 r.4; C(5 \sim 4) A5+5 v.5 r. 4+4 G(5 \sim 4)$
 $r.(3)$ 最多シ, 但つじ(しやくばけ)属 = $K:5 r.4 v.7; C(5 \sim 10 r.$
 $4 r.7) A5 v.5+5 r. 4+4 v. 7+7 v. 10 \sim 20 G(5 r.4) r. (5 \sim 20);$

(Cm). 漏斗状又鐘状萼筒中, 種子ハ扁平, 周縁有廣翼. 胚ハ円筒形. つつじ属, 忍冬-つつじ属 *Therorhodion*, はこね-こめつつじ属 *Tausiophyllum*, つりがねつつじ属 *Menziesia* 等.

(2) しゃくなげ (石南) *Rhododendron Degromianum* Carr. f. *spontanum* Nakai [分生] 本(北中部)ノ山地ノ亜寒地帯險地ニ散生〜群生スル常緑互, 花六七月紅〜淡紅. 霜白, 成果十月. [生薬] 石南葉ハ葉ヲ採乾セルモノ也, 内卷半管状 [成分] 葉ニ結晶性苦味質 *Rhodotoxin* $C_{31}H_{50}O_{10}$, 單寧 11%, ヲキサール-ル酸 β -*Ursolsäure* 等ヲ含有ス (一説ニ牧野氏ノ *Rhodotoxin* ハ *Andromedotoxin* ナラント云). [藥效] 漢: 葉ヲ強壯劑・強精劑・催淫(陰)劑ニ煎服ス, 又鎮痛劑・解熱劑トシ感冒・頭痛ニ煎服シ有效, 又漢方醫ハ内傷藥ニ用フ. 婦人本生葉ヲ煎服セバ催經劑トナリ膈滯ヲ通シ身體強壯トナル. 又利尿劑トシ腎臟病ニ煎服ス(民). 煙草ノ代用トシ用フハ登山者ハ乾葉ヲ卷煙草ニ使用ス. 乾葉ヲ刻ミ茶劑トシテ飲料セバ興奮劑兼強壯・強精劑トナル. [藥理] *Rhodotoxin* ヲ青蛙・甘白鼠家兎等ニ注射スルニ暫時ニシテ運動麻痺・呼吸困難・四肢挛縮ヲ起シ遂ニ呼吸中樞ノ麻痺ニ依テ斃ル. 家兎及猫ノ体重1gニ對スル最小致死量ハ皮下注射0.35mg, 靜脈内注射0.18mg也. [備考] 近時本生葉ヲ長壽長命藥トシ宣傳ス. 觀賞用トシテ庭植シ又盆栽ス數百金ニ價スルモノアリ.

(3) きはな-しゃくなげ (黄花石南) *R. Chrysanthum*

Pall. [分生] 華北・本(北中部)・朝鮮ノ寒地帯(平地〜山岳)ニ散生〜群生, 花七, 八月, 黄〜淡黄, 稀紅花. [生薬] 黄花石南葉ハ葉ヲ採乾セルモノ也. [成分] 葉ニ *Andromedotoxin*, *Ellagicolins*, *Rhododendrin* 等ヲ含ム. [藥效] 葉ヲ煎服シテ鎮痛・興奮・利尿(痛風・リウマチス)藥トシ又感冒藥トス. [備考] 觀賞用(盆栽)トシ高貴也. 葉ハ有毒也ト云.

(4) りうきう-つつじ (しろ-りうきうつつじ, 琉球躑躅, 白躑躅) *R. mucronatum* G. Don [分生] 支那中部原産(?) 日本栽培. [生薬] ハ外咲ノ花ヲ採乾シ又生ノ極葉用トス. [成分] 花ニ *Quercetin-glykosid* ヲ含ムト云ヒ, 又有毒配糖体 *Andromedotoxin* ヲ含ムト云. [藥效] 花ヲ白躑躅ト欲シ利尿劑トシ又茶劑トシテ感冒・頭痛ヲ治スル. 蒸汗・解熱・鎮痛・利尿劑ニ煎服ス, 1回0.5〜0.8トス. 煎汁ハ白癬・田虫等皮膚痛ヲ治シ又雀^{ハバ}斑ヲ治シ美顔ノ效アリト云. 猫ノ咬傷ニ花搾汁ヲ塗布シ且煎服ス. [備考] 花ハ有毒也, 不可口. 庭植觀賞用トス.

(5) れんげ-つつじ (おは-つつじ, いぬ-つつじ, 羊躑躅) *R. japonicum* Swing. 北・本・四・九ノ山地生互. 花色多変化. 標準煉瓦色. きれんげ-つつじ f. *flavum* Nakai [分生] 本(中部)ノ山地生, 花甜黄色. [生薬] ハ外咲ノ花及根ヲ採乾・藥用トス. [成分] 末鮮ナルモ欧産近似種ニハ有毒成分 *Andromedotoxin* $C_{31}H_{50}O_{10}$ ヲ含ムモノ多シ, 本種ノ毒成分亦然ヲシ. 木下氏ハ根皮ヨリ *Sparassol* $G_{10}H_{12}O_2$ (*Evernin-säuremethylester*) ヲ得, 花ヨリ *Rhodojaponin* ヲ得

タリ。(藥效)漢:花又根ヲ酒ニ浸出シ内服セバ癩風・リウマチ
ス等ヲ治ス。又感冒ノ頭痛ヲ治ス, 1回 0.5~0.8 瓦煎服。以
上花ハ劇毒アル故要注意。民:花ヲ便所ニ投入シ蛆ノ発生
ヲ豫防ス。(備考)庭植シ觀賞用トス。

Tribus (3) つがぎくら(柗櫻)族 *Phyllodoceae*
5~2, K(5~4) C(5~4) A5+5 v. 5 v. 4+4 G(2~5), ちしま
つがぎくら屬 *Bryanthus* ハ 4 数花 K(4) C4 A4+4 G(4), 他
ハ 5 数花, みねすわら屬 *Loiseleuria* A5 G(3~2), つがぎくら
屬 *Phyllodoce* G(5).

Subfam. (i) ひめ-しやくなげ(姫石南)亜科 *Andromedoi-
deae* (*Archutoideae*) 又 あせひ(檜木)亜科. 5~5~2,
F. f. = K(5 r. 4); C(5 r. 4) A5+5 r. 4+4 G(5), r. (4), 概 K(5)
C(5) A5+5 G(5) 兼 K5 或 K(4) C(4) A4+4 G(4) (つりがねの
つじ屬ノ一部及はりがねかつら屬)。花ハ概 5 輪 4 数性, C(2)
合瓣, Aハ重輪萼ハ概有角状突起又長ク管状伸長, 漿果又核果
或房裂性蒴果, 種子ハ 3 稜性・類円形又卵形等。概寒地帯へ亞
寒地帯産ノ寒地植物多ク, 稀寒葉潤葉樹帯産也。

Tribus (1) ひめ-しやくなげ族 *Andromedae* 5~2,
K(5); C(5) A5+5 G(5). 鞘果ハ乾性, 房裂性。くまこけもも屬,
あせひ屬, いは-なんてん屬, ねがき屬, ひめ-しやくなげ屬 *Andro-
meda*, いはひけ屬 *Cassiope*, こめばつがぎくら屬 *Arct-
terica*, やあつつじ屬 *Chamaedaphne*, いはなじ屬 *Epi-
gaea*, べに-どうだん屬 *Meisteria*, どうだんつじ屬

Enkianthus, ちむかで屬 *Harrimanella* 等。

(6) はなひりのき(水藜蘆, くさめのき) 及其諸変種 *Leu-
cothoe Grayana* Max, v. *intermedia* H. de Boiss.
(分生) 産トシテ樺・北本(各部特ニ北中部)ノ山地ニ点生へ散
生, 稀群生。(生薬) 木藜蘆葉ヲ採乾薬用トス。(成分) 葉 = *Para-
metoxin*・桂皮酸並ニ 3 種ノ結晶性成分 *Grayanotoxin*
(I) C₂₂H₃₆O₇ (II) C₂₀H₃₂O₅ (III) C₂₀H₃₄O₆ ヲ含有ス。其含
量六月下旬頃ハ痕跡, 十月頃ハ最多シ。(薬用) 葉ノ煎汁ハ家畜
ノ皮膚ヲ洗ヒ寄生虫ヲ駆除ス, 又殺虫剤トシテ赤痢・田虫毛虱
等ニ塗布ス。又湿田ニ踏入レ害虫ノ発生ヲ豫防シ, 便所ニ投
入シ蛆ヲ殺シ且発生ヲ豫防ス(施々木氏ノ実験ニ依レバ 3
斗ノ便壺中ニ葉粉末 200 (750 瓦) 瓦ヲ投入セルニ蛆ハ 3 日以
内ニ完死滅シ, 其後 32 日間新ニ蛆ノ発生ヲ不見ト)。葉ヲ揉ミ
嗅ゲバ激烈ナル噴嚏ヲ惹起ス。(薬理) *Grayanotoxin* ハ其
生理作用稍 *Andromedotoxin* = 類似ス。静脈内注射ニ
依ル家兔ノ最少致死量ハ体重 1 匹ニ對シ 0.4 匹ナルモ, 内服
ニ依レバ其 40 倍ニテモ中毒症状ノミニテ不死ノ場合アリ。
本物質ハ呼吸毒ニシテ家兔ノ死因ハ呼吸中枢ノ興奮性減少
ニ依ル呼吸ノ静止也。局所作用中最著甚ナレバ激烈ナル噴
嚏ヲ惹起スルニアリ。

(7) あせひ(あせば, うまくはす, 馬酔木, 檜木) *Pieris japo-
nica* G. Don (分生) 本(中南部)・四・九ノ山地山帯産也。
(生薬) 馬酔木葉ヲ採乾薬用トス。(成分) 葉ノ有毒成分ハ苦味

質 *Asebotoxin* *Asebotoxin* (*Andromedotoxin*)
 = 其他 *Asebotin* (*Phloridzin-monomethyläther*)
 $C_{24}H_{28}O_{12}$ 也, 其他 *Aseboquercitrin* $C_{15}H_{10}O_7$ *Asebo-*
purpuricin 等ヲ含有ス。 *Asebotoxin* ハ木部ニモ含有ス。
 [藥效] 乾葉ノ煎汁ヲ殺虫劑 (家畜皮膚病寄生虫, 蠅, 蛆等) ト
 シ又人体寄生虫 (毛虱, 疥癬, 白癬等) 駆除藥ニハ其濃煎汁ヲ
 塗付ス。又農用殺虫劑 (標虫, 根切虫, 夜盜虫, 葉虫, 綿虫等) ニ使用
 シ且蛇毒ニ有效。即生葉ヲ10倍量ノ水ニ煎シ之ヲ10倍ニ稀
 釈シ使用ス, 生葉粉末ハ煎汁ニ比シ效力強ニ強シ。樹皮ニ同
 様有效也, 即樹皮又葉3匁ヲ水1升5匁ニ入レ5匁ニ煎詰メ
 之ヲ3倍ニ稀釈シ用ルカ又之ニ石灰, 硫黃等ヲ適宜混入セバ
 一層ノ效アリ。噴霧器ニテ行フ草花, 作物ノ害虫駆除ニ最適
 セリ。又葉粉末ハ河豚中毒ヲ解毒スト云。[藥理] (1) 馬酔木
 毒 (*Asebotoxin* 毒性ハ *Aconitin* 毒ニ類似シ主ニ呼吸中
 枢麻痺ニ陥リ死ス) ニ依ル血圧下降ハ主ニ頸髓以上ノ血管運
 動神経中枢ノ弛サルノ結果也。蛙ノ心臓制止神経ハ何等ノ
 影響ヲ蒙ル事ナシ。体重1匁ニ付1匁ナレバ末梢血管拡張
 ノ際, 心臓ニ還流スル血液減少ノ結果, 心臓ノ容積減少シ搏動
 緩慢トナル。大量ハ更ニ心室ノ顯著ナル蠕動ヲ起ス。致死
 量ハ皮下注射ニテ体重1匁ニ付鳩 0.1~0.2 匁, 家兔 0.25 匁, 犬
 0.3 匁, 猫 0.45 匁也。(2) 牛馬本葉ヲ食セバ麻痺ニ陥リ昏睡ス, 故
 ニ馬酔木ノ名アリ。[備考] 有毒 (葉) 植物ナレド觀賞用トシ
 公園又庭園ニ植栽花ヲ賞ス。

(8) ねぢき (かしをしみ, 絞木) *Xolisma elliptica*
Nakai (寄生) 本・四・九ノ山地生落葉互, 花五六月・成果十月。
 [藥效] 絞木ヲ酒ニ浸シ内服セバ陽道ヲ益スト云, 即滋養劑又催
 經(淫)劑トナルモノナランカ。[備考] 觀賞用ニ栽培ス。材堅硬・
 緻密炭トシ漆塗劑キ出シニ用フ, かしをし炭是也。葉ニ毒アリ,
 昔伊勢明野牧場ニテ三頭ノ羊ニ此葉ヲ與ヘシニ忽中毒シ
 數時ヲ出ズンテ尽ク斃死セリト云。

○ くまこけもも (ツワウルシ) (275~276 四) *Arctosta-*
phyllos uva-ursi Sprengel (寄生) 北歐地方, 中部山岳
 地方 (ノルエー, スウェーデン, 露國), 西比利亞地方・オホック沿
 海地方, 北極太・カムチャツカ等ニ産スル常緑互, 莖ハ蔓匍匐, 長
 1米, 花白又淡紅垂狀。短總狀, 核果ハ大豆大赤色也。[生藥] ツ
 ワウルシ (烏華烏爾矢) 葉 *Folium Uva-ursi* (276 四) ハ葉
 ヲ夏秋ニ採乾セルモノ也, 長2~3 釐, 厚質, 倒卵形~廣三角形
 又倒卵狀, 莖形。[成分] 葉ニ配糖体 *Arbutin* $C_{12}H_{16}O_7 + \frac{1}{2}H_2O$
 (結晶性), *Methylarbutin* $C_{13}H_{18}O_7$, *Ericolin* (以上無晶
 形); 中性化合物 *Ursone* $C_{30}H_{48}O_3 + 2H_2O$, 没食子酸 *Gallus-*
säure 及鞣酸 *Gerbstoff* 等ヲ含有ス。有效成分 *Arbutin*
 ハ酸又 *Emulsin* ニ逢ハバ葡萄糖ト *Hydrochinon* = 水
 分裂ス。[藥效] 生藥ヲ煎服シテ腎盂炎・膀胱炎・尿道炎・(以
 上主ニ淋疾ニ基ク諸症) 等ノ收斂性利尿防腐藥トシ淋病及
 尿道諸疾患ニ重要ス。局方ニウワウルシ葉ハ收斂性利尿防腐藥
 トシ1日量 10~20瓦ヲ1日數回煎劑・茶劑・散劑等トシテ用フ,

弱キ利尿作用アリ、又陣痛ヲ促進スル作用アル故妊婦ハ禁忌ス。本生薬ハ尿消毒薬ナル故尿路ノ加答児状態中膀胱炎ニテ放毒臭・滲濁セルあるかり性尿ヲ排泄スル者ニ著效アリ。
 (薬理) 煎汁ハ利尿及防腐作用ヲ有シ尿ヲ長ク放置スルニ腐敗セズ、其防腐成分ハ未詳ナルモ *Arbutin* ノ作用モ恐ク其一部ナルベク、本物質ハ弱消毒作用ヲ有シあるかり性尿中ニテヒドロキノリンヲ分解ス。
 (処方例) 尿消毒防腐(淋病)薬...
 ツウルシ葉(7.0) 100,0ウロトロピン 1.5 苦味丁錫 2.0... 以上1日量3回分服(食後)。

Tribus (2) うらしまのつば族 *Arctueae* 5~2, $K(5-4) C(5-4) A5+5 V.4+4 G(5-4)$, 蒴ハ有開節有2角。漿果又核果。うらしまのつば屬 *Arctous*。

Tribus (3) しらたまのき族 *Gautherieae* 5~2, 蒴上部ハ無角又有4角、漿果又蒴果ハ多肉質ニ成育セル $K=$ 四レ假果ヲ成ス。あかもの屬 *Diplycosia* 及しろもの又しらたまのき屬共ニ $K(5) C(5) A5+5 G(5)$, はりがねかづら屬 *Chio-genes* $K(4) C(4) A4+4 G(4)$ 。以上3屬果ヲ見レバ子房下位ノ觀アリ、勿誤。

(10) しらたまのき(しろもの) *Gaultheria Miqueliana* *Takeda* (分生) 樺・南千・北・本(大山以北)ノ寒地帯稀ニ亜寒地帯ニ散生〜群生スル常緑木。(生薬) 葉ヲ採乾薬用トス。(成分) 葉ニ次記ノ揮発油ヲ含有ス。(薬效) 葉ヨリ防腐剤ヲ製ス、又「リウマチス」薬トシ1回1~3瓦煎服ス。(備考) 觀賞用トシ、

果ハ可食。

(11) あめりかしらもの(あめりかしらたまのき) *G. procumbens* L. (分生) 北米産ノ常緑小木。(生薬) 葉ヲ薬用トス、冬綠油ヲ採取ス。(成分) 葉ヨリ蒸溜スル揮発油ハ冬綠油 *Wintergreen oil* ト称シ、その成分ニ *Methylsalicylat* ヲ主成分トシ、並シ後者ハ葉中ニ存スル配糖質 *Gaultherin* ノ分解ニ依テ生成ス、此配糖体 *Uron*, 其他 *Glucose* ヲ含ム。(薬效) 葉ヲ冬綠油製造原料トス、又「ロイマチス」防腐薬・化粧料トス。

Subfam. (iii) こけもも(越橘)亞科 (281~282 圖) *Vaccinioideae* 5~2~2, 花ハ \oplus , 4~5数性, 子房下位, 漿果。まのき屬ニ $K(5-4) C(5-4) A5+5 V.4+4 G(5-4)$, あくしは屬 *Hugeria* 及つるこけもも屬 *Oxycoccus* = $K(4) A4+4 G(4)$ 。

281 圖



- (281 圖) みるおのす *V. Myrtillus* L. ノ花・果・及解剖
 1. 花 (Giesenhagen 氏).
 2. 全解剖 (花ノ縱断面) (Engler 氏).
 3. 全漿果 (Giesenhagen 氏).

282 四



(282四) みるちるすの花形式図(Engler氏)
K(5) C(5) A5+5 G(5)

(12) みるちるす (281~282四)

Vaccinium Myrtillus L. (糸生)

歐洲産小丘高30 厘、枝條ハ緑色・有棘、

花ハ腋生・双出、赤色、漿果ハ霜着黒色。(生薬)みるちるす実 *Fru-
tus Myrtillus* ハ熟果ヲ採乾セルモノ也。(成分)果 = Myr-
thillin (配糖体)ヲ含有ス。(薬效)生薬ハ下痢トシテ用ヒ、
又糖尿病藥トシテ血糖降下作用ヲ有ス。

(13) くろまめのき (たけぐみ, ツルチユク... 朝鮮語, 黑豆木)

Vaccinium uliginosum L. (糸生) 樺千北・本・(中北部)

帯ノ寒地(平地~山岳)帯産寒地植物、高15~30 厘、淡緑白堊状
花、漿果ハ碧黒・円~楕円。(生薬)漿果ヲ生食又採乾薬用トス。

(成分) 葉 = Hyperin (Quercetin-3-monogalactosid)

$C_{21}H_{20}O_{12}$ 並 Ursolsäureヲ含ム、Arbutinヲ不含有。果実
= 蔗糖轉化糖・林檢酸等ヲ含有ス。(薬效)熟果ヲ生食セハ頗美

味也、滋養強壯劑トナリ又止渴劑トナル、又Lシヤム^{アントチアン}ヲ製シツ
ルチユク^{アントチアン}酒ヲ製ス(朝鮮)。果汁ハ花青素ヲ多含スルニヨリ

Lシロップ^{アントチアン}類ノ着色=直ス。(備考)觀賞用(盆栽等)トシ、果
ヲ食用=供ス。白砂糖ヲ加ヘ食セハ美味優葡萄酒、北鮮、北千島
多産ス。

O(14) こけもも (越橘) あいぬ名-ふれつぶ) *V. vitis-
idaea* L. (糸生) 樺千北・本・四九・朝・ノ寒地帯及遺存寒地

帯産リ、漿果ハ球形紅熟。(生薬)^{コケモモ}越橘葉 *Folium Urtisidaese*

(局方)ハ葉ヲ採乾セルモノ也、楕円形~倒卵形・微齒縁・上面平滑・
下面有短毛。本葉及らわらるし葉ノ冷水浸液=硫酸第一鉄

溶液ヲ加レバ前者ハ淡紫色・後者ハ藍黑色ヲ呈ス。(成分)葉 =
Arbutin $C_{12}H_{16}O_7$ (配糖体) 4~6%、Ursol $C_{30}H_{48}O_3$

單寧・Iso-quercitrin $C_{21}H_{20}O_{12}$ ・Hyperin (前記)等ヲ含
有ス。Arbutinノ含量ハ5月最盛ニテ8~11月最高也。果

皮ノ紅色素ハIdaein $C_{21}H_{20}O_{11}$ ト称スル花青素 Antho-
cyanノ一種也。(薬效)越橘葉ハ治淋藥トシテうわらるし

葉=代用ス、即收斂利尿・防腐劑トシテ尿管諸病及淋病藥也。

1日1~4瓦煎服ス。果実ハ感冒・喉腫・口腔痛=特效アリ
煎服シ或塩漬又甘露梅トシ水=添シ飲用ス。(備考)觀賞用(

盆栽)トシ、果ヲ食用トシ、又Lフレップ^{アントチアン}酒ヲ製ス(樺太名産)、又
Lシヤム^{アントチアン}トシ或菓子=用フ。

Subfam (IV) エリカ亜科 Ericoideae 互~互、花ハ概4
数性、K(4) C(4) A4+4 G(4)等、Cハ若後凋萎シ、殘留、強果、Cal-

luna、及 Erica (500種、亞弗改達)、歐園藝品也、日本=不産、
栽培ス。

第二目 櫻草目 Primulales

特徴:一 互~互又H。葉ハ ψ 又 ψ 形 ψ 、單葉無翼・全縁又鋸
齒縁。花ハ傘又 ψ 形、 ψ 、概5数性稀4~6~8数性、日本ハ

一般 = F. f. = K(4~6); C(4~6); A(4~6 v. 5+5); G(4~6)-, 概

F. f. = $K_{(5)} \overline{C_{(5)} A_5 v + 5 + 5} G_{(5)}$ 又 $K_{(5)} \overline{C_{(5)} A_{0+5} v + 5 + 5}$

G(5), Cハ極稀=雌雄合瓣, 1子室基立性基底胎座又特立中央胎座, 卵子ハ2個有シ $\infty \sim 1$ 箇ヲ藏ス, 内胚乳ハ核狀。

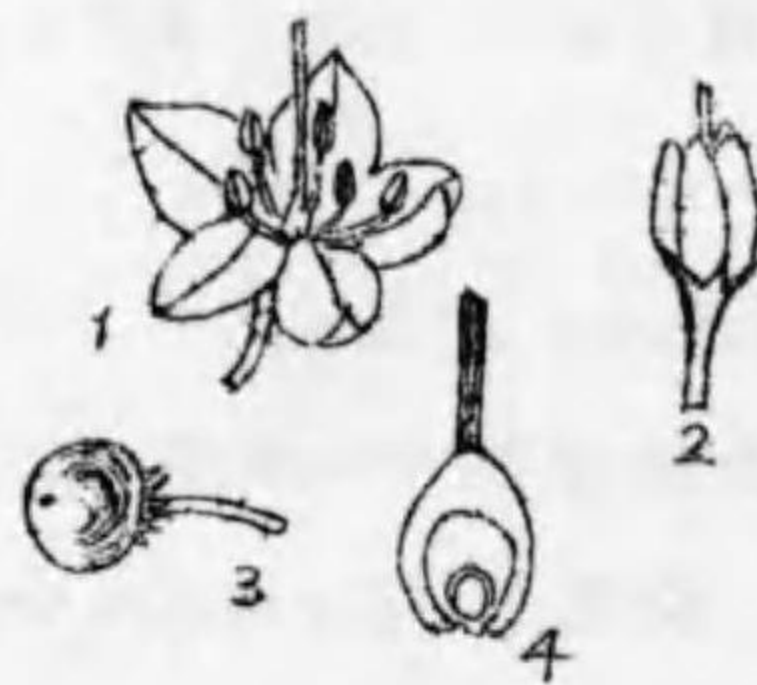
次ノ二科=分類ス。

- { 互又互, 櫻核果..... Fam. (I) 紫金牛科 *Ardisiaceae*
- { ①又②, 蒴果..... Fam. (II) 櫻草科 *Primulaceae*

Fam. (I) やぶかうじ(紫金牛)科 *Ardisiaceae*

形質——互~互, 稀又H(外回)。葉ハ ψ 着, 又 ψ 稀 ψ , 無托葉, 有柄, 常綠草質。2年生, 草葉無裂, 全緣又有鋸齒無毛又有毛又有鱗片。花器ハ傘又早合又離性小形帶白色, 繖形繖房複繖房總

283 図

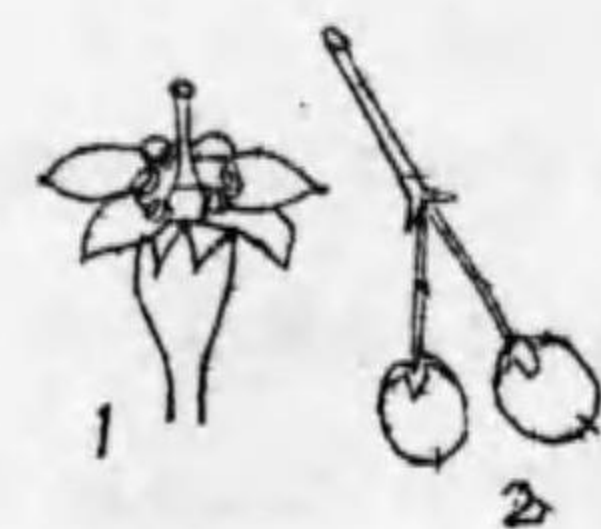


(283 図) もくたちはなノ花・果及解剖(原四) 1. 花器= $K_{(5)} \overline{C_{(5)}}$ $\overline{A_5 G_{(5)}}$, 2. 蒴, 3. 核果(卵ノ種子) 4. 子房縦断(基底胎座)

狀複總狀花序ハ頂生腋生又節圍生也。花ハ中, 概5輪4~6

数性, F. f. = $K_{(4 \sim 6)} \overline{C_{(4 \sim 6)} A_{(4 \sim 6)}}$ $\overline{G_{(4 \sim 6)}}$, 概 $K_{(5)} \overline{C_{(5)}}$ $\overline{A_5}$

284 図



(284 図) やぶかうじ科ノ花器(原四) 1. たいみん-たちはなノ花= $K_{(5)} \overline{C_{(5)}}$ $\overline{A_5 G_{(5)}}$, 2. やぶかうじノ核果

G(5); Kハ概宿存性, 稀下位子房着

生, 又離生, 瓦列希傾合列; Cハ極稀離生, 旋回(右又左)列又瓦列又傾合列; 蒴花紙蓋合; 理論上ハ $\overline{A_{(0+4 \sim 0+5)}}$, 實驗的= $\overline{A_{(4 \sim 6)}}$; 之ハ外輪=不完全Aヲ有スルモノアル=據ル; 子房ハ離生又Kト癒合シ1室, 1花柱柱頭ハ里一稀分裂, 中央特立胎座(285 図)又基底胎座ヲ有シ, 少数(1~5)又 ∞ (10~50)ノ离生・半側生・又側生卵子ヲ藏ス。果實ハ核核果, 1~少数種285 図。子ヲ藏ス, 有胚乳(角質又肉質)種子。



成分及效用——化學的=Saponin.
(285 図) やぶかうじ科ノ特立中央胎座(子房縦断)ヲ示ス(原四)

Embeliasäure, α - β -*Ardisiol*, *Oxijar-disiol*, *Gerbstoff* 等ヲ含有ス。藥用ノ外

觀賞用=供ス。
分布及屬種數——世界=40屬 1000 餘種ヲ産シ, 主=熱~亞熱帶=分布シ, 溫帶=少シ, 南米・濠洲・南洋・亞細・亞弗=分布ス。日本=自生又栽培スルモノ6屬凡25種ヲ産ス。

本科ノ藥用植物:—

(1) やぶかうじ (やまどちはな, やぶたちはな, 紫金牛) *Bladhia japonica* Fr. (外生) 北本・四・九・朝・琉台ノ山地生互, 核果ハ球形紅熟。〔生藥〕根及葉ヲ採乾藥用トス。〔成分〕根=*Embelin*=類スル結晶性物質ヲ含有ス。〔藥效〕根ヲ紫金牛ト稱シ漢方=解毒藥=煎取ス, 又根及葉又全株ヲ利尿(水腫・淋病)劑又解毒劑=煎用ス。〔備考〕葉四時不凋, 冬着紅實, 庭

砌水蓋ノ本ニ植テ遊趣有。

(2) しまいたいみんたぢはな *Rapanea Maximowiczii* Koidz. (分生) 小笠原産。葉ハ樹取針形、繖形花序ハ頂生、白色。(生薬) 樹皮ヲ薬用トス。(成分) 樹皮ハ3~5%材ハ約1% *Rapamon* $C_{18}H_{28}O_4$ ヲ含有ス、之ハ合科ノたいみんたぢはな *Bladhia Sieboldii* Nakai, ししあくち *B. quinquegona* Nakai等ノ樹皮ニ少量含有ス。 *Rapamon*ハ橙黄色板状結晶ニテ印度産合科植物 *Embelia Ribes* Burm.ノ果肉ニ含ム *Embelin* (2,5-Dioxy-3-laurylp-chinon)ノ異性体(或同一物?)也。其他樹皮ニ *Quercit* $C_6H_6(OH)_6$ ヲ含有ス。(薬效) *Rapamon*又 *Rapamon-natrium*或樹皮末ヲ駆虫薬(蛔虫・線虫等)トス。類似成分ノ前記原ベリあ実ハ印度民間線虫駆除薬トシ歐洲ニ輸入セラレタリ。(薬理) *Rapamon-natrium*ハ生理的食塩水中ニ飼養セル豚蛔虫ヲ0.2%ノ濃度ニ於テ約20分間ニ死滅セシメ、犬ノ体重1瓦ニ付1回量0.05~1瓦ニテ蛔虫駆除ニ奏效ス。3才馬ニ20瓦、4才馬ニ30瓦ヲ2日間連用セシメ蛔虫及蟻虫駆除ノ效顯著也。但腸胃腸障害・赤腸加甚児ヲ伴フコトアリ、蛋白尿ヲ不報。

(3) まんりゅう (硃砂根、水蓬珠、万両) *Bladhia lentiginosa* Nakai (分生) 本(中南部)・四・九・朝・琉・台ノ山地生。葉長楕円形、尖頭鋸齒縁、核果ハ豆大紅藏。(生薬) 根ヲ採乾シ硃砂根ト称シ薬用トス。(薬效) 根ヲ煎服シ咽喉腫痛ヲ治ス。(備考) 大小2品有、大者山野自生高2~3尺、しまんじやうト云。

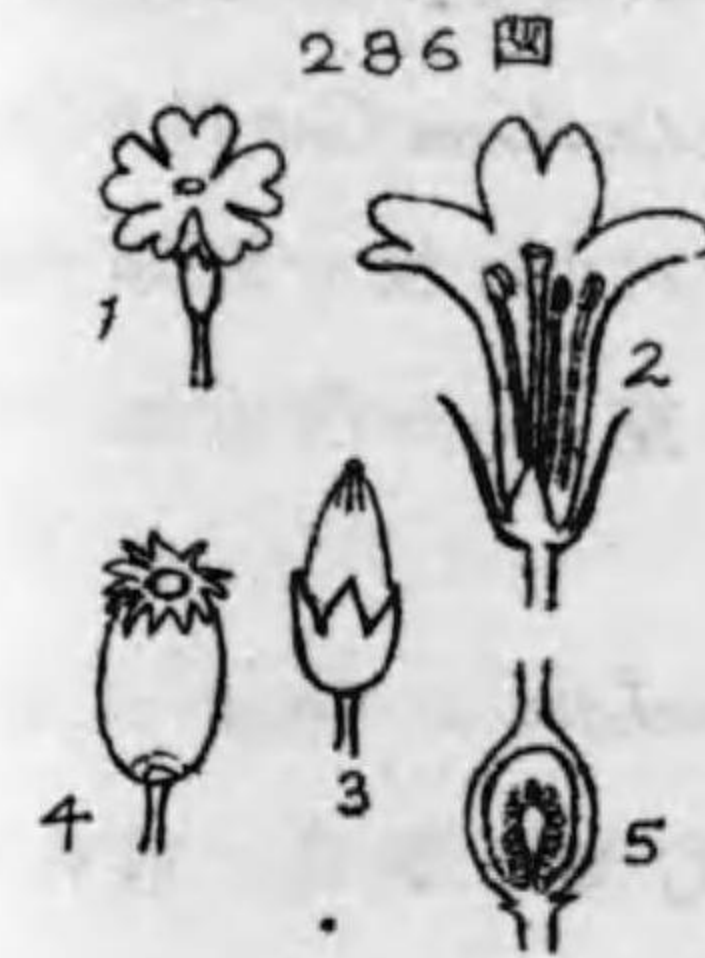
小者ヲ万両ト称シ盆栽觀賞ス、果黄白等変品多。

(4) からたぢはな (まぢはな、ころじ、百両金) *B. Crispa* Koidz. (分生) 本(中南部)・四・九・台ノ山地生。葉ハ披針形、新尖頭、鋸齒縁、核果ハ豆大紅藏。(生薬) 根ヲ採乾薬用トス。(薬效) 塊根ヲ咽喉腫痛ニ煎服ス。(備考) 觀賞用(庭植又盆栽)トス、岳産甚多ノ実ニ赤・淡紅・紫・黄・白等アリ、葉ニ多羅葉・鳳凰葉・繡子・竹葉・蕙葉等ノ岡等アリ、挿入ニニ種々アリ。

(5) いっせんりゅう (しろ・うめもどき、うばがねもち、みかどがしは、社堂山) *Maesa japonica* Moritzzi (分生) 本(中南部)・四・九・台ノ山地生。葉ハあらかし葉状、楕円形厚質、凸尖頭、鋸齒縁、白果ハ豆大、残柱頭。(成分) 果ハ有毒成分ヲ含ムニ成分未詳。(薬效) 未詳。

Fam. (四) さくらさう (櫻草科) *Primulaceae*

形質——①×②。葉ハノ着、ノ又ノ屢、有柄無托葉、單葉、無裂全縁又鋸齒縁。花冠ハ傘、細小〜小形、筒中形、白・紅・紫・黄色、美麗、微形、段咲、繖形、總狀、複總狀花序、稀單生花序。花ハ中、極



286 圖 花冠5数性 $F: f = K_{(5)} \overline{C_{(5)}} A_5 G_{(5)}$

(286 圖) さくらさう属ノ花・果及解剖
(原圖) 1. 花冠 = $K_{(5)} \overline{C_{(5)}} A_5 G_{(5)}$
2. 花ノ縱斷面(内部ノA・Gヲ示ス)
3. 蒴果 4. 蒴果ニ殘存スル柱頭 5. 子房
縱斷(特立中央胎座)

287 四



稀 $K(5) \overline{C(5)} A+5+5G(5)$; Cハ極稀=無,瓦列又回旋列; 萼外輪假Aアリ;

(287圖) さくらさう属 *Primula*, 花式四
 $K(5) \overline{C(5)} A5 G(5)$

子房1子室, 特立中央胎座=◎又◎状
=∞ノ半側生稀側生卵子ヲ着生ス;

花盤ハ不明瞭又ハ不存。 蒴果ハ有稜圧扁種子ヲ含ム, 胚ハ肉質胚乳中ニ存在即有胚乳種子。

成分及效用——本科ノ成分トシテ配糖体 *Primverin*, *Primulaverin* 及 *Saponin* 等知ラルルモ塩基・脂肪・樹脂等ヲ不含。 觀賞用ニ供スルモノ多キモ其多数ハ有毒也。

分布及属種數——世界ニ思 28~30 属 550 種ヲ産シ主ニ北半球ノ温ハ寒帯ニ多産シ其熱帯及南半球ニ少シ。 日本ニ自生又栽培スルモノ凡 2属 57~60 種アリ。

本科ノ藥用植物:—

(1) かがりびさう (ふたのまんがゆう, しくらめん) *Cyclamen europaeum* L. (分生) 南欧原産ノ山岳産◎, 球莖ハ扁球形。 (成分) 球莖ニ麻酔毒 *Cyclamin* $C_{25}H_{42}O_{12}$ (配糖体)ヲ含ム。 (藥效) 塊莖ヲ搗碎シ河中ニ投シ魚類ヲ麻酔セシメ捕獲ス。 (備考) 觀賞用ニ供シ美麗ナルモ有毒也。 品種多ク花色種々。

(2) こはすび *Lysimachia japonica* L. (分生) 北本・四九朝・琉台ノ山野ニ傍花五・六月。 (藥效) 莖ヲ搗碎シ腫物ニ貼

付ス。 無名腫物ニ葉ヲ採ミ貼付セバ或解寒或腫癰ヲ戻スコト尤妙也ト云。

(3) せいかとらのせ (とらのせ) L. *Clethroides* Duby. (分生) 北本・四九朝ノ山野生◎, (效用) 若葉ヲ煤ヲ水ヲ換ヘ浸水去渋味・塩味嗜ニテ調理シ食ス, 珍珠藥ト云。 (備考) 秋紅葉頗美也, 觀賞用トシ栽培ス。

(4) せいやか-さくらさう (きはな-くりんさう) *Primula veris* L. (*P. officinalis* Duby) (分生) 欧・小亞・原産・日本栽培ノ◎, (生薬) 根ヲ採乾藥用トス。 (成分) 根ニ配糖体 *Primverin*, *primulaverin*ヲ含有ス, 又 *Volomit*ヲ含ム。 (藥效) 根ヲレセネガ¹根代用トシ祛痰藥トシ又鎮痛(リウマチス, 痛風)藥トス。 欧洲民間ニテ葉ノ揉汁ヲ水ニ添シ與香葉・蘇汗葉トシ偏頭痛・眩暈等ニ用フ, レプリムヲ¹ト飲ス。 (備考) 觀賞用トス。

(5) さくらさう (櫻草) *P. Sieboldi* E. Morx (分生) 北本・九朝ノ山地生◎, 群生。 (生薬) 櫻草根ハ根ヲ採乾セルモノ也。 (成分) 根(乾燥品)ニ約 5%ノ *Saponin*ヲ含ム, 柳沢氏ハ之ヲ櫻草酸 *Sakurasosäure* $C_{55}H_{94}O_{18}$ ト命名セリ, 其赤血指数ハ 1:22000 也。 莖葉液汁ハ有毒ニテ塗布セバ一經ノ皮膚病ヲ起サシムト。 (藥效) 西洋櫻草根ハせねが根ニ優ル祛痰藥トシ實用セラル, 本生薬モ恐クハ同效アラン。 民:利尿藥トス。 (處方例) 劇戦性祛痰藥--- 櫻草根 1.0 甘草 1.0 水 1000 以上 1 日量 煎剂 分服。

(6) くりんさう (九輪草) *P. japonica* A. Gray (分注) 北
本ノ山地 (溪間・陰地) 生 ⊙ 段咲繖形花序 紅紫・淡紅・白花等。〔成
分〕未詳ナルモ莖葉汁液ハ刺激性ヲ有シ、皮膚ニ付レバ生瘡腫。
〔藥效〕葉ノ揉汁ヲ諸瘡ニ塗付シ腫脹ヲ去ル。又葉ヲ揉ミ諸
瘡ニ貼付セバ消炎・排膿ノ效アリ、又利尿藥 (民:) トス。

第三目 磯松目 Plumbaginales

特徴——科ノ特徴ニ同シ、次ノ一科アリ。

Fam. (1) いそまつ (磯松) 科 Plumbaginaceae

形質——互又互或 ⊙。葉ハ少葉 ↓、有柄無托葉、單葉無裂、全
緣、橢圓形ハ鏡狀倒披針形、橢圓形又盾形、上表皮ニ厚水介又石
灰ヲ分泌スル腺鱗アリ。花冠ハ傘形、小形、繖形、單又複成ノ穗
狀・頭狀・圓錐花序。花ハ中、5 數性。F. f. = $K(5) \overline{C(5)} A(5) G(5)$; K

288 圖



ハ宿存性、Cハ互列又回旋列、AハC
下部又花托ニ着生、1子室中ニ1箇

(288圖) はまかんざしノ花ノ解剖
1. $K(5) \overline{G(5)}$, 2. $\overline{C(5)} A_5$
3. 子房ヲ縱斷シテ倒性卵子ヲ示ス

ノ倒性卵子ヲ含ム、花柱ハ5ヶ分離
糸結合、花盤無。果ハ蒴果、瘦果又胞

果也、種子ハ胚乳有又無、内胚乳ハ核狀。

成分及效用——本科成分ニ *Plumbagin* ナル *Chinon* 体

ヲ見出セル他、鞣酸等アリ、他ハ不詳。藥用ノ外、觀賞用ニ供ス。

分布及屬種數——世界ニ凡10屬260種ヲ産シ、熱帯ニ寒帯
ニ産シ時ニ海岸ニ多シ。日本ニ自生又栽培スルモノ凡4屬
12種アリ。千島 (はまかんざし) 台湾 (たいわん-はまざし)
間ニ分布ス。

本科ノ藥用植物：——

(1) はまかんざし (まっ はかんざし) *Armeria vulgaris*
Willd. (分注) 北千ノ海岸ニ群生。〔生藥〕夏期、花時採乾藥用
トス。〔藥效〕全草ヲ煎服シテ利尿劑トス。〔備考〕觀賞用、磯花
壇ノ縁起トス。

(2) るりまつり (おもはながしらみ、あきまつり) *Plumbago*
capensis Thunb. (分注) 南亞弗・喜望峯産ノ互、青紫色管
狀花、繖房花序。〔生藥〕根及種子ヲ藥用トス。〔藥效〕次種同様
ト説ケ人アルモ多シ也。

(3) せいろんまつり (しまながしらみ、いんとまつり) *P.*
zeylanica L. (分注) 印度・ヒリッピン原産、台栽培ノ ⊙、葉
ハ有柄、卵形又長楕圓形、鈍又鈍尖頭、穗狀花序ハ腋生、白花。〔生
藥〕全株液汁及莖根ヲ採乾藥用トス。〔成分〕葉ハ 0.03% 根ハ 0.41
% *Plumbagin* $C_{11}H_8O_3$ (α -Methyl-8-oxynaph-
thochinon) ヲ含有ス。〔藥效〕民：本植物ノ液汁ヲ皮膚ニ塗
布セバ引赤瘰癧ス。即皮膚刺蝟藥也、又疥癬ニ有效。莖根ヲ
酒水等量ニテ煎服セバ通經劑トナリ毒蛇咬傷ニ有效 (台湾)。
根粉末ヲ米粉ト混和シテ貼付セバ自然ニ落下スト云ク

(ツェリツピン)。〔藥理〕家兎=本種ノ煎汁ヲ與レバ胎モ巴豆油ノ如ク作用シ下痢ヲ惹起シテ斃死ス。今生藥ヲ取り搗碎研磨シ人ノ下腿後面ノ皮膚ニ貼付セバ50~60分後蟻走感アリ、皮膚ハ赤腫脹シ疼痛アリ、3~5日後水泡トナル。他動物ノ皮膚ニ對シテモ同作用アリ。

第四目 柿樹目 Ebenales

特徴—— 互~互。葉ハ少稀極稀半有柄單葉概革質稀膜質、全緣稀齒牙緣、屢有星狀毛。花ハ全又稀稀雜性、 $K:(n); C(n) v. (n+n) A:n v. n+n v. n+n+n. r. \infty G(n) v. (n+n); n = 4 \sim 5 r. 2 \sim 3 v. 6 \sim 8$ 等ニ變化ス、Aハ2~3輪層ノ場合ハ假A輪層ヲ交ユルコトアリ、又退化シテKト同数トナル。子房ハ數室~多室ニ分レ、中軸(内角)胎座、各室ノ~少数卵子ヲ含ム。内胚乳ハ細胞狀。次ノ4科アリ。

- 1 { 花柱ハ合生單體ヲ成ス 1
- { 花柱ハ2~數ヶニ分離ス Fam.(II) 柿樹科 Ebenaceae
- 2 { 複子房ハ全体2~數室ニ完カシ、Aハ1~數輪層排列 2
- { 複子房ハ下部3~5室、上部1室也; A數ハ概C裂片ノ2倍數アリテ1輪層排列 Fam.(IV) 齊墩果科 Stryacaceae.
- { 子房ハ上位、各室1箇卵子 Fam.(I) 赤鐵科 Sapotaceae
- { 子房ハ上位又半下位、各室含2~4卵子 Fam.(III) 灰木科 Sympllocaceae

Fam. (I) あかてつ(赤鐵)科 Sapotaceae

形質—— 互稀互、皮部髓葉中=∞、乳汁分泌管ヲ有ス。葉ハト①着、有柄、概無托葉、單葉無裂、全緣羽狀脈。花器ハ概全輪退化シ雜性、小形稀稍大形、腋生單立又叢生又旧葉腋ニ發出。花ハ中、F.f.= $K:2+2 \sim 4+4; C(4 \sim 8) r. (4+4 \sim 8+8) A_{4+4} v. 4+4+4 \sim 8+8 v. 4+4+4 G(4 \sim 8); K$ ハ稀=∞; Cハ互列、屢体側枝又背部附屬物アリ; Aハ2~3輪ノ場合ハ外輪ハ假Aトナルカ又不發育; 子房ハ4~8子室、各室ニ1ヶノ倒生又半倒生卵子ヲ含ム。2卵膜、下向卵孔; 花柱ハ單体、柱頭ハ不明瞭; 花盤ハG下ニ發達シ又不發育。果實ハ漿果、種子ハ胚乳有又無。

289 四



(289四) グツタヘルカノミノ花果葉及(4)あかてつ屬1種ノ子房ノ縱断面 (Engler氏) 1, 2 (Berg u. Schmidt氏) 3. (Burch氏) 1. 葉. 2. 花 $K_{(3+3)} C_{(6)} A_{6+6} G_{(6)}$ 3. 漿果.

成分及效用—— 成分トシテ 2, 3, 1 配糖体、Guttapercha, Saponin, 有機酸(林檎酸、酒石酸、枸橼酸)、脂肪、Cumarin, Gerbsaure, 苦味質等ヲ含有ス。木料ニハ彈性ニ似テ類似ノGuttapercha原料植物ヲ始メ、木材用、油用植物或食用果實ヲ生ズル植物アリ。

分布及属種數——世界=凡32属 600 餘種ヲ産シ、主= 蘇端=分布ス。日本= 自生又栽植スルモノ 3属 6種アリテ 南九州台湾間=分布(小笠原モ)ス。

本科ノ藥用及有用植物:—

○(1) グッタパルカのみ (289四) *Palaquium Gutta* Brusk, 及 *P. Leerii* Hass. (分生) 馬來半島・ボルネオ島・ 其他印度諸島産ノ常緑性葉ハ倒卵形シ、花旧腋生、小形6数 花。(生薬) 樹幹ヲ環刻シ膠出スル乳液ハ凝固シ海绵状ノぐ ったるるか(ニ如樹脂)ト成ル。之ヲ湯中ニ程テ汚物ヲ去 リ乾燥ス。近時乾燥葉ヲとるおーるニテ浸出シ抽出シ本生 薬ヲ製ス。Guttapercha ハ赤褐大理石樣証候アル軟塊ニ テ、50°~60°ニテ柔軟化シ、更ニ高温ニテ溶融シ多少分解ス、 くるろぼるむ、硫化炭素、石油、元一てる等ニ溶解ス。本品ハ水 液ノ浸襲ニ抗シ、電気及温熱誘導性弱ク、心ヲ採取シ貴重特性 ヲ毎々尋常モ彈力ニ由ルニ不異、唯大気ニ暴露ニ不永存也。(成出) 本品ハ主ニ *Gutta* (75~82%)ナル無晶形ノ炭化水素 $C_{10}H_{16}$ ヨリ成ル、其他 *Fluavil*・*Alban* 等晶質物ヨリ成ル。(藥 效) 準局・*Guttapercha* ヨリ局方・ぐったるるか液 *Liquor Guttaperchae* (一名とらうまぢちん *Traumaticinum*) ヲ製シ *Collodium* ト同様巻法及繃帶液ニ使用シ、又皮膚瘡・爛 火傷・鱗屑性皮膚病等ニ塗布奏效ス。又本液ヲ歯科材料(填 齒料)トス。(備考)本品ハ醫藥用ノ外、器具(什器・器械等)製 造料トシ用途汎シ。

(2) バラタ *Mimusops Balata* Gaertn. (分生) 熱帯 (西印度諸島及中米)産ス。(生薬) *Balata* ナル樹脂ハ樹幹 ヨリ乳液ヲ採取凝固セシム性状 *Guttapercha* = 不異。(藥 效) ぐったるるかニ代用シ效用同一也。

Fam. (II) かきのみ (栲樹) 科 *Ebenaceae*

形質—— 莖又枝、材ハ堅硬、心材概黒〜黒褐色、輪紅白又緑色。 葉ハ概シの着、稀シ又ヤ、有柄、無托葉、1~2年生、單葉無裂、全 縁。花唇ハ傘又卵形又雜性、小又中形、腋出單生又繖房(聚繖 花ニ説有)・總狀花序、花ニ果実花ト

290 四



ト云説有)・總狀花序、花ニ果実花ト
(290四)かきのみ、花・果・種子・及解剖
(1. 中井氏 2, 3 原四)
1. 花唇(♀)縦断四 = $K(4)C(4)A+8G(4)$
2. 幼果(伴齒年K), 3. 種子ノ縦断
(胚及胚乳ヲ見ル)。

291 四



ト云説有)・總狀花序、花ニ果実花ト
注. F. f. = $K(3+4+7)C(3+4+7)A$
: $3 \sim 6 \sim 8 \sim 16 \sim 50 \sim \infty$; $G(3+4+6 \sim$
(291四)しなのかき(ニがき)ノ
花・果(1. 2 中井氏, 3 原四)
1. 傘 = $K(4)C(4)A+8G+$
2. 傘ノ縦断四, 3. 漿果
 $12 \sim 16 \gamma, 2$, 又 $K(3+7)C(3+7)A$

(2~16~∞); G(2~16); Kハ瓦列又螺旋列, 宿存性萼花後肥大; Cハ壺狀鐘狀又筒狀裂片ハ螺旋列稀瓦列又鱗片列; AハC着生又子房下着生, 合ハ6~50以上・16最多, 早ハ減數且假A多シ, 母單體A; 子房ハ2~16子室 (概3~12), 各室1~2ヶ懸垂性ノ側生卵子ヲ含ム; 花柱2~4ヶ離生又基部合性柱頭ハ無裂又2裂, 無花盤。果實ハ概漿果, 扁圓~橢圓形, 種子ハ有胚乳, 種子ハ少數, 種皮厚。

成分及效用——果實=糖類及酸類ヲ含有ス, 其他本科= Mannan・Tannin・林糖酸・Phloroglucotannidヲ含ムモノアリ。本科=ハ藥用ノ外堅硬美麗ノ良材ヲ供スルモノ多ク又甘美食用果實ヲ生サルモノアリ。

分布及屬種數——世界=凡テ屬320餘種 (5屬280餘種ト云) ヲ産シ南亞弗ヲ除キ世界各地ニ分布シ特ニ熱帶=多産ス。日本=自生又栽植スルモノ凡テ2屬12種アリ。

本科ノ藥用及有用植物:—

(1)かき (かきのき, 柿樹, 柿) *Diospyros Kaki* Sieb. v. *domestica* Mak. (分生) やまがきヨリ出テシ栽培品, 自生無シ。やまがき (山柿) v. *silvestris* Mak. (分生) 本(信州・中國等各地)・四九(北部)ノ山地山麓生ノ落葉木, くろがきト云, かきノ原種也, (分生)。〔生藥〕柿蒂 *Calyx Kaki* ハ果實ノ宿萼性ヲ惹起セルモノ也, 淡綠又黃褐色, 4分裂, 内面有毛, 外中央有果柄, 味苦ヲ收斂性也。柿實 *Fructus Kaki* ハ熟果及未熟果等ヲ云フ。〔成分〕柿蒂ハ融点

275°ノ無N結晶性物質ヲ含有ス。果肉ハ轉化糖約16% 澱維酸(主ニ林糖酸)0.3%・單寧・酸化酵素, Mannit等ヲ含シ, 黄色ハCarotin・Lycopin・Zeaxanthinester等ノCarotinoid色素ニ依ル。乾柿(ころ柿)ノ表面ニ生ズル白粉ハMannit也。柿液液=ハShikicol C₁₄H₂₇O₇ナル單寧様物質(Gerbsäure様物質)ヲ含有ス。種子ノ胚乳中ニハ多量ノMannanヲ含ム。〔脱澱法ト其理論〕柿液ノ脱澱法ハ(1)酒精内(酒精分残留)ニ詰メ密封(又果尻ヲ酒又酒精浸シ樽内ニ密封)スルガ(2)果ヲ30~40°温湯ニ浸シ12時間放置スベシ。之等方法ハ細胞ヲ死滅セシメ其中ノ酸化酵素ヲシテ胞間蓄積ノ單寧ヲ酸化セシメ無味物質トナスニ依テ脱澱ス。此柿果糖量ニ殆変化無シ。〔藥效〕漢: 柿蒂ハ吃逆ノ制止劑トシテ煎服, 1回3瓦。又蒂ト生姜ト混和煎服シ吃逆ヲ制止シ又放寒葉トス。咳又百日咳=ハ柿蒂10瓦, 蘇子仁10箇・水砂糖15瓦・水500CCヲ半量ニ煎詰メ1日3回ニ分服セバ治ス。白柿(老柿, ころ柿)又ハ柿霜(白粉)ヲ飲下シ鎮咳藥トス。未熟果汁ハ下痢止ノ效アリ。又柿液ヲ飲下シ吐血ノ止血劑トス。熟果ハ滋養強壯劑トナリ又酒毒ヲ解シ宿醉ヲ治ス。生果ヲ小兒食セバ疳ヲ治ス。果實ヲ味噌汁ニ入シ食セバ盜汗ヲ治ス。豆腐ノ中毒=果ヲ食シ或ハ葉ヲ煎服ス。淡柿葉1枚ヲ水2合ニテ半量ニ煎ジ1日3回7日間連服セバ腹小便(夜尿症)ヲ治ス。淡柿果ヨリ柿液ヲ搾取シ紙綱其他ニ金布シ強硬度ヲ增加ス。〔藥理〕^{沙リ} 吃逆ノ原因ト

シテ横隔膜ノ透率・神経的感應・腹膜炎・ヒステリー、子宮病・胃病・
 痰核線炎等ヲ救フハシ、柿蒂ノ吃逆ニ對スル藥理ハ不明ナル
 モ經驗的ニ奏效ヲ認ム、(處方例) (1) 吃逆制止藥... 柿蒂 8.0
 水 50.0 ... 以上煎劑頓服。(2) 鎮咳化痰藥... 柿蒂 5.0 烏梅
 3.0 水 100.0 ... 以上 1 日量煎劑分服 (3) 柿蒂湯 (治吃逆)
 ... 柿蒂・丁香各 8.0 生姜 3.0 水 100.0 ... 以上煎劑トシ頓服。
 [備考] 果ヲ食用トス美味無比。渋柿ヨリ渋ヲ採ル。木材ヲ器
 具用・製飾用トシ心材 (黒柿)ヲ最貴重ス。柿ノ品種、(1)
 五所柿 (大和柿、木ねり)... 扁方形・枚少シ、(2) 小ねり...
 尖形円小形、(3) 平大ねり (煎餅柿)... 前者ニ似テ平柿、
 (4) 單柿 (烏帽子柿)... 形細長・頭尖ル (5) 八溝柿 (八溝
 柿)... 縦ニ 8 稜稜アリ、窪凹ス。(6) 尾張柿 (黄柿)... 円球形
 2 寸余黄熟・被白粉、(7) 蜂谷柿 (美濃柿)... 大形尖頭、白柿ト
 ス、(8) 百奴柿、(9) 台柿、(10) 木ざはじ緑色ニテモ渋ナシ。

(2) しなのがき (信濃柿) *D. Lotus L. var. glabra*
 Mak. [分生] 本(中南部)四・九・朝・琉・ノ山野ニ自生又自生
 狀ノ莢、花六月・成果十月・十一月・暗紫黄色、葉初有毛後無毛、
 果ハ球形或廣楕圓形。まめがき (こがき、豆柿、小柿) *var.*
typica Mak. [分生] 朝・支・(支那以西コーカサス迄) 産
 大陸産、葉ハ幼葉ト共ニ有毛、花五月・果十月、球形又卵形・暗
 紫熟。[生藥] 柿蒂・柿渋・果実等ヲ採取ス。[藥效] 柿蒂ハ吃
 逆止藥トシ果ヨリ柿渋ヲ搾取ス前種同様ニ用フ。果ヲ瘡ノ
 病ニ用テ有效、用量適宜。[備考] 熟果ハ食用トス。材殊

黒柿(心材)ハ諸器具製作ニ賞用ス。

(3) こくたん (黒檀) *D. peregrina Gürke* (分生) 印
 度・馬來産常緑莖、(48)、果ハ球形赤黄色・徑 5 釐。(藥效) 未熟果
 ヨリ渋汁ヲ搾リ綱織具綱罽ノ塗料トシ強韌性ト耐久性ヲ増
 加ス。[備考] 果ヲ食用トス。材ハ黒色・堅硬・美麗・床柱諸器具
 等唐木細工トス。

Fam. (III) はひのき(灰木)科 *Symplocaceae*

形質 — 莖又互。葉ハ、有柄無柄無托葉、單葉無裂、上鋸
 齒縁稀全縁、1~2 年(常緑)生。花冠ハ傘形雄蕊、小又中形腋
 生又頂生、穗狀總狀円錐又單生花序。花ハ中、概 5 数性、F. f =
 $K(5) \overline{C(5) v. (5+5) v. (3 \sim 11)} A: 5 \sim \infty; \overline{G(2 \sim 5)}$ 、日本概
 $K(5) \overline{C(5) A: \infty; \overline{G(2 \sim 3)}}$ (Aハ 5 体); K 筒ハ 1 部又全部
 子房ニ着着、互列; Cハ深裂・互列; Aハ C 着生、1~3 稀
 4 輪層ニ排列シ 3~5 体(米)ニ結合ス; 子房ハ 2~5 室、各
 室 2~4 ヲ含ム; 雄蕊性側生卵子ヲ含ム; 花柱ハ單体、柱頭ハ
 頭狀又 2~5 溝アリ、無花盤。果實ハ各室 1 種子、不裂開、
 概核果; 種子ハ有胚乳、胚ハ小形下向。

292 四



成分及效用 — 本科中 = *Harman*
 $C_{12}H_{10}N_2$ + 卍塩基ヲ含ム。藥用ノ外、
 (292 四) くろき(せまき)ノ花及解剖
 (白沢氏) 1. 花 ... $K(5) \overline{C(5) A_{\infty} \overline{G(3)}}$
 2. 花冠ノ開展 $C(5) A_{\infty} (5 体 A)$

染料,茶代用,木材料,觀賞等=供スルモノアリ。

糸布及扇織物——世界=凡5属300餘種ヲ産シ,主=熱帯ニ多産シ,亞熱帯ニ=旺ヤ温帯最少シ。日本=自生又栽培スルモノ凡2属50種ヲ産シ,其はふたきヲ除キ他ハ本(中南部),四・北朝鮮・琉・小笠・台・ノ産=屬シ,其大部ハ台湾産也。

本科ノ藥用及有用植物:——

(1)あまはのみ(甘葉木) *Symplocos tinctoria* L. Hérit. (分生) 北米原産ノ木,葉革質長楕円形粗低小齒縁,花ハ簇生小形黄色ノ有香。(生藥)根及葉ヲ採乾シ藥用及染料トス。(藥效)根ヲ消化藥トシ胃腸病ニ用ス。葉ハ甘味ヲ有シ葉及根ヨリ黄色染料ヲ採取ス。

(2)かんかぶららのき(しろ-はひ) *Bolus theophrastaeifolia* S. et Z. (分生)本(西南部)・九・台産木ニ葉革質披針形革質鋸齒縁,白花,球形小核果。(效用)葉ヲ黄色染料ニ供ス。材ヲ器具用トス。觀賞用トシ栽培ス。

(3)くろ-はひ(そめ-しば,とち-しば,山葛) *B. prunifolia* S. et Z. (分生)本(西南部)・四・九(對島)・朝(濟州島)産ノ木,葉革質楕円~長楕円形粗低齒縁,淡綠黄花果ハ長楕円形黑熟。(效用)葉ノ煎汁ヲ黄色染料トシ,布ヲ染ム,材ヲ器具用ニ供ス。葉煎汁ニテ糯米ヲ染ヌ様トセバ淡黄也。筑前國ニテ之ヲとちもちト云フ。

(4)はひのみ(いすのみ,灰木) *B. myrtacea* S. et Z. (分生)本(西南部)・四・九ノ山地生常綠木,白花。(效用)及

木ノ灰汁ヲ陶器製造ノ際重用スル^{ウツグスリ}油藥 Glaze=混用ス。材ヲ器具用トス。

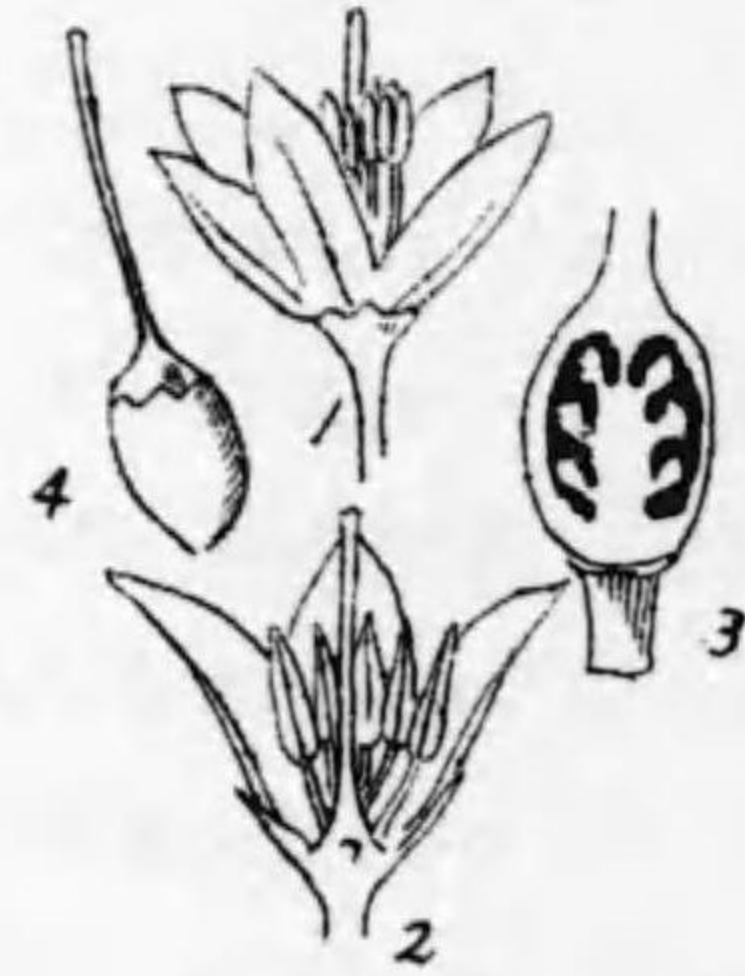
(5)さばふたき(るりみの-ろしころし,にしごり)及其諸交種 *Palura paniculata* Nakai v. *pilosa* Nakai (分生)北・本・四・九・朝(濟州島)・支産葉革質木。(效用)木ノ灰汁ヲ染料ニ用レバ能ク色ヲ出ス,即媒染劑也。材ハ粘板,蠟其他器具ノ柄トシ又版木トス。(備考)本種ノ葉ノ成分ハ不詳ナレド標本トシ長年貯藏スルニ他植物葉悉ク褐変スルニ猶リ本種葉ノミハ常鮮綠ヲ不変ハ否也是ハ酵素ノ缺亡カ或他ニ理由ナクンバアヲズ,待精査。たんな-さばふたき *P. argutidens* Nakai くろみの-さばふたき *P. Tanakana* Nakai 等ノ近似種ハ本種ト全效アラン。

Fam. (IV) ^{アソクカク} 忍ごのみ(齊墩果,安息香)科 *Halesiaceae* (*Styracaceae*)

形質——木ニ至ル,屋狀又繸狀毛ヲ有ス。葉ハト[◎]着,有柄,無托葉,單葉,無翼,全縁~鋸齒縁,1~2年生。花器ハ傘,觀白色小~中形繖狀又四維花序繖生。花ハ傘,5~4數性, F. f. = $K_{(4-5)}$ $C_{(4-5)}$ $A_{(4-5)}$ $G_{(3-5)}$; 概 $K_{(5)}$ $C_{(5)}$ $A_{(5)}$ $G_{(3-5)}$; 稀 K 体ハ殆無裂,半~全部苞子房; Cハ互列又銀合列; Aハ土合着,單体 A,稀全部管狀癒合,各心皮ハ1~數箇ノ直生又下垂ノ副生卵子ヲ生ズ,子房下部ハ3~5室上部ハ1室,花柱ハ單体,柱頭ハ頭狀又不明清裂,無花盤。果實ハ瓶核

果端萼葉又閉果先端之裂不規則裂開；種子ハ有胚乳，胚ハ
縱直位稀歪曲。

293 圖



(293圖) 花の各部分の解剖 (1, 2, 4 原圖)
1. 花冠 $K(5), C(5), A(5+5), G(3)$
2. 同、縱断面
3. 子房ノ断面 (Seib. et Zucc. 氏)
4. 核果

成分及效用——本科ノ

成分 = ハ Saponin. 樹脂. 及
芳香性 / Alkohol. Aldehyd.

294 圖



(294圖) あまから属 *Perosty-*
rax ノ果実 (原圖)
1. あまからノ果実 (有5翼)
2. かまはあまからノ果実 (有10翼)

295 圖



(295圖) あんそくかう (安息香)
ノ花式圖 (Eichler 氏)
 $F.f. = K(5), C(5), A(5+5), G(3)$

ル特殊物質アリ。薬用・油料・木材
用・観賞用トス。

分布及属種数——世界 = 凡フ属 (又9属) 120 種ヲ産
シ南亞弗ヲ除キ熱〜温帯全部 = 分布シ多数ハ亞米・及東亞 =

産ス。日本 = 自生又栽培スツニノ凡3属 (或4属) / 5 種ア
リ。

本科ノ薬用植物:—

0(1) あんそくかう (スマトラ-あんそくかう, 安息香, 安息香
樹) *Styrax Benzoin Dryand.* (*Prerostyrax Ben-*
zoin Dryander) (分生) スマトラ, 瓜哇, 印度支那, 暹羅, 婆羅
296 圖。



(296圖) 安息香樹ノ葉花 (Eichler 氏)
1. 葉 (羽状脈) 2. 花 $K(5), C(5), A(5+5)$
 $G(3)$, 3. 花 (半開花) ノ縦断面

豆, 葉ハ卵形尖頭, 密生齒縁, 赤花, 円錐花
序。すまとら-あんそくかう *S. suma-*
tranus J. J. Smith (分生) スマ
トラ, 瓜哇, 島産豆。〔生薬〕本樹脂即安
息香 *Benzoe* ハ病的渗出物カ又木

部連續刻痕口ヨリ渗出セシメ痕面ヲ持テ採集ス, 6~7 年
生最良, 20 年以上ハ下等品トス。安息香ハ巨塊赤褐灰色ノ
基質中 = 黄白顆粒 (多キヲ上品, 少キハ下品) ヲ包含ス。85°~
95° = 溶解シ粘香気, 本生薬ハ香気佳快・蘇合香ヨリわにる
ら = 類ス, 味ハ芳香性・苛味也。〔成分〕本樹脂ハ桂皮酸 C_6H_5-
 $CH=CH-COOH$ *Zimmtsäure*・安息香酸 (少量) *Ben-*
zoesäure・*vanillin*・樹脂 = スル *Zimmtsre-*
Benzoresinolester, *Zimmtsre-Sumaresino-*
tannolester, *Sumarsinol* 等ヲ含有ス。〔薬效〕

本生薬ハ祛痰薬・矯臭薬・芳香性防腐薬トシ又香料品(香油、香水、歯粉、洗粉等)原料トシ、薫香料トシ、食品香料トシ、局方安息香酸 *Acidum benzoicum* 製造原料トス。局方安息香 *Benzoe*; ハ慢性加児虫 = 祛痰薬トシ、日数回 0.3~1.0 瓦用フ、又丸劑トシ、1日1~3瓦ヲ與フ。局方安息香丁癩 *Tinctura Benzoes* ハ概外用ス。局方・シタリス軟膏。局方安息香脂 *Adeps benzoatus* ハ軟膏ノ變敗ヲ防グ。備考] *Benzin*・*Benzol* 等ハ *Benzoe* (安息香) = 起源ス。

(2) シム-あんそくかう (タイ-あんそくかう) *S. tonkinensis* Craib. 又 *S. benzoides* Craib. (トキン) 東京、北安南ヲオス(暹羅地)等産ス。樹脂採集ハ軟打法又細首植付法ナラント云。本生薬ハ前品 = 履リ、堅佳品ハ脂光沢アル黄白へ褐色鈍角顆粒 = テ貝殻状断面ヲ有シ、接気面赤化ス。下品ハ前者 = 類スルモ堅緻易破砕有光沢暗赤褐色ヲ以テ区別ス。依阻嚼軟化シ、熔融点 75°也、香氣佳絶、わじるは = 類ス、鏡下安息香酸ノ結晶ヲ見ル。安息香類ハ水 = 不溶解、5 倍量酒精 = 溶解シ、呈酸性反應。(成分) 主 = 無晶形樹脂即 *Benzoresinol* $C_{26}H_{46}O_2$ 及 *Siaresinotannol* $C_{12}H_{12}O_3$ ト安息香酸 *Benzoesäure* C_6H_5COOH ト、液性還元ニヨリ成リ、尚不定量ノ遊離安息香酸ヲ含ム(總含量 38%)、其他 *Vanillin*・*Siaresinol*・*Lubanobenzoesat*・*Coniferybenzoesat* (晶形又無晶形)・*Cinamylbenzoesat* 等ヲ含有ス。安息香を融 = 140° = テ安息香酸ヲ昇華ス。(藥效) 同前並。

安息香上群品也。

(3) 茶ニのき (ちさのき、あしきのき、ちくろき、實教果、野茶薊) *S. japonicum* S. et Z. (カ生) 本四九・朝ノ山地性ニ至ル。生薬] 果実及種子ヲ藥用トス。(成分) 果皮中 = 結晶性 *Egopsaponin* $C_{61}H_{96}O_{27}$ 約 4% ヲ含ム、之ハ酸ノ作用、

$$= \text{依リ加水分解スルコト如次式} \dots C_{61}H_{96}O_{27} + 4H_2O = C_{27}H_{58}O_7$$

$$+ 2C_6H_{12}O_6 + C_6H_{10}O_7 + C_6H_{12}O_5$$
 Glucose Glucuronsäure Rhamnose
 種子 = 約 45%
 脂肪油ヲ含ミ主 = *Palmitinsäure*・*Stearinsäure*・*Linosäure*・*Laurinsäure*・*Myristinsäure* 等、*Glycerid* ヨリ成リ、又不飽和成分トシテ *Egonol* $C_{19}H_{38}O_5$ 5~8% ヲ含有ス。(藥效) 新鮮果皮ヲ洗濯劑石鹼代用トシ洗濯 = 用ス。果実及種子ヲ搗碎搾汁ヲ河水 = 流シ魚類ヲ捕獲ス。花ハ *Saponin* ヲ含有スル故小児ニテ水浸シ石鹼ニテ洗リ遊バ。種仁ヨリ かき油 ヲ採取ス。果ヲ果ノ搗碎シ灰ト混シ水田肥料(族文山氏)トス。(備考) 材ハ白色緻密粘軟以テ状トシ、ログロノ韌質ヲ依ル。裝飾材、器具材トシ又洗物細工 = 用ス。伐木ヨリ嫩葉ヲ採生ス、長シ易シ於テ實穢トス。觀賞用トシ庭植又盆栽トス。(藥理) *Egopsaponin*、生物学的性狀ヲ檢スルニ、(1) 之ヲ數種魚類 = 試ルニ本物質ハ強烈ナル魚毒也、對照トシテゆるく製さばにん = 比シ其作用強ニ強ク甚キ結紮毒也 = 魚類ヲ短時間内 = 斃死セシム。(2) 次 = 原形質毒素、檢索トシテ水蛭ヲ用ヒタル實驗成績ハ更 = 顯著也。(3) 溶血作用ヲ牛家兎犬。らつて、及海溟血球 = 試ルニ、其血球

崩壊作用ハ既知 Saponin 体中最卓越ス。

(4)はくうんぼく (おほぼちしや, 玉鈴花, 白雲木) *S. obassia* S. et Z. (分生) 北・本・四・九・朝ノ山地生 落葉喬。〔成分〕果実 = Marmitt 類似ノ *Styracit* $C_6H_{12}O_5$ 7 10% 含有ス, 産仁 = 脂肪油 18.2% 7 含有ス。〔效用〕産仁ヨリ油脂ヲ蒸取リ 蠟燭ヲ製ス。〔備考〕材ヲ薪炭用トシ, 又藥物細工用トス。庭植ヲ觀賞用トス。又行道樹 = 適ス。

第五目 回旋花(轉接花)目 Contortae

特徴— H x D. 葉ハ有柄又無柄, 概シ稀シヤス, 觀無托葉, 既單葉無裂稀掌狀又羽狀複葉, 概全縁屢又稀齒牙微。花ハ概全葇♀合, 概中葇♀, 概5稀2~6 数性, F.f. = $K(n)noC(n)noA nnoG(n)$. $n=5\sim 2$ r. 6 = 変化ス, 概合片 K, Cハ概回旋列 稀縁合列 概合輪; Aハ稀下位, A 5~2 r. 6 概土 C 着生, $G_{(2)} n(3\sim 5)$, 概 $K_{(4-5)}; C_{(4-5)}; A_{(4-5)} r_{(3-2)} G_{(2)} r(3\sim 5)$. 卵子ハ7卵膜。以ノ5科 = 分類ス。

$\left\{ \begin{array}{l} A_2 r_{(3-5)} \dots \dots \dots \text{Fam. (I) 木犀科 } Oleaceae \\ A \text{ 八 } C \text{ 裂片ト同数 } (C_{(2-6)}) \dots \dots \dots -1 \end{array} \right.$

1 $\left\{ \begin{array}{l} \text{植物体中乳管無ク乳汁液ヲ不含有, 柱頭ハ分裂} \dots \dots \dots 2 \\ \text{植物体中乳管ヲ有シ乳汁液ヲ含有, 柱頭ハ合} \dots \dots \dots 3 \end{array} \right.$

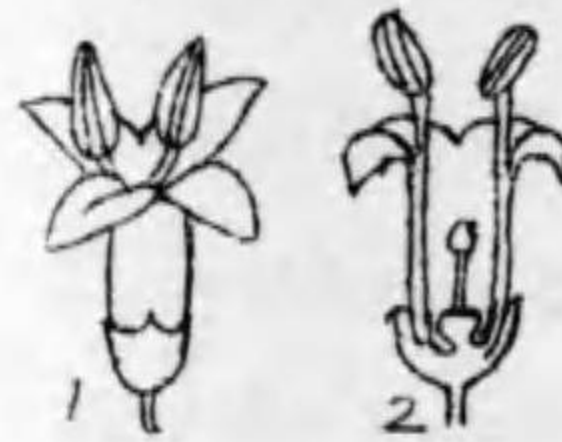
2 $\left\{ \begin{array}{l} 5\sim 8, \text{ 概有托葉, 子房ハ概2室} \dots \dots \text{Fam. (II) 馬錢科 } Loganiaceae \\ 0\sim 4 \text{ 無托葉, 子房ハ概1室} \dots \dots \text{Fam. (IV) 龍膽科 } Gentianaceae \end{array} \right.$

3 $\left\{ \begin{array}{l} \text{花柱合, 介雄A, 單花粉粒} \dots \dots \text{Fam. (VII) 夾竹桃科 } Apocynaceae \\ \text{介雄花柱, 概單体A, 蠟燭花粉粒} \dots \dots \text{Fam. (V) 蘿藦科 } Asclepiadaceae \end{array} \right.$

Fam. (I) もくせい (木犀, オリーブ科) Oleaceae

形質— 互~互葇♂又互, 葇♀H (外圍)。葉ハ概シ稀シヤ又少, 有柄無托葉, 概單葉無裂稀羽淺~深裂, 屢奇数羽狀複葉稀3

297 四



出掌狀複葉, 全縁又快刻~齒牙~鋸齒

(297 四) みやま-いぼたノ花 (原四)
1. 花器 --- $K_{(4)} C_{(4)} A_2 G_{(2)}$
2. 全縦断

298 四

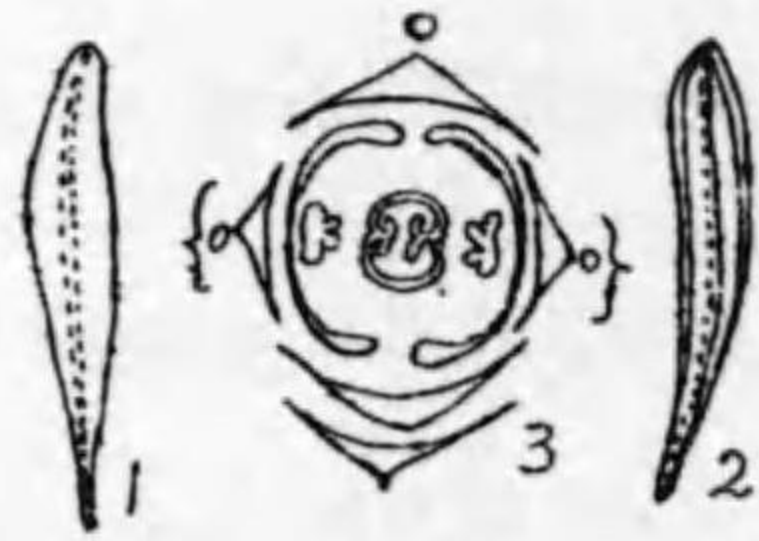


縁。花器ハ全又♀合, 或雜性, 細小~

(298 四) あざだも (ニハのとなりニ)ノ
花器及解剖 (大井氏, 4, 原四)
1. ♀ = $K_{(4)} C_4 A_2 G_{(2)}$
2. 子房ノ縦断 (懸垂卵子ヲ見ル) K.G.
3. 子房ノ横断 (隔壁ト卵子)
4. 翅果

中形, 白淡紅黃, 紫色萼, 腋生又頂生, 總狀, 總狀, 円錐聚繖聚繖繖

299 圖.



(299 圖) オレーノキノ葉 (原圖) 及花式圖 (Eichler 氏) 1. 葉表面, 2. 裏面, 3. 花式圖... K(4) A2 G(2)

總狀花序又單生花序。花ハ中, 2~6 數性, F. f. = K(4~5); r. 0 C(4~5); r. 6~12 v. 0 A2 r. 3~5 G(2), 概 K(4~5); C(4~5); A2 G(2);

概合瓣; 瓦列又回旋~鏡合列無 C 花, A ハ G 下 = 位ス, 短花絲大葯, 概内向輪外向又橫向; 各心皮ハ概 2 稀 4~8~10 又 1ヶ) 倒生稀半倒生卵子ヲ生ズ, 胎壁着生; 2 子室, 花柱ハ單体又無, 柱頭ハ單体又 2 叉, 無花盤。果實ハ蒴果 (房裂 2 裂性) 又漿果或核果稀翼果; 種子ハ胚乳有又無, 胚ハ倒位。

成分及效用——本科成分ハ特殊配糖体脂肪揮發油樹脂油 鞣酸 Alcohol 等檢出サル, 詳細如次。配糖体 (Fraxin, Syringin, Phillyrin, Jasminin, Jasmiflorin, Quercitrin, Oleuropein 等), Alcohol (Olemitol, Spursanol, Obasterol, Oleastranol, Homoleastranol, Pentatriakontan, Phytosterin 等), 其他物質 (Jasmiplikrin, Mannit, Inosit, Emulsin, Invertin, Olease, Indol, Carotin 等), 有機酸 (林檎酸, 酒石酸, 没食子酸, 檸檬酸等) 等也。本科ハ藥用香油料木材用器具用觀賞用等 = 供ス。

分布及屬種數——世界 = 22 屬凡 430 種ヲ産シ, 主 = 熱〜温帶 = 分布シ温〜暖帶 = 多産ス。日本 = 自生又栽培スルモノ

又 10 屬 90 種ヲ下ヲズ, 樺南千台・間 = 分布シ南方漸増ス。

本科ノ藥用植物 :- 次ノ 2 亞科 = 分類ス。

Subfam. (i) とねり (木犀, おりーぶ) 亞科 Oleoideae 卵子ハ子室頂ヨリ懸垂, 果實ハ種々。

Tribus (1) とねりに族 Fraxineae 5~5, 概 5~8; 葉ハ 1 年生, 奇羽複葉, 極稀單葉, 全縁〜齒縁; 円錐花序ハ腋生又頂生, ♀ = K(4); r. 0 C4 r. 5 v. 1~3 v. 0 A2 r. 3~4 v. 0 G(2) r. (3~4), ♂ = K(4); r. 0 C4 r. 5 v. 1~3 v. 0 A2 r. 3~4 G ± v. 0; A ハ内向, 卵子ハ各室 2ヶ宛, 翼果ハ倒披針形又披針形。

(1) とねりに (たごのき, 榎) *Fraxinus japonica* Blume (分生) 本(中部)ノ山地生トモ果ハ回頭, 小葉 2~4 對。〔注藥〕蒸皮 Cortex Fraxini ハ夏期樹皮ヲ採斫セルモノ也, 圓狀灰褐色又灰青色, 稍平滑, 長 10~12 釐, 無臭, 味收斂性, 市販品ハあまの皮を混ズ。〔成分〕樹皮 = Fraxin 及 Fraxinin ヲ含有ス。〔藥效〕樹皮ハ消炎性收斂藥ニテ又鎮痛性解熱藥又間渴熱藥クリ, 故 = 腫痛, 痛風, リウマチス, 熱性下痢, マヲリヤ病等 = 煎服 (又粉末) 内用 (1 日 5~10 瓦) シ, 煎汁ヲ洗眼藥トシ眼病ヲ治ス, 又蒸皮水浸液ニテ眼ヲ洗ヒ環法一切ヲ治ス。又利尿強壯劑トス。〔備考〕とねりに名起原ハ本樹 = 虫白蠟ヲ生ジ之ヲ戸障子ノ敷居 = 塗ハ滑走甚, 故其白粉ヲとねりにト云, とねりにハとぬり木ノ轉音也, 加州方言とぬり木ト言ハ證之。大和本草 = 樹直ニシテ性粘シ用テ

樹ノ柄トス⁷トアリ。材ヲ器具用薪炭用トシ又行道樹トス。
〔東方例〕白頭翁湯 (1035頁末行以下参照)。

(2) ニハノ-とねりこ (あせ-だも, だも, 小葉椽) 及其諸変種
F. Sieboldiana Blume v. *serrata* Nakai (*F. longicuspis* F. G.) (分生) 北・本・四・九・朝ノ山地性小葉。
〔生薬〕 あせだも東ハ樹皮ヲ採乾 (夏期採) セルモノ也。〔成分〕 樹皮 = *Fraxin.* ノ外 ^{エスケレフィン} *Aesculetin* $C_7H_6O_4$ 約2%ヲ含ムト云。〔薬效〕 樹皮ヲ収斂・消炎・鎮痛・利尿・強壯薬トシ前種同様ノ諸病ニ煎服ス。〔備考〕 觀賞用トシ又材ヲ薪炭用, 器具用又器具ノ柄トシ, 皮ヲ連木ヲ器物ヲ製作ス, 日光名産也。

(3) おは-とねりこ (大椽) *F. borealis* Nakai (分生) 北本 (北部) ノ山地性小葉, とねりこトノ差ハ果頭ハ鈍頭, 小葉広披針形也。〔生薬〕 大椽皮ハ夏期樹皮ヲ採乾セルモノ也。〔成分〕 樹皮 = *Fraxin.* 及 *Fraxinin* ヲ含有ス。〔薬效〕 同前種 (備考) 同前種。

(4) あめりか-とねりこ (白椽皮) *F. americana* L. (分生) 北産産也, 〔生薬〕 樹皮ヲ白椽皮ト称シ薬用トス。〔成分〕 樹皮 = *Fraxin* ヲ含ム。〔薬效〕 樹皮ヲ前服シ月経痛ヲ治ス。

△(5) まんな (マンナ樹, まんなのき) *F. Ornus* L. (分生) 南欧及小亞ノ山地生ノ木, 樹皮灰色, 小葉2~3對, 卵形尾尖頭齒縁, 花弁又♀♂, 白色, 頂生円錐花序, 翼果ハ1種子。〔生薬〕 *Manna*、夏季樹截傷ヨリ滲出スル樹液ヲ乾中ニ乾

固セシメシ類白色ノ樹脂塊也, 甘味ヲ有ス。〔成分〕 *Manna* ハ主成分 *Mannit* $C_6H_{14}O_6$ 80~90%ノ外糖液ニ含む質・葡萄糖・*Fraxin* (配糖体)・*Fraxinin* (苦味質)等ヲ含ム。〔薬效〕 洋局・*Manna*ヲ緩下劑 (又瀉下薬) 又香味薬トシ, 又 *Mannit*ハ製造原料トス。必他洋局・まんはしろコズ, 複方せんは浸アリ。〔東方例〕 (1) 緩下薬 (マンナシロツプ) ... マンナ 10% ... 小児 = 1回 1茶匙内服。 (2) 全。... マンナシロツプ 15.0 大黃丁糖 5.0 ... 以上調和, 毎2時1小児匙。 (3) 全。... 大黃浸 (2.5) 60.0, マンナンシロツプ 18.0 ... 以上調和毎2時1食匙。〔備考〕 *Mannit*ハ製造ハ日本ニハ昆布ヲ原料トス。

Tribus (2) はしどひ族 *Syringaceae* 5~8; 葉中, 單葉無裂漸3裂~3出複葉, 齒縁又全縁; 花腋生 1~3出又円錐花序, $F.f. = K(4) C(4) A_2 G(2)$, Aハ内向蒴, 蒴果 (2房裂性), 種子ハ有翼。はしどひ *Syringaceae* 属 (はしどひ, ハルシヤ-はしどひ, 紫-はしどひ等) ハ觀賞用トス。

(6) れんげう (いたちがき, 連翹) *Rangium suspensum* Okwi (*Forsythia suspensa* vahl.) (分生) 支那原産, 日本栽培ノ木, 早春黃花。〔生薬〕 連翹 *Fructus Forsythiae* ハ果実ヲ採乾セシモノ也, 卵形有縱溝長2.5厘米, 尖頭, 2分淡褐色有疣起, 藏扁細長種子, 氣味芳香, 收斂性也。〔成分〕 葉 = 配糖体 *Phyllirin* $C_{29}H_{48}O_{16}$ ヲ含ミ, 種子 = *Sapnin* ヲ含ム。〔薬效〕 漢: 果実ヲ煎服シテ淋病瘰癧瘡毒赤

蕁毒=消毒性利尿劑トシテ其毒素ノ排出(消毒藥)ヲ促シ腫脹ヲ去リ疼痛ヲ緩和スルニ實用ス、1回1~3瓦煎服(但諸瘡ニ用ル際紅腫ヲ來シ中心既ニ自潰セル場合ハ不用。水生藥ヲ牛蒡ノ種子ト混シ摺潰シ貼用セバ癬傷ヲ治シ。又月経不順ニ有效。〔備考〕庭植觀賞用トシ賞花。〔處方例〕(1)連翹湯(麻疹水痘腫毒等ニ有效)---連翹麻黃竹蘇川芎甘草各1.5 大黃枳實各2.5 ---以上8味煎劑200, 1日3回分服。(2)内消毒藥(淋疾疥癬癩瘡腫物等)---連翹8.0 水200.0 ---以上1日量煎劑分服。(3)乳腺炎(其他腫物ノ痛ムモノ)---連翹5.0 瓜蒞仁(からすうり種子)2.0 川芎皂刺(さいかち刺)甘草各1.0 水200.0 ---以上1日量煎劑分服。

(7) てうせんれんげう (朝鮮連翹) R. *Koreanum*
Ohwi (分生) 朝鮮産、内地栽培。連翹ニ比シ花ハ短楕小形、大和連翹ニ比シ葉ハ無毛花ハ黄綠色也。〔生藥〕朝鮮連翹ハ其果実ヲ採乾セルモノ也。〔藥效〕同前種。〔備考〕庭植觀賞用トス。

(8) やまとけんげう (大和連翹) R. *japonicum*.
Ohwi (分生) 本(備中河内郡特産)。〔生藥〕大和連翹。〔藥效〕〔備考〕同前種。

Tribus (3) もくせい族 *Oleeae* $K_{(4)}C_{(4)}A_2G_{(2)}$,
 Aハ内向、核果又漿果、莢1種子。

0(9) オリーブのき (おリーブのき、オリーブ樹、オリーブ樹、阿列布樹) *Olea europaea* L. (分生) 南欧

300 図



〔300 図〕オリーブ樹ノ花果(下山、
 柴田氏) 1. 花, 2. 核果

及小亜地方ニ自生又栽培ノ常緑
 木、樹皮ハ灰色有皺裂; 葉ハ倒披
 針形全縁反曲、厚鱗毛粗生表面暗
 緑裏面銀白; 粗円錐花序ハ腋生、 $K_{(4)}C_{(4)}A_2G_{(2)}$, 花ハ細
 小淡綠色、核果ハ楕円形、暗緑帶褐色也。〔生藥〕熟果ヲ採集シ
 核果肉ヲ压榨シ阿列布油 ^{オリーブ}*Oleum Olivae* ヲ得、食用及藥
 用トス。伊佛西米ニ多産(Cult.)シ、日本(小豆島)ニ産ア
 リ。〔成分〕オリーブ油ハ主ニ ^{オレイン酸}*Oleinsäure* / *Glycerid* 也、
 即油12.5%ハ固形 *Glycerid*、75%ハ液 *Glycerid*
 ヲリ成リ、其固形分ハ *Stearinsäure* · *Palmitinsäure* ·
Arachinsäure / *Glycerid*、液体分ハ *Linolsäure* ·
Oleinsäure / *Glycerid* ヲリ成ル、其他 *Mannit*
^{オロイロバイン}*Oleuropein* ヲ含有スト云。葉ニ *Mannit* · 苦味
 質 · *Phytosterol* · *Oleanol* $C_{31}H_{58}O(OH)_2$ 等ヲ含
 ム。樹皮ニ *Olemitol* $C_{14}H_{10}O_6$ · *Spuranol* $C_{23}H_{40}O_4$ ·
 或酸 $C_{24}H_{47}COOH$ · *Mannit* 等ヲ含有ス。〔藥用〕局方オ
 リーブ油 *Oleum Olivae* ハ注射藥ノ溶劑ニ用フルハ特
 記スバク、又軟膏類及硬膏類ノ基礎藥、乳劑花使藥藥用石鹼ノ
 製造原料トス。内用ニハ胃ノ分泌過多症、胃潰瘍、膽石症及秘
 結、呼吸器加答兒等ニ1茶匙宛ヲ内服ス。又気管枝加答兒、
 灼痛、リウマチス等ノ疼痛ニ塗擦料トス、又瀉腸料、擬劑等ト

ス。工業的ニハ燃料・機械油ニ用ヒ、又化粧品原料ニ用フル等用途頗広シ。其他亜鉛華オリーブ油（皮膚病塗布薬）*Oleum Zinci*, 薬用石鹼（皮膚病用）*Sapo medicatus*, 局方引赤紙、單鉛膏、強發泡膏、弱發泡膏等ヲ製ス。局方藥ニハカンフルオリーブ油。亜鉛華オリーブ油。クロロホルム擦劑、クロロホルム油；準局方石炭酸オリーブ油、カンタリス油、金硬膏等アリ。〔備考〕オリーブ油ノ上品者ハ「プロヴァンス」油ト称シ好テ食用ニ供シ、下品者ハ樹油 *Baumöl* ト称シ工業用ニ供ス。又果実ヲ食用ニ供スル外藥用（塗擦劑・乳劑料・注射液劑等）、透用工業用トス。世依本種ヲ橄欖ト称シ阿列布油ノ橄欖油ト称スルハ共ニ誤ニテかんらん（1299頁参照）ハ橄欖料ノ植物ニテ全然別種也。

〔處方例〕(1) 創傷劑……沃度ホルム 5.0 オリーブ油 20.0 グリセリン 40.0……以上混和注入料。(2) 頑癬藥……石炭酸 1.0 オリーブ油 100.0……以上混和塗布料。(3) 火傷藥……硼酸 7.0 次硝酸 9.0 オリーブ油 20.0 ラノリン 65.0……以上為軟膏塗布。(4) 潰瘍藥……オレロフェン 2.0 オリーブ油 12.0 ラノリン 86.0……以上混和為軟膏塗布。(5) 金、ブロームカリウム 18.0 オリーブ油 12.0 マゼリン 70.0……以上研和為軟膏塗布。(6) 副單丸炎藥……塩酸モルヒネ 0.02 カカオ脂 2.0 オリーブ油適宜……以上為坐藥ノ一筒、毎夕1筒 (7) 陰門癬癢症藥……サリチール酸フェニール 2.5 オリーブ油 3.0 ラノリン 40.0……以上為軟膏塗布。

(10) ひひらぎ（ひらぎ、ひひらぎ、終杓楢）及其変種 *Osmanthus ilicifolius Standish* (分生) 本（中南部）・四・九ノ山地生互、花十月・成果翌年十月。〔生藥〕樹皮及枝葉ヲ採乾藥用トス。〔藥效〕枝葉及樹皮ヲ瘡疔・白癬・其他腫物ヲ治スルニ用フ、又百日咳ニ用フ。生藥ト牛膝^{キノコツチ}生藥トヲ等量ニ磨リ潰シ酢ニテ解キ懸性ノ腫物ニ塗布ス。〔備考〕材ハ白色堅硬・細紋アリ、如象牙、用テ算珠・飾・印版・象（撰）威墓子、三絃・撥駒等ヲ作ル。大者ハ板トシ又諸器ヲ機作ス、又觀賞用庭木トシ、或生垣トシテ有效也（防禦用）。

(11) ひとつば「たご」（なんぢやもんじやのみ、六道木、二葉木）*Chionanthus retusus Lindl. et Paxt.* (分生) 本（中南部）・九（對馬）・朝・台ノ山地生互。〔生藥〕根ヲ採乾藥用トス。〔成分〕根 = *Chionanthin* $C_{22}H_{28}O_{19} + 2H_2O$ ヲ含有ス。〔藥效〕根ヲ瘡癬劑トス。〔備考〕美濃・近江地方ニテ天然記念物トス。東京青山練兵場ニ一株アリ。此處ヲ六道の辻ト云フ故、六道木ト名ク、又樹木不詳故なんぢやもんじやのみ又あんじやもんじやの木トモ云、五月開花如雪。

(12) いぼたのみ（いぼた・いぼとり、いぼたらひ、水蠟（樹）及其変種 *Ligustrum obtusifolium S. et Z.* (L. *Isota Sieb.*) (分生) 北・本・四・九・朝・琉・台ノ山野生互。〔生藥〕いぼた蠟（伊保多蠟）*Cera Isota* ハ本種及近似種（ねずみもち、けいぼたし、*Isota Sieb.*、おか・いぼた等）及別種とねりこ（既記）、こばの・とねりこ等ノ枝幹ニいぼた・かいから

毛虫(介殼虫科)ノ雄虫群棲シ分泌スル蠟ヲ秋季成虫ノ飛翔シ去リシ後採集セルモノ也。本生薬ハ汚白色・粒状・80~83°ニ熔融ス、特異臭気アリ。虫白蠟ハ粉粒状ノいぼた蠟ヲ熔融布渡シ、雜物ヲ除去シ、型ニ注入シ角板状トセルモノ也。本品ハすてありん蠟ニテ價造備和セルモノ多ク却テ安價也。市場ニテ之ヲいぼた蠟異物ヲいぼたの石ト慣稱ス。葉及果実樹皮モ採乾薬用トス。福島、新潟、富山縣多産、又支那ヨリ輸入ス。〔成分〕いぼた蠟ハ $Cerotinsäure$ $C_{25}H_{55}COOH$ 及 $Ibotacerotinsäure$ $C_{26}H_{53}-COOH$ (約70%)、 $Cerylalkohol$ $C_{26}H_{53}OH$ 及 $Ibotacerylalkohol$ $C_{27}H_{55}OH$ 、Esterヲ主成分トシ、其他少量、 $Cerotinsäure$ 、 $Stearinsäure$ 、 $Palmitinsäure$ 等、 $Ceryl$ 並めりしるあるニ一るを急する少量ヲ含ム。果 = $Ibotin$ (配糖体)ヲ含有ス。〔藥效〕果ハ除痰・焙り茶ノ代用トシ供飲用。葉ノ煎汁ニテ患部ヲ洗滌セバ消炎・鎮痛劑トナル。皮膚病・リウマチ、神経痛ニ用フ、又浴場用トシ同效アリ。いぼた蠟ハ薬用及工業用トス、民間強壯藥トシ内用シ止血劑ニ外用ス。樹皮ヲ煎取シ健胃・強壯藥トス、又いぼた蠟製造ノ原料トス。いぼた蠟(小拍)ハ除痰劑(痰ノ根ヲ堅縛シ煎蠟ヲ滴下ス)トス。新葉寄生ノ青虫ヲ生ノ極毎日連蒸嚙下セバ強壯劑トナリ又腺病及肺患者ニ有效也ト。〔備考〕いぼた蠟ヲ戸滑リト粘シ敷居ニ塗布シ、又家具ノ黴出シ料ニ用フ。庭植觀賞用トス。

(13) おほいぼた (おほいぼたのみ) *L. ovalifolium* Hassk. (分生) 北・本・四・九・朝ノ山野生也。〔生薬〕葉・花果等ヲ採乾薬用トス。〔成分〕果実 = $Syringin$ (配糖体)ヲ含ムモ $Kobert$ 氏ニ據レバ $Syringin$ = ハ下痢作用ナシト云。〔藥效〕葉及花ハ收斂劑(止血・消炎等)トナル。果実ハ下痢ヲ起シ有毒ナリト云モアリ(一説ニ食セバ死スト云)。

(14) ねずみもち (たまつばき、てらつばき、壬曆、女貞木、鼠梓、冬青木) *L. japonicum* Th. (分生) 本(中南部)、四・九・朝・琉・小笠原台ノ山野生帯緑互~互。〔生薬〕女貞 *Fructus Ligusti* ハ果ヲ採乾セルモノ也。又葉・果・種子・樹皮共ニ女貞ト称シ採乾薬用トス。〔成分〕葉及樹皮ニ配糖体 $Syringin$ $C_{17}H_{24}O_9$ 及酵素 $Emulsin$ 、 $Sacharose$ 、 $Invertin$ 等ヲ含有ス。
 $Syringin$ ハ如次加水分解ス…… $C_{17}H_{24}O_9 + H_2O =$
 $Methoxyconiferylalkohol$ $C_{11}H_{14}O_4 + C_6H_{12}O_6$ (Glucose) (藥效) 種核ヲ炒リ粉末トシ咖啡又茶代用トシ供飲用。果実ヲ煎取シ強壯藥トシ又肥健不老藥トス。葉ヲ水煎シ蒸キ固ニ諸腫物(諸瘡)ニ貼付シ有效又煎汁ヲ外用ス。鮮葉地方ニテハ種子ヲ煎取セバ養精神・除百病良藥也トス、百濟島(濟州島?)ニテ販賣スル女貞木ハ本種子ヨリ造ル。葉・樹皮等ハ解熱鎮痛・消炎藥トシ神經痛・リウマチ・頭痛・眩暈・眼充血等ニ煎取シ又諸瘡ニ外用ス。果実ハ營養液用及精神状態ヲ佳良ナラシメ、情緒ヲ亢進セシメ(強精・催淫劑)、種子ハ寒瘧・水腫・脚氣・腹水ヲ治シ、腸出血ヲ閉止ス、1回3~4瓦煎取。〔備考〕觀賞用(庭植)トシ又生垣トシ頗佳嫩

アリ。

Subfam. (iii) わらばい(黄梅)連科 *Jasminoideae* 5.
葉ハヤ稀ヤ, 3~5稀7出羽状複葉。花小~中形黄白色, 傘
概 $K_{(5)} C_{(5)} A_2 G_{(2)}$, 稀 $K_6 C_{(6)} A_2 G_{(2)}$, 一般花式 = $K_{(5+6)} C_{(5+6)} A_2 G_{(2)}$, 子房2室, 卵子ハ基立上昇性。蒴果ハ2
裂又2弁。

(15) わらばい (きんばい; 迎春花) *Jasminum nudiflorum* Lindl. (か生) 支那原産, 日本栽培, 6数花性, 幼葉四角,
花早春, 5。〔生薬〕葉・枝・樹皮ヲ採乾薬用トス。〔成分〕小枝及
樹皮ニ配糖体 *Syringin*・*Jasminiflorin* 及 *Mannit*・苦
味質 *Jasminipicrin* ヲ含有ス。〔薬效〕葉・小枝・樹皮等ヲ煎
取シ發汗薬又利尿薬トス, 又煎液悪瘡及腫毒ヲ治ス。〔備考〕
觀賞用トシ庭植又盆栽トス。

(16) そけい (つるまつり素馨, 秀英花) *J. Officinale* L.
(か生) 印度原産ノ常緑5。全株有細毛, 高1米許, 小葉5~7, 白
花羽複葉。きそけい (黄素馨) *J. odoratissimum* L. (か
生) までーら原産ノ常緑5, 全株無毛, 小葉3~5, 黄花。たい
おんそけい *J. grandiflorum* L. (か生) ひまらや原産,
全株無毛, 小葉5~7, 白花。〔生薬〕秀英花 *Flos jasmini offi-*
cinale ハ花ヲ採乾セルモノ也, 枝葉ハ木精査。〔成分〕花ヲ石
油エーテルニテ浸出セバ香脂0.4%ヲ得, 其内精油50%・蠟
50%也。精油ハ右族 *Linalol*・醜酸 *Linalol*・*Benzyl-*
alcohol・醜酸ベンチル *Benzylacetat*・*Indol*・アント

ヲニル酸メチル・*Sesquiterpenalkohol* (57%) 等ヨリ成
ル。蠟ハ主 = *Triacontan C₃₀ H₆₂* ヨリ成ル。小枝 = ハ
Mannit ヲ含ムモ *Syringin* ヲ不含。〔薬效〕是等ノ花ヨリ
香油ヲ採集シ香粧用又燻臭薬トス。秀英花ハ台湾ニテ包種
茶ノ賦香料トス。包種茶ハ烏龍茶 = 種々ノ花ヲ混ジ數日間
放置シ, 花香ヲ吸收セシメシモノ, 南洋方面ニ多輸出ス, 其賦香
料ハそけいまつりくわ・せへーくち及し(黄夜花)じゆらん(樹
蘭)もらん・*Agalaria odorata* L. 支那原産ノせんたん
料)等ノ花也。

(17) まつりくわ (まうりんくわ, 茉莉花) *J. Sambac* Alt.
(か生) 印度原産蔓性5, 葉ハヤ又ヤ, 小花淡黄・初夏。〔生薬〕茉
莉花 *Flos Sambac* ハ花ヲ採乾セルモノ也。〔成分〕花ヲ石
油エーテルニテ浸出セバ香油0.08%ヲ得, 之ハ精油及蠟ヲ
含ム。精油ハ蟻酸・醋酸及安息香酸ノ *Linalolester*・醜酸
Benzyl・アントラニル酸メチル・*Indol*・鎖状セスキテ
ルペン・*Sesquiterpenalkohol* 等ヨリ成ル。蠟ハ $C_{28} H_{58}$ ・
 $C_{30} H_{62}$ ・ $C_{32} H_{66}$ 等ノ *Paraffin* ヲ主成分トス。〔薬效〕民:
北津賓人ハ花煎汁ヲ洗眼(結膜炎)薬トシ, 印度人ハ花葉ヲ膏
薬トス。台湾ニテ花ヲ包種茶ノ賦香料トス。花ヨリ香油ヨ
リ燻臭薬トシ香料トス。

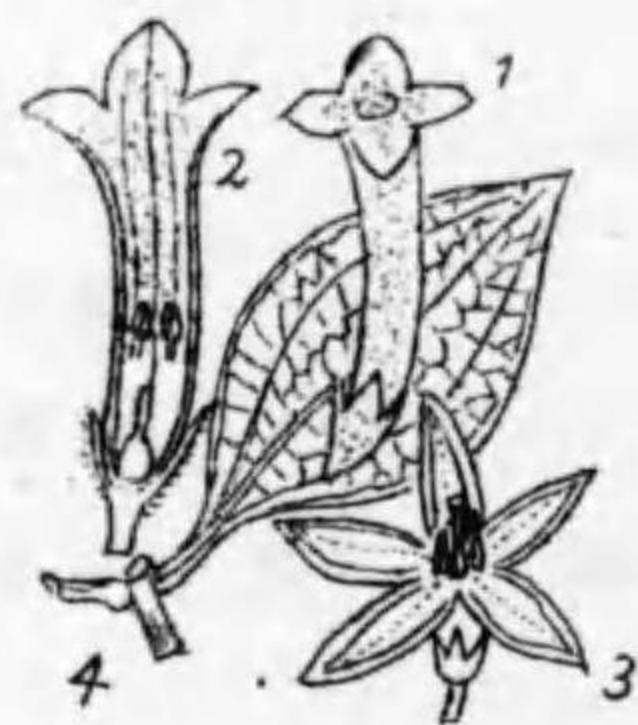
Fam. (II) ふち-らつき (馬錢, まちん) 科

Loganiaceae

形質——互又互稀^ハ、極稀^ハ(①~③),無乳管。葉ハ^ハ又^ハ、無柄^ハ有柄^ハ、概有托葉、單葉、無裂、全緣^ハ鋸齒緣。花^ハ^ハ既^ハ全^ハ稀^ハ♀^ハ合、小形^ハ簇生^ハ粗^ハ生、概聚繖花序^ハ稀繖狀花序。花^ハハ^ハ又^ハ稍^ハ中、4~5數性、F.f. = $K_{(4-5)} C_{(4-5 r. \infty)} A_{4-5 r. 1} G_{(2) r. (3-5)}$, Kハ^ハ瓦^ハ列, Cハ^ハ頰^ハ合^ハ列^ハ瓦^ハ列^ハ又^ハ回^ハ旋^ハ列,筒狀^ハ漏^ハ斗^ハ狀^ハ又^ハ副^ハ狀;各^ハ心^ハ皮^ハハ^ハ側^ハ膜^ハ又^ハ中^ハ軸^ハ胎^ハ座 = $\infty \sim 1$ ヶノ半^ハ倒^ハ生^ハ又^ハ倒^ハ生^ハ卵^ハ子^ハヲ^ハ生^ハズ、2^ハ子^ハ室^ハ稀^ハ3~5^ハ子^ハ室、花^ハ柱^ハハ^ハ概^ハ單^ハ体^ハ稀^ハ2^ハ、柱^ハ頭^ハハ^ハ單^ハ体^ハ又^ハ2~4^ハ分^ハス、花^ハ盤^ハ無^ハ稀^ハ少^ハ恐^ハ育。果^ハ實^ハハ^ハ蒴^ハ果^ハ漿^ハ果^ハ又^ハ核^ハ果^ハ也;種^ハ子^ハハ^ハ嬰^ハ有^ハ翅^ハ、有^ハ胚^ハ乳^ハ(肉^ハ質^ハ又^ハ軟^ハ骨^ハ樣)、胚^ハハ^ハ直^ハ生^ハ又^ハ彎^ハ曲。

成分及效用——毒成分^ハ有^ハス、即^ハ*Strychnosalkaloid*、*Curarealkaloid*、*Gelsemiumalkaloid*、3系統^ハ塩^ハ基^ハアリ、是^ハ等^ハ塩^ハ基^ハノ藥^ハ物^ハ学^ハ的^ハ依^ハ用^ハハ^ハ其^ハ強^ハ度^ハニ^ハ於^ハテ^ハ異^ハル^ハモ、何^ハレ^ハモ^ハ運^ハ動^ハ神^ハ經^ハ末^ハ端^ハヲ^ハ麻^ハ痺^ハシ、脊^ハ髓^ハ反^ハ射^ハ能^ハ力^ハノ興^ハ奮^ハ性^ハヲ^ハ亢^ハ進^ハスル

301 図



依^ハ用^ハ有^ハス。但^ハ*Curare* 塩^ハ基^ハノ反^ハ射^ハ興^ハ奮^ハ性^ハハ^ハ頗^ハ弱^ハク^ハ殆^ハ不^ハ得^ハ認^ハ。

(301 図)ふち-うつき科ノ花^ハ葉^ハ及^ハ解^ハ剖^ハ(原^ハ四) 1.ふち-うつきノ花 $K_{(4)} C_{(4)} A_4 G_{(2)}$ 2.全^ハ縱^ハ斷^ハ。3.ちとせ-かつら *Gardneria* ノ花 $K_{(5)} C_{(5)} A_5 G_{(2)}$; 4.まぢんノ葉(3^ハ行^ハ脈)及^ハ枝^ハノ一^ハ部

其他^ハ配^ハ糖^ハ体^ハ脂^ハ肪^ハ等^ハアリ、詳^ハ細^ハ如^ハ次。塩^ハ基^ハ(*Strychnin*、*Bru-*
cin、*Vomicin*、*Gelsemin*、*Gelseminin*、*Curarin*、*Pro-*
ガオミチン *ゲルセミン* *クラリン*)

302 図



(302 図)まぢんノ花^ハ序^ハ着^ハ生^ハノ枝^ハ及^ハ花^ハ式^ハ圖(*Solereder* 氏)
1.聚^ハ繖^ハ花^ハ序^ハ及^ハ對^ハ生^ハ葉
2.花^ハ式^ハ圖 --- $K_{(5)} C_{(5)} A_5 G_{(2)}$

toxicarin、*Tubocurarin*、*Curin*、*Besocuridin* 等), 配^ハ糖^ハ体^ハ(*Loganin*、*Bakankosin* 等), 其他^ハ物^ハ質^ハ(*Quercit* *Mannan*、*Galaktan*、*Methyl-* *aesculetin*、没^ハ食^ハ子^ハ酸^ハ、鞣^ハ酸^ハ、蔗^ハ糖^ハ等)等^ハ也。

303 図



(303 図)馬^ハ錢^ハ子^ハ及^ハ其^ハ解^ハ剖^ハ(*Solereder* 氏)
1.まぢんノ果^ハ實^ハ 2.全^ハ橫^ハ斷^ハ面
3.種^ハ子^ハ即^ハ馬^ハ錢^ハ子

等)等^ハ也。有^ハ香^ハ植^ハ物^ハ多^ハク、藥^ハ用^ハ又

觀^ハ賞^ハ用^ハト^ハス。

分^ハ布^ハ及^ハ屬^ハ種^ハ數^ハ——世^ハ界^ハニ^ハモ^ハ2^ハ屬^ハ又^ハ550^ハ種^ハヲ^ハ産^ハシ、主^ハニ^ハ熱^ハ帶^ハニ^ハ少^ハ數^ハハ^ハ溫^ハ帶^ハニ^ハ分^ハ布^ハス。日^ハ本^ハ産^ハ凡^ハツ^ハ辰^ハ16^ハ種^ハアリ。

木^ハ科^ハノ藥^ハ用^ハ植^ハ物^ハ：——

(1)ふち-うつき(藤^ハ空^ハ木、醉^ハ魚^ハ草) *Buddleia insignis*

Carr. {分^ハ生} 本^ハ、四^ハ琉^ハノ山^ハ野^ハ河^ハ江^ハ生^ハス。(成^ハ分)獨^ハ成^ハ分^ハト^ハシテ^ハ刻^ハ軟^ハ性^ハ揮^ハ發^ハ油^ハ、*Saponin* 等^ハアリ、他^ハハ^ハ木^ハ部^ハ。(藥^ハ效)枝^ハ葉^ハニ^ハ劇^ハ毒

アリ。其煎汁或枝葉ヲ搗碎シ石灰ヲ和シ水中ニ投入セバ魚類ハ麻醉シ水面ニ浮ブ捕獲ス。但此魚ハ有毒故不可食。〔備考〕人誤テ果葉花等ヲ食セバ劇烈ノ腹痛。

(2) ニ-スちかうつき *B. curviflora* Hook. et Arn. (分生) 四・九・琉台産ノ互葉卵形。うらじか-ふちかうのつき *v. venenifera* Mak. (分生) 九琉産也。りうもろ-ふちかうのつき (たう-ふちかうのつき) *B. lindleyana* Fort. (分生) 支那原産。(成分)未詳。〔藥效〕同前(1)種。

0(3) まぢん (馬錢^{マチン}、番木鱉^{パンボクベン}、すとりま^{ツルチン}、ねのま) (302~303圖) *Strychnos Nux-vomica* L. (分生) 印度(ヒルマン)海峽海岸原産ノ常緑豆。樹皮灰色、葉ハ広卵形革質、複繖花序ハ頂生、白花; 葉裏ハ黄色、橙実大、果肉中ニ扁円形種子數箇ヲ嵌在ス。(生薬) 馬錢子、(番木鱉子、局方ほみか) *Semen Strychni* (*Nux vomica*) ハ其種子ヲ採乾セルモノ也、扁円形有密毛、徑2釐、炭毒性重要藥物也。(成分) 種子中ニ有效成分 *Strychnin* $C_{21}H_{22}N_2O_2$ 、*Bruicin* $C_{23}H_{25}N_2O_4$ ナル2塩基(毒成分)ヲ含シ其含量4%ニ達ス。其他 *vomicin* (塩基) *Logarin* (配糖体) 脂肪等ヲ含有ス。まぢん属植物含有塩基類 *Strychnos alkaloid-Curare-a* ハ共ニ反射機能ノ興奮性ヲ充進スルト共ニ運動神経末梢ヲ麻痺スル作用アリ。 *Strychnin*、*Bruzin* ヲ主トシ共ニ同一植物ニ含有ス、例ハ *S. Nux vomica*、*L. S. Colubrina* *L. S. Tieute Leuch.* *S. Ignatii Berg.* 等主ナル含有植物也。而テ馬錢等ニハ *Strychnin*、

Bruzin 外 α -*Colubrin*、 β -*Colubrin*、*vomicin*、*Pseudostrychnin* 等ノ諸塩基ヲ含ム。〔藥效〕 種子又其粉末ヲ内服シ苦味健胃薬トシ胃加答泥又消化不良ニ用フ(0.5~1.0)、又神経系興奮(知覚及視神経麻痺等)薬又神経(末梢及中枢)麻痺薬(散丸0.01~0.05)トス。又鼠捕(毒殺)リニ用フ。本生薬ハ劇毒故用量ニ要索注意、若中毒セバ速ニ濃厚咖啡ヲ飲用セヨ。(1)局方ほみか又番木鱉 *Semen Strychni* ハ前記ノ如キ煎薬トシ(極量1回0.1; 1日0.2)、又次記製劑ノ製造原料トス。(2)局方ほみか越幾斯 *Extractum Strychni* ハ運動器消化器、生殖器、泌尿器等ノ機能不全、麻痺、又消化器ノ *Atonie*、神経衰弱、神経性下痢、尿失禁、脱肛等ニ強壯及刺激薬トシテ *Strychnin* ニ代ハ内服ス、1回極量0.05; 1日全0.1; 1日3回0.01~0.05ヲ散、又丸劑トシ與フ。(3)局方ほみか丁幾 *Tinctura Strychni* ハ強壯及健胃薬トシテ1日數回0.1~0.5ヲ内服ス、1回極量1.0 1日同2.0也。(4)局方硝酸すとりま^{ツルチン} *Strychninum nitricum* ハ諸種中枢ノ興奮性ヲ充進スル外、胃腸ノ自動中枢ヲ興奮シ其緊張ヲ充進スル作用アル故、運動麻痺遺尿症、陰萎、癩視又失明ニシテ解剖的變化ヲ伴ハヌ場合、各重ノ虚脱、中枢性重聽、蛇毒ノ酒精毒、抱水^{クロー} *ラール* 等ノ中枢麻痺毒ノ急性中毒、慢性酒精中毒等ニ1日0.001~0.002ヲ内服、又0.0005~0.003ヲ散又丸劑トシ内用又皮下注射、極量1回0.005 1日0.01; 虚脱ニハ0.005~0.01ヲ皮下注射。

(藥理) (1) *Strychnosalkaloid* 中 *Strychnin* ハ 最強ク 脊髄興奮ノ 亢進ヲ 來シ, α -*Colubrin* 及 β -*Colubrin* 之ニ 逆キ, *Bruzin* ハ 之ニ 弱ク *Strychnin* ノ 量 $\frac{1}{20} \sim \frac{1}{30}$ 也, 運動神經末端ノ 麻痺ハ 反テ *Bruzin* ノ 方ハ *Strychnin* ニ 比シ 強シ, 而テ *vomycin* ノ 作用ハ *Pikrotoxin* 様ノ 痙攣作用ヲ 來スト云。(2) ^{ストリキニーネ} *Strychninum* ハ 中樞神經系ニ 作用シ, 就中 脊髄ノ 反射興奮性ヲ 著ク 亢進ス。今 硝酸ストリキニーネ¹ 10.0001~0.0002 ヲ 蛙皮下ニ 注射セバ 全身骨格筋ノ 痙攣性痙攣^{テツス}即 痙攣ヲ 起ス。高等動物ニ テハ 腦及 延髄ノ 中樞ノ 興奮セシム。即 呼吸中樞ニ 作用シ 全運動ヲ 深大ナシシメ, 迷走神經中樞ヲ 興奮シ 心搏緩徐ヲ 來シ, 又 血管運動中樞ニ 作用シ 血圧上昇ヲ 來サシム。大量ヲ 用ル時ハ 痙攣性痙攣^{テツス}ニ 中樞ヲ 麻痺ス。又 是ニ 依テ 痙攣ヲ 生ズル場合ハ 家兎ノ 血液内 Ca ノ 増量, H ヲ クロヒン¹ 及 赤血球ノ 減少 並ニ H ヲ クロヒン¹ ノ 減少ヲ 伴フ。(3) ストリキニーネ¹ 投與ノ 場合ハ 蓄積作用ニ 要注意。少量ト 雖モ 長期間與レバ 大量ノ 場合ノ 如ク 急激ニ 中毒ヲ 起ス。是等ニ 吸收セラレシ 後, 一定期間神經系中ニ 固定シ, 而モ 排出遅々タル 故, 体内ニ 蓄積セラルル也, 若シ 咬筋及 項筋ニ 痙攣ノ 硬固性現レ 初期蓄積症状ヲ 認バ 速ニ 投與ヲ 中止セヨ, 然ル時ハ 症状速ニ 消失バシ。〔備考〕馬錢子ハ 昔雁鴉等ノ 毒ニ 用ヒシモ 今ハ 禁ズ, 益嶽鳥ハ 有毒故也。又 昔犬毒殺ニ 用ヒタリ。

(4) クラレのき, *S. toxifera* Schomb. (分生) 南米産ノ 草。
(生藥) 樹皮及 材ヲ 煎出藥用トス。〔成分〕樹皮材等ニ *Curarin* 等

ノ 塩基ヲ 含ム。Curare (*Urani*) ハ 南米土人ガ 毒矢ニ 使用スル 毒物ニ テ, 樹皮煎汁ヲ 蕪粉乾固セルモ¹ 也。肥キ 黒塊又 粒狀物ニ テ 次ノ 3種アリ。(1) *Tubocurare* (竹筒くられ-) ハ 最毒性弱ク *Tubocurin* $C_{19}H_{21}NO_4$ 及 *l-Curin* $C_{18}H_{19}NO_3$ ヲ 含ム。(2) *Calebassencurare* (瓢くられ-) ハ 前者ヨリ 毒性強ク, 主成分ハ *Curarin* $C_{19}H_{26}N_2O$ 也。(3) *Topocurare* (土壺くられ-) ハ 毒性最強ク 主成分ハ 毒性 *Protocurarin* $C_{19}H_{26}NO_2$ 也, 其他無毒性 *Protocurin* $C_{20}H_{23}NO_3$, *Protocuridin* $C_{19}H_{21}NO_3$ ヲ 含ム。〔藥效〕樹皮煎汁ヲ 乾固セルモ¹ ヲ 運動神經末端麻痺藥ニ 使用ス。〔備考〕Curare 含有植物ハ 上記ノ 外 南米産ノ *Strychnos crevauxiana* Bail. S. *Cogens* Benth. S. *Castelnaiei* Wedd. S. *Gubleri* Blanch. S. *hirsuta* Spr. S. *triplinerva* Mart. S. *Melinoniana* Bail. 等也。

(5) イグナチウスのき *S. Ignatii* Berg. (分生) ヒリッピン群島中ノ 「サマル」島及 呂宋島産也。〔生藥〕イグナチウス子(豆) *Semen Ignatii* ハ 其種子也, 扁卵形 長2極 暗灰色也。〔成分〕*Strychnin*・*Bruzin* ノ 2塩基ヲ 含ム。〔藥效〕種子ハ ストリキニーネ¹ 製造原料トス。ストリキニーネ¹ ハ 神經興奮藥トシ, 吾カ 硝酸ストリキニーネ¹ ハ 0.005~0.003 ヲ 用フ。〔備考〕爪哇産 *S. Tieute*, 南米産ノ *S. Castellaneana* ハ 土人毒矢ヲ 製ス。東印度産 *S. colubrina* ハ 蛇毒ヲ 消スニ 實用ス, 即 蛇木 *Schlangenholtz* ノ 母植物也。

(6) ゲルセミウム *Gelsemium sempervirens* Alton
 (分生) 北米産。(生薬) 根ヲゲルセシウムト根ト森シ米乾薬用トス。
 {成分} 根 = 結晶性弱毒性 / Gelsemin ト無晶形ノ強毒ノ Gelseminin ヲ含ム。
 {薬效} 根煎汁ヲ越後斯又丁幾トシ神経痛・痛風・リウマチス、喘息薬トシ、又其他ノ痙攣性諸症ニ用テ。
 {薬理} 家兔 = 0.001 瓦ヲ静脈注射セバ呼吸麻痺 = 依テ薬ル、蛙ハ中枢麻痺ト共 = Curare 様運動神経末梢ヲ麻痺スルモ 10g.ヲ與ハレバ Strychnin 様痙攣ヲ來スト云。

Fam. (III) リンダウ (龍膽) 科 *Gentianaceae*

形質——①, ②, ③, 又 {, 稀互 (外國), 概全株平滑無毛, 含苦味質。葉ハ披針形又卵形, 無柄~有柄, 無托葉, 疏單葉無裂全緣稀鈍齒~鈍波線又微細齒緣 (Gentiana 中), 極稀ニ出掌狀複葉。花器ハ罕稀子房, 小~大形, 白紫碧~黄色, 稀聚繖花序稀總狀又繖狀稀穗狀單繖聚繖花序又單生花序。花ハ中稀中, 概 4~5 数稀 6~12 数性花, F. f. = K: 4~5 r. 6; C: 4~5 r. (6 v. 7~12) A: 4~5 r. 6 v. 7~12 G(2), 概 K: 4~5; C: 4~5; A: 4~5 G(2), Kハ互列稀傾合列, Cハ概回旋列稀互列又傾合列; AハC着生 C: 全数; 互生, 稀特殊者退化, 屢 2~3 不完全; 子房概 1 室, 概 0/1 側生~半側生卵子ヲ藏ス, 胎座ハ 2ヶノ單一或分裂セル側膜胎座; 花柱ハ單体又 2 分裂, 花盤ハ不明瞭又無。果實ハ概兩果・2 片胞間裂開稀漿果; 種子ハ有胚乳肉乳ハ核狀, 胚ハ小形。

成分及效用——概苦味性配糖体ヲ含ム故若味健胃薬 =

304 圖



(304 圖) リンダウノ花及解剖 (原田)

1. 花 = K(5) C(5) A5 G(2), 2. 花ノ解剖 (縱開示内部) 3. 子房ノ横断測候 (胎座) 4. 種子 (有翅)。

供スルモノ多シ, 其他 *Gentianose*, *Gentiobiose* 等ノ糖類ヲ含有スルモノアリ。主ニ藥用トシ, 又觀賞用ニ供スルモノ不尠。

305 圖



分布及屬種數——世界 = 凡 65

屬 850 種ヲ産シ, 主ニ温帯ニ分布シ熱帯 = 少シ, 但シ寒地性多ク山岳へ極地寒地帯ニ分布スルモノ不尠。日本 =

[(305 圖) リンダウノ根 (根系及新芽) (原田)]
 自生又栽培スルモノ凡 9 種 60 種ヲ下シズ, 樺子台・間 = 分布ス, 皆草本也。

本科ノ藥用植物:—

Subfam. (i) リンダウ (龍膽) 亞科 *Gentianoideae* 陸生 ①, ②, ③,

{, 極稀互 (外國), 内篩管部 (髓部又木部 =) アリ。葉ハ中稀中, 單葉無裂, 全緣無齒。花ハ概 4~5 数性, 中稀中, 概 F. f. = K: 4~5 r. 6~8; C: 4~5 r. 6~8 A: 4~5 r. 6~8 G(2), Cハ屢有灣環・回旋又互列, 花粉ハ單一 (不正偏) 又 4 分子花粉。

(1) セントウリウム さう (せんたうりー草) *Erythraea*.

306 図



(306 図) せんぷりノ花・葉及解剖(原図)
 1. 2. 花器 = K5 C(5) A5 G(2) 3. C 1 片
 (有蜜腺) 4. A1 枚 5. G(2) 6. 葉器

centaurium Pers. (分生) 欧洲
 及前亞地方産草本, しま-せんぷり属.
 (生薬) 全草ヲ採乾薬用トス。〔成分〕
 全草 = *Erythaurin*, *Erythro-*
centaurin. 等ノ配糖体苦味質

及 *Oleanolsäure* ヲ含ム。〔藥效〕独佛・瑞西等ノ局方薬ニ
 テ全草ヲ苦味性健胃薬トス。独局方ノ苦味丁義ニ入ル。

○(2) せんぷり (たら×く, 當薬, 千振) (306 図) *Swertia*
japonica Mak. (分生) 北・本・四・九ノ山野生②, 花十月散生~
 群生。花根長ク花白色有綠條。〔生薬〕當薬 (局方) *Herba*
Swertiae ハ全草ヲ開花期ニ採乾セルモノ也。苦味甚強烈
 也。茨城・秋田・宮城・栃木・群馬縣多産。〔成分〕全草ニ結晶性苦味
 配糖体 *Swertiamarin* $C_{16}H_{22}O_{10}$ 2-4% ヲ含ム, 是ハ酸
 又 *Emulsin* ノ作用ニ依リ如次式ニ加水分解ス--- $C_{16}H_{22}O_{10}$
 $+ H_2O = C_{10}H_{18}O_3 + C_6H_{12}O_6 + 2H_2O$ 。 *Erythro-*
centaurin ハ直接植物体中ニモ含ム, 無色結晶ナレド日
 光曝露ニ依リ紅変スル特性アリ。其他 *Oleanolsäure*
 $C_{30}H_{48}O_3$ ・*Swertisin* $C_{13}H_{10}O_6$ ・*Gentisin* $C_{14}H_{10}O_5$ ・
Gentisinglucosid $C_{20}H_{20}O_{10}$ ・*Inosit* 等ノ無味結
 晶性物質ヲ含有ス。〔藥效〕局方・當薬ハ苦味健胃薬トシテ專

ヲ消化不良・胃加答児 (急性・慢性)・腹痛・下痢・胃痛等ニ煎
 服ス。1回 0.5~3.0 1日 2~5 瓦。りんだろノ $\frac{1}{5 \sim 10} =$
 テ足ル, 又 瘧疾 (胃弱性)・下痢止薬・駆虫剂 (蛔虫, 蛭虫等)
 トシテ有效, 煎剂又浸剂 (1日 5~10 瓦) トシテ用フ。又
 局方健胃散 *Pulvis stomachicae* 及 局方健胃錠 *Tabu-*
lettae stomachicae 製造原料トス。生薬ノ煎汁液ニテ
 下(着)衣 (持幼児等) ヲ (黄色染) 染レバ蚤・虱・ノ付着又発生
 ヲ防グヲ得。又煎汁ヲ殺虫薬トス。民: 胎毒ニ(くさ)・微毒
 ニ有效トシ 1日 4~5 瓦浸剂トシ内服ス, 又腹痛ニ當リ一握
 リ煎服シ陸軍ニテモ多需ス。

〔處方例〕(1) 局方健胃散---重炭酸曹達 25.0 當薬末 1.0... 以
 上調和シ製ス。(2) 局方健胃散---同上 (3) 健胃消化薬---當薬
 2.0 水 100.0... 以上 1日量浸又煎剂食後分服。(4) 全---當薬
 末 0.5... 重曹 2.0... 以上 1日量食後分服。

○(3) ちらたさう-せんぷり (紫千振) *S. chinensis Hemsl.*
et Forbes. (分生) 本 (中南部)・九・朝ノ山野生②, 前種ニ比
 シ高 25~50 釐, 葉巾ヨリ広ク花根短, 花ハ碧紫有紫條。
 (生薬) 全草ヲ紫千振ト称シ採乾薬用トス。〔成分〕前同前種。
 (藥效) 局方・當薬ト称シ前種同様苦味健胃薬・瘧疾止薬等
 トス。

(4) ちらたさう (ちれつた草) *S. chirata Buch-Ham.*
 (分生) 印度 (ヒマラヤ地方) 産草本。〔生薬〕全草ヲちれつ
 た草ト称シ採乾薬用トス。〔成分〕全草ニ苦味質 *Chiratin*

及 *Opheliasäure* を含ム。〔藥效〕 全草ヲ煎服シテ苦味健胃藥トス。

○(5) ゲンチアナ草 (げんちあな草), 歐洲中部山地産藥用龍膽屬ノ總稱, *Gentiana lutea* L. *G. pannonica* Scopoli, *G. purpurea* L. *G. punctata* L. 以上何レヲ用ルモ可也。〔分生〕 歐洲中部山地生④。〔生藥〕 げんちあな根 *Radix Gentianae* ハ以上4種ノ根ノ總稱ニテ日本ノリンドウ根ニ酷似ス。〔成分〕 根ニハ苦味性配糖体 *Gentiopicrosin* $C_{16}H_{20}O_9 \cdot \frac{1}{2}H_2O$ (之ハ加水分解ニ由リ *Gentigin* ト葡萄糖ヲ生ス)・*Gentim* $C_{25}H_{28}O_{14}$ ・*Gentiama-xin* $C_{16}H_{20}O_{10}$ 並ニ糖体 *Gentianose* (加水分解ニヨリ *Gentiobiose* ト果糖ニ分解ス) *Emulsin* 等ヲ含有ス。〔藥效〕 根ヲ煎服シテ苦味健胃藥 (胃弱消化不良・食慾不振・胃加答兒等) トス。局方・げんちあな根ハ苦味健胃藥トシ1日數回食後散劑又煎劑トシ 0.3~1.5ヲ用フ, 又 5.0~10.0 浸劑トシ内用。次記龍膽ト交互ニ代用シ得。局方・げんちあな越後斯 *Tinctura Gentianae* 及局方・げんちあな丁幾 *Tinctura G.* ノ製造原料トス。丁幾ハ 1.5~3.0 ヲ1日數回内服, 越後斯ハ 0.5~2.0 ヲ水劑又丸劑トシ1日數回内用ス。〔處方例〕 (1) 健胃消化藥 (慢性胃加答兒ニ用フ) --- ゲンチアナ根末 0.2 重曹 2.0 煖性マグネシヤ 1.0 --- 以上混和 1日3回分服。(2) 全(同) --- ゲンチアナ根末 0.2 ホミカ越後斯 0.06 白糖 2.0 --- 以上 研和, 分3包, 1日3回食後内服。

○(6) リンドウ (さき-リンドウ, 龍膽) 及其諸変種 (304~305 四) *G. scabra* Bunge, (てのせん-リンドウ... 朝・滿), v. *Buergeri* Max. 〔分生〕 本・四・九朝・ノ山野生④, 高 25~50 釐, 莖單立~粗叢生, 花ハ外面及藍色・内上面深藍色莖頂又更梢腋ニ輪生, 根ハ莖脚直下ニ多分岐。たう-リンドウ var. *Bungeana* Kuhn. 〔分生〕 朝・滿・ノ山野生④。〔生藥〕 龍膽根 *Radix Gentianae scabrae* ハ根莖及根ヲ花果時ニ採乾セルモノ也, 根莖ハ黃褐半新芽側及下端ヨリ副根簇出ス, 褐色, 味極テ苦シ。又花時全草ヲ採乾藥用トス。(民間) 秋田・茨城・長野・熊本縣多産。〔成分〕 根ニハ苦味配糖体 *Gentiopicrosin* $C_{16}H_{10}O_9$ 及ニ糖体 *Gentianose* $C_{18}H_{22}O_{16}$ ヲ含ム, 甲ハ *Emulsin* ノ作用ニ由リ葡萄糖ト *Eugentiogenin* $C_{10}H_{10}O_4$ = 加水分解ス。〔藥效〕 局方・龍膽根ハ苦味性健胃藥トシテ消化不良・食慾不振・胃加答兒 (急性慢性) = 1日3回 0.25~1.0 ヲ散丸錠劑トシ又1日 5.0~10.0 ヲ浸劑トシ食後服用ス, 又局方・苦味丁幾龍膽越後斯複方蘆薈丁幾複方錢那丁幾等ノ製造原料トス。苦味丁幾ハ龍膽根・櫻皮・小豆蔻3種ノ酒精溶液也。根又莖葉生藥ヲ煎服セバ食慾ヲ増進シ, 胃血圧ヲ亢進シ, 遲鈍性消化不良ニ大效アリトシ民間煎服又浸劑ヲ内用ス, 朝鮮ニテハたう-リンドウノ根又全草ヲ草龍膽ト稱シ肝虛・尿疾ニ内用ス。〔採乾〕 花又果時根及莖葉ヲ採取シ, 根ハ一晝夜米藶汁ニ浸漬シ, 水洗ト分乾燥シ貯フ, 莖葉ハ風通シ良キ場所

ニ檢于トシ貯フ。〔療方例〕(1) 胃アトニ一藥... ホミカ 越錢
 斯 0.1 龍膽越錢斯アルテア根末各適宜... 以上為 30 丸, 1
 日 3 回食後 1~2 丸宛。(2) 胃瘧(瘧)藥... 龍膽末 0.5 良若越
 錢斯 0.06 重曹 3.0... 以上為 3 包, 1 日 3 回 1 包宛。(3)
 急性胃加答兒藥... 重曹水 (5.0) 300.0 龍膽越錢斯 1.0...
 以上調和, 毎 2 時 1 食匙。(4) 慢性胃加答兒... クレオソート
 0.5 龍膽末 龍膽越錢斯各 2.0... 以上 30 丸, 1 日 3 回食前 1
 丸宛。(5) 胃瘧藥... 龍膽末 0.5 良若越錢斯 0.06 重曹 3.0...
 以上為 3 包, 1 日 3 回 1 包宛。(6) 胃瘧藥... 龍膽末 全越錢斯
 各適宜, 沃度ナトリウム 2.5... 以上為丸, 1 日 3 回。(7) 健胃
 強壯決通藥... 龍膽 2.0 大黃 1.0 黃蘗 1.0 水 200.0... 以上
 1 日 量煎劑分取 (8) 胃弱又消化不良性感冒藥... 龍膽 當歸
 陳皮各 2.0 生姜 1.0 水 200.0... 以上 1 日 量煎劑分取。〔備考〕
 莫植觀賞用トス。

(7) たうやくりんどう (當藥龍膽) *G. algida* Pall. var.
sibirica Kusn. Syn. *G. Igarashii* Kudo (分生)
 本(北中部)ノ山岳寒地帯産ノ①, たうやくりんどう
 (くもぬりんどう) var. *Igarashii* (Kudo) H. Koidzumi
 Com. nov. Planta humilior, flos albescens,
 ceterum ut in typo. (分生) 北(中央高地)ノ山岳
 寒地帯ニ点生~叢生。Hab, yezo; Mt. Daisetu et
 Idiragatake (leg. H. Koidzumi!). (生藥) 全草
 及根ヲ採乾藥用トス。〔成分〕全草苦味甚強烈未詳。〔藥效〕

前種同様苦味健胃藥トス。歐洲ニテハ根ヲ「ブランデー」
 醸造用トス。

(8) たうやくりんどう (蝦夷龍膽) *G. axillariflora*

Liev. et Unt. (分生) Sym. *G. koromuiensis*
 Kudo 樺 南千 北 本 (北中部)ノ山野生②。ほろむい
りんどう var. *koromuiensis* (Kudo) H. Koidzumi

307 四



(307 四) あさざノ花・果・葉
 及解剖(原四)

1. 植物体ノ一部(莖・葉・
 蕾・花)
2. 花器 = $K_{(5)} \overline{C}_{(5)} A_5 G_{(2)}$
3. $G_{(2)}$
4. 果実(伴留存K)
5. 種子(有縁毛)

com. nov. (分生) 北(樺向泥炭地)産②。(生藥) 全草又根
 を採乾藥用トス。〔藥效〕 全草又根ヲ苦味健胃藥トス。

Subfam. (ii) みつがしは(三柵)亞科 Menyan-
 thoideae ②. 水生又湿地生, 無内篩管部。葉ハ有柄・單葉無

裂・全縁〜細波又鈍齒縁、〜或掌狀3出複葉波縁。花ハ
傘、 Φ 5 数性, $K(5) \overline{C(5)} A_5 G(2)$; C ハ内巻縁合列, 屢細裂縁;
子房1室・側膜胎座, 單一花粉ハ1側扁圧, 上觀呈3稜形, 各稜=
各1ヶノ發芽孔アリ。

△(9) みつがしほ (みつがしほ, 三鞭, 睡菜, 暎菜) *Menzan-*
thes trifoliata L. (分生) 樺・千・北・本 (地中海部)・朝ノ亞寒
地帯〜寒地帯 (山岳又泥炭沼野ノ池沼生)ノ水生^②。(生薬)
睡菜葉 *Folium Trifolii fibrini* ハ開花期=葉 (有長柄)
ヲ採乾セルモノ也, 無臭・味甚苦シ。(成分) 葉=苦味配糖体
Meliatin $C_{15}H_{22}O_9$ 約1%ヲ含シ, *Emulsin* 又稀酸=由
テ如次式加水分解ス ---- $C_{15}H_{22}O_9 + H_2O = \overset{\text{Meliatinin}}{C_9H_{12}O_9} + \overset{\text{Glucose}}{C_6H_{12}O_6}$
Meliatin ハ馬錢子ノ配糖体 *Loganin* ト恐クハ同一
物也。其他單寧・脂肪油等ヲ含ム。沃度含量比較的高シ。脂
肪油ハ *Palmitinsäure* (セリルアルコール) *Cerylalkohol* 及 *Phytoste-*
rol ester (フィトステ
ロールエステル) ヲ含有ス。(藥效) 準局 (独・瑞・佛・馬方)・睡菜葉
ハ苦味健胃藥トシ煎劑・浸劑又丸劑トシテ内用ス, 1回 0.5
〜1.0 瓦。1日 1.5〜3.0 瓦 又睡菜越幾斯ヲ製ス。又催
眠藥トシ不眠症・ヒステリー症・神經衰弱ニ用テ有效。又
瘧疾・胃弱・消化不良ヲ治ス, 生葉搾汁ヲ用ルモ有效, 欧
洲ニテハ家畜ノ疾病ニモ用ヒ, 又麥酒ニ苦味ヲ與フニ用フ。
(藥方例) (1) 健胃消化藥 ---- 睡菜葉 3.0 水 100.0 ---- 以上
1日量浸劑分服。(2) 慢性胃加答兒藥 ---- 睡菜越幾斯
泥菖根末各適宜 ---- 以上研和, 0.2ノ丸ニ依リ 1日3回

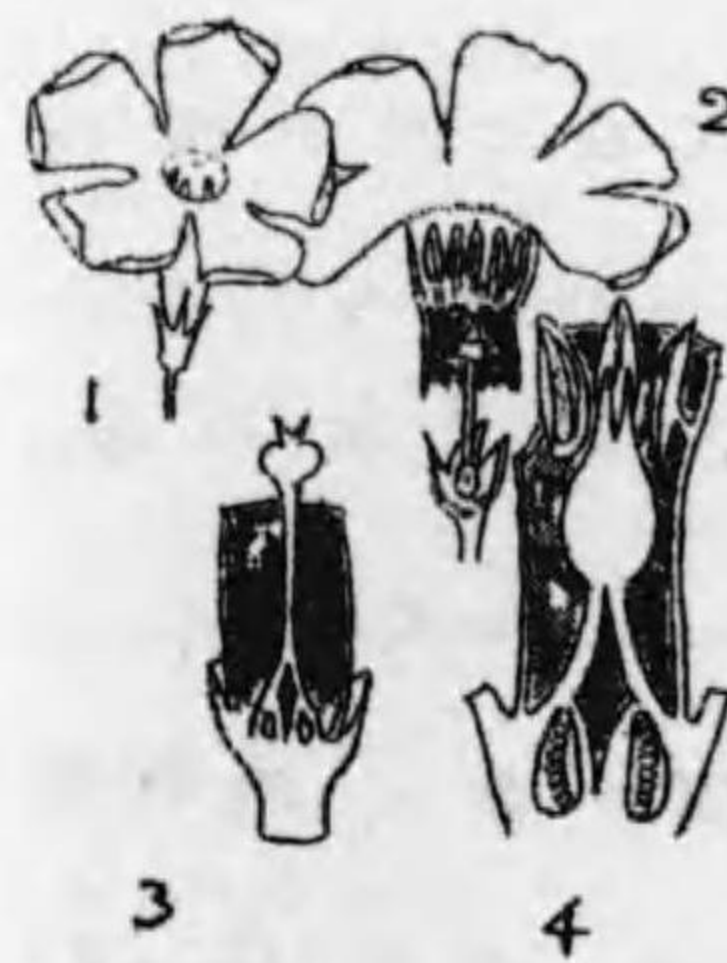
毎日2粒宛。

(10) あさぎ (はな-じゆんさい, 蒼菜) (307四) *Limnan-*
themum nymphoides Hoff. et Link (分生)
本 (北中部) 朝・台・ノ池沼生^② (效用) 觀賞用=栽培シ,
又若キ莖葉ヲ燻テ食用トス。

Fam. (10) けふちくたう (夾竹桃) 科 *Apocynaceae*

形質——^②又互〜互又¹, 常=單乳管ト内篩管部ヲ有ス。
葉ハ Ψ 又 Ψ 稀 Ψ , 有柄稀無柄, 無托葉極稀有, 單葉無翼・全縁
屢細密羽脈。花 Ψ ハ傘, 小〜中形・紅・黃・紫色, 概聚繖・稀
單生又總狀花序。花ハ Φ , 5〜4数性, $F.f. = K(5-4) \overline{C(3-4)} A_5$
 $G(2)$ $r(3-5)$; 概 $K(5) \overline{C(3)} A_5 G(2)$; K ハ宿存性, C ハ一回旋
列 (右又左旋)・稀縁合列, 概漏斗狀〜高杯狀; A ハ C

308 四



- (308四) けふちくたう科ノ花及解剖
四 (12原四, 3, 4 K. Schumann氏)
1. ちやうじかつらノ花 = $K(5) \overline{C(3)} A_5$
 $G(2)$
2. 全花ヲ縦開シ内部ヲ示ス (A, G, K, C 等)
3. *Diplorrhynchus Psilopus*
花ノ下部及 $G(2)$ ノ縦斷 (離子房, 合花
柱, 2柱頭)
4. *Plumiera alba*, 花ノ筒部以下
縦斷圖 ($G(2)$, 2子房, 合花柱, 分離
柱頭, A ハ C 着生)

裂片ト互生花蕊有又無葯ハ内向、先端ニ有分離花粉；
 心皮ハ下部分離、上部（花柱）結合（但花後子房分離ス）
 又全結合心皮完結合者ハ子房2室又1室、卵ハ概シ半倒
 生又倒生、花柱ハ概シ球状、柱頭ハ2分シ基部膨大シ花柱ニ
 癒合ス；花盤ハ概シ有シ、環状洋杯状、杯状等又無。果実
 ハ双出膏莢蒴果、核果、漿果等多様也；種子ハ要有毛叢、胚乳

309 図



〔(309 図) けふちくたふ科ノ〕

花式 四

(Eichler 氏) $K_{(5)}C_{(5)}A_5G_{(2)}$

少又無、胚ハ直生、倒位。殆種子ト等長扁平、内乳ハ核状。

成亦及效用——本科ニハ有毒塩基、及配糖、苦味質等
 ノ含有ス、就中 *Digitalis* 屬強心性配糖体 *Stro-*
phanthusglycosid、*Oleanderglycosid*、
Apocynumglycosid 等ヲ含ム、其他 *Que-*
bracho-alkaloid、*Alstoniaalkaloid*、

Pareisalkaloid 等ノ塩基ヲ含ム、尚脂肪、脂肪
 油、有機酸等ヲ含有ス。詳細如次。塩基 (*Quebrachin*、
^{クエブラヒン}

Aspidospermin、*Idyposquebrachin*

^{クエブラカミン} *Quebrachamin*、^(Matin Aspidosamin) *Aspidospermin*、^{アブシシニン} *Abyssinin*、

^{コネツシン} *Ilogin*、^{エヒラミン} *Conessin*、^{ヂタミン} *Echitemen*、*Ditamin*、

Echitamin、*Alstonin*、*Alstonidin*、*Por-*

^{ペライリン} *phyrin*、^{ガイソヘルミン} *Pereirin*、^{グロニン} *Geisospermin*、*Vellosin*、

等), 配糖体 (*Strophantin*、*Neriodorin*、*Nerio-*

^{オドレイン} *dorein*、^{ネリアンチン} *Nerianthin*、^{カリニン} *Carissin*、*Androsin*、

Neruin、*Karabin*、*Oleandrin*、*Rosaginin*、

^{アポチネイン} *Apocynin*、^{ツエルベリン} *Cerberin*、*Urechitin*、*Urechito-*

^{タンキニン} *xin*、等), 苦味質 (*Tanghanin*、^{アポチナマリ} *Apocynamarin*、

^{エヒチン} *Echitin*、^{エヒツエリン} *Echiretin*、*Echicerin* 等),

其他ノ物質 (*Dambonit*、*Ipuranol*、*Acetova-*

^{クエブラコール} *nillin*、^{クエブラヒット} *Quebrachol*、*Quebrachit*、*鞣酸*、*醣*

酸、*酪酸*等) 等也。本科ハ薬用ノ外、彈性ニむ原料又

觀賞用ニ供スルモノアリ。又有毒植物不尠。

分布及属種数——世界ニ凡 122 属 1000 餘種ヲ

産シ、主ニ熱帯ニ少数ハ温帯ニ分布ス。日本ニ自生又

栽培スルモノ凡 21 属 32~35 種アリ、華、台、間ニ分

布シ南漸増加ス。

本科ノ藥用植物：- 次ノ2亞科ニ分ル。

Subfam (i) ちやうじさう (丁字草) 亞科 Plumieroidae

④又⑤, Aハ離生又液ヲ頭狀柱頭ニ懸着, 蒴室ハ概尾狀附屬物無シ, 種子ハ概毛叢ヲ缺如ス。

(1) ちやうじさう (水甘草・丁字草) *Amsonia elliptica* Roem. et Schult. (分生) 北米 (北中部) ノ山野湿地生④, (生藥) 丁字草ハ全草ヲ花時ニ採乾セルモノ也。〔藥效〕 全草ヲ小兒風熱及疳積等ニ煎服ス。〔備考〕 庭植觀賞用トス。

(2) にちにちさう (にちにちくわ, 長春花) *Lochnera rosea* R. K. Sch. (分生) 南米 (西印度) 産ノ④, 葉ハノ, 花ハ腋生1~2宛, 紅紫色, Cハ高盆狀, 蒴莢果ハ双出。〔藥效〕 莖葉ヲ少量ノ塩ト揉ミ其水浸液ニテ咽喉加答兒ノ合嗽料トス。〔備考〕 觀賞用ニ栽培ス。

(3) クエブラチヨ一のき (くえぶらちよ一樹) *Aspidosperma Quebracho-blanco* Schlecht. (分生) 南米アルゼンチン産ノ④。〔生藥〕 クエブラチヨ一皮 *Cortex Quebracho* ハ樹皮ヲ剝離乾燥セルモノニテ④清烈アリ鱗皮着生, 褐色也。〔成分〕 樹皮ニ *Quebrachoalkaloide* (1) *Aspidospermin* $C_{22}H_{30}N_2O_2$ (2) *Aspidosamin* $C_{22}H_{28}N_2O_2$ (3) *Aspidospermatin* - 名 *Quebrachamin* $C_{22}H_{28}N_2O_2$ (4) *Quebrachin* $C_{21}H_{26}N_2O_2$ (5) *Hypoquebrachin* $C_{21}H_{28}N_2O_2$) ヲ含有ス, 以上ノ

中 (2)・(5)ハ無晶形他ハ結晶性也, 之等ノ諸塩基ハ化学構造式ニ於テ *Yohimbine* = 類似シ *Quebrachin* ^{クエブラチン} 如キハ全ク分子式ヲ同シ, 加水分解セバ是ハ全ク同一物ヲ得。〔藥效〕 樹皮ヲ呼吸困難及喘息藥ニ賞用シ, 又肺気腫ニ用ス, 呼吸鎮靜藥トス。概丁幾割 (樹皮 30.0 = 酒精 300.0 ヲ加ハ浸出瀘過蒸発セル残渣ヲ水 60.0 = 溶解ス) トシ, 1日3回, 1回1~2食匙宛内服ス。〔藥理〕 以上ノ塩基ハ其藥物学的作用 *Apomorphin* = 類似シ, 少量ニテ中枢神經系ヲ興奮シ, 吐気又吐瀉ヲ惹起ス。其中 *Aspidospermin* ノミハ皮下注射ニテ吐瀉ヲ催ス。概レドモ是等塩基ハ呼吸中枢ノ興奮性ヲ低下セシムル故, 呼吸困難ニ應用セラルルト同時ニ軽度ノ吐気ニ由リ粘液ヲ稀薄ナラシメ其咳出ヲ容易ナラシムル作用アリ。

Subfam (ii) けふちくたう (夾竹桃) 亞科 Echioideae ⑤~⑥, 蒴ハ液狀柱頭ニ密結合, 蒴室ハ尾狀突起ヲ有ス, 種子ハ有毛叢。

(4) エシスチカ-ごむのき (フンツミヤ-ごむのき ちかごむのき) *Funtumia elastica* Stapf. (*Kickxia elastica*) (分生) 亞非中部熱帯ニ分布スル④, 高30米, 葉ハ大形披針形, 平滑也。〔生藥〕 葉ヲ弾性ごむ製造原料トス。〔藥效〕 葉ノ乳液ヨリ弾性ごむ *Kautschuk* ヲ採取シ, 醫藥用及工業用トス。


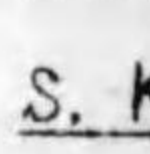
(5) けふちくたう (夾竹桃) *Nerium odoratum* Soland.

〔分生〕 印度原産ノ常緑草；葉ハ半革質披針形密羽脈全縁花紅又白，芳香夏。〔注釋〕 樹皮及葉ヲ花時ニ採乾藥用トス。〔成分〕 樹皮及根ハ *Neriodolein* 及 *Neriodorin* ナル強心性配糖体ヲ初メ *Karabin* $C_{21}H_{40}O_6$ (樹脂性物質)・ふえのーる性結晶物質及少量ノ精油ヲ含有ス。其他根ハはるみちん酸^{カネロール}すておリン酸・油酸^リのーる酸・結晶性物質 *Kanervol* $C_{30}H_{50}O$ ヲ含有ス。葉ニハ別ニ無晶形物質 *Nerioscorin*・*Nerioscorin* ナル強心配糖体ヲ含有ス (酒井・石川両氏)。〔藥效〕 葉及樹皮ヲ煎服又丁裁劑トシ強心藥トシ心臓衰弱ニ用フ。但有毒ナル故ニ注意。〔藥理〕 (1) *Nerioscorin* ハ蛙心臓ニ作用シ收縮振幅機能ノ増進及搏動數ノ減少ヲ來シ、多量ニ用レバ收縮力ニ停止ス、其作用極テききたリテ製劑ニ類似ス。南京鼠ノ皮下注射ニヨル最少致死量ハ体重10gニ對シ約0.4g也。*Nerioscorin* 亦其作用前者ニ類似シ、作用微弱也。*Nerioscorin*ノ有效量ヲ連続使用セバ致死的中毒症狀ヲ惹起ス、1回無效量ヲ反覆注射セバ長時ニ亘リ適當ノ強心作用ヲ持續セシメ得。 (2) *Bose* 氏ノ分離セル *Neriodolein*・*Neriodorin*・*Karabin*ノ3成分中心臓作用アルハ甲ノミ。〔補考〕 庭植觀賞用トス。

(6) せいやう-けふちくたろ (西洋夾竹桃) *Nerium Oleander* L. 〔分生〕 南欧ニ多キニ南米原産ノ常緑小豆也、花ハ前値ヨリ小形無香氣副花冠ハ3~4裂・不齊也。〔生藥〕 葉ヲ採乾藥用トス。〔成分〕 葉ニ強心性配糖体 *Oleandrin*

$C_{30}H_{46}O_9$ ・*Nerianthin*・*Nerianthin* 等ヲ含ム。其中甲ハ強心作用主成分ニテ其作用ききたリテ配糖体ニ類ス、

之ヲ加水分解セバ如次式分解ス。--- $C_{30}H_{46}O_9 + H_2O =$
 $C_{23}H_{34}O_5 + C_7H_{14}O_5$ 。直時 *Tauber* 氏ハ更ニ $C_{24}H_{34}O_7$
 及 $C_{23}H_{36}O_9$ ナル2種ノ結晶性配糖体ヲ分離セリト云。〔藥效〕 葉ヲききたリテ葉又すとりふあんつす子ト同様強心藥トス。〔藥理〕 (1) *Oleandrin* = ハ強心作用アリ。 (2) 一般ニ馬及驢馬ハ洋種夾竹桃生葉 15~20瓦、乾葉 15~30瓦ニテ、牛ハ生葉 10~20瓦、乾葉 15~25瓦ニテ、羊ハ生及乾葉 1~5瓦ニテ斃死ス。 (3) 人ノ洋種夾竹桃酒又同浸劑ニ因ル中毒症狀ハ眩暈・脈搏不整・冷汗・瞳孔散大・嗜眠・痲痺・眩暈・血便・排泄等也。〔補考〕 觀賞用ニ栽培ス。

(7) ストロファンツスのき (すとりふあんつす樹) *Strophanthus hispidus* D.C. 〔分生〕 熱帯亞非・北部 (一説西部) 産ノ  = テ莖葉密毛、葉ハ半革質卵形全縁・頂生聚繖花序ハ有苞葉、 $K(5)C(5)A_5G(2)$ 、C裂片ハ長線形、白色。*S. Kombe Oliv.* 〔分生〕 熱帯亞非・東南部産ノ  = テ前者ニ近似シ、花序ハ花少ク苞小也。〔生藥〕 すとりふあんつす子 *Semen Strophanthi* ハ *Strophanthus* 屬諸種ノ種子ヲ採乾セルモノ也。*S. Kombe*ノ種子ハ長卵形漸尖頭・液腺毛・毛ハ上向雁伏・灰綠色、味甚苦。*S. hispidus*ノ種子ハ披針形・有長嘴・頂生叢。〔成分〕 本屬諸種ハ所謂 *Strophan-*

thuglycosidヲ含有シ、夫々多少ノ差アリ、即強心性配糖体
 Strophanthin $C_{34}H_{48}O_{12}$ 也。詳細ハ *S. hispidus* =
 (1) *hispidus-Strophanthin* (異シテ *h-Strop.*) (2)
S. Kombe = *K-Strop.* (3) *S. gratus* Flanch. = *g-*
Strop. (= *Ouabain*) (4) *S. Eminii* Asch. = *l-Strop.*
 (5) *S. Nicholsonii* Holm. = *n-Strophanthin*ヲ含有ス。
 以上ノ中(3) *Ouabain*ハ本料 / *Asokantera Ouabais*
*Coxh.*ヨリ検出セル配糖体ニテ他 / *Asokantera*属諸種中
 ニモ含有ス。今 *K-Strop.*ヲ加水分解セバ --- $C_{36}H_{54}O_{14}$
 $+ 2H_2O = C_{33}H_{32}O_6 + C_6H_{12}O_6 + C_7H_{14}O_4$ 。
 (藥效) 種子ハかきたリオ様強心作用ヲ有スルモ概生薬ノ極不用、多ク
 すとろふあんつす丁錢(劇薬)製造原料トス。專強心薬ト
 シ心臓衰弱ニ用ヒ、又利尿(強心利尿)薬トス、又高所麻酔薬
 ノ效アリ。局方 *Tinctura Strophanthi*ハ *Digitalis*
 ノ適應症ニ一日數回3~6滴(又2~10滴)ヲ内服、7回
 極量0.5g、1日全1.5g也。單寧酸すとろふあんちんハ膠囊劑
 又溶液トシテ1日0.0004~0.001g。靜脈内注射用 *Stroph-*
*anthin*ハ0.0005~0.001g。(藥理) (1)哺乳動物ハ離心臓
 ニ對シ、疲勞セル心臓ハ *Strophanthin*ノ少量添加に依リ心
 動作用強盛トナル。(2)心臓衰弱ノ危險迫リ餘祐ナキ時ハ
*Strop.*ヲ靜脈内ニ注射セバ、直ニ其效カヲ發揮シ、脈搏良好ト
 ナル。是其吸收排泄共ニ速ニシテ效カ短時間ニ現ル故、又蓄
 積作用ナク、而モ其效かきたリオト全ナルモ彼ノ如ク效カ

持久性ナラズ、故ニ一時危急ノ際使用ニ適スレドモ全ク *Di-*
*githalis*ニ代用スルコト能ハズ。(新薬)強心薬 --- (1) *Stro-*
phanthin (ニ共)、(2)全 (Merck)、(3)全注射液 (林)、(4)
Solubain (丸善)、(5) ^{ストロファンソーン} *Strophanthone* (ニ共)等。

(8) ていかかつら (せきだ、かつら、絡石) 及其諸変種
Trachelospermum asiaticum Nakai v. *inter-*
medium Nakai (分生) 本(中南部)・四・九・朔・琉・台・ノ山
 野生ノ。〔生薬〕莖葉ヲ採乾藥用トス。〔成分〕未詳。〔藥效〕
 莖葉ヲ煎服シ強壯薬トス、又解熱鎮痛薬シ痛風・關節炎ニ用ヒ、
 又口熱甚キ時或咽喉腫痛・腰臀部骨痛・關節疼痛ニ煎服シ有
 效。1回2~4瓦、1日5~10瓦。又諸瘡ヲ白濁セシメス
 ニ消散セシムルニ常用ス。又葉ヲ搗潰シ傷瘡ニ塗付シ有效。
 (備考)觀賞用トス。

(9) あめりか-たいまさう (亞米利加大麻草) *Apocynum*
Cannabinum L. (分生) 亞米利加産。〔生薬〕全草ヲ
 採乾藥用トス。〔成分〕全草 = *Cymarin*・*Apocymarin*・
Cynotoxin・*Apocynin*・*Apocynin* 等、*Apocynu-*
nglycosid (強心性配糖体)ヲ含有ス。而シテ *Cymarin*
 ヲ加水分解セバ $C_{30}H_{41}O_9 + H_2O = C_{33}H_{32}O_6 + C_7H_{14}$
 O_4 トナル。(藥效) 全草ヲ強心劑トス。(新薬) (1) *Cymarin*
 (Bayer)ハ強心劑トシ、又腎臟機能ヲ昂進セシメ、1錠即0.3mg
 宛1日2~5回内服、又0.0005~0.001g。靜脈注射、0.0005~
 0.001gヲ肛門坐薬トシ用フ。皮下注射ハ疼痛烈シキ故不行。

(1) いけま (牛皮消・生馬・白菟藪) *Cynanchum ikema*
Okwi (*C. caudatum* Max.) {分生} 南千北本・四・九・ノ
 山野生② {, 全株含乳液, 花七・八月・果九月。〔生薬〕牛皮消根
Radix Cynanchi ハ根ヲ搥採シ縦又横割セルモノ也。淡
 褐・多横皺, 切面白色・粒状質緻密, 味稍苦シ。新潟縣・北海道・奥羽
 多産。〔成分〕根 = 有毒性苦味質 *Cynanchotoxin* ヲ含ム。〔薬
 效〕漢: 根ヲ等ヲ利尿薬トシ下毒ノ效アリ, 又解毒劑・消化劑
 トシ血症 = 有效, 又生根煎汁ヲ内服シ止血 (吐血) 劑トス。1
 日 3~6 瓦煎用。將 = 本生薬ハ古來家畜毒 = 馬ノ諸病 = 有
 效ナル故生馬ノ名アリ。あいぬ人ハ何病 = モ服用シ即效ア
 リト云, 能酒毒及魚毒ヲ解シ (解毒劑), 又金創・瘡癩・腫物 = ハ
 搗碎又糲御シ貼付シ即效アリ。〔薬理〕ちなんニ - ときしんヲ
 埴ノ体重 10 瓦 = 對シ 1~3 毫ヲ皮下注射セバ痙攣中樞ノ
 興奮 = 依リ激間代性痙攣ヲ発シ, 心臟ハ搏動緩慢トナリ, 遂
 自動中樞ノ麻痺 = ヨリ靜止ス。温動物 = テハ流涎・嘔吐・四肢
 遊泳運動ヲ伴フ痙攣性痙攣ヲ発シ明 = *Rikrotoxin* 屬ノ
 腦性痙攣毒タルヲ示ス (岩川氏)。〔備考〕あいぬ人ハ常 =
 根ヲ燒キ食フ, 其味甘美也ト云。本生薬ハ外見及組織類似ヨ
 リ晏商陸根ト誤認 (研究上, 用藥上) セラル (商藥ノ項參照)。
 本生薬ノ人間中毒例 (嶋海氏) = 據レバ, 利尿ノ目的 = 商陸
 根ト誤用シ, 内服後 20~30 分 = テ嘔気下痢等商陸中毒 = 類
 似セル症状発現セリ, 唯異点ハ四肢ノ間代性痙攣ヲ伴ヒハ
 るときしん屬毒物中毒 = 類似セリト云。〔處方例〕(1) 利尿解

毒劑 ---- 牛皮消 3.0 水 100.0 ---- 以上 1 日量煎劑分服。(2)
 全藥 ---- 牛皮消 3.0 甘草 0.5 水 100.0 ---- 以上 1 日量煎劑
 分服。

(2) いよかつら *C. japonicum* Hemsl. {分生} 本 (中南部)
 部・四・九・琉ノ海辺山野生②, 梢部蔓状, 長 1 米許, 葉ハ心形,
 花序ハ腋生, 淡黄緑花, 夏, 萼葉ハ広披針形。〔效用〕莖皮ヲ纖維工
 業料トシ, 種子毛ヲ綿代用トス, 恐クハ次変種ト同藥效アリシ。

(3) すずめのをこけ (白前) *C. japonicum* Hemsl, var.
purpurascens Matsum. {分生} 本 (中南部)・四・九・琉ノ山
 野生②, 聚繖花序, 花ハ暗黄・淡紅・褐紫色, 夏秋。〔生薬〕白前根ハ
 根ヲ搥採セルモノ也。〔薬效〕根ヲ煎服シテ解熱・鎮咳・祛痰薬ト
 シ又腎臟病及脚氣 = 有效。

(4) ろくおんさう (ひごぎやくぜん, 野英豆, 合拿消) *C.*
amplexicaule Hemsl. {分生} 四・九・朝ノ山野生②, 高 1
 米許, 全株粉白, 葉ハ無柄稍耳却, 綠黄花夏。〔生薬〕葉ヲ搥乾
 藥用トス。〔薬效〕葉ノ煎汁ヲ獸醫藥 (冲馬等) トス。

(5) ふなばらさう (白薇, くさだち・いけま, くろべんけい) *C.*
atratum Bunge {分生} 北本・四・九・朝・台ノ山野生②。
 〔生薬〕白薇 *Radix Cynanchi atrati* ハ秋季 = 根ヲ搥
 乾セルモノ也, 主根ハ∞ 副根分岐, 灰黄色, 有縱溝・質堅脆・味
 苦シ。〔成分〕根 = *Cynanchol C₁₅H₂₄O* ヲ含ム, 本品ハ
Cynanchocerin 及 *Cynanchin* ノ混合物也。〔薬效〕
 漢: 根ヲ解熱劑・利尿劑トシ寒胃又間歇熱ノ寒作時 = 於ル灼

煎ヲ解キ、浮腫特ニ卒中患者ノ四肢ノ浮腫ヲ去ル、1回1〜2瓦1日6瓦煎服。獸医ハ馬病ヲ治スルニ用フ。利。陰氣。下。水完。

(6) ニーハナ *C. Wilfordi* Hensl. (分生) 本(中南部)・四・九・朝ノ山野生② {, 花淡緑, C不反捲。(生薬)根ヲ乾燥薬用トス。〔薬效〕根ヲ何首烏ト称シ虚勞・勞瘵ニ内用シ、又補精ノ效アリ、白何首烏亦何首烏ノ2種アリ。〔備考〕山民之ヲ生食シ又煮食ス甘味有。

(7) たうわだ *Asclepias curassavica* L. (分生) 熱南米産②, 花赤色。(生薬)全草ヲ花時乾燥薬用トス。〔成分〕莖葉ニ *Asclepiadin*・*Asclepin* (配糖体) ヲ, 根ニ *Vincetoxin* ヲ含ム。(薬效) 莖葉ヲ興奮劑・緩瀉及祛痰薬トシ、根ヲ催吐薬又瀉下薬トス。〔備考〕觀賞用。

(8) ががいのも (蘿藦羊角菜) *Metaplexis japonica* Mak. (分生) 北・本・四・九・朝ノ山野生② {, (生薬) 蘿藦子 *Fructus Metaplexis* ハ果実ヲ乾燥セルモノ也、長10種許、長披針形、淡緑又淡褐、縦裂開シ〇種子ヲ吐ク、種子ハ小・楕円形・褐色・頂毛冠、長2.5。葉ニ乾燥薬用トス。長野縣多産。〔成分〕未詳。〔薬效〕種子及葉ヲ強精薬トス。種子白毛ヲ創傷ニ貼布シ止血薬トシ、莖葉ノ搗碎白汁ハ塗布シテ疣ヲ去リ、或蛇咬又腫物ノ痛ミト腫毒トヲ去ル。〔備考〕蔓ハ強ク繩代用トシ物ヲ束ネ、皮部ノ纖維(白絲)ハ甚強軟・釣輪トスベシ。嫩葉ヲ煮食ス、味佳也。種皮即葉ハ綿代用トシ、パンヤト称シ針棒・坐褥等ニ入

レ、又印肉ノ材料トス。〔処方例〕強精劑……蘿藦子4.0 ^{チコツヒ}地骨皮(くこ)・五味子 ^{ハクシニン} 柏子仁(このてがしわ)・酸棗仁・地黄各3.0……以上粉末トシ混和、1日3回又朝夕2回少量宛服用。

(9) キムネマのき (きむねま) *Gymnema silvestre* R. Br. (分生) 印度セイロン島・亞弗利加等處樹木。(生薬) 葉ヲ乾燥薬用トス。〔成分〕葉ニ配糖体 *Gymnemasäure* ヲ含有ス。其他 *Gymnemin*・*Hentriacontan*・*Quercit* 等ヲ含有ス。〔薬效〕葉ノ成分ハ甘味及苦味ノ両味覺ヲ鈍麻セシムル故ニ甜味薬トス。

(10) コンヅランゴのき (コンヅらんご樹) *Marsdenia Condurango* Richb. fil. (分生) 南米 ^{パルマ} ^ト ^及 ^レ ^エ ^ク ^{アドル} 産也。(生薬) コンヅらんご皮 *Cortex Condurango* ハ樹皮ヲ乾燥セルモノ也。〔成分〕樹皮ニ配糖体 α -、 β -*Condurangin* $C_{70}H_{60}O_{16}$ ・*Condurid* 等ヲ含有ス。〔薬效〕樹皮ヲ煎服セバ胃癌ニ特效アリ、又胃癌症状ヲ軽減ス。胃潰瘍及胃粘膜炎ニ對シテハ良ク奏效ス、即食欲ヲ増進シ、消化ヲ佳良ナラシム、故ニ病源不明ノ慢性胃病及胃癌ニ汎用ス。樹皮ハ苦味健胃薬ニテ消化不良・食欲不振ニ浸劑又煎劑トシ1回3〜5瓦、1日5〜10瓦ヲ用フ。又コンヅらんご流動賦性新 *Extractum Condurango fluidum* 及コンヅらんご酒ヲ製造スル原料トス。樹皮ヲ10%煎劑トシ1日3〜4回大匙ニ1杯宛。コンヅらんご流動賦性新ハ1日3〜4回、1.0〜2.0宛(20〜30滴)。コンヅらんご酒ハ1日3〜4回

小匙=7杯宛(3~5^{cc}宛)。(處方例)(1)慢性胃病又胃潰瘍
 藥...コンヅランゴ皮煎(5.0)100.0 稀塩酸(酸性胃=ハ除ク)
 1.0 シロツプ 8.0...以上 1日量 3回分服。(2)健胃藥...コン
 ズランゴ酒 100.0...以上 1日量 3回 1食匙宛,食煎。(3)胃癌
 藥...コンヅランゴ皮煎(10.0)100.0 シロツプ 20.0...以上
 調和,1日 2~3 食匙。(4)同...コンヅランゴ流動エキス 8.0
 ホミカ丁幾 1.0 橙皮シロツプ 10.0...以上 1日 4回分服食
 煎混赤酒用。

第六目 筒花(管花)目(をどりこさう目)

Tubiflorae (Lamiiales)

特徴—概H嬰D。葉ハ有柄又無柄,單葉屢複葉。花ハ中
 又中,概傘形,概5数性4花輪列。F.f.=K:n; C(n) An G(n),
 r.(1~4), n=5r.4;各花輪同数花葉ナルモ屢G輪減数シ
 中花ハ概A群ヲ減数シA2~4トナル,卵子ハ1卵膜,Cハ土筒
 狀又管狀有脉,概G(n) 稀G(n)。本目18科中藥用關係ハ次ノ
 12科也。

- { Cハ中 1
- { Cハ中,概唇形C 3
- 1 { 葉ハ有粗剛毛,花ハ紫青色又白色概卷尾狀花序,子房ハ概
 4分裂,概小核果又小堅果..... Fam.(II)紫草科Borragina-
 ceae.
- 葉ハ粗剛毛無シ,子房ハ2~数室,4分裂セズ,非核果..... 2

- 瓶 纏繞莖子房2~5室,各室各1~2卵子,花柱ハ1~2,
 2 { 単体花柱ハ概2分岐柱頭ヲ頂ク
 Fam.(I)旋花科Convolvulaceae
 非纏繞莖,単体花柱,柱頭單又2分..... Fam.(V)茄科Solanaceae
- 3 { G1,1子室,各1直生卵子..... Fam.(XII)罌粟草科Phrymaceae
 G(2~5), 2~5子室..... 4
- 4 { K(5~4); C(5~4) A4v.2 G(2), ∞卵子,種子ハ胎座ヨリ生セル鉤狀
 又洋杯狀突起=着生ス..... Fam.(XI)薔棘科Acanthaceae
 A5v.4v.2, G(2~5), 種子ハ前記ノ如キ突起=着生セズ..... 5
- 5 { 子房ハ各室=1~2卵子ヲ藏ス,葉ハ中又中..... 6
 子房ハ各室=数箇~∞卵子ヲ藏ス..... 7
- 6 { 子房ハ非4分裂,果ハ核果・漿果又蒴果,非方莖.....
 Fam.(III)馬鞭草科Verbenaceae
 子房ハ4分裂,其各部ハ1種子ヲ含ム小漿果,方莖,
 唇形C, 2環A..... Fam.(IV)紫蘇科Lamiaceae
- 7 { 子房1室,側膜胎座..... 8
 子房2~4室..... 10
- 8 { 葉ハ非綠色・鱗狀,根寄生H..... Fam.(IX)列當科Orobancha-
 ceae
 葉ハ綠色,尋常葉..... 9
- 9 { 葉ハ卷鬚ヲ有ス..... Fam.(VII)紫葳科Bignoniaceae
 葉ハ卷鬚ヲ有セズ..... Fam.(X)苦苣苣科Gesneraceae

- 10 { 子房4室, 胚乳ハ薄シ Fam. (VII) ^{コマ}胡麻科 *Pedaliaceae*
- { 子房ハ2室, 胚乳有又無 11
- 11 { 中軸胎座, 種子有胚乳 Fam. (VI) ^{コマハグサ}玄参科 *Scrophulariaceae*
- { 胎座ハ子房隔壁ニ位シ, 無胚乳 Fam. (VII) 紫葳科

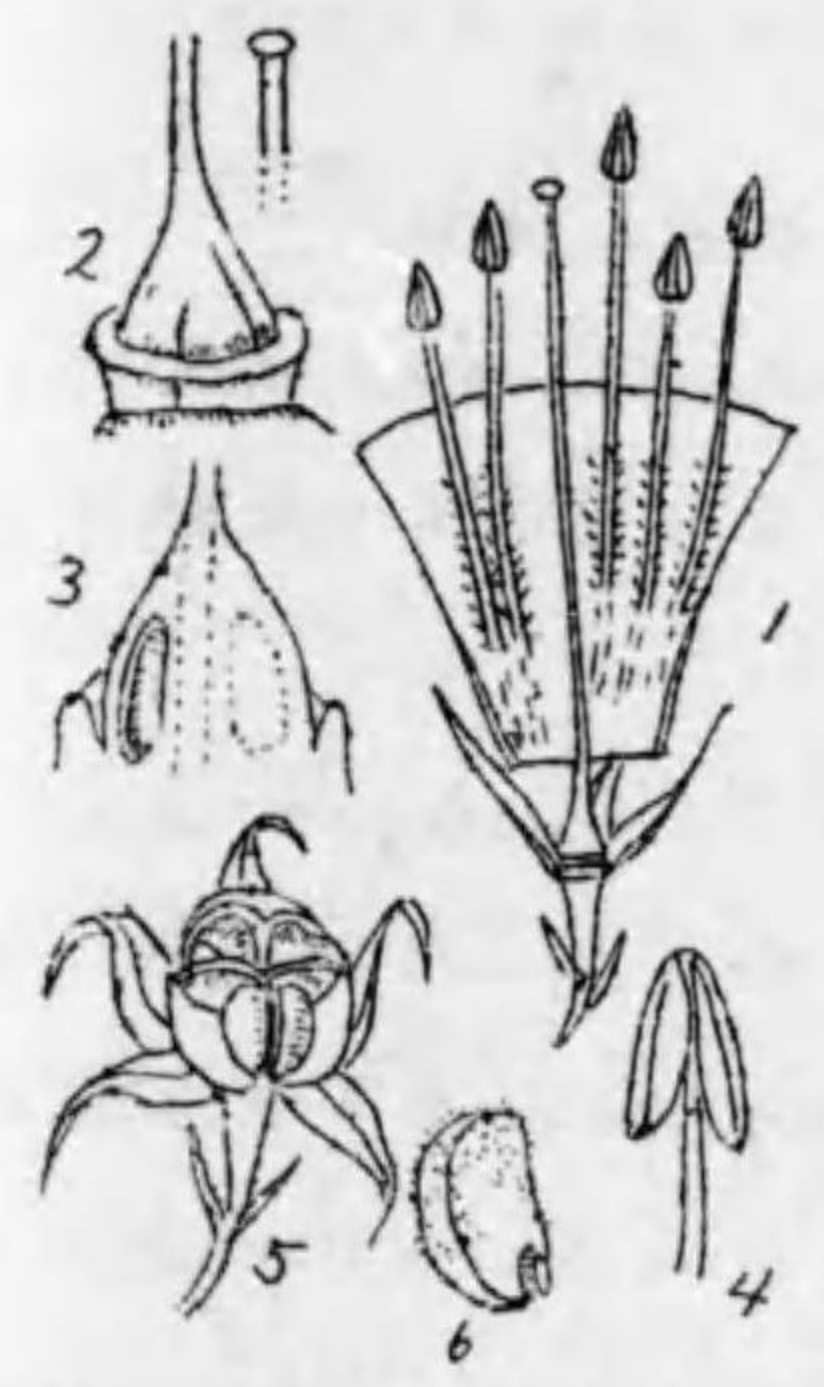
Fam. (I) ひるがほ(旋花)科 *Convolvulaceae*

形質——概H(①又②概シ), 稀ナ(稀外國ニ至又去), 概全株合乳液(連合乳管)。葉ハシ, 有柄, 概無托葉, 單葉無裂又掌狀淺〜深裂稀羽深〜全裂, 概掌狀脈, 全緣〜波緣; 寄生者ハ小鱗狀白質

花蕾ハ傘, 中〜大美, 多色彩, 寄生者ハ細小不美; 頂生又腋生, 單生〜密生ニ出聚繖總狀繖形花序, 稀頂生円錐又頭狀花序。花ハ中, 5〜4數性, F.f. = K(5〜7); C(5〜4) A5〜4 G(2) T. (3〜5), 概 K5 C5 A5 G(2〜3); Kハ概宿存性, Cハ筒狀〜漏斗狀屢殆全缺, 概回旋列稀組合列, Aハ等長又不同長; 各心皮ハ2ヶノ副生卵子ヲ生シ1〜2室稀3〜5室, 或假隔膜ニ依テ分數室, 無裂單果又2〜4小介果又小房; 花柱ハ單体又2稀3ヶ, 柱頭ハ單体又2裂或花柱ト同數花盤ハG外圍ニ在テ環狀全緣又淺裂或不發育〜無。果實ハ蒴果稀肉果2〜3稀4室, 種子ハ球形卵形〜3稜形, 胚ハ直生又彎曲, 子葉ハ褶曲稀無又退化, 有胚乳, 內乳ハ核狀。

成分及效用——本料ニハ葯下藥ニ利用サル、樹脂性配糖体例ハ *Pharbitin*・*Convolvulin*・*Jalapin* 等ヲ含有

312 圖



(312圖) あさかほノ花果及解剖 (牧野氏) 1. 花ノ解剖... K5 C(5) A5 G(2). 2. G(2) 及環狀花盤 3. 子房及花盤ノ縱斷 (基立副生卵子) 4. A1ヶノ上部 (葯及花絲上部) 5. 蒴果 (3介果), 伴宿存K 6. 種子 (有微凸起密生).

ス, 又澱粉ヲ多含スルアリ. 概ニ根基ヲ含有セズ; 詳細如次. 配糖体 (*Jalapin* = *Scammomin*・*Convolvulin*・*Pharbitin*・*Japomein*・*Saponin* 等), 有機酸 (鞣酸・没食子酸・蟻酸・

313 圖



(313圖) ひるがほ屬ノ花式圖 (Eichler氏) F.f. = K5 C(5) A5 G(2), (B3 及花梗)

林檎酸・酪酸・吉草酸・*Eurginsaur*・*Convolvulinsaur* 等), 其他物質 (*Pharbitose*・*Dextrose*・*Ketose*・*Methylpentose*・*Lecithin*・*Prytosterin*・*蔗糖* 等) 等也. 本料ニハ葯用ノ外、食用・觀賞用ニ供スルアリ, 又農作物又他植物ニ寄生シ寄主ニ損害ヲ與フルアリ.

分布及属種數——世界ニ凡40属 1100〜1200種ヲ産シ, 主ニ熱帯ニ分布シ温帯ニ少シ. 日本ニ自生又栽培スル

モノ凡15属55~60種ヲ下ラズ、樺台間ニ分布スルモ大部ハ琉台産也。

本科ノ藥用植物：——次ノ2亚科ニ分類ス。

Subfam (i) ひるかほ亚科 *Convolvuloideae* 綠葉蕪アル独生者、①~④概シ、花ハ概中~大美、C筒部A下無鱗片、胚ハ直生又弯曲、子葉ハ褶曲。

(1). ひるかほ (旋花) 及其变种变形 *Calystegia subvolubilis* Don. (分生) 北・本・四・九・朝ノ原野生④、散~群生。(生薬) 旋花 *Herba Calystegiae* ハ全草ヲ花時又花後採乾セルモノ也。(成分) 全草中ニ *Kampferolglycosid* (0.05%) ヲ含ム、之ハ加水分解ニ依テ *Kampferol*・*Rhamnose* 及葡萄糖ヲ生ズ。全乾草中ニ水ニ可溶性物質 30.7%、葡萄糖 17.5% (稀酸ニテ加熱後 30% = 増量)、灰色 43% ヲ含ム、又 *Saponin* ヲ含ム如シ。(藥效) 漢：旋花 (全乾草) ヲ興奮藥又興奮性利尿藥トシ又強壯劑トシ、療勞ヲ醫 (恢復) シ精力ヲ益シ、又糖尿病ニ有效、又筋骨ノ折斷ヲ癒着スル效大、故切創ヲ癒着セシメ、丹毒ヲ治スト云。又金瘡ヲ治ス妙藥ト云。1回 2~5瓦 1回 6~10瓦煎服。(藥理) 全草煎劑ヲ用ヒ家兔血糖ニ對スル影響ヲ檢スルニ、食餌性並ニあどれたりん過血糖ニ對シ明ニ抑制作用アルヲ認ム。(備考) 根ハ和塩煎又煮食ス、又去、皮、剝シ煎、浸水洗、粳米ニ雜混シ粥トシ、又磨臼ニテ粉トシ餅トシ煮食ス。葉ハ煤煎シ糲トシ食ス、但連日食スルハ不可也。

(2) ニ・ひるかほ (小旋花) *C. japonica* Choisy, (分生) 本・四・九・朝ノ原野生④、散生~群生。(生薬) 小旋花 (全乾草)。(成分) (藥效) (備考) 同煎種。

(3). スカンモニア *Convolvulus Scammonia* L. (分生) 小亚産者、(生薬) 根ヲすかんもニア根 *Radix Scammoniae* ト称シ採乾藥用トス。(成分) 根ニ樹脂 *Scammonium* 15~12.3% ヲ含有ス、其中ニ *Scammonin* (*Arizabin*) + *Idaroglycosid* ヲ 80% 含有ス。又配糖体 *jalapin* ヲ含ムト云。(藥效) 根ヲ煎服シ瀉下藥トス。

○(4) あさかほ (牽牛、朝顔) *Pharbitis Nil* Choisy. (分生) 支那原産、日本栽培。まるばあさかほ (文葉朝顔) *P. hispida* Choisy. (分生) 熱帯原産、日本栽培。あめりかあさかほ *P. hederacea* Choisy, (分生) 熱帯原産、日本栽培。(生薬) 牽牛子 *Semen Pharbitidis* ハ熟種子ヲ採乾セルモノ也、灰褐又黒褐 (藥用ハ前者ヲ主トス)、三稜楔形・長 6~7 毫米、堅脆、味酸和油様也。奈良・徳島・岡山縣多産、又葉ヲ採リ藥用トス。(成分) 種子ニ泻下成分・樹脂配糖体 *Pharbitin* 2% 許ヲ含有ス。之ヲ苛性カリトニヨリ鹼化セバ、めちる-元ちる 醋酸 α -Methyl-aethylsuccinic-acid-Tiglic-acid-Nilsäure $C_5H_{10}O_3$ (α -Methyl- β -Oxybuttersäure)、*Pharbitinsäure* $C_{20}H_{38}O_{23}$ 等ニ分解ス。*Pharbitinsäure* ハ β -Dioxymyristinsäure = Methyl-pentose 及葡萄糖ノ結合生成セル配糖体也。其他脂肪油約 11%

ヲ含ム、之ハ主ニ Olein ヲリ成リ少量ノ Palmitin 及 Stearin
ヲ含ム。其他 Phorbolose、没食子酸、澱粉等ヲ含有ス。花
冠色素ハ紅花ハ Pelargonin (Chlorid C₂₇H₃₁O₁₅Cl),
青花ハ Paeonin (Chlorid C₂₈H₃₀O₁₆Cl) 也。〔藥效〕漢
局方牽牛子ハ峻下劑トシ迅速ナル泻下作用ヲ有シ、有毒ナルハ
要ニ注意セらば根ニ代用シ局方藥トス。乾種子ヲ粉末トシ
1回0.5~1.5瓦 1日2~3瓦内用ス。牽牛子脂 Resina
Phorbolidis (局方)ヲ製シヤらば脂ノ代用(峻下劑)トス、
1回量0.12~0.5, 1日極量1.5瓦。又リウマチニ1回3~
6分ヲ服用セシメ、種子ヲ煎焼トシ脚氣ニ服用シ、又水腫等
腰部以下ノ浮腫ニ利尿劑トス、朝鮮ニテハ食積(食滯)及水腫
ニ用テ、葉ハ煎焼トシ胎毒ニ塗布シテ有效、又毒虫咬傷ニモ
有效。葉ノ生汁ヲ毒虫咬傷ニ搨ニテ採ミ塗布ス。民間白花
ヲ揉リ美白劑ニ使用ス。本岳ハ夙ニ英局方ニ收載セラル、
藥效ヤらば根ニ劣ラズ、ヤらば根ノ輸入ハ年々一万五六
千円ヲ越ユ。〔備考〕觀賞植物ニ栽培ス、品種甚多ク葉及花ノ
形状色彩千差万別也。〔處方例〕(1)峻下劑...牽牛子末 1.5...
以上頓服。(2)全...牽牛子末 0.5 大黃末 1.0...以上頓服。
(3)複方牽牛子散(前英局方下劑・利尿劑)...牽牛子 3.0 重酒
石 6.0 生薑末 1.0... 1日量 0.6~0.4瓦。

(5) あさがお (野朝顔) *Ipomoea indica* Merr.,
(*I. Congesta* R. Br.) (分生) 琉球・南洋ノ原野生ノ草、
〔生藥〕根ヲ揉乾藥用トス。〔成分〕根 = *Convulxin*

含有ス。〔藥效〕根ヲ峻下劑トス。1日1瓦粉末ヲ内用ス。

(6) さつまいも (甘藷・紅薯) *Ipomoea Batatas* Lam.
v. edulis Mak. (分生) 中米原産、日本栽培ノ草、あめり
か-いも (バンリー-いも) *v. Batatas* Mak. (分生) 原産地不
明栽培。〔生藥〕塊根ヲ食用及藥用トス。〔成分〕塊根 = 多量ノ
澱粉及糖ヲ含ム。〔藥效〕塊根ヲ澱粉製造原料トシ又緩
和滋養藥トス。又食用(往々常食)トス。生芋ヲ磨卸シ凍傷
ニ塗付ニ有效、又薯ヲ切り天日乾燥シテ加ハ芋焼酎ヲ醸造シ
販売(九州地方)ス。柿酢・味噌・醤油等ヲ造ル原料トス。夏
及葉柄ハ乾燥シ蕪ノ如ク食用トス。甘藷澱粉ハ上等ニテ造
ニ馬鈴薯澱粉ニ優レリ。〔備考〕汎ク宛民ノ食物トシ糖ヲ助
ル此上ナシ。台・濟人・五島、八丈島等人民皆常食トス。最初
慶元年間呂宋等ヨリ鹿兒島ニ互市セシ時商シ來ルト言傳ス
享保十九年幕府儒官青木昆陽鹿芋ヲ薩摩ニ徵シ、之ヲ小石川
養生所ニ試作シ、次テ關東諸國ニ栽培セシメ、漸次海内ニ傳播
ス。諸ニ赤(さつまいも)、白(あめりか-いも)ニ品種、葉
ニ全縁心形・鋸齒縁心形・2波又5波裂葉ノ別アリ。食法ニ
蒸・煮・焼・壺焼・切干(日乾)薯等ノ別アリ。現今ハ酒精製造
原料ニ多用ス。

(7) ようさい (あさがお・な、蓬菜、薺菜) *I. aquatica*
Forsk. (分生) 亞細亞・南洋ノ熱帯自生ノ草、水生又湿地
生、葉ハ心形・脚、淡紫花・朝顔狀。〔藥效〕全草ヲ搗碎シ
腫物・胎毒・打撲傷等ノ局所ニ貼付ス。〔備考〕栽培シ嫩莖葉

ヲ食用トス(台湾)。

○(8) やらつば *J. Purga* Dayne (分生) めきしこ原産
④ 葉ハ 消痰葉ハ 有長柄心形全縁下面帯紅色。花ハ 著大漏
斗形紫紅色。(生薬) やらつば根 *Tuber jalapae* ハ 塊(球)
根ニテ 円又楕円形生時類白色粘稠性奇臭ノ 津液ヲ 含ム。(成

314 四



分) 根 = 樹脂(やらつば脂

[(314 四) やらつばノ 植物体ノ
一部(花葉・莖・莖)ヲ 示ス。
(Gilg氏)。

jalaperharz) 約 9.4% ヲ 含
ム。主成分ハ 配糖体 *Convul-*
nulin 及少量ノ *jalapin* ヲ 含
ム。之等ハ 加水分解ニ 依テ *Convul-*

315 四



[(315 四) やらつば根(伴莖基部)
(Gilg氏)。

nulinolsäure・*jalapinosäure* 及糖トナル。(薬效) 根ヲ
瀉下劑又緩下劑トス。常習(習
慣性)便秘ニ 有效。劇薬ニテ 散

丸トシ、1日 0.5~1.5 瓦内用、又 やらつば脂製造原料トス。
局方 やらつば根ハ 健胃劑(散丸・液劑)トシテ 0.05~0.15
~0.2 瓦ヲ、緩下劑トシテ 0.3~0.5 瓦ヲ 1日 数回與フ; 又 峻
下劑トシテ 0.5~2.0 瓦ヲ 頓服又分割シ 短時間ニ 與フ。局方

やらつば脂 *Resina jalapae* ハ 90% 以上、*Convulsi-*
lin ヲ 含ミ 0.03~0.1 瓦ノ 小既 = 胃腸ヲ 刺激シ 健胃藥トナ
リ、0.2~0.3 瓦以上ヲ 散丸トシ 2~3 回 短時間ニ 與レバ 瀉下
劑トナル(極量 1回 0.5、1日 1.5 瓦)。其他 やらつば丁癸及
やらつば石鹼(やらつば脂末・藥用石鹼各等分調和、1日 0.2
~0.6~1.0 瓦・丸劑トシ 内用、峻下劑トス)・複方大黃丸・
藟蒼やらつば丸等ヲ 製ス。(薬理) やらつば根ノ 少量(0.5)
ヲ 内服セバ 瀉下ノ 效アリ、之ヲ 連服スルモ 其效ヲ 不減、故常
習便秘ニ 有效、サレド 其量 1.0~2.0ニ 至レバ 1~3 時間ニテ
水状便ヲ 排シ 痙痛ヲ 伴ヒ 峻下劑トナル。而テ 其瀉下作用ニ
ハ 胆汁ヲ 必要トス、是腸中ニ 於テ 胆汁ノ 滿分解セシメ 初テ
其效ヲ 發揮スル爲也。故加 於 兎 兎 性 黄疸ノ 如キ 胆汁ヲ 缺ク 時
ハ 瀉下作用ナシ、而テ 妊娠時 月經時 腸ニ 炎症アル 時ハ 其使
用ヲ 可避。(處方例) (1) 緩下劑…… やらつば脂 0.5 卵黃 1ヶ
橙花水 25.0 シロップ 20.0 …… 以上調和 毎時 1 茶匙宛。(2)
峻下劑…… やらつば根末・スカンモニウム末各 1.0 ケンチアナ
絨髮斯適宜…… 以上調和 丸 5粒、2~5 粒内服。

(9) とるべつむ *J. Turpethum* R. Br. (分生) 東印
度及 濠洲原産ノ ④。(生薬) トルベツム根 *Radix Turpe-*
thi ハ 根ヲ 採乾セルモノ也。(成分) 根 = *Turpethin*
(*jalapin*) 及配糖体 *Turpethin* ヲ 含有ス。(薬效)
根ヲ 瀉下藥又下劑トス。

(10) イホメア *J. orizabensis* Led. (分生) めきしこ

原産②, [藥效] 根ヲかりざは根ト称シ *jalapin* ヲ含ミ, 利尿・瀉下藥トス.

Subfam. (ii) *ねなしかつら* 科 *Cuscutoidae* 寄生
①, 莖ハ線状吸根ヲ有ス, 葉ハ鱗状無葉綠. 概花ハK(5);
C(5)A5G(2), C筒ハ概A下部ニ鱗片

316 図



(316 図) *ねなしかつら* 莖,
一部及花ト解剖(原四)
1. 莖ノ一部(花序ト吸根)
2. 花, 3. 花ノ縦断 4. 子房横断
G(2).

ヲ有ス, 花柱ハ單一又2分離, 胚ハ環状又螺旋状ニ卷キ, 子葉無又退化ス. 世界ニ100餘種, 暖〜温帯産.

(11) *ねなしかつら* (うしのさうめん, 菟絲子, 菟縷玉・女) *Cuscuta japonica* Choisy. {分生}
北・本・四・九・朝・ノ原野・路傍ノ草木ニ寄生スル①. {生薬} 菟絲子

子 *Semen Cuscutae* ハ種子ヲ採製セルモノ也, 赤褐又暗褐色心形粒子ニテ經2粒, 百粒ノ重約0.75瓦, 気味緩和油様也. {成分} 種子中ニ樹脂様配糖体 (*Idaroglycosid*) ヲ含ム. {藥效} 漢: 種子ヲ強精藥又強壯收斂藥トス, 7回

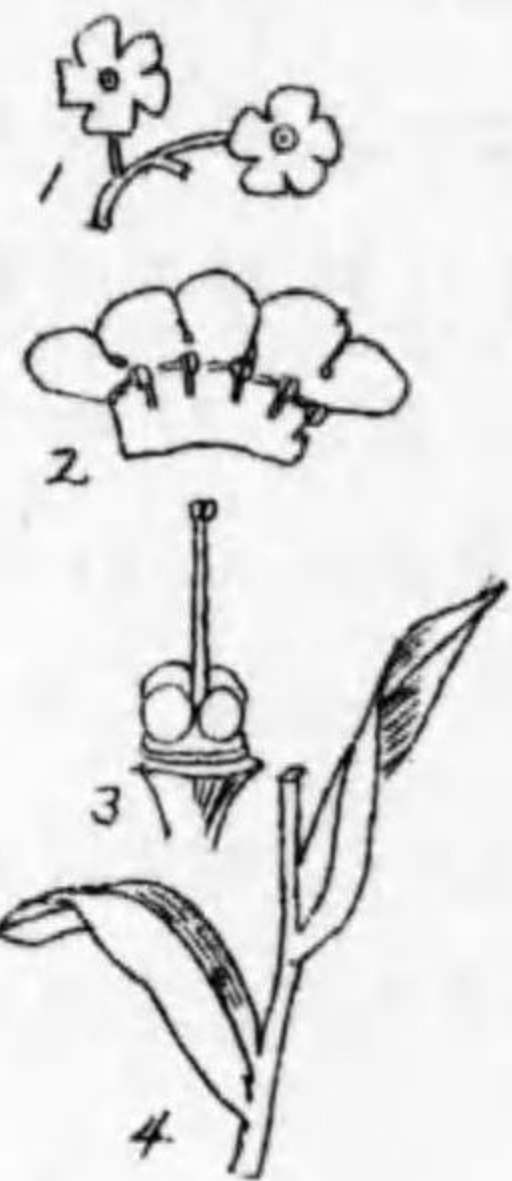
2〜3瓦, 1日8瓦煎服ス, 陰萎・夢精・遺精・赤小便等ニ有效. 又煎汁ヲ汗疱(あせも)ニ外用ス. 莖ノ搾汁ヲ顔ニ塗付シニキビ^{ニキビ}ツバカス^{ツバカス}面疱・雀斑・(面點)ヲ治ス. [備考] 若莖ヲ煤ヲ水浸シ調食ス, 生草ヲ牛ニ與ヘレバ下痢シ有害. [處方例] (1) 補精強壯藥... 菟絲子8.0 水100.0... 以上1日量煎劑分服. (2) 全... 菟絲子7.0 甘草1.0 水100.0... 以上1日量煎劑分服. (3) 全... 菟絲子3.0 山藥3.0... 以上1日量末トシ分服. (4) 全... 菟絲子5.0 白茯苓末1.0 山藥末・薑肉末各2.0... 以上2日量分服. (5) 淋病(尿不通・疼痛有者)... 菟絲子3.0 甘草7.0 水200.0... 以上1日量分服, 煎劑.

(12) *まめたほし* *C. Chinensis* Lam. {分生} 本・四・九・朝・台・ノ原野・畑地ノ①, [藥效] 莖ヲ豚ノ赤肉ト共ニ煎ジ内服シテ解熱・利尿・淋病・熱病等ヲ治ス. 又陰萎ヲ治シ, 精ヲ益シ, 陰ヲ強クシ, 筋骨ヲ強壯ニシ, 遺精・尿餘瀝ヲ治ス.

Fam. (II) *むらさき* (紫草) 科 *Borraginaceae*

形質——①〜④, 又5〜8, 概全株粗毛〜剛毛密生. 葉ハノ稀ノ又平, 概有毛粗粒, 有柄又無柄無托葉, 單葉無裂・全緣. 花器ハ概全, 細小〜小形, 紫・青・白, 繖状又穗状ノ卷繖(尾卷状)花序. 花ハ中稀中, 概5数性稀4又6〜∞数性, F. f. = K(5r.4)r.(6〜9)C(5r.4)A5r.4G(2). 概K(5)C(5)A5G(2); Kハ鐘形・稀筒形, 概宿存; Cハ瓦列輪ニ回旋(右)列, 喉部有小舌片; Aハ等長又異長, 内向葯; 各心皮ハ2ヶノ倒生又半

317 四



(317四) わすれねぐさ属ノ花・
葉及解剖 1. 花序一部(中ノ花)
2. Cノ開展(舌片及A), $C_{(5)}A_5$.
3. $G_{(2)}$ (4分裂), 花盤及花柄
4. 莖・葉.

側生卵子ヲ生ズ, 2子室無分裂或假隔膜ニテ4室狀外觀トナリ或概完全ニ4分裂, 花柱ハ単体又2岐或両2岐稀2箇也, 柱頭ハ頭狀又2裂, 花盤ハG下ニ粒ヲ環狀. 果實ハ核果又小堅果(

4箇ノ1種子性閉果ニシテ雌即4分果); 種子ハ胚乳有又無,

318 四



(318四) うしのしたくさ属 (*Anchusa*)
花式四 (Eiechler 氏)
 $K_{(5)}C_{(5)}A_5G_{(2)}$

胚ハ直又曲, 内乳ハ伴基底縁.

成分及效用——成分ニ特別ナル塩基及色素アリ, 即 *Cynoglossin*・*Consolidin* 等ノ塩基, *Consolidin* ナル *Glykoalkaloid*, 他ニ *Alkanin*・*Skikonin* 等ノ色素ヲ含ムアリ, 然レトモ脂肪・揮発油・含水C・有機酸ヲ含ムモノ少シ. 詳細如次. 塩基 (*Cynoglossin*・*Consolidin* 等), 色素 (*Alkannarot* (= *Alkannin*・

Alkannasäure)・*Acethylskikonin* (= *Lithospermumrot*) 等] 其他物質 (*Allantoin*・*Cholin*・*Asparagin*・*Chlorogensäure*・没食子酸・鞣酸・*Lipase* 等) 等也. 木科ニハ藥用ノ外, 染料・木材用・觀賞用ニ供スルニ又食用果ヲ生ズルモノアリ.

分布及属種數——世界ニ凡85属 7600種ヲ産シ, 主ニ温〜熱帯ニ分布シ寒帯ニ稀也, 其主産地地中海沿岸也. 日本ニ自生又栽培スルニ凡21属 60種ヲ下ラズ, 南進漸増ス.

木科ノ藥用植物: ——

(1) あるかんば *Alkanna tinctoria* Tausch.

(分生) 南欧 (独・佛多産) 亞非小亞産②. 高50釐内外, 多毛勿忘草狀植物. (生藥) 根ヲあるかんば根ト称シ藥用及染料トス. (成分) 根ニ色素 *Alkannin* (= *Alkanninrot*) $C_{15}H_{14}O_8$ ヲ含有. (藥效) 根皮ノ紅色色素ヲ *Alkannin* ト称シ收斂藥トシ又紅色染料 (*Alkanet*) 或各濃製劑ノ着色料トス, 本染料ハ酒精又油ニ溶ケ水ニ不溶.

(2) ろりぢさ (ボラゴ草) *Borrago officinalis* L. (分生)

歐洲 (自生・栽培), 小亞産①, 高60釐内外, 多毛, 花ハ皿狀展開青紫白色. (生藥) 全草ヲ揉乾藥用トス. (成分) 全草ニ樹脂及粘液ヲ含ム. (藥效) 全草ヲ煎服シテ発汗・解熱・利尿藥トシ又粘滑藥トス. (備考) 觀賞用トシ栽培ス.

(3) せいやうーおぼるりさう *Cynoglossum officinale* L. (分生)

歐洲産②. (成分) 根ニ運動神經末梢ヲ麻

スル *Cynoglossin* (液体塩基) を含ム之ハ又中樞神経・麻痺作用アリ。其他 *Consolicin* (塩基) 及 *Consolidin* (*Glykoalkaloid*) ナル神経毒ヲ含ム。(薬效) 未詳。

(4) おほ-るりさう *C. villosum* Nakai (分生) 本(中南部)・四・九・朝ノ山地生②。高1米内外、碧花。(成分) 根=有毒成分ヲ含ムモ成分未詳。(薬效) 未詳

(5) むらさき (紫草・紫丹) *Lithospermum officinale* L. var. *erythrorhizon* Max. (*L. erythrorhizon* S. Z.) (分生) 北・本・九・朝ノ山地生②。白花・紫根。(生薬) 紫草根 *Radix Lithospermi*、根ヲ採乾セルモノ也、長10~15 厘米、不整分岐、皮部暗紫紅色也、1片ヲテーてる又ベンゼ-ン液中に投入セバ呈美紫藍色、気味緩和微甘酸也。武蔵・秋田・岩手産。(成分) 根=結晶性紫色素 *Acetylshikonin* $C_{18}H_{18}O_6$ ヲ含有ス、(真島・黒田氏) 之ハ結晶シ難キ故抽出=際シ之ヲ酸化シ *Shikonin* $C_{16}H_{16}O_5$ トス、含量ハ原料=0.015% 也。(薬效) 紫根煎液新ハ諸皮膚病=軟膏トス、火傷・凍傷・水泡等=奏效ス、其最簡單ナル用法ハ紫根細末ヲおれろ油或胡椒油ニ和シ使用スル=アリ。漢：古來紫根ヲ煎服セバ疝氣・解熱・利尿・利便等=有效トシ、外用=ハ皮膚病藥トシテ其消毒藥又刺戟藥トシ切傷・火傷・凍傷・湿疹・水泡等=濃煎汁ヲ塗布シ妙藥トセリ。又油中=加熱浸出セシメテ塗布ス。朝鮮ニテハ痘疹=内服ス。古來根煎汁ヲ紫色染料トシ奥州南部・紫鹿角紫等有名ナリ。江戸紫ト称シ徳川時代汎用セリ、日光=依リ醜色スル缺点アリ。(備考) 紫草根=テ紫色ヲ染ル

=ハ冷水灰汁=浸シ、其色ヲ美=ス。(蘇方例) (1) 皮膚瘡藥---紫根末10.0 亜鉛華2.0 オリーブ油適宜----以上混和塗擦。(2) 湿疹藥---紫根末10.0 滑石末10.0 黃蠟25.0 胡椒油適宜----以上混和泥膏トシ塗擦。

(6) はま-べんけいさう *Mertensia asiatica* Macbride (分生) 樺太北・本(北部)・朝ノ海産②。(薬效) 根ヲ煎服シ腹痛ヲ治ス。

(7) わすれなぐさ (わすれなさう、勿名草) *Myosotis palustris* Lam. (分生) 欧・西・比産(北海道自生ハ?)、②。(薬效) 花部ヲ煎服シ解熱劑トス。(備考) 観賞用トシ栽培ス。

(8) ひれはりさう *Symphytum officinale* L. (分生) 欧洲及西亜産②又④。高40~90 厘米、葉縁有剛毛、花ハ中形、紅紫・帯白色等美麗。(生薬) 根又全草ヲ採乾藥用トス。(成分) 全草特=根= *Consolidin* (塩基)・*Symphytocynoglossin*・*Consolicin*・*Allantoin*・*Asparagin*・粘液・鞣酸・*Saccharose* 等ヲ含有ス。(薬效) 全草ヲ煎服シテ收斂藥及包膜藥(腸カタル、下痢、腸出血等)トス、又煎汁ヲ瘡傷・加齢児等ヲ治スル=用フ。

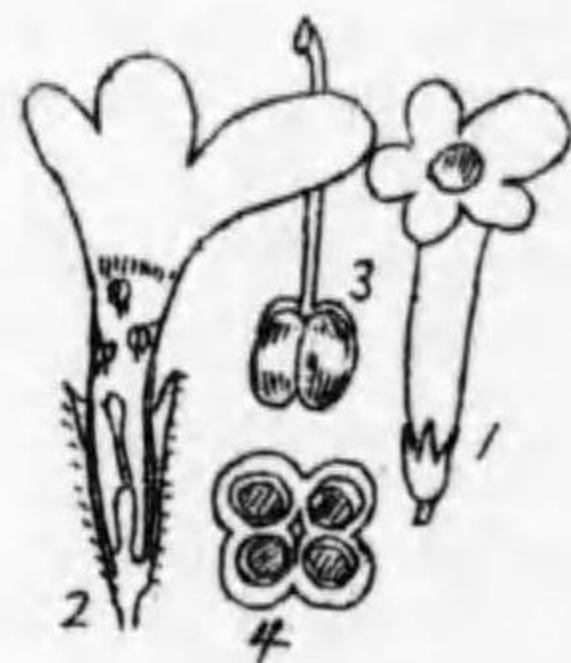
(9) ちしやのき (かしのき-だまし、せめらがしは)

Ehretia thyrsoiflora Nakai (分生) 本(南部)・四・九・琉・台産⑤。(生薬) 樹皮ヲ松揚厚殼等ト称シ染料トス。(效用) 樹皮煎汁ヲ染料トシ所謂筑前ちしや染ト称ス。(備考) 材ハ木理美麗、如ク牛鞍其他器具用トス、又観賞用=栽培ス。

Fam. (III) くまづら (馬鞭草) 科 *Verbenaceae*

形質——①~④, 又 5~8。葉ハ無柄ハ有柄, Y又Y稀Y, 無托葉, 枝葉無裂, 全縁~齒牙縁。稀介裂。稀掌狀複葉。花冠ハ概全小~中形, 唇形, 鐘狀, 繖狀, 円錐, 聚繖, 繖繖狀, 頭狀花序稀單生花序。花ハ中稀中, 5~4 数性, 稀 6~8 数性, $K(4\sim5) \overline{r. (6\sim8)}$ $C(4\sim5) \overline{r. (\infty)}$ $A4 \overline{r. 2 \vee 5}$ $G(2) \overline{r. (4\sim5)}$, 稀 $K(5\sim7) \overline{C(5\sim6)}$ $A4\sim5 \overline{G(2)}$; Kハ鐘形筒形又杯狀; Cハ瓦列, 蓋有筒 (唇弯曲) 稀鐘形無筒, 概中, 両唇狀 (2+2 \vee 2+3); 概 2 強 A (1ヶ退化~消失), 稀 2 (3ヶ消失) 又 5; 各心皮ハ 2ヶ宛ノ側生又半側生卵子ヲ生ズ, 初 2~5 子室, 後生 (二次的) 隔壁 = 依テ 4 室性。稀 5~10 室 = 介割, 花柱ハ單体, 柱頭ハ 1~2 箇; 花盤ハ發育不良。果実ハ概 2~4 室性核果又蒴果, 又果葉癒合部ヨリ開綻シ 2 室性又 1 室性介果 = 介タル; 種子ハ胚乳少

319 図



(319 図) くまづらノ花及解剖(原圖)
1. 花... $K(5) \overline{C(5)}$ $A4 \overline{G(2)}$
2. 花ノ縦断面 2 強 A, C 着生,
3. $G(2)$ (4 分割子房) 4. 全横断

量有又無, 胚ハ直生, 内乳ハ細胞狀。

成分效用——本科成分 = 精油

ヲ含ムモノ多ク, 又配糖体ヲ含ムモノ

アルモ, 塩基・核酸・石鹼素・脂肪等ヲ含ムモノ少シ。詳細如次。鹽基 (Vitexin, Castin 等), 配糖体 (*Vitexinglykosid*, *Verbenaerin*, *Saponin* 等), 其他物質 (林糖

320 図



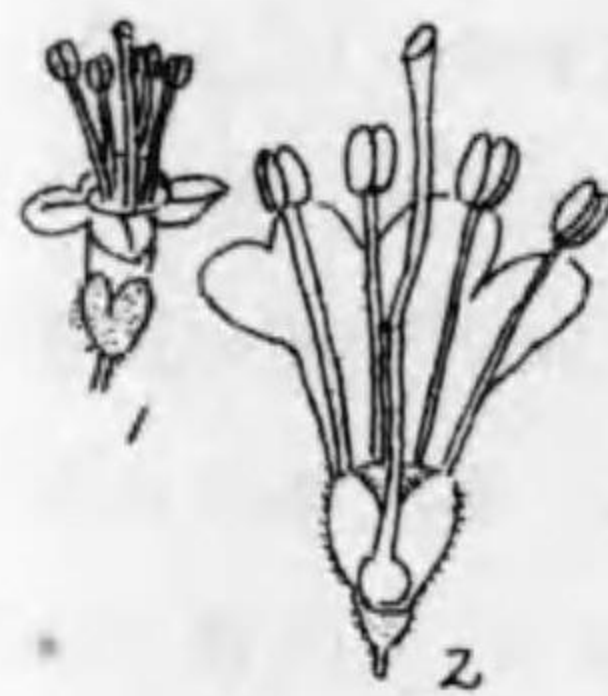
(320 図) くまづら属ノ花式圖
(Eichler 氏) 2 心皮各 2 裂 (4 介果)
... $K(2) \overline{C(5)}$ $A4 \overline{G(2)}$

グイテキシン

酸・酒石酸・酪酸・鞣酸・*Vitexin*・*Idomoviterxin*・*Phytosterin* 等也。

本科 = ハ藥用ノ外, 木材用, 觀賞用, 又食用果実ヲ生ズルモノアリ。

321 図



分布及属種数——世所 = 凡 67 属

800 餘種ヲ産シ, 主 = 熱~亞熱帯 = 分布ス。

日本 = 自生又栽培スルモノ凡

13 属 65~70 種ヲ下ラズ。

(321 図) むらさきじき木ノ花及解剖(原圖)

- 1. 花冠... $K(4) \overline{C(4)}$ $A4 \overline{G(2)}$
- 2. 花ノ縦断面 (Cヲ離ス)

本科ノ藥用植物:—

(1) くさぎ (くまざり, 海州常山, 臭馬桐) 及其諸交種。

Clerodendron trichotomum Thunb. (介生) 北・本・四

九・朝鮮・琉・台ノ山野生ズ, 莖・葉・花ハ惡臭ヲ發ス。〔生藥〕根及葉

ヲ乾燥藥用トス。〔成分〕葉 = 含水 C 及含 N 有機物ヲ含ムモノ

質未詳。〔藥效〕葉ヲ酢浸シ脚爛 (まじざれ等) = 貼付シ妙

效アリ, 其他ノ皮膚病 = モ有效。生葉ヲ茹テ食セバ塵 (ま

らりや病)ヲ治スト云。莖葉煎汁ヲ牛馬ノ殺虫藥 = 外用ス。

根ヲ煎服セバ利尿 (脚気・水腫・淋病) 藥及健胃藥トナル。〔備考〕

(322圖)



(322圖) くさぎ (花・果) (原四)
1. 花器... K(5) C(5) A4 G(2)
2. 核果 (伴果柄及宿存K)

嫩葉ハ煮食 (煤ヲ捨汁) スベシ。果
実ハ熟黄白色、用テ線ヲ染色ス。木心
ト發生スルくさぎのむし (蛆虫) ハ
炙リ食セバ佳味アリ、宛民取食シ、小

児疳藥トス。本品 (根) ヲ黄漆シ常山ニ偽ル。

(2) かろうすいぼく (ほうしうぼく, 香水木防臭木) *Lippia*
Citriodora H. B. et K. (分生) 南米 (智利) 産ノ互、葉ハ披
針形、花白又淡紫。〔生薬〕葉ヨリ精油ヲ取ル。〔成分〕葉ニ
精油 (Citral-l-Limonen. Geraniol 等) ヲ含ム。〔薬效〕
精油 (香水木油) ヲ香料トシ香粧品ニ加フ。又乾葉ヲ食物
其他ニ香氣ヲ附スルニ用フ。

(3) いはだれさう (はまはひ) *L. nodiflora* Rich. V.
sarmentosa Schau. (分生) 本 (中南部)・四・九・琉・台・
海岸生①伏臥草。〔生薬〕莖葉ヲ採乾藥用トス。〔薬效〕莖
葉ヲ煎服シテ月經不順・淋病等ニ有效、1回3瓦内服。又生
葉莖ヲ搗碎シ得タル液汁ヲ塗付シ腫物ヲ治ス。

(4) ひるぎだまし (ひるぎもどぎ, 茄藤樹, 海茄冬),
Amicennia officinalis L. (*A. tomentosa* Jacq.)
(分生) 琉・台・海岸干潮線生, 互。(生薬) 材及樹皮ヲ採乾藥用

トス。〔成分〕材 = Lapachol (*Oxyamylennaphtochinon*)
ヲ含有シ、樹皮ニ鞣酸・Gerbsäureヲ含ム。〔薬效〕材ヲ煎服シ天
然痘ノ膿潰ヲ防グ。樹皮ヲ鞣酸製造原料トス。

(5) かりがねさう (ほかけさう, 蕚) *Caryopteris divaricata*
Max. (分生) 北ホ・尤・朝ノ山尺生②、全株 (花モ) 悉クアリ。〔薬
效〕莖・葉・根共ニ之ヲ煎服セバ利尿劑トナリ、肺ヲ潤ス、外用ニハ
煎汁ニテ頑癬・毒腫ヲ洗滌シ有效也。

(6) チークのき *Tectona grandis* L. (分生) 東印度原
産ノ常緑木、高30米、直幹、灰白皮、葉ハ、楕円形、全縁裏白、長30
~60厘米、花ハ小白、放芳香。〔生薬〕材ヨリ油ヲ葉ヨリ漆料ヲ製
ス。〔成分〕材ニ樹脂 (主ニ Tectochinon) ヲ含ミ、葉及枝ニ
褐色素ヲ含有ス。〔薬效〕材幹ヨリ一揮ノ油ヲ搾リ木材ノ塗
料トス。葉ヨリ褐色漆料ヲ製シ絹織ヲ黄又橙黄色ニ染ム。
〔備考〕材ハ木理緻密、含硅酸; 頗堅硬、呈黄色、永ク腐朽セズ、磨
ケバ發光澤、船艦材最宜、水虫・船喰虫ノ蝕侵ヲ不蒙、能ク耐久、又
建築用・汽車・電車用トシテ美觀無比、亞細亞産第一良材ノ称アリ。

(7) くまのぐら (馬鞭草) (319圖) *Verbena officinalis*
L. (分生) 本・四・九・朝・琉・台・原野路傍生②、高60~90厘米、葉ハ、羽
裂、小葉花唇形。〔生薬〕馬鞭草 *Herba Verbenae* ハ全草ヲ採乾
セルモノ也。〔成分〕全草ニ Verbenalin C₁₇H₂₄O₁₀ (結晶
性配糖体) 及 Verbenalol C₁H₁₄O₅ (苦味質)・鞣酸等ヲ含
有ス。〔薬效〕全草ヲ煎服シテ清血藥及通經藥又発汗藥 (古來

著名也) トシ、又收斂性苦味薬又消化薬トシ肉質ヲ消化シ(消化劑)、又諸種ノ皮膚病或悪腫=腫瘍薬トシ榨汁(莖葉ノ)又煎汁ヲ塗布又洗滌料トシ或内用(煎服)ス。其他余後後胎盤剝離ヲ促進トシメ、産後ノ瘀状余必排泄物ノ久シキニ亙ル時其排出ヲ促進シ、以テ恢復ヲ早ム、其他月経不順=有效、1回2~4瓦、1日5~10瓦。〔薬理〕Verbenalinハ苦味アリ、毒性弱シ、冷血動物(蛙)ニ與レバ粘膜剝離及痙攣ヲ起シ、最後=完全麻痺ヲ來ス、又血液凝固ヲ促進スル作用アリ。〔備考〕觀賞用トス。

(8) にんじんぼく (杜荊) *Vitex cannabifolia* S. et G. (分生) 支那(又印度) 原産、日本栽培、落葉灌木高1~2米、葉ハ中、3~5出掌狀複葉有鋸齒花ハ小青色円錐花序。 たいわん-にんじんぼく (埔姜) *V. Negundo* L. (分生) 台。 おほ-にんじんぼく (山埔姜) *V. heterophylla* Roxb. (分生) 台。 (生薬) 杜荊子 *Fructus viticis cannabifoliae* ハ果実及種子ヲ採乾セルモノ、荊瀝 *Succus viticis* ハ根ヲ長サ約30釐=切断シ火=焙リ両端ヨリ滲出スル汁液ヲ採集セルモノ也。莖葉ニ採乾薬用トス。〔薬效〕 種子及莖葉ヲ感冒通經利尿劑トシテ煎服シ有效。果実ヲ感冒薬トシテ煎服ス。荊瀝ヲ驅風薬トシ又祛痰薬トス、1日4~12瓦内服。莖葉ヲ杜荊ト採シ排腸筋ノ痙攣及下腹ノ浮腫ヲ除キ、月経不順等ヲ治ス其主效ハ利尿作用=依ル、1回3~4瓦煎服(薬用=ハ又新鮮莖葉ヲ使用スルコトアリ)。〔備考〕 觀賞用ト

ス。〔処方例〕 (1) 感冒(發汗驅風)薬----杜荊子8.0 水200.0
... 以上1日量煎劑分服。(2) 祛痰驅風薬----荊瀝6.0
... 以上1日量、酒ニ和シ分服。

(9) せいやく-にんじんぼく *V. Agnus-castus* L. (分生) 南欧原産、日本栽培ノ互。(生薬) 葉及果実ヲ採乾薬用トス。 (成分) 果実=精油、*Viticin*、*Castin* 等ヲ含シ、葉及枝=精油(*Pinen*、*Cineol*) 等ヲ含有ス。〔薬效〕 果葉ヲ煎服シ利尿薬、感冒薬トス。

(10) はまごう (はま-しきみ、はまはひ、はまかづら、蔓荊) *V. rotundifolia* L. f. (分生) 本・四・九・朝鮮・小笠原台・海岸生状臥性、葉ハ中、倒卵形、濃紫唇形花。(生薬) 蔓荊子 *Fructus viticis trifoliae* ハ果実ヲ採乾セルモノ也。球形徑5釐許暗黒色堅硬伴宿存K、4室、藏〇微種子、氣味甜苦烈有芳香。ニ重、香川縣・朝鮮・支那(數種混合)。 (成分) 果ハ精油ヲ含ム。葉(0.28%)ト小枝(0.11%)ハ精油ヲ含ム、主成分ハ *Camphelin*、 α -*Pinen*、*Dipenten alcohol* $C_{20}H_{32}$ 、 O 、*Terpinylacetat* 等也。〔薬效〕 葉：蔓荊子ハ強壯・清涼薬トシテ感冒=因ル頭痛・腦煩・眠充血液汁多出ヲ治ス。解熱・鎮痛薬トス、1日2~4、1日6~10瓦煎服ス。朝鮮=テハ中風薬トシ婦人崩漏ヲ治ス。民：果ヲ煎服シ拘率・頭痛ヲ治シ又浴湯料トシ痲氣疝痛ヲ治ス。〔備考〕 何豆=テハ根ヲ採リ紅色染料トス、又枝葉ヲ以テ下等ノ線香ヲ作ルト云フ。暖地海濱ニ生ジ莖場地ニ接地ニ根蔓延ス。

〔處方例〕(1) 感冒藥……曼荊子 5.0 水 200.0……以上1日量煎劑分服。(2) 感冒頭痛藥……曼荊子 3.0 荆芥 3.0 山梔子 2.0 甘草 2.0 水 200.0……以上1日量煎劑分服。

Fam. (IV) しそ(紫蘇)科又おどろこさう科

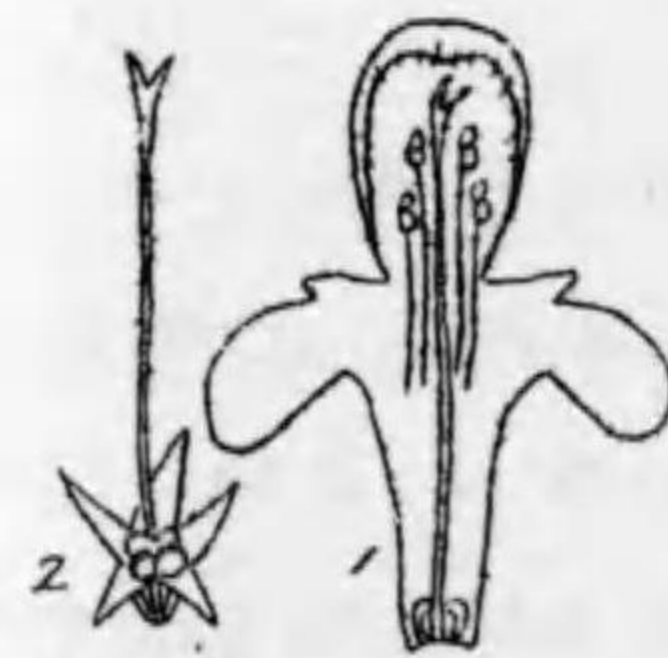
Lamiaceae 唇形科 Labiatae (323~326 四参照)。

形質——①~④, 稀ち又互極稀ち(外國), 莖ハ四角(方莖)概全株特葉花ハ甚芳香。葉ハ有柄~無柄, 十字丫稀半, 無托葉, 單葉無裂稀羽裂又掌裂, 梳齒牙緣稀缺刻縁又全縁, 稀1~2出掌狀~掌羽狀複葉, 概有腺点, 有芳香。花冠ハ輪傘, 概小形萼中形, 概紫又碧或其淡色稀白・緋・紅又黄色, 頂生又腋生聚繖・歧繖・總狀・總狀・円錐花序, 又集合と輪繖・穗狀繖形, 偏繖又円錐等混合花序=排列。花中稀由唇と数性, $F.f. = K(5r.4) \overline{C(5r.4)A4r2v.5G(2)}$, 概 $K(5) \overline{C(5)A4r2G(2)}$; Kハ唇形概宿存性, 概5裂, 肋脈ハ5-10~20 條脈; 概唇形 C, 2稀1唇, 2+3 v. 1+3 r. 0+3. 瓦列止唇ハ壳狀; 概2強(2長) A, 元來5, 退化シテ1又3 (Salvia 屬等) 消失, 柄ハ離生又癒合, 1~2室室ハ平行或離開; 2心皮子房, 各心皮ハ2ヶノ側生卵子ヲ生ズ; 即各室1箇宛, 子房ハ絞扼=依テ4裂~4分裂, 花柱ハ單体内側上方生又同基脚生, 柱頭ハ2又, 花盤ハ概發達肉質, G下=位ス(326 四ノ2)。果實ハ四分果, 小堅果(各室1種子)稀核果; 種子ハ直之生, 胚乳ハ少量又無, 胚ハ肉質扁平又平凸狀子葉ヲ具フ, 内乳ハ細胞狀。

323 四



324 四



325 四



326 四



〔(323 四) しそノ莖葉ノ一部(原四)方莖, 對生葉,〕

試分及效用——本科試分トシテ概全草又葉花ニ精油ヲ含有スルヲ將數トシ概放芳香, 主成分ハ Menthol・Thymol・Cymol 及 Carvacrol 等也, 而テ塩基

〔(324 四) おどろこさうノ花ノ解剖(原四) 1. 唇形狀(1+3). 2. 強A, 4分裂子房及花柱柱頭 2. 唇形 K(5) 及 G(2)〕

及配糖体ヲ含ムモノ稀也, 詳細如次。
塩基 (Stachydin・Arginin・Trigonellin・Leonurin, 等), 配糖体 (

〔(325 四) をとこさう屬 Lamium〕
ノ花或四---K(5) C(5) A4 G(2)
オルトシホニ
Orthosiphonin・Scutellarin.

Wogonin・Baicalin 等), 有機酸

〔(326 四) いはじまこさうノ花(中根)トあまきりノ子房(矢田部氏) 1. いはじまこさうノ花---K(5) C(5) A4 G(2) Cハ1+3, 2. あまきりノ子房縦斷。〕

(接酸・醋酸・桂皮酸・Fumarsäure・Ferulasäure 等) 其他物質 (Marubin・Plectranthin・Glutamin.

Cholin. Tyrosin. Lecithin. Phytosterin 等)等也。
本科 = 八藥用 / 外香味料香油料油料食料觀賞用等 = 供スル
モノ不尠、特 = 藥用植物豐富科ノ一也。

分布及爲種數 — 世界 = 凡ソ 162 属 3000 餘種ヲ産シ主
= 熱〜温帯 = 多産シ少数ハ寒帯 = 分布ス。日本 = 自生又栽培
スルモノ凡 47 属 210 種ヲ下ラズ、北ハ樺千ヨリ台湾 = 分
布シ南日本 = 多産ス。

本科ノ藥用植物：— 次ノ四亞科 = 分類ス。

Subfam (i) ミランサウ 亞科 *Ajugoidae* ② 稀シ(外
國), 單葉無裂, Kcs) Ccs) A4-r. 2G2), Kハ 10 稀 11 肋脈 Cハ
2 稀 1 唇性, 稀胎中, 子房淺4裂又 1/2 徑4裂, 分珠ハ倒卵形, 殆無
胚乳直生・直胚。

(1) ミランサウ (ちごくのかまのふた金蔞小草) *Ajuga*
decumbens Fr. (分生) 本・四・九・朔・琉・ノ原野・路旁 = 点
生〜叢生・稀群生。(生藥) 全草又葉ヲ金蔞小草ト称シ藥用トス。
(成分) 爲成分ハ揮發油 (Ferulasäureヲ含ム)ノ外未詳。(藥效)
葉ノ煎汁ヲ收斂藥トシ刺傷・金創毒虫 毒蛇刺咬傷 = 洗滌料ト
シ又内服ス。生葉ノ揉汁ヲ塗布シ蛇蜂其他一般毒虫ノ咬傷
及切創 = 有效。莖葉ヲ煎取シ解毒・腫物・金瘡・瘰癧等ヲ治ス。收
斂止血藥トシ内服セハ腸子宮等率感血液降下 = 妙效アリト
云。

(2) ミランサウ (うるひ, うるき, 散血草・筋骨草) *A. nipponica*
Max. (分生) 本・四・ノ平地・山麓 = 点生〜群生。(生藥)

散血草ハ全草ヲ採乾セルモノ也。(藥效) 全草ヲ煎服シテ利
尿(淋病・消渴・癰疽)劑トシ又子宮病血ノ道及眼病 = 内服ス。

(3) セウキク (いぬぢよるま) *Teucrium japonicum*
Idoutt. (分生) 本・四・九・朔・ノ山野 = 叢生, 莖葉苦味有。(生藥)
莖葉ヲ採乾藥用トス。(藥效) 莖葉ヲ煎取シ健胃劑トシ又腹痛
ヲ治ス。

(4) セイヨウセウキク *J. Chamaedrys* L. (分生) 歐洲・西亞
産②。(生藥) 全草ヲ花時採乾藥用トス。(成分) 全草 = 苦味質・鞣
酸精油ヲ含有ス。(藥效) 健胃・利尿・強壯藥トス。

(4) マンネンロウ (迷迭香) *Rosmarinus officinalis* L.
(分生) 南歐原産 = 地中海沿岸(佛伊等) = 多ク常緑小丘, 高 1
〜2 米, 葉ハ線形・草質・裏白, 花ハ淡藍輪繖花序。(生藥) 葉ヲ迷
迭香葉ト称シ製油原料(藥用)トス。(成分) 葉又枝葉ヲ蒸溜
シテすまりん油 *Aleum Rosmarini* (揮發油)ヲ得、油ノ成分
ハ *Pinen*・*Camphen*・*Cineol*・*Kampfer*・*Borneol*・樟腦・
樟腦醇也, 即主 = *Terpen* 及少量ノ *Cineol*ヨリ成ル。(藥效) 迷
迭香葉ハ皮膚ノ刺戟性塗擦藥 = 神經痛・リウマチス, 疥
癬等 = 塗布外用シ又疥癬ノ蒸濕劑トス, 又軟膏ヲ造リ或ハ浴
劑 = 用フ。局方ノすまりん油ハ歐洲 = 樟腦劑 = 用ル習慣
アルモ危險也, 本油ハ有毒故多用セバ致死, 外用 = 刺戟性塗擦劑・
軟膏・硬膏又浴劑トシ疥癬 = 用フ, 用法ハ迷迭香油 10 オレフ
油 30 ヲ混和塗布ス。局方ノすまりん精 *Spiritus Ros-*
marini ハ刺戟性ノ洗滌・塗擦劑トシテ神經痛 = 用フ, 用法

ハロすまりル油 1.0 酒精 9.0 ヲ混和シ塗擦ス。本油ヨリ俗
間香料ヲ製ス。葉ヲ煎服シ通經劑トス。〔藥理〕(1)迷迭香油ハ
如上精油ヲ含ム故皮膚刺激作用アリ。且多少ノ防腐作用ア
リ。(2) Rosmarinöl / 多量内服ハ有毒ニテ中枢神経ヲ麻痺
シ危殆故興奮劑トシテノ内服ハ之ヲ棄セリ。

Subfam. (ii) たつなみさう亞科 Scutellarioideae

② 葉ハ單葉無裂・K(5)C(5)A4G(2), Kハ2唇性, Cハ2唇性・
2+3, 子房ハ4分裂, 小分果ハ土球形・乾果皮ヲ有シ・子房柄ト
ナリ伸長セル花托上ニ小附着面(基底)ニテ坐ス, 種子ハ横
長・無胚乳彎曲胚。

(6) たつなみさう (丹参) 及其諸變種 *Scutellaria indica*
L. (分生) 本・四・九・朝・琉・台・ノ山野生(林辺・路傍) ②, 花初夏。
(生藥) 花時根ヲ採乾藥用トス。〔成分〕根ニ配糖体 *Scutellarin*
 $C_{21}H_{18}O_{12} \cdot H_2O$ ヲ含ム。〔藥效〕根ヲ煎服シテ強壯藥通經藥
及鎮痛藥トシ月經不順子宮出血硬塞・腹痛・痲痺・關節疼痛等
ヲ治ス, 1日4~8~12瓦煎用。

△(7) こかねばな (大かね・やなき, 黄芩) *S. baicalensis* Georgi. (分生) 北支及西北利・鮮・滿ニ分布ス, 各
地栽培ノ②, 夏日淡紫色美花アリ, 高1米許, 葉ハ無柄・披針
形・銳尖頭。(生藥) 黄芩 *Radix Scutellariae* ハ根ヲ採乾
セルモノ也, 秋冬ニ採取シ陰細根一夜氷浸・竹籠ニテ外皮ヲ
剝キ日乾ス, 倒円錐形・朽木狀長約30厘米徑7~4厘米, 綠黃褐
色・有細皺・粗糙, 気味微苦シ。專ラ支那ヨリ輸入ス。〔成分〕根

= 2種ノ Flavan 誘基体 *Wogonin* $C_{16}H_{12}O_5$ ・*Baicalin*
 $C_{21}H_{18}O_{11}$ ヲ含有ス, 甲ハ元ニ高橋氏ニ依テ *Scutellarin* ト称
セリ(全一物), 乙ハ黄色成分ニテ加水分解ニ依テ *Glucuro-*
nsäure ト *Baicalin* $C_{15}H_{10}O_5$ トヲ生成ス。〔藥效〕根
ヲ煎服シ瀉: 清涼藥・消炎性解熱藥・祛痰藥トシ充血ヲ去リ
消炎ノ效アリ。古來支那ニテハ胃部肥硬・胸脇膨滿・胸支へ, 吐
吐・腹痛・咳嗽ヲ鎮メ又止瀉(下痢止)ノ效アリトシ又利尿
劑トシ頻用セリ, 又小兒ノ下血・衄血ニ煎服ス, 1回2~6瓦
ヲ粉末又煎用内服ス。朝鮮ニテハ細根者ヲ藤岑・老木者ヲ
分割シテ片岑ト称シ痢疾・咳嗽・衄血・黃疸ニ煎服ス。〔藥方例〕
(1) 黄芩湯 (熱性下痢症, 大腸加答兒赤痢等ノ藥)……黄芩・大棗
各10.0 甘草芍藥各2.0……以上4味煎劑 200.0 1日3回分服。
(2) 三物黄芩湯 (解熱・驅虫ノ效アリ)……黄芩・苦參各8.5 乾地
黄 15.0……以上3味煎劑 200.0 1日3回分服。(3) 聖風透寒
ヲ治ス……黄芩4.0 麻黄・黄耆・獨活 各2.0 水100.0……以
上1日量前劑分服。

Subfam. (iii) ラベンである亞科 *Lavanduloideae*
⑤ 葉ハ單葉無裂, K(5)C(5)A4G(2), KトCハ2唇性 2+3, A
ハ花喉以下長, 花盤裂片ハ子房ト重生ス。

○(8) ラヴェンテール (ラベンである花) *Lavandula vera*
DC. (分生) 南欧(南佛等地中海沿岸地方) 産ノ常緑小互,
高1米許, 葉ハ線形・穗狀輪繖花序小青紫花。(生藥) ラベンテ
ール花 *Flos Lavandulae* ハ花又花穂ヲ採乾セルモノ也, ら

べんぐる油製造原料トシ、又薬用トス。〔成分〕花ヲ蒸溜シ得
 芳香アルべんぐる油 *Oleum Lavandulae* (揮発油)ヲ
 得、主成分ハ 酢酸リナリール *Linalylacetat* (30~40 毫
 60%) 也、其他遊離 *Linalol* $C_{10}H_{18}O$ 及其 Ester 香気
 = 有關係、其他酸 *Athylamylketon* $C_{12}H_{22}O$ $C_5H_9 \cdot d$ -
Borneol - *Borneolacetat* - *Sesquiterpen* . 他ニ少
 量ノ *Geraniol* . *Cumarin* 等ヲ 含有ス。〔藥效〕らべんぐる
 花ヲ乾燥劑温湯劑又浴湯劑トシリウマチス = 用ヒ、又芳香蒸
 劑ノ混合料トス、然モ主用ハ ^{ヨハンニアル油} *Lavendelöl* 製造 = アリ、該油
 ヲ香水料、粉粧料及薬用トシ又矯味矯臭藥トス。薬局らべん
 ぐる花ハ局方らべんぐる油製造原料トス、本油ハ軟膏・塗布藥
 等ノ矯臭藥トシ、香料トシテ用途広シ。又局方らべんぐる精
Spiritus Lavandulae 製造 (ヨハンニアル油 3.0 酒精
 97.0 混和) 原料トス、之ハ神經痛リウマチス等 = 塗擦シ、尚他
 ノ外用劑 = 配伍ス。又浴湯劑トスル事アリ。

Subfam. (IV) いぬごま亞科 *Stachyoidae* ①~④
 葉ハ單葉無裂稀羽裂又掌裂、稀 1~2 回掌狀複葉、K(5~7.4)
 C(5~7.4) A4r. 2v. 5G(2); 念片Kハ 5~15 條肋脈、Cハ 2
 唇性又唇母、子房 4 裂、外果ハ卵形倒卵形 又 4 面体狀、種子
 入直生・直臥。

(9) かはみどり (排草香・藿香・和藿香) *Agastache*
rugosa O. Kuntze (分・生) 北・本・四・九ノ 山野嶽畔雜生
 ノ ④、高 1 米内外、有強香。〔生藥〕排草香 *Folium Agast*

tachel ハ葉ヲ 夏時採乾セルモノ也、本生藥ハ鮮綠色長心形
 齒縁也、有芳香、味稍苦シ。〔藥效〕漢：葉ヲ煎服シ食傷・胃弱・嘔
 吐霍亂・吐瀉・寒胃・頭痛・腹痛等 = 奏效 (消化・止嘔・止瀉・驅風
 鎮痛藥) シ 食慾増進シ解熱ノ效アリ。又祛痰藥・興奮藥・驅虫
 藥 = 採用ス、1 日 7~20 瓦煎用。〔備考〕^{カゴツ} 藿香ハ支那産全属植物
 = テ近似種又全種ナラン、藥效ハ全ク同一也。

△(10) うつほぐさ (かぶさる、夏枯草、濠州夏枯草) 及其諸変
 種 *Brunella asiatica* Nakai (分・生) 南千・北・本・四・九
 朝・琉・台ノ 山野生 ④、無分枝、有匍枝。 急だうちうつほぐさ *V.*
ramosa H. Koidzumi, *planta ramosa*, *ramus*
 1~3, *Ceterum ut in typo Idab*, *prov. Sinano*,
Kiso (leg. H. Koidz.) (分・生) 本 (中部)。(生藥) 夏枯草
Herba Brunellae ハ 花穂ヲ採乾セルモノ也、莖葉モ別
 = 採乾藥用トス。日・鮮滿・支 = 本産ス。〔成分〕可溶性無機塩
 類約 3.5% 其中 68% ハ塩化加里也、又水 = 難溶性ノ塩基様
 物質ヲ含ム。〔藥效〕漢：花序ヲ收斂性利尿藥トシ淋病・消渴
 ヲ治ス、又古來瘰癧ノ良藥トセリ、效用著シ、1 日 5~10 瓦煎服
 ス。莖葉ト共 = 煎服セバ子宮病 = 有效。莖葉モ煎服セバ瘰
 癧利尿 (淋病)・水腫・子宮病・血ノ道前疾等 = 有效。水腫 (乳
 腫) = ハ 1 回 9 瓦煎服ス。又新芽ノ液汁ハ鎮痛劑トナリ、煮
 食セバ胃弱ヲ治ス。民：全草煎服シテ頭痛・腰痛・内膜炎ノ快
 癒藥トシテ常用多シ。薬局夏枯草ノ 花穂ヲ利尿藥トシ 1 日
 5~10 瓦ヲ煎服ス。〔藥理〕(1) 夏枯草煎ヨリ瀘頭分折 = 依テ得

タル總無機塩ヲ家兔ノ靜脈内ニ注射スルニ直ニ血圧ノ下降及呼吸運動ノ増大ヲ來シ、又著キ利尿作用アリ。他ノ加里塩類ヲ用ルモ同様ノ作用ヲ呈シ、夏枯草ノ生理的作用ハ主ニ其含有スル加里塩ニ歸スベキモノトス。(2)本植物中ノ塩基ハ著キ生理作用ヲ有セズ。〔處方例〕(1) 淋病藥……夏枯草 20.0 捲牛兒苗 20.0 甘草 3.0……以上 1 日量煎劑、3 分服。(2) 味夏枯草湯(癩瘡治癒藥)……夏枯草 8.0 甘草 1.0……以上煎劑 200.0 1 日 3 回分服(但シ症ニ腫ヒ川芎、大黃、連翹ヲ加味ス)。〔備考〕嫩莖葉ヲ双湯ニテ良ク煎ジ、水ヲ換ヘ浸水 2 日、調食ス 庭植觀賞用ニ栽培ス。

(11) みやまうつぼかさ (深山夏枯草) *B. vulgaris* L. (分生) 千北・本(北中部)ノ山地生、無匍枝、全株小形。〔生藥〕〔藥效〕前種同様ナシ。〔備考〕觀賞用ニ栽培ス。

(12) たみやまうつぼかさ (立山夏枯草) *B. Brunelliiformis* Mak. (分生) 本(北中部)ノ高山寒地帯生^②。〔處分〕〔藥效〕未詳、前同? 〔備考〕全前。

(13) じやかうさう (麝香草、鈴子香) *Chelonopsis moschata* Miq. (分生) 北・本・四ノ深山・溪澗生^②、散生稀群生。〔生藥〕全草ヲ鈴子香ト称シ採乾藥用トス。〔藥效〕全草ヲ煎服シ強壯劑又興奮劑トス又胸痛ヲ治ス、1 回 3~4 瓦煎用。其他芳香料トス。

(14) たにじやかうさう *C. longipes* Mak. (分生) 本(中南部)・四・九ノ山地生^②。〔生藥〕莖葉ヲ花時採乾藥用トス。

〔藥效〕莖葉ヲ煎服シ興奮藥(百里香及木立百里香代用)トシ又疝氣ニ有效、又浴湯用トス、1 回 2~3 瓦煎用。

(15) くるまはな (風輪菜) *Clinopodium chinense* O. Kuntze (分生) 北・本・四・九・琉・台ノ原野、疏傍生^②。〔藥效〕全草煎汁ハ汗泡ニ有效。

(16) なきなたかうじゆ (香薷) *Elscholtzia patrinii* Garcke (分生) 南千・北・本・四・九・琉・台ノ山野生^②。(異名ほそはなきなたかうじゆ *E. cristata* Willd.)。〔生藥〕香薷 *Herba Elscholtziae* ハ花時全草ヲ採乾セルモノ也。長野・福井縣多産。〔處分〕全草ニ精油 1% (一説ニ 2%) 内外ヲ含ム、其主成分ハ *Elscholtziaketone* $C_{10}H_{14}O_2$ ヨリ成リ傍ヲ *Sesquiterpen* ヲ含ム。〔藥效〕漢: 全草ヲ煎服シ解熱(發汗)藥、利尿瀉面浮腫、脚氣(水腫)藥トシ、又腹痛、吐瀉、コレラ、霍亂、中暑、脚氣ヲ治シ且吐血ニ有效、1 日 5~15 瓦煎用。又夏季ニ於ケル蒸汗、解熱藥トシ又急性胃加塔兒ニ因ル疼痛ヲ去ル效アリ。1 回 2~5 瓦、其他口臭症ハ煎汁ニテ含嗽シ治ス。民: 全草ヲ浴湯用トシ腹痛疝氣ニ有效。〔處方例〕(1) 利尿藥(水腫、脚氣、寒胃等) 香薷 10. 水 200.0……以上 1 日量煎劑分服。(2) 香薷散(暑氣中、霍亂ヲ治ス)……香薷 15.0 厚朴、白術、豆豉各 5.0……以上煎劑 200.0、1 日量。

(17) ヒソツブサウ (ひそつぶ、いそつぶ) *Idyosopus officinalis* L. (分生) 地中海沿岸、中亞自生^②。〔生藥〕全草ヲひそつぶ草ト称シ藥用トシ、又ひそつぶ油 *Idyosopöl*

ヲ合ム其主成分ハ *Nopinene* 14%・*L-Pinocampthen* 45%・*Pinene* 等也。〔藥效〕全草ヲ煎服シテ肺病ヲ治ス、ヒソコノ油ヲ興奮藥・健胃藥・リウマチス藥トシ又香味料ニ用フ。

(18) せどりこさう (續斷) (324四) *Lamium album* L. var. *barbatum* F. et S. 〔寄生〕本・四・九・原野・林道生②。
あせおどりこさう *L. album* L. 〔寄生〕樺・南千北ノ山野生②。〔寄生〕樺・南千北ノ山野生②。〔生藥〕花時根及根莖ヲ採乾藥用ニ供ス。〔成分〕*L. album* 莖ニハ揮発油ヲ含ミ、尚 *Schleim* (粘液)・鞣酸 *Gerbstoff*・及 *Lamiin* (塩基)ヲ含有ス、並シ *V. barbatum*ニ異同様成分ナラン。〔藥效〕根及根莖ヲ煎服シ強壯藥トシ、腎臟病・子宮病ヲ治シ、金創・打撲症藥トシ、腫瘍及瘰癧ヲ治シ、又筋骨ノ折跌ヲ續ク故斷續ノ名アリ、又筋骨ノ折越ニ際シ疼痛ヲ緩和ス、末トシ1回2~6瓦又5~9瓦煎服ス。〔備考〕花大ナルニヨリ本科ノ形態・解剖教授用トス。

(19) ほとけのぞ (元實草かすみさう) *L. amplexicaule* L. 〔寄生〕本・四・九・朝・台・畑地・田畔生①、花四・五月。〔生藥〕莖葉ヲ採乾藥用トス。〔藥效〕莖葉ヲ煎服シ止血藥 (吐血・衄血)トス。

(20) めはじき (やくもさう、益母草^{ジウイ} 芫蔚) *Leonurus sibiricus* L. 〔寄生〕本・四・九・朝・琉・台・ノ原野・山足生①、散生〜群生花夏秋。〔生藥〕益母草 (芫蔚) *Herba Leonuri* ハ花時全草ヲ採乾セルモノ也。^{ジウイン} 芫蔚子 *Semen Leonuri* ハ

熟種子ヲ採乾セルモノ也、灰黒色・長形三稜・長2耗。〔成分〕*Naylor* 氏ハ結晶性苦味質 *Leonurin* ヲ含ムト云ヒ *Reckolt* 氏ハ此外、脂肪油 0.5%・悪臭 腦分・樹脂等ヲ含有スト云。久保田・中島西氏ハ結晶性塩基 *Leonurin* $C_{13}H_{20}N_4O_4$ ヲ含ムト云。〔藥效〕漢：益母草ヲ煎取シ婦人病藥トシ、特ニ産前産後諸症、産前後ノ止血藥及補精藥、又子宮、腔系分泌過多症、久シキ子宮内膜炎ニ因ル粘痰性分泌赤及白帶下、産後ノ痰狀排泄物ノ永續或長期子宮出血ニ因ル衰弱患者ニ止血及分泌制止劑ノ目的ニ用フ。重服久ニ置レバ妊娠シ易カラシム。1回4~6瓦煎服。種子ハ利尿 (水腫・浮腫、下毒等) 藥通經藥・及眼疾藥ニ洗眼又煎服 (粉末トシ) ス、又中風ニ用フ。1回3~5瓦。又痛風・痲痺ニ忌メト益母草トヲ各5~10瓦ヲ水1合ニ煎結メ1日3回分服ス。〔藥理〕*Leonurin* ヲ甘日鼠ニ皮下注射スルニ (久保田・中島氏) 暫時ニシテ間代性痙攣ヲ起シ、呼吸衰弱シ、次テ全身麻痺ヲ起シ、遂ニ呼吸停止ニ依テ斃ル。心臓ハ呼吸停止後ト雖モ搏動ヲ持續ス。其最小致死量ハ体重1匹ニ對シ 0.6~0.7 耗也。尚 *Leonurin* ハ家兔ノ痛出子宮ニ對シ著ク緊張性ヲ増加シ又子宮運動ノ頻度ヲ増加セシム。亦利尿作用アリ。即家兔ノ靜脈内注射ニ依テ著明ナル尿量ノ増加ヲ認ム。古來益母草ハ通經子宮收縮・鎮靜・安眠・解熱等ノ目的ニ用ヒラレシ藥理ノ一端ハ *Leo-*

1634

*nuxin*ノ作用=依テ解説セラルル如シ。〔處方例〕(1) 益母湯(子宮出血=用フ)--- 益母草、白朮各5.0 管硝、川芎、芍藥、熟地黄、陳皮、香附子、阿膠、蛤粉炒各4.0 玄蔘、蒲黃各3.0 甘草2.0...以上煎劑 200.0 トン1日量分服。(2) 産前後ノ止血、利尿藥... 益母草、地黄3.0 水100.0...以上1日量煎劑、分服。〔備考〕生葉ヲ撮リ布巾ヲ添ムルニ鮮紅色トナル、即淡色劑トスベシ。益母草ノ漢名ハ婦人諸病=有効ノ意也。

(21) せいゆうめはじき *L. cardiacus L.* (分生) 歐洲及西亞産②。〔生薬〕全草ヲ採乾薬用トス。〔成分〕全草=*Leonurin* (苦味質)ヲ含有ス。〔薬效〕前種同様婦人病諸薬トシ歐洲ニ用ス。

(22) しろね (あせにし、地瓜兒苗、沢蘭、白根) 及其諸变种 (323 図) *Lycopus lucidus Turcz.* (分生) 北本、四朝、台ノ原野地沿水辺生②。〔生薬〕莖葉ヲ花時採乾薬用トス。〔薬效〕莖葉ヲ煎取セバ産前産後ノ腹痛ヲ治シ又強壯劑トナリ、金創又浮腫ヲ洗滌又塗布シ有效(煎汁又搾汁)。〔備考〕根ノ肥大者ヲ採リ批漬トシ又煮食ス。質問本草ニ曰ク「得白皮攻消癰腫 佐當歸。立通=經閉、瘀血壅滯、非長莫徐、根名=地耳、實可作饅。即白皮(白朮?)ト共用シ癰腫ヲ攻消シ當歸ト共用シ通經薬トナリ。瘀血ヲ去リ、消化不良ヲ治ス。

(23) あせしろね (蝦夷沢蘭) *L. virginicus L.* (分生)

1635

藥千北・本。(中北部)ノ山野湿地水辺生②、葉長卵形、不整齒ヲ縁。〔薬效〕恐ハ前種ト全様。〔備考〕地下ニ蛹狀匍枝(あよみき)附着ス。煮又漬テ食ス。

(24) さるだひこ (ニしろね) *L. Maackianus Mak.* (分生) 北・本・四・九・朝ノ湿地生②。〔薬效〕莖葉ヲしろね同様ニ薬用ス。

(25) かうすい - はくか (めりっささう、せいやうやまはくか、香水薄荷) *Melissa officinalis L.* (分生) 歐洲地

○ リンダウ科ノ化學的成成分ノ詳細ハ如次。

苦味配糖ヲ有スルモノ多ク、提テ苦味提胃薬トシテ利用サルルモノ多シ、檢出サレシ成分ハ

配糖体:- *Gentiopikrin, Gentiamarin, Swertiamarin, Erythaurin, Meliatin, Chiratin* 類

糖類:- *Gentianose, Gentioside, 蔗糖, 果糖, 糖苷*

酵素:- *Invertin, Emulsin, Oxydase, Peroxydase*, 等

其他ノ物質:- *Erythrocentaurin, Gentsin, Swertisin, Gentiol, Opheliassäure* (オフェリア酸), *Oceanolsäure* (オレオノール酸), *Inosit* 等也。

以上 リンダウ科 (1576 頁=入ル)

中海浜,小亜産②,高1米内外,枸橼酸様香氣有,莖及葉裏有柔毛,葉ハ卵へ玄卵形有鋸齒縁,白花輪繖花序。(生薬)メリッサ葉 Folium Melissaе ハ葉ヲ花時ニ採乾セルモノ也。(成分)葉花ニ精油ヲ含ム,主成分ハ Citral・Citronellal 等也。(藥效)葉ヨリメリッサ油(香油)ヲ採リ芳香藥,矯臭藥トシ,又興奮劑,驅風藥トス。複方メリッサ精ヲ製ス。

○(26) はくか(めいさ薄荷,はくか) *Mentha haplocalyx* Briquet (*M. arvensis* L. v. *vulgaris* Benth. *M. arvensis* v. *piperascens* Holmes, *M. canadensis* L. v. *piperascens* Briquet) (分性) 標北本元朝・琉ノ原野・河岸山麓ニ群生又散生②,葉ハ梢部至花序ニ比シ大形,卵形尖頭,上半有粗鋸齒縁,輪繖花序ハ非覆形,花ハ白色萼紫彩,莖葉有芳香(薄荷油様)。(生薬)薄荷葉 Folium *Menthae* ハ葉(嫩莖ト共)ヲ採乾セルモノ也。而面時下面油腺点(褐色)密布,氣味時興芳香峻烈,味ハ初如灼後清凉也。北海道岡山廣島・英・北米多産,各地栽培者自ラ蒸溜器ヲ備ヘ收穫(年2~3回)後直ニ取即油ヲ製ス。(成分)全草中精油(薄荷油)1%内外ヲ含ム,其主成分ハ薄荷腦(白色結晶性) ^{メントール} *Menthol* C₁₀H₂₀O = テ含量ハ70~90% (遊離薄荷腦 65~85%, Ester 3~8%) = 達ス。其他 *Menthon* C₁₀H₁₈O・*Isomenthon*・*Pinen*・*Camphen*・ Δ^1 -*Menthenon* C₁₀H₁₆O・^{メントール} 尤族 $\text{H} \text{---} \text{N} \text{---} \text{L}$ ・*Limonen*・ $\Delta^{3,4}$ -^{メントール} *Idexenol* ^{フェニル 醋酸エステル} *phenylacetat* C₂H₅-CH=CH-CH₂-CH₂-O-CO-CH₂-C₆H₅・

Aethylamylketon C₂H₅-CO-C₆H₁₁・*Sesquiterpen*・*Sesquiterpensalkohol* (2種)等ヲ含有ス(他 = *Menthylacetat* ヲ挙ガ)。

(藥效) 日本藥局方ハ薄荷葉薄荷油^{メントール}薄荷腦^{ソッフ}薄荷合利別薄荷精薄荷水芳香精ヲ製ス。(1)薄荷葉 *Folium Menthae* ハ上記諸局方藥製造原料トス,又浸劑(薄荷葉 10.0 水 100.0)茶劑トシ消化器病・下痢・痲瘋・頭痛・腸風氣・骨節痛ニ用ヒ 驅風興奮劑トシ 汗腺藥トス。又茶劑トシテ胃痛・腸内瓦斯ノ膨滿ヲ治ス,浸劑(薄荷葉 1.0~2.0 = 水ヲ加ヘ浸劑トシ内用)トシ驅風興奮劑トス。(2)薄荷油 *Oleum Menthae* ---- 陰干葉ヲ蒸溜セバ約1%ノ揮發油(薄荷油)ヲ得,主ニ薄荷腦^{メントール}及及 *Pinen* ヲ含有ス,此取即油ヨリ薄荷腦ヲ製ス,局方薄荷油ハ薄荷腦50%以上含有ヲ規定ス。薄荷油(液体)ハ胃痙攣・痲瘋・風氣・下痢・嘔吐 = 1回1~3滴内用シ,1~5滴ヲ油糖劑トシ驅風健胃興奮劑トシ又矯味矯臭藥トス,其他痲瘋痛・喉頭結核 = 油1瓦ヲ水5瓦ニ溶解シ塗布シ,鼻ニミテリあニハ油ヲ綿球ニ吸收シ挿入ス,又防腐劑・含嗽料トシ,健胃・興奮劑トシ獸醫用トス。(3)薄荷腦 *Mentholum* (結晶) ---- ハ薄荷油ヨリ製ス,薄荷油ト共ニ殺菌ノ效アリ。主ニ矯味矯臭藥トシ,又香料トシ,薄荷油ト共ニ菓子・齒磨粉・化粧品・化粧水等ノ製造ニ混和シ清凉興奮・矯味矯臭劑トシ,煙草賦香料・^{香料}香具用貯藏食品製造料等ニ香料トス。薄荷腦ハ0.02~1.0ヲ水劑又散劑トシ胃痛・結核等ニ内用ス,又2%軟膏トシ,肺結核患者ニ1日6~9瓦(1回1~

1.5瓦)ヲ與ハ、神經痛^{ツマチス}ハ1瓦ヲ酒精10瓦(5~10%酒精液)ヲ溶解塗布シ有奇效、齒痛^ハ齒窩^ニ填入シ、胃腸病藥^ニ感冒藥等^ニ混和シ其效カヲ増大ス。(4)薄荷合劑^{シロップ}別 *Sirupus Menthae*...ハ薄荷葉2分ヲ酒精1分ニ浸シ、溜水10分ヲ加ハ時々攪拌シツツ1昼夜冷浸シ、濾過シ其ノ分ニ白糖13分ヲ加ハ得タル綠褐色ノ濃稠液也。矯味藥トス。(5)薄荷精 *Spiritus Menthae*...ハ薄荷油10分酒精(88.76%)37分ヲ混合セル無色透明液也、驅風劑^ニ興奮劑トス。1日0.5~1.5ヲ驅風^ニ健胃^ニ矯味劑トシ合劑ニ配伍シ内用。(6)薄荷水 *Aqua Menthae*...ハ薄荷葉1分ヲ蒸溜シ30分ノ液体ヲ溜取セル也、矯味^ニ驅風^ニ又矯臭藥トシ、單味又他ノ合劑ニ配伍シ用フ。

以上ノ外薬局方藥ニハ(1)薄荷錠、(2)白陶土琶布、(3)複方薄荷腦塗擦劑、(4)明礬水、(5)重曹メント水、(6)曹達メント錠、(7)複方クレオソート丸、(8)硝酸ストリキニネ丸、(9)メント酒等アリ。薄荷錠ハ薄荷油1分ニ白糖99分ヲ混ジ型壓シ製ス、矯味興奮劑トス。

本生藥即日本産薄荷油ハ薄荷腦含量多キヲ長所トスルモ稍苦味ヲ有シ、芳香亦欧米産薄荷油ニ劣ル、故ニ日本産ハ主ニ薄荷腦製造原料トシ、菓子用及齒磨粉料ハ欧米産ヲ用フ、就中英國ミツチヤム地方産ハ *Mitcham oil* ト称シ芳香佳良ヲ以テ尊重ス。(藥理) (1)薄荷腦ハ樟腦ヨリ毒性僅ニ弱ク、且生体ノ吸收作用ハ微弱ナルモ大量ハ中枢神經系統ニ延襲ヲ麻痺

ス、而テ一般ニ樟腦ノ如ク血圧亢進作用アリ。(2)薄荷腦漸減^ニ皮膚力(殺菌力)強シ、皮膚ニ塗布セバ知覺神經中ノ寒感纖維ハ刺激セシメ^ニ局所ノ寒冷ヲ感ゼシメ、激介時後輕皮ノ灼痛及痒覺ヲ發ハシム。(藥方例)胃痛腸内瓦斯膨滿ヲ治ス...薄荷葉10.0 桂皮8.0 龍膽20.0 良姜15.0...以上茶劑トシテ投与、之ニ1000.0ノ赤酒^{フツツ}ヲ注キ、24時間温湯中ニ浸出シ、1日數回1酒杯宛。

(備考)品種ニ赤丸、青丸、青柳、赤柳等アリ。就中赤丸種最良、丹葉赤紫莖紫花、香氣佳良、含油量大也。青丸種ハ綠葉綠莖淡紫花、莖直ニナルモ香氣不良、味苦シ、劣也。採用法ニ葉連枝計ス(秋晚)、窒素加里ヲ多施ス。收穫ハ晴天ニ行フ、年1~3回、一植株宛互違ニ繩ニ吊乾シ日光風雨ヲ避ケ(北向)。輸出年子ニ百万円内外、國內消費十万余也。

(211) セイヨウハクカ (西洋薄荷) *M. piperita* L. (カ生) 歐洲原産、歐洲南北米、日本其他ニ栽培スル[◎]、ハクカニ比シ全株無毛、花序ハ大穗狀ニ集ル、葉ハ長楕圓形、稍細鋸齒縁也。(生藥) 西洋薄荷葉ハ葉(莖ニ)ヲ採取セル也。(成分) 乾葉ハ精油約1%ヲ含ム、主成分ハ *Menthol* (薄荷腦 50~60%)、*Menthylester* (3~15%)、*Menthon* (3~20%)、*Menthem-Terpen* 等也。(藥效) 欧米各國藥局方ニ悉ク記載ス。西洋薄荷油 *Oleum Menthae Piperitae* ハ腦含量部産油ニ比シ僅ニ少キ、故ニ腦製造原料トシテ劣ルニ油分ノ芳香佳良ナルヲ以テ菓子、齒磨粉等ニ用フニハ邦産ヨリ遙ニ優良也。其他

）效用又テ前記はくかニ同シ。

(28) みどり-はくか (綠薄荷) *M. viridis* L. (分生) 南欧・インド原産, 北米, 日本其他ニ移植スル^①, はくかニ比シ全株深緑色, 葉ハ無柄長卵形, 花蘆ハ密生, Aハ長ク長出, 異ル香氣有。 (生薬) 綠薄荷葉ハ莖葉ヲ採乾セルモノ也。 (成分) 葉ノ精油中ニ約50% ^{カルボネン} Carvoneヲ含ム全然 Mentholヲ不含, 其他 *Binen*・*l-Limonen* 等ヲ含有ス。 (薬效) 綠薄荷油 *Oil of Spearmint* (米局方)ハ矯臭・驅風薬トシ, 又菓子ノ芳香料トシ米國ニ多量消費ス。

(29) ちりめん-はくか (ちりめん-はくか・縮葉薄荷, 縮細薄荷) *M. crispata* L. (*M. viridis* L. v. *Crispa* Benth.) (分生) 歐洲原産・歐洲其他日本等栽培ノ^①, 葉ハ卵楕円形鋸齒縁波彎曲葉面淡緑色皺縮ス。 (成分) 葉ニ精油ヲ含ム, 主成分ハ *Menthol*・*Menthon*・*Menthon* 等也。 (生薬) 縮葉薄荷葉。 (薬效) 同前種, 矯臭・驅風薬トス。

(30) めがさ-はくか *M. Pulegium* L. (分生) 南歐洲スペイン等ニ栽培スル^①, (成分) 葉ニ精油ヲ含ム, 主成分ハ *Pulegon* 也。 (薬效) 精油ヲ健胃・驅風・発汗薬トス, 又矯臭薬トス。

(31) ひめ-はくか (ひめ-めがさ石薄荷) *M. japonica* Mak. (分生) 北・本(北中部)ノ湿地性^①, 葉ハ長卵形全縁, 花ハ淡青紫色。 (薬效) 本種ヲはくか全株ニ用テト飲スルモノアリ。

(32) モナルダ-さう *Monarda punctata* L. (分生)

北米東南部諸州産ノ^①, 高40~50cm, 根莖長ク各節枝方莖, 葉ハ卵状長楕円形, 上半細齒縁多分岐, 花ハ梢枝ニ族生, 着花部ノ葉苞葉共ニ淡紫紅及淡黄美麗, Cハ淡黄・紫紅斑。 (生薬) 全草ヲミなるださうト称シ採乾シチモ-る油原料トス。 (成分) 全草ニ精油ヲ含ム, 其成分ハ *Thymol*・*Methyleugenol*・*Thymolhydrochinon*・*p-Cymol*・*Myristicin* 等也。 (薬效) 生薬ヲ煎服シ健胃・驅風・解熱薬トシ, 又 *Thymol* 製造原料トス。

(33) やがるま-くわくかう (矢車薺香) *M. fistulosa* L. (分生) 北米原産ノ^①, 前種ニ近似シ, 花ハ紅紫又白色, 苞ハ帯紫, 頭状花株。 (生薬) 全草ヲ矢車薺香ト称シ薬用トス。 (成分) 全草ニ精油ヲ含ム, 其成分ハ *Carvacrol*・*p-Cymol*・*Limonen* 等也。 (薬效) 全草ヲ煎服シテ興奮性健胃薬・驅風薬・驅虫薬・解熱薬等トス。

(34) いぬ-かうじゆ (石薺薺) *Mosla punctata* Nakai (分生) 本・四・九州・琉ノ原野生^①, (生薬) 全草ヲ石薺薺ト称シ採乾薬用トス。 (成分) 全草ニ揮発油ヲ含ム, 主成分ハ *α-Thujon*・*Sesquiterpen C₁₅H₂₄* 等ナリ。 (薬效) 全草ヲ煎服シ通経薬トス。

(35) ひめ-じそ (みぞ-からじゆ, 潘香薺) *M. grosseserrata* Max. (分生) 本・四・九州・琉ノ原野生^①, 散生~群生。 (生薬) 全草ヲ潘香薺ト称シ花時採乾シ薬用トス。 (成分) 全草ニ精油ヲ含ム, 其成分ハ生菜ノ0.2%内外也, 其主成分ハ *Thymol* (精油ノ約20%)^{チモール}ニテ他ニ *Methyleugenol*・*Thymolhydrochinon*・*p-Cymol*・^{パラチモール}

Myristicin. 一種, Terpen. Sesquiterpen. Moslen 葉ヲ含有ス. 又古川宮沢西氏ニ據レバ *Caryacrol* ヲ含ミ. ちんひどろひのん) 他ニ Terpen 溜分中 *Rhelandren*. 及 *Terpinen* ヲ含有スト云. (藥效) 全草ヲ煎服シテ駆出(十二指腸虫. 線虫等) 藥トシ. 又香料及石鹼香料ニ應用シ得. 又ちんひの製造原料トス. 又全草ヲ浴湯料トス.

O(36) やまじそ(山紫蘇) *M. japonica* Masc. (*M. orthodon* Nakai, *M. perforata* Koidz.) 北. 本. 四. 九. 朝ノ原野山麓生①. 高20~35 釐. 葉ハ卵~広卵形. 粗齒縁有苞葉. 輪繖穗狀花序. 花ハ小. 淡紅. 又白. 下唇ハ大. 円形. しろばな やまじそ *M. leucantha* Nakai (=あまやまじそ *M. thymolifera* Mak.) (分生) 本(中部). 産①. 莖ハ緑. 枝ハ鋭稜. 白花. (生藥) 全草ヲ山紫蘇ト称シ花時ニ採乾シ藥用及製油用トス. (成分) 全草中ニ精油 1~2% ヲ含ム. 其主成分ハ *Thymol* ^{ハロシモール} $C_{10}H_{14}O$. *p-Cymol* $C_{10}H_{14}$. *Moslen* $C_{10}H_{16}$. *Caryophyllen* $C_{15}H_{24}$ 等也. *Moslen* ハ恐ハ γ -*Terpinen* = 不他. 一説ニ *Cadinen* ヲ追記ス. 但呂種ニ依テ *Thymol* 含量ニ大高低アリ. 即 0~50% ヲ上下ス. (藥效) 山紫蘇ハ白花山紫蘇ト共ニ *Thymol* 製造原料トス. 莖葉ヲ煎服シ十二指腸虫. 線虫等ヲ駆除ス. *Thymol* 油ハ線虫. 十二指腸虫駆除藥 (1回 1~2 瓦カサセ入, 1日 4~5 瓦) トシ. 又腸内異常醗酵制止藥ニ内用シ. 又殺菌劑トシテ歯磨粉ニ配伍ス. 又含嗽料トシ口臭ヲ治ス. 沃度ちんひの *Thymoljodid*

アリストール

(一名 *Aristol*) ハ *Thymol* ノ沃度化合物ニテ沃度低るニ代用シ殺菌藥トス. (藥理) *Thymol* ハ防腐及制腐力ヲ有ス. 炭疽菌ハ 4000 倍溶液ニテ. 膿菌ハ 3000 倍溶液ニテ發育ヲ抑制ス. ちんひの中心神経系ニ對シ初ヨリ麻痺的ニ作用シ痙攣ヲ不起. 而テ其作用ハくれゼーの或ハホエのーの等ニ類スルモ毒性之ヨリ弱シ. 是ちんひのハ進溶性ニテ吸收セシレ進キ改也. 且局所作用モ弱シ. ナレド服用ニ際シ寒疹. 悪心. 嘔吐. 蛋白尿. 腹痛等ノ副作用ヲ見ル事アリ. 貧血. 虛弱者ニハ使用上要注意. (兼方劑) (1) 驅虫劑 (十二指腸虫寄生症) ... チモール 2.0 ... 以上 1 包量, 2 包ヲ與ヘ 2 時間毎ニ内服. 後與下劑. (2) 全 ... チモール 2.0 ナフタリン 7.0 ... 以上カプセル入, 1 時間ヲ隔テ 2 回分服.

(ちんひの製造法) 山紫蘇油ヲ 5% 苛性曹達溶液ニテ振盪シ. 其溶液ヲ油ヨリ分取シテ稀硫酸々性トシ. ちんひのヲ遊離セシメ水蒸氣ヲ通ジテ蒸溜シ. 溜液ヨリ *Thymol* ヲ分取セル後. 石油「エーテル」ヨリ再結晶シテ精製ス. *Thymol* ノ世界的原料タルハ印度産セリ科植物 *Carum Ajowan* Benth. et. Hook. ノ果實也. 然レトモ現今ハ *Piperiton* 又ハ *Para-Cymol* ヲリ合成ス.

(37) おほやまじそ (大山紫蘇) *M. Idadai* Nakai (分生) 本(中部). 産①. やまじそニ比シ全株粗大ニ多ク. 穗狀花序ハ稍短縮. 苞花冠共ニ稍大. 下唇ハ中本ク中央微凹ス. 種子ハ著クヨリ大形. (生藥) 全草ヲ大山紫蘇ト称シ花時採

乾葉用又精油料トス。(成分)全草中=精油1~2%ヲ含ム、
 主成分ハ Carvacrol C₁₀H₁₄O (約70%)・P-Cymol C₁₀H₁₄^{パシメール}
 及 Acetylcarvacrol ヲ含有ス。Carvacrolハ Thymolノ
 同質異性体ニテ其水酸基ノ位置ヲ異ニスルノミ。(薬效)全草
 ヲ煎服シテ腸虫及子ニ指腸虫駆除藥トス。又 Carvacrol 製
 造原料トス。之ハ Thymolト全效アルモ油状ニテ使用不便
 ナル故現今餘リ不用。

(38) かきどほし (かんとりまろ, 蓮銭草, 積雪草) *Nepeta*
Glechoma Benth. (分生) 北本九州ノ原野路傍②。(生薬)
 蓮銭草 *Herba Glechomae terrestris*ハ花時全草ヲ採乾
 セルモノ也。(成分) 莖葉=精油約0.03%ヲ含ミ Aldehyd
 及少量ノ Ketonヨリ成ル。其他單寧苦味質・Cholin等ヲ含
 ム。(薬用)漢:蓮銭草(佛局方)ハ煎服シテ強壯藥トシ、又感冒咳
 血等ニ和胸劑トシ煎服ス、1日6~10瓦用。古來小兒ノ疳ヲ
 治ス故疳取草ト云、其他解熱鎮痛鎮咳止瀉利尿ニ有效、又肺炎
 腎臟炎ニ煎服ス、又咳血糖尿病等ニ1日5瓦月連服ス。歐洲
 ニテニ強壯藥ニ賞用ス。(薬方例)金花散(小兒胎毒瘡毒ヲ
 治ス)---蓮銭草紅花大黃連翹藜香什麻各8.0 冰香・檳榔・蔚
 金乳香木香各4.0...以上11味ヲ散劑トシ内用。又麝香ヲ加
 入丸劑トス。(備考)嫩莖葉ヲ煮煎シテ香氣ヲ去リ、塩味増ニテ
 調食スベシ。

(39) おりたさろ (けいがい, ねずみぐさ, 荆芥) *N. japo-*
nica Max. (分生) 支那原産, ①, 日本栽培, 高60 厘米ハ

羽深裂裂片全縁小花夏, 全株有芳香。(生薬) 荆芥(假蘇)
*Herba Nepetae*ハ花穂及莖葉ヲ花時ニ採乾セルモノ也、薄荷
 臭アリ、味苦シ。支那朝鮮ニ多産ス。(成分)全草=精油1.8%
 ヲ含ム、主成分ハ右旋めんトルン d-Menthon, L-Menthon
 及非旋光性めんトルンニテ傍シ少量ノ右旋リネーン d-Li-
 monen ヲ含有ス。(薬效)漢:荆芥ハ発汗聖風藥トシ、又痧毒
 痧腫ヲ治シ中風ニ用テ、又産前産後、諸症及血ノ道ノ要藥ト
 ス、1日8~10瓦煎服ス。発汗解熱、故アル故風邪頭痛腰部
 以上ノ水腫眩暈ニ用テ、又鎮痙藥トシ産後ノ牙關緊急四肢強
 直ニ用テ、或氣血ノ循環ヲ良好ニス。(薬方例)(1)荆芥湯(血
 血共他ノ出血ニ有效)... 荆芥8.0 水100.0...以上煎劑分
 服。(2)帰芎湯(昏迷昏倒ノ激直産後産暈ヲ治ス)... 当归荆
 芥各8.0...以上2味酒又水煎分服ス。(3)感冒頭痛整腸藥...
 荆芥2.0 大黃2.0 桂枝1.0...以上3味混和茶劑水200.0
 ニテ煎出1日3回分服。(4)驅風解熱藥... 荆芥6.0 大黃2.0
 防風4.0...以上混和粉3包(1包4.0)茶劑煎服。(5)発汗
 聖風藥... 荆芥5.0 蒼朮3.0 甘草1.0...以上粉3包(1包
 3.0) 1日3回1包宛、煎服。

(40) はな-はくか (まよらなさろ) *Origanum Majira-*
na L. (*O. vulgare* L.) (分生) 歐洲原産、又北亞非・スペリ
 シ等産ノ草本。(生薬) まよらな草ハ全草ヲ花時採乾セルモ
 ノ也。(成分) 全草=精油ヲ含ム、其成分ハ Terpinen-
 Terpen・Terpineol 等也。(薬效) 全草ヲ煎服シテ健胃・

驅風藥トシ又沐浴料トス。

(41) オルトホソウ *Orthosiphon stamineus* Ben.
地。〔寄生〕印度原産ノ⑩。〔生薬〕全草ヲくみすちんト称シ薬
用トス。〔成分〕全草ニ配糖体 *Orthosiphonin* ヲ含有ス。
〔薬效〕全草ヲ煎服シ利尿薬トス。

(42) しそ (のらえ、いぬえ、ぬかえ、紫蘇) 及其変種交形
Perilla acuta Nakai (寄生) 支那原産、日本栽培ノ①。
〔生薬〕紫蘇葉 *Folium Perillae* ハ花時葉ヲ採乾セルモノ也、
左卵形、暗紫色 (おもむきハ緑色)、特異芳香性、揮油様也。紫
蘇子 *Semen Perillae* ハ蘇種子ヲ採乾セルモノ也、黄褐色暗褐色
粒状、径 1.5 粒、百粒約 0.2 瓦、気味特異芳香性也。支那、高麗、
京、青森縣多産。〔成分〕全草ニ精油 (紫蘇油) 約 0.5% ヲ含ム、
其主成分ハ *Perillaldehyd* $C_{10}H_{14}O$ (55%)・*l-Limonen* (20~30%)、 α -*Pinen* 等也。就中ヘリラあるモノハ
ハ本種特有ノ香気ヲ有シ、之ヨリ造リシ (古川氏) *Perilla-*
aldehyd-d-antioxim ハ砂糖ノ 200 倍ノ甘味ヲ有ス
ト云フ。又酸防腐力アリ。葉ノ紫紅色ハ ^{シアニン}*Cyanin* (*Chesvid*
 $C_{27}H_{31}O_{16}Cl$) 及其 *シバシクマール酸エステル* ヲヨリ成ル。
其他 *Adenin* 及 *Arginin* ヲ含有ス。〔薬效〕漢：蘇種子共ニ
芳香性健胃薬、全驅風薬、全祛痰薬、トシ又興奮性発汗薬、鎮咳鎮
靜・鎮痛薬、利尿薬トシ又賦香薬トス、1日 3~8 瓦、煎又散剂ト
ス。種子ヲ煎服セバ精神沈鬱 (気鬱症) ヲ飛散セシム、又魚肉
味蟹肉中毒ヲ解消ス、又饑咳祛痰ノ效アリ、1日 1.5~3 瓦煎服。

葉ハ初期寒暑ニ用テ熱ヲ去リ、咳ヲ止メ、食欲ヲ増進シ、吐気ヲ
制止ス、喘息、電氣、胸支ハ等ヲ治ス。1回 1~3 瓦粉末煎服 (但シ盗汗又自汗スル者又脈搏微弱者ハ不用)。紫蘇葉ハ梅漬、
梅干、生姜漬、ちよろぎ漬等其外漬物ニ入レ、其着色 (美赤色) 剂
トス。全草ヲ压榨シ紫蘇油ヲ製ス、本油ハ菓子其他ノ賦香料
トシ又乾葉粉 (或梅ト共漬後) ト共ニ菓子 (紫蘇はん等) ニ
用ヒ又ハ香料 (紫蘇粉) トス。紫蘇油ハ酸防腐力ヲ有シ
其 20 瓦ハ醤油 1 石ヲ完全ニ防腐ス (古川氏)。〔紫蘇酒〕ハ蒸
汗驅風補氣補精ノ強壯兼興奮劑ニシテ紫蘇生薬 (葉及果実)
2 匁、茴香 1.5 匁、沈水^{ボツ} 1.5 匁、桂皮 1 匁……以上ヲ混和蒸溜シ得
タル液ニ焼酎 3 升、砂糖 600 匁ヲ混入シ、之ニ紅花浸出液ヲ適
宜加入着色製造セルモノ也、配合量ハ入ニ依テ稍異ル、近時燒
酎、砂糖ノ代リニ味醂ヲ用テ、佛後唐津ハ其名産地也。〔備考〕葉
及果実ヲ香味食料トス。特ニ嫩葉ヲ賞ス、或葉ハ漬物ニ汎用
シ又其着色料トス。品種多シ、如次、(1) しそ又阿西紫蘇 *J.*
Purpurea。(2) 片面紫蘇 *J. discolor* ハ葉背緑色。(3) 縮
細片面紫蘇 *J. crispidiscolor*。(4) 縮細紫蘇 *J. crispa*。
(5) 青紫蘇 *J. viridis*。(6) 縮細青紫蘇 *J. viridi-crispa*。
(7) 斑紫蘇葉縮細上面紫色、翠緑條線斑アリ、下面緑色。就中
青紫蘇最香気共佳也。紫蘇ハ萌シトシ又果穂ヲ刺身ノつま
トス。葉ハ梅漬ニ用ヒ、果ハ煮食シ、又塩 (漬) 藏テ、或花穂ノ砂糖
ヲ掛ケ菓子トス。歐洲ニテハ觀賞用トス。

(43) 元ごま (元荏、荏胡麻)、*P. scissoides* L. (寄生) 支

那原産ノ①, 各國ニ栽培ス。シテニ比シ全株有毛(短毛密生), 臭気ヲ異ニシ, 葉ハ緑色, 円〜平円脚, 花序ハ密簇, 花ハ白色, 毛有也。〔生薬〕^{ニ(=)}荏子ヲ採乾セルモノニテ小灰色粒子ニテ薬用・食用・油料トス。〔成分〕生葉(滿洲産)ハ精油0.04%ヲ含有ス, 主成分ハ Ferillaketon (90%) $C_{10}H_{14}O_2$ 也。種子ハ脂肪油(荏油, 又荏胡麻油)40%ヲ含有ス。本油ハ主ニ Oleinsäure・Linoleinsäure 等ノ不飽和, 脂肪酸ノ Glycerid ヨリ成リ少量ノ Palmitin ヲ混ズ, 其不飽和成分ハ Cetylalkohol・Cerylalkohol 等ヨリ成ル。荏油ノ沃度数ハ200内外ニテ既知植物油中最高沃度数者ノ一也。〔薬效〕種子ヨリ榨取(1.5割内外)セル荏油ハ乾燥性極テ強シ, 故ニ此乾性ヲ利用シ油紙雨衣, 器具ノ塗料トシテ防水湿, 又漆液ニ混和シ増光沢。或食用ニ供ス, 即炒リテ胡麻子ノ代用トシ, 又香辛料トシ又小鳥ノ飼料トス。〔備考〕荏油ト^{ニ(=)}蝦ノ食合セテ養ス, 大害ヲ及スコトアリ。

(44) レモン-元ごま (レモンじそ, 檸檬荏) *P. citriodora* Nakai (外生) 本(中南部)・四・九ノ山野自生ノ①, 形態元ごまニ近以スルモ全株密毛・レモン様芳香アルヲ異点トス。〔生薬〕全草ヲ檸檬荏ト称シ薬用又油料ニ供ス。〔成分〕乾葉ニ精油2~3%ヲ含ム, 其成分ハ Citral (約59%)・Ferillon $C_{10}H_{14}O$ ・Sesquiterpen 等也。種子ハ脂肪油ヲ含ミ其不飽和成分ニテ得ラルル脂肪酸中ニハ Linolsäure・Linoleinsäure 等ヲ證明セラル。〔薬用〕檸檬荏油ハ香料ニ供シ又養臭薬ト

ス。

(45) おほ-きせわた (おほば-きせわた) *Phlomis Maximowiczii* Regel (外生) 朔滿・産②, 内地日本栽培。花ハ帯赤色, 密毛, 葉ハ心形鋭光頭。〔生薬〕根ヲ横断トテ^{ニ(=)}採乾薬用トス。〔薬效〕根ヲ煎服シテ婦人補精薬トシ又中風ニ内用ス。

(46) たんじん (丹蔘) *Salvia miltiorrhiza* Bunge (外生) 琉・滿・支・産②, 全株粗毛密生, 葉ハ2回羽状複葉小葉卵形並齒縁, 花ハ碧紫・輪繖花序ハ円錐状。〔生薬〕^{ニ(=)}丹蔘 Radix *Salviae miltiorrhizae* ハ根ヲ採乾セルモノ也, 根頭ヨリ紡錘状根(5~15種)數條分岐赤褐色, 有縦皺, 特臭アリ, 味収斂性稍苦シ。〔成分〕根ニ3種ノたんじんの結晶ヲ含ム即 Tanshinon I $C_{18}H_{12}O_3$ (紅褐色), J. II $C_{19}H_{18}O_3$ (赤色), J. III. $C_{19}H_{20}O_3$ (赤色), 何レモおるとひのんノ性質ヲ有ス。〔薬效〕漢: 丹蔘ハ健胃・整腸薬トシテ著シ, 又諸瘧ニ内用シ排毒ノ效(下毒剂)アリ。

(47) あきの-たむらさう (鼠尾草) 及其諸変種 *S. chinensis* Benth. (外生) 本・四・九・朔・琉ノ山野生②, 葉ハ1~2回掌羽状複葉。〔生薬〕全草ヲ鼠尾草ト稱シ花時刈取リ乾燥シテ薬用トス。〔薬效〕全草ヲ煎服シテ収斂(止血止血)薬トシ急性・慢性腸加答兒赤痢・吐血・胃潰瘍ニ1回2~6瓦, 又瘧疾ニ有效。葉ヲ刺戟剂トシテ煎汁ヲリウマチスニ懸法用トス。

△(48) さるびや (セージ・Sage) *S. officinalis* L. (外生)

歐洲原産南部ニ野生又栽培、日本栽培ノ互状^②、高50~90
 厘米下部木本状、全株白毛密布、葉ハ長卵形鈍頭微凹、鋸齒牙縁、花
 ハ中形紫色又淡紫帯白色、總狀輪繖花序。(生薬) さるびや葉
Folium Salviae ハ花後葉ヲ採乾セルモノ也、厚性有毛、
 特異芳香性、稍苦收斂性也。神奈川、愛知縣多産。(成分) 全
 草ハ精油1.5~2.5%ヲ含ム其成分ハ $\text{Pinen C}_{10}\text{H}_{16}$ Cineol
 $\text{C}_{10}\text{H}_{18}\text{O}$ ・ Thujon (Salvol) $\text{C}_{10}\text{H}_{16}\text{O}$ ・龍腦・Bornol・
 一種ノ $\text{Sesquiterpen C}_{15}\text{H}_{24}$ (沸点約260°) 等也。(藥效) 葉
 ハ咽喉炎ニ含嗽水トス、又さるびや油 *Salveiöl* 製造原料ト
 ス。薬局・さるびや葉ハ收斂性兼興奮性薬物也、茶劑トシテ1
 日5瓦、又10倍ノ湯ニ浸出セル浸劑(10:100)ヲ咽喉炎ニ含
 嗽劑トス。又興奮・驅風藥トシテ盜汗ヲ治ス。其他葉ヲ芳香
 性稍苦ク收斂性ナルヲ利用シテ香水等ノ賦香料トス。又止
 瀉藥ニ用アルコトアリ。さるびや葉ノせんすハ木植物ヲ圧
 搾シ得タルさるびや油ノ成分ニ酒精ヲ加フ混ジ、是ヲ水10分
 ノ中ニ1滴ノ割合ニ溶解ヒル液体ヲ云フ。藥效ハ如上列記
 ト同效也。(處方例)(1) 咽喉炎……サルビヤ葉(15.0) 300.0
 ……以上浸劑トシ含嗽料。(2) 全……サルビヤ葉(10.0)
 200.0 稀塩酸4.0……以上混和含嗽料。

(49) ちよろぎ (ちようろぎ, 草石蚕, 甘露児)。 *Stachys*
Sieboldii Miq. 支那原産、日本栽培ノ^②、いぬごま状草本、
 地下ノ匍莖(地下莖)ハ肥大蚕蛹状又重珠状、前尖後鈍、白色、花
 ハ淡紅紫色。(生薬) 地蚕(草石蚕、又土蟻)ハ地下莖ヲ冬又

春採集セルモノ也。(成分) 地蚕(地下莖)ハ澱粉ヲ不含、
Tetracosaccharid + *Stachyose* ヲ含有ス。(藥效) 地蚕
 ハ食用トシテ過量する外心ヲ和ケ、氣ヲ下シ、血ヲ散じ、痛ヲ止
 ム、煎服又ハ酒ニテ服ス。(備考) 冬春堀採、水洗・梅酢ニ漬ケ酒
 蒸(將ニ元旦屠蘇ニ用フ)トス、或煮食ス。味菊等ノ如ク甜シ、
 形ノ珍奇ナルヲ賞ス。

〇(50) ちぢやかうさう (ちぢす草, チミアン草, きだち
 ひやまりかう, 立麝香草) *Thymus vulgaris* L. (分生)
 南欧野生各地栽培ノ互、高20~30厘米、多枝直生、坐莖ハ披針形
 反曲縁有毛、花ハ總狀輪繖花序、淡紅紫帯白色。(生薬) ちぢす
 草(チミアン草) *Herba Thymi* ハ花時全草ヲ採乾セルモノ
 也。(成分) 全草ハ精油(ちみあん油 *Aleum Thymi*)
 0.3~0.9% (生草) ヲ含ム、其主成分ハ $\text{Thymol C}_{10}\text{H}_{14}$ (20
 ~30%)・ $\text{p-Cymol C}_{10}\text{H}_{14}$ ・ l-Pinen ・ Linalool ・産地ニ依リ Carvacrol ヲ含ミ Thymol ヲ全然
 含マズ、或両者混在ス。(藥效) ちみあん油(局方) 製造原
 料トス。本生薬ヲ鎮咳藥(煎劑又越翁斯)トシ百日咳・感冒・
 気管枝炎・急性気管枝炎・喉頭炎等ニ用フ。局方ちみあん油ハ
 皮膚利乾藥ニ混シ利乾性又防腐性軟膏・塗擦劑・洗滌劑・藥湯料
 トス、又賦香料トシテ防腐藥トス。又薬局方ニテハ石炭カ
 ンフル擦劑(オポアルドック)ニ加フ、神経痛・リウマチス・打撲
 傷等ニ塗擦ス。局方・ちぢす *Thymolum* ハ腸寄生虫除ニ十
 二指腸虫駆除ニ1日2~5瓦ヲかきせる劑トシテ用フル外、

胃腸ノ異常感等= 0.05~1.0 ヲ乳劑ノ散劑トシテ用フ。防
腐力ハ石炭酸=優ルモ不寒解性ハ缺點也、1回ノ極量 0.5 瓦
1日全4.0 瓦也。此他ちみあん流動^熱糖漿ヲ使用ス、1日4
~6回、大匙=半~1杯宛。被菊方・複方ちむすしろつ不
Sirupus Thymi compositus (*Thymian-Kustensaft*)
ノ配合ハ.... ちむす流動糖漿期 150.0 あんもにあ承 3.0 ぶ
ろむ加里 6.0, ぶろむNa. 6.0 ぶろむあんもん 3.0 しろつ
ズ 832,0 (新薬) ^{チソフニン} *Thymitussin* (東京・田辺)・^{パルソフニン} *Pertussin*
(大阪・田辺)等ハ上記使局方ちむすしろつ不ト全薬ノ鎮咳薬=
テ特=百日咳・小兒咳嗽=賞用ス。〔備考〕ちむす草ハ食物ノ
香味料=供シ、又芳香性附加薬トス、又セーす、とまとけちつぶ
はむ草=賦香料兼防腐薬トシテ用フ。〔薬理〕ちもーる *Thy-*
*molum*ハ防腐及制腐力アリ、炭疽菌ハ 4000 溶液=テ、濃菌
ハ 3000 倍溶液=テ発育ヲ抑制セラル。毒性ハ弱キモ大量
服用時ハ最初ヨリ中枢神経系ノ麻痺ヲ來ス。本生薬ノ有效
成分ハ之=含有スルちもーる=依ルカ否カハ不明ナルモ、百
日咳其他ノ咳嗽=對シ本品ノ服用=依リ、激甚ナル乾性咳嗽
ハ分泌液ノ液化=依リ速カ=消化スト認セラル。

- (5) いぶき-じやかうさう (ひやくりから・伊吹薔香草, 百里香),
J. Przewalskii Nakai v. *laxa Nakai*. (分生) 本(中
部) いは-じやかうさう (はまくさ, かやりぐさ, 葎草)
J. Przewalskii (分生) 華北・本九朝ノ山岳地礫山麓生リ,
共=前種トノ差ハ全株斜上へ伏臥、葉ハ長橢円形・有柄・楔脚、

莖及葉柄ハ帯紫色ナルニアリ、次記 *J. Serpyllum* L. トハ
ヨリ大形=テ毛茸少キニアリ。〔生薬〕百里香ハ全草ヲ採乾
セルモノ也。滋賀・長野縣及東北地方・北海道多産。〔成分〕莖
葉=精油ヲ含ム、主成分ハ *Thymol* 及 *Carvacrol* 也。〔薬效〕
莖葉ヲ煎服セバ興奮劑トナリ又腸寄生虫ヲ駆除ス、又発汗驅
風藥殺菌藥トナリ感冒=用フ。又浴湯 料トシ神經痛・リウ
マチス等=有效。莖葉・花ヲ食物ノ香味料トシ、又芳香料トス。
ちもーる油製造原料トスベシ。〔備考〕觀賞用トシ庭裡又ハ盆
裁トス。

(52) せりやう-ひやくりから (セルヒルム草, 西洋百里香), *J.*
Serpyllum L. (分生) 歐洲(各地・アルプス地方)・北米西北亞細亞・
亞弗(アビシニヤ)・澳ノ上, 全株小形, 小葉, 稍多毛, 伏臥匍枝ハ要
莖根。〔生薬〕全草ヲせるびるむ草ト取シ花時採乾薬用トス。
〔成分〕莖葉=精油(クエンチル油 *Aleum Serpylli*)ヲ含ム,
主成分ハ ^{シモール} *Cymol*, 他 ^{チモール} *Thymol*・*Carvacrol* 等也。〔薬效〕
全草ヲ煎服シテ発汗驅風藥殺菌藥香味料トス。〔備考〕觀賞用
トシ又盆養ス。

Subfam. (V) やまはくか (山薄荷) 亞科 *Ocimoideae* 概
④ 單葉無乳稀毛葉; *K(5) C(5) A(1) 2 G(2)*, K形種々, Cハ筒状唇
形 4+1, 萼ハ土球形・最後= (萼室ハ其先端=テ癒着ス
ル故) 1室 萼ヲ具フ子房ハ基脚處4裂, 無胚乳種子, 直生・直胎ヲ
有ス。

(53) にほひ-にがくさ *Lyptis suaveolens* Poit. (分生)